

## 第5節 生 活

### 第1 指導計画の作成

#### 1 指導計画作成の基本的な考え方

##### (1) 教科目標の趣旨を踏まえた指導計画の作成（解P 8）

生活科の目標は、以下のように示されている。

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
- (2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。
- (3) 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

これらが偏りなく実現されるよう、単元など内容や時間のまとまりを見通した指導計画を作成することが重要である。

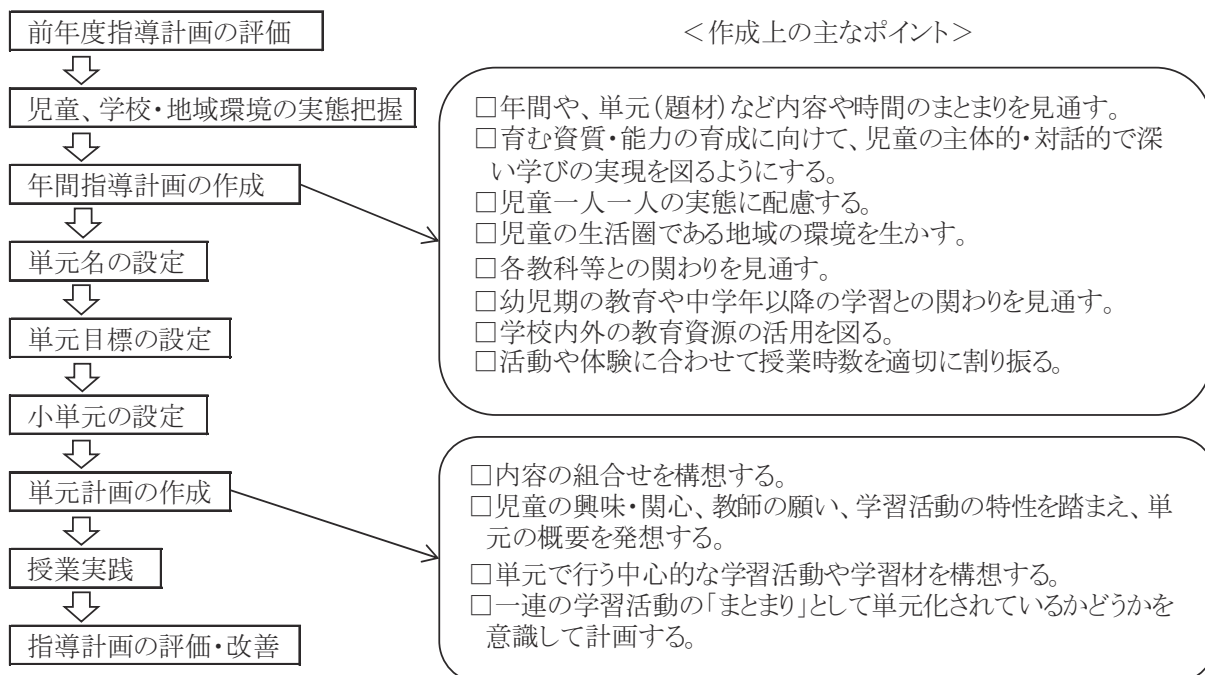
##### (2) カリキュラム・マネジメントを意識した指導計画の作成（解P 70）

- ・ 児童の実態や地域の特性などを考慮し、学校で構成した単元や学習活動を適切に配置する。
- ・ 年間指導計画は2学年間を見通し、各単元計画と相互に関連させながら作成する。
- ・ 幼児期の教育との接続を意識し、学校全体で取り組むスタートカリキュラムを導入する。
- ・ 生活科の学びを、中学年以降の学習にどのようにつなげていくのかを見通す。

##### (3) 学習指導の特質を生かした指導計画の作成（解P 71）

- ・ 児童の思いや願いを育み、意欲や主体性を高める学習活動にする。
- ・ 児童の身近な生活圏を活動や体験の場や対象にし、人や社会、自然と身体を通して直接関わりながら、自らの興味・関心を発揮して具体的な活動や体験を行うことを重視する。
- ・ 活動や体験の中で感じたり考えたりしている児童の姿に働きかけ、活動の充実につなげる。
- ・ 表現したり行為したりすることを通して、働きかける対象についての気付きとともに、自分自身についての気付きをもつことができるようにする。

#### 2 指導計画作成の一般的な手順



### 3 指導計画作成に当たって 意すべき事項

- (1) 「特別な配慮を必要とするなど課題を抱えた児童への指導」の視点（解P62） 【单元 5】
- ・ 個々の児童の困難さに応じた指導内容や指導方法を工夫する。
  - ・ 生活科の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容や学習活動の変更、代替を安易に行うことがないように留意するとともに、児童の学習負担や心理面にも配慮する。
  - ・ 困難さを補う視点だけでなく、得意なことを生かす視点から自己肯定感の醸成につなげる。
- (2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点（解P50） 【单元 1・2・3】
- ・ 单元（題材）など内容や時間のまとまりの中で授業改善を進める。
  - ・ 「見方・考え方」を習得・活用・探究という学びの過程の中で生かすことを通じて、より質の高い深い学びにつなげる。
  - ・ 単に思いや願いを実現する体験活動を充実させるだけでなく、表現活動を工夫し、体験活動と表現活動とが豊かに行き来する相互作用を重視するなど、気づきの質を高めることを意識する。
- (3) 「教科等横断的」な視点（解P55） 【指導計画 1・2、单元 4・5】
- ・ 幼児期における遊びを通した総合的な学びを生かし、具体的な活動を通して感性を豊かに働かせるとともに、身近な出来事から気づきを得て考えるなど、中学年以降の学習の素地を形成できるようにする。
  - ・ 他教科等との合科的・関連的な指導を行ったり、低学年の児童の生活とつながる学習活動を取り入れたりして、教科等横断的な視点で作成する。
  - ・ 幼児期に育まれた資質・能力を発揮するとともに、第3学年以降の社会科や理科などの系統的な学習や、各教科等の「見方・考え方」を生かして探究的に学ぶ総合的な学習の時間に発展的につながっていくことを意識する。
  - ・ 幼稚園教育要領等に示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえて教育課程をつなぐようにする。
  - ・ 幼児期の学びと育ちに対する理解を前提として、児童が安心して小学校生活に慣れ、自らの力を発揮しながら主体的な学習者として育っていけるようにする。
  - ・ 幼児期の教育と小学校教育を円滑に接続するスタートカリキュラムを編成する。
- (4) 「社会に開かれた教育課程」の視点（解P51） 【单元 2】
- ・ 実際に地域の人と話をしたり、地域の自然に触れたりするなど自分と地域の人々、社会との関わりが具体的に把握できるような学習活動の充実を図る。
  - ・ 内容 「生活や出来事の伝え合い」と他の内容との関連を図った单元を構成するなど、それぞれの内容が補い合い支え合って成果をあげられる学習過程の工夫をする。
  - ・ 校外活動の際は、十分な活動時間や児童が安心して活動できる空間の確保に努めるとともに、交通や活動場所、自然災害に対する安全や見知らぬ人への対応等について配慮する。
- (5) 「道德教育の充実」の視点（解P63） 【单元 4】
- ・ 生活科で扱った内容や教材の中で適切なものを道德科に活用したり、道德科で取り上げたことに関係のある内容や教材を生活科で扱ったりする場合には、道德科における指導の成果を生かすように工夫する。
  - ・ 道德教育の全体計画との関連、指導の内容及び時期等に配慮し、両者が相互に効果を高め合うようにする。
- 「2学年間を見通した学習活動」の視点（解P52） 【指導計画 2】
- ・ 児童の発達段階や特性に適合しているかを吟味した上で单元を構成し、2学年間を見通して効果的に配置する。また、单元相互の関係を意識し配列する。
  - ・ 内容 「動植物の飼育・栽培」については、2年間にわたって取り扱うものとし、動物や植物への関わり方が深まるよう継続的な飼育、栽培を行うようにする。

## 第2 指導計画作成のための資

### 1 内 構成の 点

| 階 層                | 内 容             | 学習対象・<br>学習活動等       | 思考力、判断力、<br>表現力の基礎                                      | 知識及び<br>技能の基礎                                | 学びに向かう力、<br>人間性等                           | ○ねらい<br>・ 単元構成上の配慮事項                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------|-----------------|----------------------|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校、家庭及び地域の生活に関する内容 | (1) 学校と生活       | ■ 学校生活に関わる活動を行う      | ・ 学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考える | ・ 学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かる                | ・ 楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりしようにする        | ○ 学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考えることができ、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全に登下校をしたりできるようにする。<br>・ 学校の施設や人々と関わる活動を行う際には、学校の公共性に目を向けるよう配慮する。その際、適切指導として児童に教え込んでいくのではなく、具体的活動の中で学校生活に必要な習慣や技能等を学べるようにする。<br>・ 安全については、自然災害、交通災害、人的災害の三つの災害に対する安全確保に配慮する。<br>・ 学校での自分の生活を豊かに広げていくという視点に立って、児童が常に学校での自分の生活をよりよくしていくようとする意識をもち続けられるよう工夫する。<br>・ 幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図る観点から、入学当初においては、生活科を中心とした合科的・関連的な指導や、弾力的な時間割の設定を行うなどのスタートカリキュラムとして単元を構成し、カリキュラムをデザインする。 |
|                    | (2) 家庭と生活       | ■ 家庭生活に関わる活動を行う      | ・ 家庭における家族のことで自分ができることなどについて考える                         | ・ 家庭での生活は互いに支え合っていることが分かる                    | ・ 自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりしようにする | ○ 家庭生活に関わる活動を通して、家庭における家族のことで自分ができることなどについて考えることができ、家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりできるようにする。<br>・ 児童によって家族構成や家庭生活の状況が異なることから、各家庭や児童のプライバシーを尊重し、配慮する。<br>・ 家庭での実践が難しい場合には、実践の場を学校に求めるなどの工夫を行う。<br>・ 家庭生活は児童の生活の中心を担うものであることから、他の内容との関連を図った活動を取り入れるよう工夫する。                                                                                                                                                                                                                     |
|                    | (3) 地域と生活       | ■ 地域に関わる活動を行う        | ・ 地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考える                       | ・ 自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かる               | ・ それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようにする      | ○ 地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりできるようにする。<br>・ 地域との連携を進めるにあたり、新たな協力者を探る際は、以前からのつながりを大切に、地域が常に変化していることを踏まえた上で、学習のねらいを丁寧に説明し、児童が主体的に活動できるように、共通理解を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                    | (4) 公共物や公共施設の利用 | ■ 公共物や公共施設を利用する活動を行う | ・ それらのよさを感じたり働きたりする                                     | ・ 身の回りにはみんなが使うものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かる | ・ それらに大切に、安全に気を付けて正しく利用しようとする              | ○ 公共物や公共施設を利用する活動を通して、それらのよさを感じたり働きたりすることができ、身の回りにはみんなが使うものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かるとともに、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用できるようにする。<br>・ 内容1や3などと組み合わせで単元を構成する際は、指導の効果が高まるように配慮する。<br>・ 社会生活の基本となるルールやマナーを身に付けられるようにするには、単にそれだけを取り上げて指導するのではなく、他教科等や他単元と関連させるなど、学習の必要感のある機会と場をつくり、児童の思いや願いを実現する過程において、必要に応じて適切に指導していく。また、児童自身の中に、公共の意識を支えられた正しい態度が育つように配慮する。                                                                                                                                                     |



|                          |                                        |                                                                 |                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  |  |  |  |
|--------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|
| 身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容 |                                        |                                                                 |                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 自分自身の生活や成長に関する内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |  |  |  |  |
| ⑤ 季節の変化と生活               | ■ 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を行う | ・ それらの違いや特徴を見付ける                                                | ・ 自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに関心する                                                      | ・ それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ○ 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることに関心とともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくできるようにする。<br>・ 他の内容との関連を図り、年間を通して継続的に扱う。特に、内容3(6)(7)(8)とも適宜関連させて、創意工夫のある指導計画を作成する。                                                                                                                                                                                                                                          |  |  |  |  |
| ⑥ 自然や物を上手に遊ぶ             | ■ 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどの活動を行う    | ・ 遊びや遊びで使う物を工夫してつくる                                             | ・ その面白さや自然の不思議さに気付く                                                                       | ・ みんなと楽しみながら遊びながら遊び出し、出そうとする                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ○ 身近な自然を利用したり、身近にあるものを使ったりするなどで遊ぶ活動を通して、遊びや遊びで使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びながら遊ぶことができるようにする。<br>・ 「見付ける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」などの学習活動を大切にすること。<br>・ 児童が遊びや遊びに使うものを工夫してつくることを通して、それらを実感するよう単元を構成したり学習環境を整えたりする。<br>・ 一人一人の思いや願いを生かした多様な遊びを行い、それを確かにしていく表現活動を行う。                                                                                                                                                      |  |  |  |  |
| ⑦ 動物の飼育・栽培               | ■ 動物を飼ったり植物を育てたりする活動を行う                | ・ それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかける                                 | ・ それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にできるようにする                                 | ・ 飼育と栽培のどちらから一方を行うのではなく、2学年間の見通しをもちながら両方を確実にこなす。<br>・ どのような動物を飼育し、植物を栽培するかについては、各学校が地域や児童の実態に応じて適切なものを取り上げ、動物や植物との出会いを工夫する。また、地域の自然環境や生態系の破壊につながらないように、外来生物等の取扱いには十分配慮する。<br>・ 動物の飼育に当たっては、管理や繁殖、施設や環境などについて配慮する。その際、専門的な知識をもった地域の専門家や獣医師などの多くの支援者と連携して、よりよい体験を与える環境を整える。<br>・ 感染症などの病気の予防や児童のアレルギーなどについても、十分な対応を考える。 | ○ 動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にできるようにする。<br>・ 飼育と栽培のどちらから一方を行うのではなく、2学年間の見通しをもちながら両方を確実にこなす。<br>・ どのような動物を飼育し、植物を栽培するかについては、各学校が地域や児童の実態に応じて適切なものを取り上げ、動物や植物との出会いを工夫する。また、地域の自然環境や生態系の破壊につながらないように、外来生物等の取扱いには十分配慮する。<br>・ 動物の飼育に当たっては、管理や繁殖、施設や環境などについて配慮する。その際、専門的な知識をもった地域の専門家や獣医師などの多くの支援者と連携して、よりよい体験を与える環境を整える。<br>・ 感染症などの病気の予防や児童のアレルギーなどについても、十分な対応を考える。 |  |  |  |  |
| ⑧ 生活や出来事の伝え方             | ■ 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行う       | ・ 相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んで伝える                                  | ・ 身近な人々と関わることで、自分のことや伝えたいこと、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活できるようにする。 | ・ 進んで軸折合い交流しようとする                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ○ 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んで伝えることができる。身近な人々と関わることで、自分のことや伝えたいこと、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活できるようにする。<br>・ この内容は、他の全ての内容との関連を図り、単元を構成していく。その際には、伝えたいという強い思いや願いを児童が心に抱くよう、活動や体験を充実させる。                                                                                                                                                                                                  |  |  |  |  |
| ⑨ 自分の成長                  | ■ 自分自身の生活や成長を振り返る活動を行う                 | ・ 自分自身の生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活できるようにする。 | ・ 自分自身の生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活できるようにする。                           | ・ 自分自身の生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活できるようにする。                                                                                                                                                                                                                                                       | ○ 自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分のことや支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになってきたこと、役割が増えたことなどが分かるとともに、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活できるようにする。<br>・ どの時点から自分の成長を振り返り実感するかは、児童によって異なる。大切なのは、自分の成長を実感できることであって、一律に過去から順にたどることではない。<br>・ 自分の成長への気付きは、この内容だけに限らず、生活科の全ての内容の中で促していくことができる。各内容との関連を意識し、年間を見通した計画的な学習活動を構想することが必要である。<br>・ プライバシーの保護に留意し、家庭の事情、特に生育歴や家族構成などに十分配慮する。                                                |  |  |  |  |



## 2 年間指導計画

### 指導計画例 1 【幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を図るよう配慮した例】（第1学年 第1学期までの例）

#### 【指導計画作成上のポイント】

○幼稚園教育要領等に示された「幼児期の終わりに育ってほしい姿」は、児童期の初期に目指す姿とも重なるものであるため、具体的な児童の姿を踏まえて教育課程をつないでいく。

#### 【第1学年】（102時間）

| 月                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                | 4月                                                                                                                                                                                                                                                              | 5月                                                                                                                                                                                                                                                            | 6月                                                                                                                                                                  | 7月                                                                                                                                                               | 9月 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 幼児期の終わりに育ってほしい姿<br>(1)健康な心と体<br>(2)自立心<br>(3)協同性<br>(4)道徳性・規範意識の芽生え<br>(5)社会生活との関わり<br>(6)思考力の芽生え<br>(7)自然との関わり<br>生命尊重<br>(8)数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚<br>(9)言葉による伝え合い<br>(10)豊かな感性と表現<br>※幼稚園教育要領等参照<br>※右記の単元における姿は、主にその単元で発揮される姿を表している。 | 単元名<br>(時数)<br>・主な活動<br>〔内容・ <b>幼</b> 幼児期の終わりにまでに育って欲しい姿〕      | <b>みんななかよし(6)</b><br><b>(スタートカリキュラム)</b><br>・ともだちとがっこうをたんけんしよう・たんけんで見つけたことをはなそう<br>・こういで あそぼう<br>・ゆうぐで あそぼう<br>〔内容(1)〕<br><b>幼</b> 1(12)                                                                                                                        | <b>がっこうだいすき (9)</b><br>・ともだちとがっこうをたんけんしよう・たんけんで見つけたことをはなそう<br>〔内容(1)・ <b>幼</b> (3) (4) (8)〕                                                                                                                                                                   | <b>しぜんと なかよし その1 (9)</b><br>・みんなのこうえんであそぼう<br>〔内容(5) (6)・ <b>幼</b> (3) (5) (6) (10)〕                                                                                |                                                                                                                                                                  |    |
|                                                                                                                                                                                                                                        | 幼児期の終わりに育ってほしい姿を踏まえた単元構成の配慮事項<br>幼児期の終わりに育ってほしい姿を踏まえた単元構成の配慮事項 | <b>みんななかよし (スタートカリキュラム) <b>幼</b> 1(12)</b><br>○幼児期の教育と小学校教育を円滑に接続するため、スタートカリキュラムを編成する。その際、低学年の全ての教科等と生活科との関連を図り、指導の効果を高めたいようにする。<br>○幼児期に育まれたことを生かし自分ではいることは自分ですようと積極的に取り組むことができるよう配慮する。<br>○幼児期に大切に生きてきた生活のリズムを生かし、他の児童と一緒に楽しく過ごす時間を設定したり、自分のやってみたいことを設定したりする。 | <b>がっこうだいすき <b>幼</b> (3) (4) (8)</b><br>○児童の思いや願いを生かした学習活動を構成し、学ぶことへの意欲を高めていくことができるようにする。<br>○グループで探検したり、表現したりする活動を設定し、友達と協力して活動を行うことができるようにする。<br>○幼児期の経験を土台にして、相手の気持ちを考えたり、その場に応じた振る舞いを振り返ったりすることができるようになる。<br>○探検をしながら、身近な文字や数字に関心をもち、日常生活に生かすことができるようにする。 | <b>大きくなってね パート1 <b>幼</b> (7) (9)</b><br>○幼稚園等での飼育・栽培経験を生かしながら、活動を進めていくことができるようにする。<br>○毎日の学校生活の様々な場面に飼育・栽培活動を位置付け、生活科を中心に一日の学校生活を設計すること<br>で生活科の活動を日々の学校生活に取り入れていく。 | <b>しぜんと なかよし その1 <b>幼</b> (3) (5) (6) (10)</b><br>○地域にある公園に出かけ、そこで遊ぶことを通して、児童の学びの場を広げていくようにする。<br>○一人一人の遊びの多様性を認めながら、試行錯誤したり振り返りする活動を設定し、満足感や成就感を味わうことができるようにする。 |    |

指導計画 2【他教科等との関 連に重点を置き、指導の効果を高めるように配 した】

- 生活科では、他教科等との合科的・関 連的な指導を行ったり、低学年の児童の生活とつながる学習活動を取り入れ  
たりして、教科等横断的な視点で教育課程の編成、実施上の工夫を行うことで、一層の学習の効果が期待できる。  
○生活科と他教科等において、学びがどのように関 連しているかを意識し、児童の思いや願いを生かした学習活動  
を展開するために、2学年間の全ての単元を配 列することができる単元配 表の作成が効果的である。

【第1学年】(102時間)

|    | 道徳科・特別活動等                                                                                                 | 単元名(時数)・主な活動・内容・視点                                                                                                                          | 他教科                                                                                                                             |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4  | 学級活動(2)<br>「うれしい1年生」<br>・先生の紹介を聞いたり、<br>友達と握手したりするこ<br>とで学校生活になれる。                                        | はじめてましてよろしくね(6)<br>→ スタートカリキュラム (1)ア、イ<br>・好きな歌を歌おう<br>・お話読んでね(読み聞かせ)<br>・リズム遊び・手遊び歌をしよう                                                    | 国語「あかるいこえて」<br>「どうぞよろしく」<br>・場面に合わせてあいさつをする。<br><br>体育「遊具遊び」<br>・約束を守り正しく遊具を使う。                                                 |
| 5  | 児童会活動<br>「1年生を迎える会」<br>・上級生に入学を祝っても<br>らう。                                                                | がっこうだいすき(9) (1)ア、イ<br>・友達と学校を探索しよう<br>・学校にいる人たちとなかよしになろう<br>・探索で見つけたことをお話ししよう                                                               | 図工「すきなもののえをかこう」<br>→ 学校探索で見つけたお気に入りの<br>絵をかく。                                                                                   |
| 6  | 道徳「あかるいあいさつ」<br>・気持ちのいい言葉遣いや<br>所作で身近な人に明るく<br>接しようとする。<br>[礼儀]                                           | おおきくそだってね(15) (7)キ、サ<br>・育てる植物を自分で決めよう<br>・願いを込めて種をまこう<br>・毎日お世話をし、発見したことをかこう<br>・花で色水遊びや押し花遊びをしよう<br>・種とりをしよう                              | 国語「えにっきをかこう」<br>「はなしたいなききたいな」<br>・自分の花の絵日記等をかく。<br><br>算数「おおきいかず」<br>・咲いた花の数や種の数を知る。<br>「どちらがながい」<br>・どれくらい大きくなったか長さを<br>比べる。   |
| 7  | 学校行事<br>「交通安全教室」<br>・通学路の様子やその安全<br>を守ってくれる人の話を<br>聞いて、安全な登下校が<br>できるようにする。                               | なつとともにだち(10) (5)(6)オ、キ、ク、ケ<br>・公園で遊ぼう<br>・草花や虫を探そう<br>・水で遊ぼう                                                                                | 国語「としよしのつかいかた」<br>・虫や動物の育て方の本を借りて<br>調べる。                                                                                       |
| 9  | 道徳「げんきでね<br>あげはくん」<br>・身近な自然に親しみ、そ<br>の触れ合いを通して豊<br>かな心を形成し、優しい<br>心で大切に接しようとする。<br>[自然愛護]                | いきものだいすき(12) (7)キ、コ、サ<br>→ 校庭や公園で虫を探そう<br>・虫のお世話をし、大切に飼おう<br>・みんなで動物を飼おう                                                                    | 図工「おちばでだいへんし〜ん」<br>・公園で集めた落ち葉や枝を使っ<br>て秋の作品を作り、楽しむ。                                                                             |
| 10 | 学級活動(1)<br>「あきのパーティーを<br>かんがえよう」<br>・生活科の秋のパーティー<br>の内容を考える。                                              | あきとともにだち(10) (5)(6)オ、キ、ク、ケ<br>・秋の探索をしよう<br>・公園に秋を探しに行こう<br>・葉っぱや実で遊ぼう<br>・見つけた秋を紹介しよう<br>・秋のパーティーを開こう<br>・どんな花を育てたいか調べよう<br>・もう一度、自分の花を育てよう | 音楽「リズムあそび」「季節の歌」<br>・生活科で作ったマラカスを使っ<br>て演奏し、秋の歌を歌う。                                                                             |
| 11 | 道徳「サバナナの子ども」<br>・自分も家族の一員である<br>ことに気づき、家族のた<br>めに手伝おうとする態度<br>を育てる。<br>[家族愛、家族生活の充実]                      | にこにこだいさくせん(15) (2)イ、カ、ク、ケ<br>→ 家族がにこにこするのはどんなときか、考え<br>たり、インタビューしたりしよう<br>・にこにこ大作戦を計画・実行しよう                                                 | 体育<br>「はっぱになりきっておどろう」<br>・風にふかれて木の葉がまう様子<br>等を体全体で表現する。                                                                         |
| 12 | 学級活動(2)<br>「もうすぐ2年生」<br>・1年間を振り返り、頑張<br>ったことやできるよう<br>になったことを発表し<br>合うとともに、2年生で<br>がんばりたいことをも<br>てるようにする。 | ふゆとともにだち(10) (5)(6)オ、キ、ク、ケ<br>・冬の公園に行こう<br>・外で遊ぼう<br>・雪や氷で遊ぼう                                                                               | 国語<br>「ずうっと、ずっと、大すきだよ」<br>・ぼくとエルフの心の交流を読む。                                                                                      |
| 1  |                                                                                                           | もうすぐみんな2ねんせい(15) (6)(9)ク、ケ、コ<br>→ 1年間にできるようになったことを思い出そ<br>う<br>・新しい1年生に学校のことを伝える会の準備<br>をしよう                                                | 国語「おもい出してかこう」<br>「いいこといっぱい1年生」<br>・1年間の思い出を読む人が分か<br>るように、順序を考えて書く。<br><br>図工「えがおつうしんににこに<br>こニュース」<br>・1年生の楽しかった思い出の絵<br>等をかく。 |
| 2  |                                                                                                           |                                                                                                                                             | 算数「すごろくづくり」<br>・1年生の出来事や思い出のすご<br>ろくを作ってみんなで遊ぶ。                                                                                 |
| 3  |                                                                                                           |                                                                                                                                             |                                                                                                                                 |

【第2学年】(105時間)

|    | 道徳科・特別活動等                                                                                 | 単元名(時数)・主な活動・内容・視点                                                                                                                     | 他教科                                                                                                  |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4  | <b>学級活動(2)</b><br><b>「2年生になって」</b><br>・進級を喜び、2年生としてのめあてをもつ。                               | <b>ぼくもわたしも2年生(8)</b><br>→ <b>[1]ア、イ、エ、ケ、コ</b><br>・2年生になってがんばりたいことや挑戦したいことを伝え合おう<br>・1年生をむかえる計画を立てよう                                    | <b>国語</b><br><b>「春がいっぱい」</b><br>・学校の中で春を感じるものをノートに書き出す。<br><b>「今週のニュース」</b><br>・友だちに知らせたいことを紙に書いてはる。 |
| 5  | <b>道徳「わたしの学校」</b><br>・学校のすてきをみんなで考えて1年生に話す。<br><b>よりよい学校生活の充実</b>                         | <b>ぐんぐんそだてわたしのやさい(14)</b><br><b>[7]キ、サ</b><br>・育てる野菜を決めよう<br>・野菜の世話を続けよう<br>・毎日お世話をし、発見したことをかこう                                        | <b>国語「かんさつ名人になろう」</b><br>・観察して気が付いたことをくわしく書く。                                                        |
| 6  | <b>学級活動(1)</b><br><b>「1年生となかよくあそぶ会をひらこう」</b><br>・1年生が学校を好きになってくれるように、一緒に遊ぶ会を考える。          | <b>どきどきまちたんけん(12)</b><br><b>[3](4)イ、ウ、エ、カ</b><br>・クラス全員で町を探検し、気付いたことを伝え合おう<br>・2回目の町探検をしよう<br>・町のすてき・びっくりを探そう<br>・町探検すてきマップを作ろう        | <b>算数「わかりやすくあらわそう」</b><br>・クラスみんなが育てたい野菜をグラフと表にして表す。                                                 |
| 7  | <b>情報教育との関連</b><br><b>「タブレットのつかい方をれんしゅうしよう」</b><br>・町探検ですてき・びっくりを写真に撮れるようにタブレットの使い方を練習する。 | <b>生きものとなかよし(10)</b><br><b>[7]カ、キ、コ</b><br>・公園に生きものを探しに行こう<br>・生きものと遊んだり、すみかを作ったりしよう<br>・虫のお世話をし、大切に育てよう                               | <b>算数「長さをはかろう」</b><br>・育てている野菜の背の高さを定規で測る。                                                           |
| 9  | <b>道徳「生きているってどんなこと？」</b><br>・育てている野菜のことや、生き物との触れ合いを通し、生きていると感じるときのことを話し合う。 <b>生命の尊さ</b>   | <b>できたよできたわたしのやさい(6)</b><br><b>[7]キ、サ</b><br>・野菜の収穫をしよう。<br>・とれた野菜をみんなで食べよう<br>・学級園の手入れをしよう                                            | <b>算数「時計を生活に生かそう」</b><br>・町探検の出発時刻と、集合時刻を決める。<br>・町探検の計画で、時間を決めてコースを作る。                              |
| 10 | <b>学級活動(2)</b><br><b>「野さいのひみつ」</b><br>・栄養教諭の先生から、野菜の栄養の話を聞く。                              | <b>もっとどきどきまちたんけん(12)</b><br><b>[8]イ、ウ、カ</b><br>・町探検の計画を立てよう<br>・町の人となかよしになろう<br>・町のすてきを地図や絵本、紙芝居などにまとめよう<br>・家の人や、町の人たちに発表しよう          | <b>国語「見たこと、かんじたこと」</b><br>・見たこと感じたことを詩に書く。                                                           |
| 11 | <b>道徳「ながいながいつうがくろ」</b><br>・わたしたちの町のすきなところを発表し合う。<br><b>伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度</b>            | <b>うごくよわたしのおもちゃ(10)</b><br><b>[6]カ、ケ</b><br>・動くおもちゃを作ろう<br>・もっと工夫しよう<br>・みんなで遊ぼう                                                       | <b>図工「どきどきカードを作ろう」</b><br>・町探検でお世話になった人にお礼のカードを作る。                                                   |
| 12 | <b>情報教育との関連</b><br><b>「町の人にわたすめいしを作ろう」</b><br>・町探検で町の人に渡す名刺をパソコンを使って作る。                   | <b>あしたへジャンプ！(27)</b> <b>[9]カ、コ</b><br>・1年間にできるようになったことを思い出そう<br>・新しい1年生に、学校のことを伝える会を開こう<br>・招待したことを振り返ろう<br>・3年生になったら挑戦したいことをみんなで話し合おう | <b>国語「おもちゃを作ろう」「おもちゃのせつめい書」</b><br>・作ったおもちゃのことを説明する文章を書く。<br>・おもちゃ大会で友達に説明する。                        |
| 1  | <b>道徳「さかあがりできた」</b><br>・できなかったことができたようになった時の気持ちを思い出す。<br><b>希望と勇気、努力と強い意志</b>             |                                                                                                                                        | <b>音楽「楽しかった2年生の歌をみんなで作ろう」</b><br>・楽しかった2年生の思い出を歌にする。                                                 |
| 2  | <b>児童会行事</b><br><b>「6年生をおくる会」</b><br>・お世話になった6年生のためにお礼のカードを作る。                            |                                                                                                                                        | <b>国語「楽しかったよ2年生」</b><br>・できごとを思い出して、その時のことが伝わるように書く。                                                 |
| 3  |                                                                                           |                                                                                                                                        | <b>図工「どきどきカードのおくりもの」</b><br>・楽しかったこと、うれしかったことのカードを作って家の方にプレゼントする。                                    |

※ → は、生活科と教科・特別活動等との関連を示す。 ↔ は、一部を合科的に扱う。



### 3 単元計画

#### 単元例1【主体的な学びの視点から指導を工夫した例】

##### 【指導上のポイント】

- 児童の思いや願いを実現する体験活動の中で、結果を予想したり先を見通したりしながら、多様な学習活動へと発展していくようにする。
- 学習活動を振り返ることで、自分自身の成長に気付き、更なる意欲を高めることが、学びに向かう力を育成することにもつながる。

#### (1) 単元名 あきとあそぼう（20時間） 第1学年

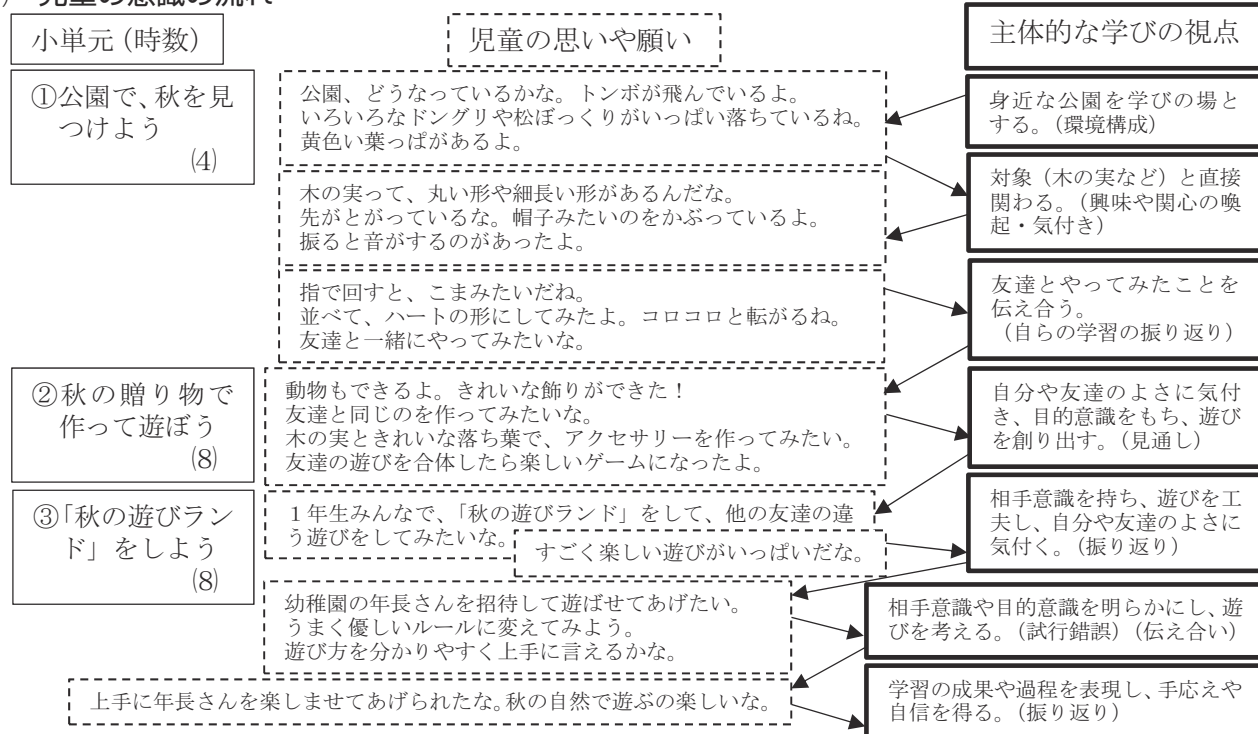
#### (2) 単元について

本単元は、学習指導要領の内容(5)「季節の変化と生活」や(6)「自然や物を使った遊び」を受けて設定したものである。ここでは、身近な自然の様子や季節の変化に気付き、それらの違いや特徴を見付けたり、自らの生活に取り入れ生かしたりしていくようにする。そして、秋の自然物や身近にある物を使った遊びを考え、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くようにする。また、一人一人の思いや願いを生かした多様な遊びを行い、友達と一緒に遊びを考えたり、幼児を招いて更に遊びを工夫したりして、みんなで遊びを創り出すようにする。

#### (3) 単元の目標

身近な自然・物を利用し、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり出すことを通して、身近な自然の様子や四季の変化に気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。

#### (4) 児童の意識の流れ



#### (5) 指導計画（ここでは、小単元②「秋の贈り物で作って遊ぼう」の指導計画のみ掲載）

| 小単元名及びねらい                                          | 主な活動（時数）                                                                                                                         | 主体的な学びにつなげるための配慮【3(2)】                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ②秋の贈り物で作って遊ぼう（8）<br><br>○秋の自然物で、遊びに使う物を作ってみんなで楽しむ。 | ○木の実や落ち葉を使って、遊びやおもちゃをつくる。（2）<br><br>○グループで、遊びに使う物を考えて作ったり、遊びの約束やルールを工夫したりして楽しむ。（3）<br><br>○他のグループの遊びに興味をもったり、自分たちの遊びを改良したりする。（3） | ・多様な活動ができるような場を設定する。<br>・友達と一緒に作った物で遊ぶことを通して、遊びの面白さに気付かせる。<br>・グループで見通しを立てながら、遊びに使う物を作ったりルールを考えたりするなど、試行錯誤して工夫するようにさせる。<br>・他のグループの遊びを体験してよさを伝えたり、自分たちの遊びを改良したりするようにさせる。<br>・活動を振り返り、友達のよさや自分の成長に気付き、次の活動への意欲につなげさせる。 |

※「1単位時間の指導計画」の作成について

単元の指導計画を基に、児童一人一人の思いや願いに応じた多様な学習活動を位置づけ、活動や体験したことを言葉などによって振り返り表現する機会を設定したり、気付きを伝え合い交流する場を工夫したりする。また、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動の設定等、気付きの質を高める授業展開となるようにする。

## 単元例2【対話的な学びの視点から指導を工夫した例】

### 【指導上のポイント】

○児童一人一人の発見が共有され、新たな気付きが生まれたり関係が明らかになったりするよう  
な、伝え合い交流する場を設ける。また、地域の人々とインタビューや交流する活動を取り入  
れ、双方向の活動が行われるようにする。さらに、対話的な学びを可視化するために、「考え  
るための技法（思考ツール）」の活用も効果的である。

(1) 単元名 はっけん！まちのキラリたんけんたい②（20時間） 第2学年

(2) 単元について

本単元は、学習指導要領の内容(3)「地域と生活」と(8)「生活や出来事の伝え合い」を受けて  
設定したものである。～以下略～

(3) 単元の目標

地域の場所やそこで生活する人や働く人と関わる活動を通して、地域の場所や多様な人々と関  
わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んでふれあい交流しようとする。

(4) 児童の意識の流れ（略）

(5) 指導計画

| 小単元名・ねらい                                                                                                  | 主な活動（時数）                                                                                                                                                       | 対話的な学びにつなげるための配慮<br>【3(2)】                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①まちのキラリをみ<br>つけよう(7)<br>○地域の場所を探検<br>したり人と関わっ<br>たりすることを通<br>してよさやはたら<br>きを見付ける。                          | ○自分が見つけた近所のキラリを紹<br>介しあう。(1)<br><br>○グループごとに、自分たちの行き<br>たいところの探検計画を立てる。<br>(2)<br><br>○グループごとに、めあてをもって<br>自分たちの探検したいところに行<br>く。(3)<br>○探検して見つけたことを振り返<br>る。(1) | ・1学期の探検で見つけたことを伝え合い<br>やすくするために、ペアやグループでの<br>話し合い活動にする。<br>・1学期の探検を思い出しながら探検して<br>みたいところをイメージマップで具体<br>化する。<br><b>思考ツール（ウェビング）</b><br>・担任は、事前に探検先と打ち合わせを行<br>い、対話的な交流が図れるよう配慮す<br>る。<br>・探検先でインタビューや体験的な活動が<br>行われるようにする。【3(4)】<br><br>・グループの中で話し合いを行い、見つけ<br>たことを確認する。<br>・地図を使い、見つけたことを付箋に書い<br>て貼ることで、可視化する。 |
| ②もう一度町探検に<br>行こう(7)<br>○探検して見つけた<br>ことや体験したこ<br>とを元に、2回目<br>の探検を行い、さ<br>らに詳しく調べ、<br>自分たちの気付き<br>を深める。     | ○1回目の探検の報告会を開いて、<br>自分たちの気付いたことを交流<br>し、振り返る。(1)<br>○計画を立てる(2)<br><br>○具体的にやってみたいことや聞<br>いてみたいことを明らかにして<br>2回目の探検に行く。(3)<br>○探検して見つけたことを振り返<br>る。(1)           | ・見つけてきた人・物・ことについて付箋<br>を使って分類する。<br><b>思考ツール（KJ法）</b><br>・2回目の探検でやってみたいことや聞い<br>てみたいことを出し合う。<br>・児童が考えたことをもとに、インタビ<br>ューや体験的な活動が行われるようにす<br>る。【3(4)】<br>・地図や具体物を使って、見つけたことを<br>伝え合い、気付きの交流を図る。                                                                                                                  |
| ③まちのキラリ発表<br>会をしよう(6)<br>○これまでの探検を<br>通じて発見したこ<br>とをもとに、地域<br>の人や保護者に向<br>けて発表会を通し<br>て町のよさに気付<br>くようにする。 | ○報告の資料作りや発表準備を行<br>う。(2)<br><br>○探検でお世話になった人や地域<br>の人を招いて「まちのキラリ報告<br>会」を行う。(2)<br>○探検活動を振り返り、まちのよさ<br>について考える。(2)                                             | ・見つけてきたことや体験したことの中か<br>ら伝えたいことを3つ選んで発表の材<br>料にする。<br><b>思考ツール（ランキング）</b><br>・招待した人々から感想をもらうなどのや<br>りとりを行うことで、対話が図れるよ<br>うにする。【3(4)】<br>・お世話になった方にお礼の手紙を書くな<br>どして、対話的な学びが図れるようにす<br>る。                                                                                                                          |

### 単元例3【深い学びの視点から指導を工夫した例】

#### 【指導上のポイント】

○動くおもちゃを試行錯誤しながら繰り返し作る中で、見付ける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を行い、気付いたことを伝え合い交流したり、振り返り表現したりすることで、深い学びを実現するようにする。

(1) 単元名 うごく うごく わたしのおもちゃ（13時間） 第2学年

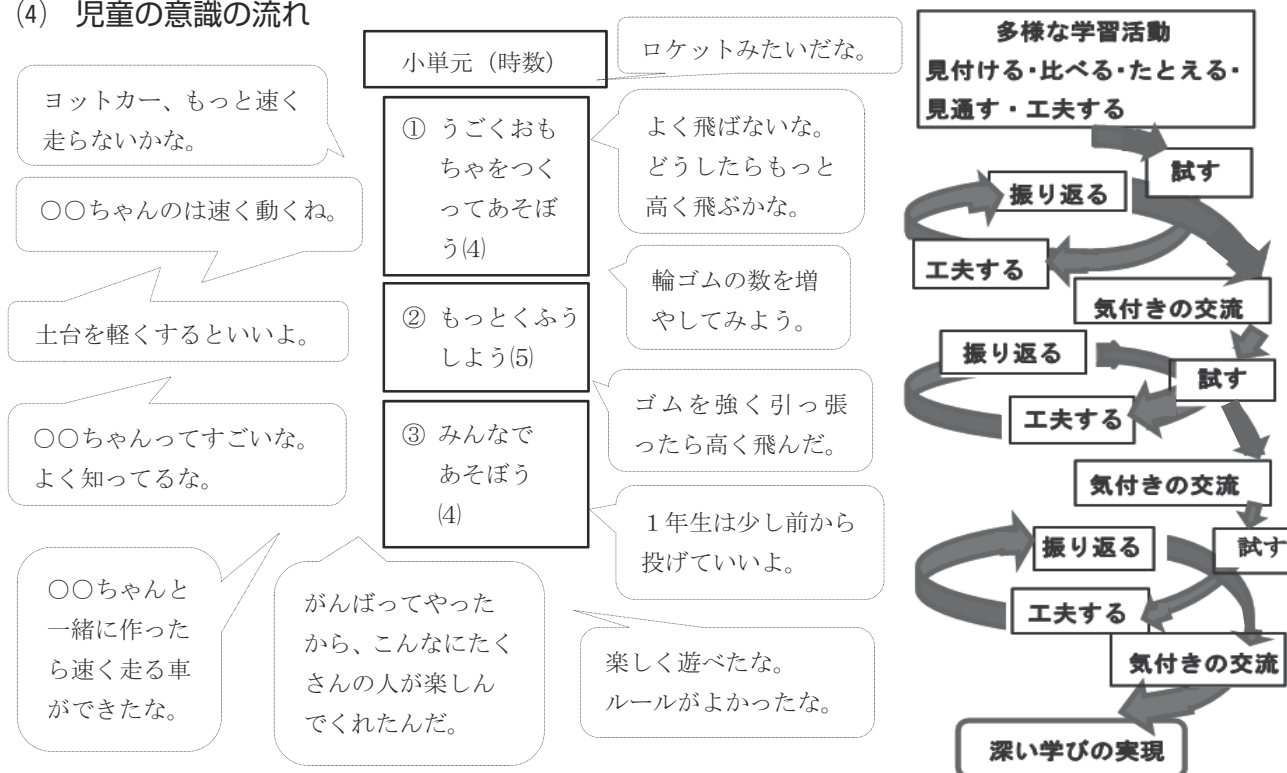
(2) 単元について

本単元は学習指導要領の内容(6)「自然や物を使った遊び」を受けて設定したものである。身近な材料を使い、自分で考えたおもちゃを作り、遊び、工夫する活動を繰り返す中で、その面白さや不思議さに気付くようにする。試行錯誤を繰り返し、条件を変えて試してみる過程で、動くおもちゃの作り方への気付きが質的に高まっていくようにするとともに、第3学年以上の学習を支える科学的な認識の基礎を培うようにする。また、友達と関わりながら遊んだり、活動を振り返ったりする中で、友達のよさや自分のよさを考えるようにする。

(3) 単元の目標

身近にある物を使って動くおもちゃを作り遊ぶ活動を通して、おもちゃ作りや遊びを工夫することができ、動くおもちゃの面白さや自然の不思議さに気付き、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

(4) 児童の意識の流れ



(5) 指導計画（ここでは小単元③「みんなであそぼう」の指導計画のみ掲載）

| 小単元名・ねらい                                                            | 主な活動（時数）                                                                                                                     | 深い学びにつなげるための配慮【3(2)】                                                                                                                                                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ③ みんなであそぼう(4)<br>○遊びのルールを工夫するとみんなで楽しく遊べること、活動を通して友達や自分のよさに気付くようにする。 | ○作ったおもちゃを使ったおもちゃ大会を開く計画を立てる。(1)<br>○おもちゃ大会を開き、遊び方を教えたり、一緒に遊んだりする。(2)<br>○おもちゃ作りをしたり、おもちゃ大会を開いたりして気付いたことを自分なりの方法で表現し、伝え合う。(1) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手（1年生）を意識し、工夫した遊びのルールや図を使った遊び方の説明などを価値付け、クラス全体に広めるようにさせる。</li> <li>・「いいね。」「そうだね。」「なるほどね。」などと児童の気付きを認め、共通の視点に気付かせる。</li> <li>・できるようになったこと、友達のよさ、自分のよさに着目して振り返るようにさせる。</li> </ul> |

## 単元例4【各教科等との関わりから指導を工夫した例】

### 【指導上のポイント】

- 他教科との関連では、生活科の学習成果を他教科等の学習に生かしたり、他教科等の学習成果を生活科の学習に生かしたりする。また、教科の目標や内容の一部について、これを合科的に扱うことによって指導の効果を高めるようにする。
- 第2学年後半においては、第3学年以降の社会科や理科、総合的な学習の時間に発展的につながっていくよう意識することも大切である。

### 1 単元名 わたしたちの やさいばたけ（25時間） 第2学年

### 2 単元について

本単元は、学習指導要領の内容(7)「動植物の飼育・栽培」を受けて設定したものである。ここでは、児童が自らの手で継続的に植物を育てることを通して、身近な植物に興味・関心をもち、それらが生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物を大切にすることができるようになることを目指している。

### 3 単元の目標

野菜の栽培を通して、それらの育つ場所や成長の様子に興味・関心をもち、自然の不思議さや面白さ、生命をもっていることなどに気付き、生き物への親しみをもち、大切に育てることができるようになる。

### 4 児童の意識の流れ（略）

### 5 指導計画

| 小単元・主な活動（時数）                                                      | 合科・関連  | 他教科等での学び【3(3)】                                                                                  |
|-------------------------------------------------------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○野菜をうえよう(4)<br>・どんな野菜が育てられるか調べ、苗を植える。                             | ←      | 〈国語〉「観察名人」の学習を生かして、観察して気付いたことを詳しく記録文にして書く。                                                      |
| ○野菜の世話をしよう(4)<br>・野菜の日々の成長を絵や文章、タブレットに記録し、成長の変化等を他の野菜と比較する。       | ←<br>→ | 〈算数〉「長さ」の学習を生かして長さの単位を活用しながら観察する。<br>〈道徳〉生き物とのふれ合いを通して、生命の素晴らしさを話し合う。【3(5)】<br><div>生命の尊さ</div> |
| ○野菜の収穫をしよう(2)<br>・実った夏野菜を楽しく収穫する。                                 | ↔      | 〈図工〉よく観察したことを生かして「野菜の絵」を描く。                                                                     |
| ○野菜について紹介しよう(4)<br>・野菜の成長を振り返りながら自己の成長も確認し、自分が育てている野菜を紹介する。       | ↔      | 〈道徳〉収穫した野菜を料理して収穫の喜びを家族と分かち合う。【3(5)】<br><div>家族愛、家庭生活の充実</div>                                  |
| ○夏野菜ありがとう(2)<br>・夏野菜栽培について振り返り、夏野菜の特徴について考える。                     | →      | 〈音楽〉音遊びを通して、野菜の成長や収穫の喜びを曲作りの発想に生かす。                                                             |
| ○秋からの野菜を育てよう(5)<br>・秋から育てられる野菜を知り、種や苗を植え、野菜の様子を観察しながら、必要な世話を継続する。 | →      | 〈体育〉野菜の成長を観察した経験から野菜そのものになりきって、全身で表現する。                                                         |
| ○野菜パーティーをしよう(4)<br>・苗植えから収穫までの野菜について紹介する会を開き、自分たちが育てた野菜について説明する。  | ↔<br>↔ | 〈学級活動〉野菜パーティーをどのような会にするか、役割分担などについて話し合う。<br>〈学校行事〉エコフェスティバルで、自分たちの育てた野菜のことについて発表する。             |

- ※ → 生活科の学習成果を他教科等の学習に生かす。
- ※ ← 他教科等の学習成果を生活科の学習に生かす。
- ※ ↔ 教科の目標や内容の一部について合科的に扱う。



## 単元例5【入学当初における生活科を中心とした合科的な指導に配慮した事例】

### 【指導上のポイント】

- 幼児期の教育と小学校教育を円滑に接続するために、スタートカリキュラムを編成し、児童が安心感をもち、主体的に自己を発揮できるようにする。
- 生活科を中心とした合科的・関連的な指導を行ったり、弾力的な時間割の設定を行ったりするなどの工夫をして、ゆったりとした時間の流れの中で少しずつ小学校での学習に慣れることができるようにする。

1 小単元名 なかよしいっぱい（6時間） 第1学年 ※単元計画は指導計画例1を参照

2 小単元について

本小単元は、学習指導要領の内容(1)「学校と生活」を受けて設定したものである。4月当初の小単元として、幼児期の学びと育ちを土台とし、児童が興味・関心をもったことを個々のペースで追究していけるような、ゆったりとした時間の流れの中で少しずつ小学校での生活に慣れることができるように進めていく。そのために、スタートカリキュラムを編成し、各教科等との合科的・関連的な指導を行ったり、弾力的な時間割を設定したりするようにする。

3 小単元でねらう子供の姿

- ・安心して自己を発揮できる子供
- ・みんなと楽しみながら関わりを広げる子供
- ・思いや願いを広げ、学びに取り組もうとする子供

4 入学当初の生活科を中心とした合科的な指導に配慮した週案例

| 4月第2週のねらい 【先生や友達と仲良くなる】 |                                                                  |                                                                  |                                                 |                                                   |                                                      |
|-------------------------|------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|---------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
|                         | 1日目                                                              | 2日目                                                              | 3日目                                             | 4日目                                               | 5日目                                                  |
| 朝の活動                    | 【なかよくなろう】<br>・手遊びをしよう。<br>・歌って踊ろう。                               | 【なかよくなろう】<br>・手遊びをしよう。<br>・歌って踊ろう。                               | 【なかよくなろう】<br>・手遊びをしよう。<br>・歌って踊ろう。              | 【なかよくなろう】<br>・手遊びをしよう。<br>・歌って踊ろう。                | 【学級の時間】<br>・外で元気に遊ぶ。                                 |
| 1                       | 【生活】<br>「がっこうのなかをあるいてみよう」<br>・学校の中を教師と一緒に歩く。                     | 【生活】<br>「こうていであそぼう」<br>・校庭にある道具で思い思いに遊ぶ。                         | 【生活】<br>「いっしょにあそぼう」<br>・みんなで砂場遊びをする。            | 【音楽】<br>「うたでさんぽ」<br>・友達と一緒に楽しく歌う。                 | 【体育】<br>・鬼遊びをする。                                     |
| 2                       | 【国語】<br>・学校の中で見つけたものを話す。                                         | 【体育】<br>・校庭にある道具で遊び、使い方を覚える。                                     | 【道徳】<br>「たのしいがっこう」<br>・学校のきまりや約束について話す。         | 【生活】<br>「1年生を迎える会に参加しよう」<br>・2年生が開く1年生を迎える会に参加する。 | 【生活】<br>「がっこうめぐりをする」<br>・校庭の花や虫などを見付ける。              |
| 3                       | 【図工】<br>「すきなえ なかに」<br>・好きなものを描きたいものを自由にかく。                       | 【算数】<br>「なかまあつめをしよう」<br>・図工でかいた絵を仲間ごとに分ける。                       | 【算数】<br>「なかまあつめをしよう」<br>・カードの絵を種類や条件で分けて仲間をつくる。 | 2年生と一緒に学校の中を探検する。                                 | 【図工】<br>「みつけたものをかこう」<br>・学校めぐりの中で見つけたものをかく。          |
| 4                       | 【国語】<br>「読み聞かせ」<br>・教師による読み聞かせを聞く。<br>※幼稚園の経験を生かし、気持ちを落ち着けて下校する。 | 【国語】<br>「読み聞かせ」<br>・教師による読み聞かせを聞く。<br>※幼稚園の経験を生かし、気持ちを落ち着けて下校する。 | 【学活】<br>「はじめての給食」<br>・幼稚園等の経験を話し、給食の準備の仕方を知る。   | 【算数】<br>「10までのかず」<br>【学活】<br>「たのしい給食」             | 【国語】<br>「みつけたものをおはなししよう」<br>・学校めぐりの中で見つけたことを友達と伝え合う。 |
| 下校                      | 下校11:30                                                          | 下校11:30                                                          | 下校13:30                                         | 下校13:30                                           | 下校13:30                                              |

◎幼児期に大切にしてきた生活リズムや一日の過ごし方に配慮して、学習活動を設定する。

○業前の活動で、保育園・幼稚園等で行った遊びや歌を取り入れ、学校生活を生き生きと安心して楽しく始められるようにする。

○自分との関わりを通して総合的に学ぶ子供の発達の特性を捉え、生活科を中心とした合科的・関連的な指導を設定するようにする。【3(3)】

○子供の実態や学習活動に応じて、10～15分の短い時間の学習や2時間続きの学習にするなど、弾力的な時間割を設定する。

○長時間机に向かって学習するのは難しいというこの時期の子供の発達の特性を捉え、活動性のある学習活動を行うようにする。【3(1)】

○適応指導になることがないよう、保育園・幼稚園等の経験を引き出し、それを基に小学校での生活の仕方を考えていくことができるようにする。

## 第1 指導計画の作成

## 1 指導計画作成の基本的な考え方

- (1) 小学校音楽科の目標を十分踏まえる (解P 9)  
音楽科の目標<sup>1)</sup>は、「知識及び技能」の習得、<sup>2)</sup>は、「思考力、判断力、表現力等」の育成、<sup>3)</sup>は、「学びに向かう力、人間性等」の涵養を目指すことを示している。
- (2) 音楽的な「見方・考え方」を働かせる活動を展開する (解P 10～P 11)  
音楽的な「見方・考え方」とは、音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音色、リズム、速度、反復、呼びかけとこたえなどの音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、捉えたことと自己のイメージや感情、生活や文化などを関連付けることであり、音楽科を学ぶ本質的な意義をなすものである。

「見方・考え方」は、教え込むのではなく、思考、判断し、表現する一連の過程を大切にした学習の充実を図り、その中で児童が「見方・考え方」を働かせることができるようにすることが重要である。児童が音楽を形づくっている要素を捉え、それらの働きについて思考する場面はどこか、また、音や音楽をイメージや感情等と関連付けて考える場面はどこかという視点をもちて指導計画の作成を行うようにする。

- (3) 「生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力」を育成する (解P 11)

生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力とは、解説編P 11～に示されているとおりである。生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するためには、生活や社会の中の音や音楽の働きの視点から、児童が学んでいること、学んだことを自覚できるようにしていくことが大切である。そのためには、児童が、思いや意図をもって表現したり、音楽を味わって聴いたりする過程において、理解したり考えたりしたこと、音楽を豊かに表現できたこと、友達と音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図って交流し共有したり共感したりしたことなどが、生活や自分たちを取り巻く社会とどのようにに関わり、また、どのような意味があるのかについて意識できるようにすることが大切である。

- (4) 指導内容の系統化を図る (解P 4～5、15～18)

学習指導要領では、従前のとおり音楽科における学年の目標及び内容を2学年まとめて示している。このことは、音楽科で育成を目指す資質・能力が、学習の継続・発展によって高められるという、音楽の学習の特性を考慮したものである。各学校では学年の目標及び内容に示している指導事項について十分検討した上で、6年間又は9年間を見通して系統化や他の教育活動との関連を図り、指導の効果を高めるようにすることが大切である。

- (5) 児童や学校、地域の実態等を考慮する

児童の音楽的な発達の段階や音楽経験、各学校の指導体制や教材、楽器等の整備状況、地域の教育資源や学習環境などの実態を十分把握するとともに、「3 指導計画作成に当たっての留意すべき事項」3(3)「教科横断的」な視点や3(4)「社会に開かれた教育課程」との関連も考慮する。

## 2 指導計画作成の一般的な手順

## ※1 各学校における音楽科の重点の設定

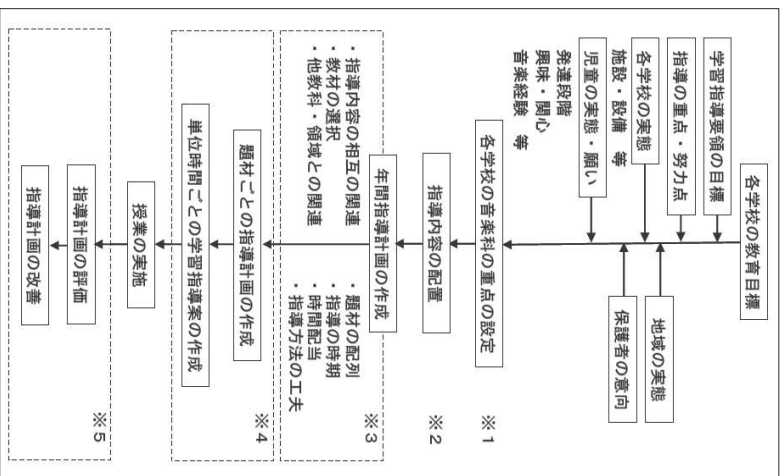
学習指導要領の目標等を十分研究した上で、地域や学校の実態等を考慮し、各学校の教育目標が反映されるようにする。また、児童の心身の発達の段階や興味・関心、音楽経験等の特性、保護者の意向などを反映していくことも大切である。

## ※2 各学年の指導内容の配置

各学年においては、地域や学校の実態、児童の心身の発達の段階や特性等を考慮して具体的な指導内容を適切に配置する。また、各指導内容と〔共通事項〕を関連させる。

## ア 2学年間を見通した指導

- 学習指導要領では内容を2学年まとめて示しており、次のような取り上げ方が考えられる。
- ・いずれの学年でも題材や教材を変えて繰り返し指導する。
  - ・児童の発達の特性などから扱う学年を一方にして指導する。



## ※5 指導計画の改善

授業実施後、指導計画の評価を行い、指導計画の改善を随時行う。さらに次年度の指導計画作成に生かす。

### 3 指導計画作成に当たっての留意すべき事項

- (1) 「特別な配慮を必要とするなど課題を抱えた児童への指導」の視点 (解P109～110)
  - ・ 器楽演奏を行う際には、児童の実態に応じた目標を設定し、スモールステップで取り組む中で達成感を味わいながら学習できるようにする。
  - ・ 多くの声部が並列している楽譜などは、拡大楽譜を用いて声部を色分けしたり、リズムや旋律を部分的に取り出してカードにしたりするなど、視覚的に情報を整理するなどの配慮をする。
- (2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点 (解P3～4、P103～105)
  - ・ 音楽的な見方・考え方を働かせ、他者と協働しながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさを見いだしたりするなど、思考、判断し、表現する一連の過程を大切にすると視点から授業改善を図ることが重要である。
- (3) 「教科等横断的」な視点 (解P4～5)
  - ・ 音楽科における言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等としては、次のようなものが考えられる。
    - ・ 言語能力…曲想や自分の思いや意図を、音楽を形づくっている要素、音楽に関する用語や記号などを用いて説明する。
    - ・ 情報活用能力…自分たちの演奏をタブレット型端末やICレコーダーに録音し、聴き比べたりよさや課題を見付けたりする。
    - ・ 問題発見・活用能力…自分たちの歌唱について録音を基に振り返り、課題に気付いて、客観的な理由や根拠を基によりよい音楽表現を生み出していく。
- (4) 社会に開かれた教育課程 (解P113)
  - ・ 児童が学校内及び公共施設などの学校外における音楽活動とのつながりを意識できるようにすることが求められる。その例として、①地域の人的・物的資源の活用、②公共施設等の学校外における音楽活動の実施、③郷土の伝統音楽・文化の伝承等が挙げられる。
- (5) 「道徳教育の充実」の視点 (解P110)
  - ・ 道徳教育の全体計画との関連、指導内容及び時期等に配慮し、両者が相互に効果を高め合うようにすることが大切である。

・ 楽器の演奏技術の習得のように長い期間をかけて学習活動を展開する。

#### 1 教材や楽器の選択

各学年で取り扱う教材や楽器を選択する際には、学習指導要領に示された選択の観点を踏まえ、学校や児童の実態等を考慮して適切に選択する。また、学習指導要領に示された〔共通事項〕の意義を踏まえ、表現と鑑賞の関連を図るよう適切に選択する。

#### ※3 年間指導計画の作成

各指導内容と〔共通事項〕を関連させるとともに、〔3 指導計画作成に当たっての留意すべき事項〕についても十分配慮する。また、他教科・領域との関連、指導の内容及び時期等に配慮し、両者が相互に効果を高め合うようにする。

#### ※4 題材ごとの指導計画、単位時間ごとの学習指導案の作成

年間指導計画を基に、題材ごと、単位時間ごとの学習指導案を作成する。その際、指導目標を明確にするとともに、評価規準を設定する。また、配慮を要する児童への支援の方策を立てる。



## 第2 指導計画の作成のための資料

ここに掲げる資料は、各学校において年間指導計画等を作成する際の参考となるためのものである

### (一) ストックス表 [第1学年]

| 第1学年及び第2学年の目標<br>(1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。<br>(2) 音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。<br>(3) 楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。 |                                    |                                                                         |    | 学 習 内 容                |                                                                 |                                                                   |               |     |     |        |     |     |                                         |                           |                             |                     |                           |                |                | B 鑑 賞                               |                        | 〔共 通 事 項〕                                        |                        |                                   |                                                          |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|----|------------------------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|---------------|-----|-----|--------|-----|-----|-----------------------------------------|---------------------------|-----------------------------|---------------------|---------------------------|----------------|----------------|-------------------------------------|------------------------|--------------------------------------------------|------------------------|-----------------------------------|----------------------------------------------------------|--|
|                                                                                                                                                                                                                                                           |                                    |                                                                         |    | A 表 現                  |                                                                 |                                                                   |               |     |     |        |     |     |                                         |                           |                             |                     |                           |                |                |                                     |                        |                                                  |                        |                                   |                                                          |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                           |                                    |                                                                         |    | (1) 歌唱                 |                                                                 |                                                                   |               |     |     | (2) 器楽 |     |     |                                         |                           | (3) 音楽づくり                   |                     |                           |                |                |                                     |                        |                                                  |                        |                                   |                                                          |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                           |                                    |                                                                         |    | ア                      |                                                                 | イ                                                                 | ウ             |     |     | ア      | イ   |     | ウ                                       |                           |                             | ア                   |                           | イ              |                | ウ                                   |                        | ア                                                | イ                      | ア                                 | イ                                                        |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                           |                                    |                                                                         |    |                        |                                                                 |                                                                   | (ア)           | (イ) | (ウ) |        | (ア) | (イ) | (ア)                                     | (イ)                       | (ウ)                         |                     |                           | (ア)            | (イ)            | (ア)                                 | (イ)                    |                                                  |                        |                                   |                                                          |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                           |                                    |                                                                         |    | 曲想と音楽の構造との関わりについて気付くこと | 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想を感じ取り、表現を生み出し、どのように歌うかについて思いをもつこと | 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想を感じ取り、表現を生み出し、どのように演奏するかについて思いをもつこと | 曲想と音楽の構造との関わり | (ア) | (イ) | (ア)    | (イ) | (ウ) | 互いの楽器の音や伴奏を聴いて音を生み出し、リズム譜などを見たりして演奏する技能 | 音色に気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能 | 互いの楽器の音や伴奏を聴いて音を生み出し、演奏する技能 | 音響の通し、音楽づくりの着想を得ること | どのよう音を音楽にしていかにについて思いをもつこと | 声や身の回りの様々な音の特徴 | 音やフレーズのつなげ方の特徴 | 設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能 | 音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能 | 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴くこと | 曲想と音楽の構造との関わりについて気付くこと | 音楽を形づくっている要素を取り入れ、その働きを大まかに理解すること | 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる意味、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わりを説明すること |  |
| 月                                                                                                                                                                                                                                                         | 題 材 名                              | 主 教 材<br>◎共通教材                                                          | 時  |                        |                                                                 |                                                                   |               |     |     |        |     |     |                                         |                           |                             |                     |                           |                |                |                                     |                        |                                                  |                        |                                   |                                                          |  |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                         | おんがくにあわせて<br>なかよくなろう               | ちゅうりつぶ、 ちょう<br>ちょう、ぞうさん<br>おせんべ やけたかな<br>◎ひらいた ひらいた<br>なべなべ<br>◎かたつむり 他 | 10 | ○                      | ○                                                               |                                                                   | ○             |     |     |        |     |     |                                         |                           |                             |                     |                           |                |                |                                     |                        |                                                  |                        |                                   | 拍<br>リズム<br>旋律                                           |  |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                         |                                    |                                                                         |    |                        |                                                                 |                                                                   |               |     |     |        |     |     |                                         |                           |                             |                     |                           |                |                |                                     |                        |                                                  |                        |                                   |                                                          |  |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                         | リズムにのってあそ<br>ぼう                    | さんぼ<br>じゃんけんぼん<br>しろくまの ジェンカ<br>ぶん ぶん ぶん<br>ことばでリズムづくり                  | 12 | ○                      | ○                                                               |                                                                   | ○             | ○   |     | ○      | ○   |     |                                         |                           | ○                           |                     |                           |                | ○              | ○                                   | ○                      | ○                                                |                        |                                   | 拍<br>リズム<br>速度<br>反復                                     |  |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                         |                                    |                                                                         |    |                        |                                                                 |                                                                   |               |     |     |        |     |     |                                         |                           |                             |                     |                           |                |                |                                     |                        |                                                  |                        |                                   |                                                          |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                           | にほんのうたをうたおう                        | ◎うみ                                                                     | 2  | ○                      | ○                                                               |                                                                   | ○             |     |     |        |     |     |                                         |                           |                             |                     |                           |                |                |                                     |                        |                                                  |                        |                                   | 旋律                                                       |  |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                         | どれみとなかよしに<br>なろう                   | どれみのうた<br>どれみの キャンディ                                                    | 2  | ○                      | ○                                                               | ○                                                                 |               |     |     |        |     |     |                                         |                           |                             |                     |                           |                |                |                                     |                        |                                                  |                        |                                   | 旋律                                                       |  |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                        | どれみでうたったり<br>けんぱんハーモニカ<br>をふいたりしよう | みつばちの ぼうけん<br>どんぐりさんのおうち<br>どれみであそぼう<br>◎ひのまる                           | 8  | ○                      | ○                                                               | ○                                                                 |               | ○   | ○   |        |     | ○   |                                         |                           |                             |                     |                           |                |                |                                     |                        |                                                  | ○                      | ○                                 | 旋律<br>音色<br>フレーズ                                         |  |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                        | ようすを<br>おもいうかべよう                   | おどる こねこ<br>はる なつ あき ふゆ<br>おもちゃのチャチャチャ                                   | 6  | ○                      | ○                                                               |                                                                   | ○             |     |     |        |     |     |                                         |                           |                             |                     |                           |                |                |                                     |                        | ○                                                | ○                      | 呼びかけと<br>こたえ、反復<br>音色、旋律          |                                                          |  |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                        | いいおとを<br>みつけよう                     | シンコペーテッドクロック<br>きらきらぼし<br>おとさがし<br>ほしぞらの おんがく                           | 9  |                        |                                                                 |                                                                   |               | ○   | ○   |        |     | ○   |                                         |                           | ○                           | ○                   | ○                         | ○              | ○              | ○                                   | ○                      | ○                                                | ○                      | ○                                 | 音色<br>リズム<br>強弱<br>拍                                     |  |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                         | わらべうたを<br>たのしもう                    | さんちゃんがおおなみなみ<br>おちやらか ぼい<br>おちやをのみにきてください                               | 5  | ○                      | ○                                                               |                                                                   | ○             |     |     |        |     |     |                                         |                           |                             |                     |                           |                |                |                                     |                        |                                                  |                        | 速度<br>旋律<br>拍                     |                                                          |  |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                         | きいて あわせて<br>たのしもう                  | やまびこ ごっこ<br>もりのくまさん<br>こいぬの マーチ<br>ラデツキーこうしんきょく                         | 10 | ○                      | ○                                                               | ○                                                                 | ○             | ○   | ○   |        |     | ○   | ○                                       |                           |                             |                     |                           |                |                |                                     |                        | ○                                                | ○                      | 呼びかけと<br>こたえ、フレ<br>ーズ、旋律、<br>強弱   |                                                          |  |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                         | みんなであのしく<br>うたおう                   | おおきな かぶ 他                                                               | 4  | ○                      | ○                                                               |                                                                   | ○             | ○   |     |        |     |     |                                         |                           |                             |                     |                           |                |                |                                     |                        |                                                  |                        | 旋律、音色                             |                                                          |  |

各指導事項において取り扱う【共通事項】を示す。

※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて、確実に行う。



◆題材については「音楽的な見方・考え方をどう捉え、どのように働かせるか」「教材選択の理由」「生活や社会との関連」等の視点を明確にする。

「何ができるようになるか」を具体的にして学習内容を明確にし、資質・能力を育成するために「どのように学ぶか」も明確にする。

(2)各題材の具体を示した表  
【第1学年】

| 月      | 題材名                                                 | 教材名<br>◎共通教材                                                           | 題材について<br>(例として、◆の題材は詳細を記入。それ以外はポイントのみ記入。)                                                                                                                                                                                                                                      | ○学習内容 ・学習活動                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 学習指導要領内容との関連                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 評価計画                          |                                         | 備考 |
|--------|-----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------------|----|
|        |                                                     |                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 指導事項                                                      | 内容の取り扱い配慮事項                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 評価<br>規準                      | 評価<br>方法                                |    |
| 4<br>5 | おんがくにあ<br>わせてなかよ<br>くならう<br>(10時間)                  | ちゅうりつぷ<br>ちようちよう<br>ぞうさん<br>おせんべやけたかな<br>◎ひらいたひらいた<br>なべなべ<br>◎かたつむり 他 | ◆幼小連携を視点とした歌唱分野の題材である。教科書には児童にとって身近な歌やこれまで<br>に歌ったことがあると思われる歌が絵で示されている。挿絵の歌を友達と一緒に歌ったり<br>体の動きを伴った活動を入れたりすることで、音楽に合わせる楽しさを感じ取る。また、こ<br>の題材では、わらべうたの学習にも取り組む。グループや学級全体で、歌に合わせて体を動<br>かして遊び、リズムや強弱、速度などの様々な音楽を形づくっている要素を体で感じ取る。<br>新しい友達、初めての学校生活に慣れて楽しい気分で学習を進めることができるようにす<br>る。 | ○教科書の挿絵を参考に知っている歌を探し、楽しく歌う。<br>・挿絵を見て、知っている歌を探し出す。<br>・探し出した歌を発表し、全員で楽しく歌う。<br>○音楽をよく聴き、リズムや旋律などの特徴や歌詞の表す情景や気持ちに気付く。<br>・わらべうたの範唱を聴いて歌を覚える。<br>・「おせんべやけたかな」を二人組で声や動きを合わせて歌う。<br>・「ひらいたひらいた」「なべなべ」の遊び方を知り、手をつないで輪になり、<br>歌いながら遊ぶ。                                                                 | マトリッ<br>クス表参<br>照                                         | 2(1)イ<br>音楽との一体感                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 評価に<br>関する<br>内容を<br>記述す<br>る |                                         |    |
| 6      | リズムにのっ<br>てあそぼう<br>(12時間)                           | さんぽ<br>じゃんけんぽん<br>しろくまのジェンカ<br>ぶんぶんぶん<br>ことばでリズム<br>づくり                | ・拍を感じ取り、音楽の速さに合わせて体を動かしたり、手や楽器を鳴らしたりする。<br>・拍を感じ取りながら、自分で見つけた言葉でリズムリレーをし、友達と表現する楽しさを<br>味わう。<br>・拍を感じ取りながら音や気持ちを合わせて演奏する活動は、息の合った美しい合唱や合奏<br>に取り組む上で大切な基礎となる。友達とリズムにのって遊び、表現する楽しさを味わわ<br>せる。                                                                                    | ○拍を感じ取り、リズムの特徴に気付く。<br>・音楽をよく聴いて、曲の速さに合わせて歩く。<br>・曲を聴き、歌詞を覚え、歌う。<br>・教科書のリズム譜を見て、リズム打ちをする。<br>・歌に合わせて、楽器を使ってリズム打ちをする。<br>○ことばを使って、音楽をつくる。<br>・教科書の例を参考にして、リズムに合う言葉を見付ける。<br>・見つけた言葉を順番に教師の拍打ちに合わせて言い、リズムリレーをする。                                                                                  |                                                           | 2(1)イ<br>音楽との一体感<br>2(6)<br>音楽づくりの指導<br>2(7)<br>鑑賞の指導                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                               |                                         |    |
| 7      | にほんのうた<br>をうたおう<br>(2時間)                            | ◎うみ                                                                    | ・歌詞の表す情景を想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりして歌う。<br>・情景を思い浮かべながら、3拍子を感じ取って歌う。<br>・情景を思い浮かべることで、それにふさわしい表現の仕方を工夫する。<br>・曲の気分を感じ取り想像したり体を動かしたりして歌うことで、児童の表現の幅を広げる<br>ことができるようにする。                                                                                                                 | ○歌詞の情景を思い浮かべながら、楽曲の気分を感じ取る。<br>・範唱を聴き、情景を思い浮かる。<br>・情景を思い浮かべながら、友達と声を合わせて歌う。                                                                                                                                                                                                                     | 2(1)オ<br>著作者の創造性を尊敬す<br>る態度                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                               | 【3(5)】                                  |    |
| 9      | どれみとなか<br>よしになろう<br>(2時間)                           | どれみのうた<br>どれみのキャンディ                                                    | ・音の高さの変化を感じ取って歌う。<br>・旋律を階名で模唱したり暗唱したりする活動を通して、音高の違いを感じ取りながら音程<br>感を養う。                                                                                                                                                                                                         | ○音の高低を感じ取る。<br>・範唱を聴いたり歌詞を音読したりして、歌を覚える。<br>・ドレミに合わせて体を動かす。                                                                                                                                                                                                                                      | 2(4)イ<br>相対的な音程感覚                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                               | 各題材<br>における<br>特徴と<br>なる事<br>項を記<br>入する |    |
| 10     | どれみでうた<br>ったりけんぱ<br>んハーモニカ<br>をふいたりし<br>よう<br>(8時間) | みつばちのぼうけん<br>どんぐりさんの<br>おうち<br>どれみであそぼう<br>◎ひのまる                       | ・階名で模唱や暗唱をしたり、まねっこ遊びをしたりして、階名に親しむ。<br>・鍵盤ハーモニカの基本的な演奏の仕方を身に付けたり、きれいな音に気付いて聴いたりす<br>る。<br>・正しい音程で歌ったりみんなで声を合わせて合唱したりする音楽活動を行う上でとても重<br>要な能力の一つである音程感を、楽しみながら体を使って身に付ける。                                                                                                          | ○鍵盤ハーモニカの音色や音の出し方に気を付ける。<br>・場面や様子を想像しながら、鍵盤ハーモニカの音色のよさに気付いて聴く。<br>・鍵盤ハーモニカを観察し、自由に音を出して気付いたことや音の出し方を<br>発表する。<br>・鍵盤ハーモニカの構え方や、ドソの音の出し方を知る。<br>・ドレミの音の出し方を知り、「どれみのまねっこ」で遊んだり「どれみであ<br>いさつ」を吹いたりする。<br>・ドレミファソの音の出し方を知り、まねっこ遊びをする。<br>・音の高低を感じ取りながら、「ひのまる」を歌ったり鍵盤ハーモニカを演奏<br>したりする。              | 2(7)<br>鑑賞の指導<br>2(1)ウ<br>コンピュータや教育機器<br>2(5)イ<br>合奏で扱う楽器 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                               |                                         |    |
| 11     | ようすをおも<br>いうかべよう<br>(6時間)                           | おどるこねこ<br>はるなつあきふゆ<br>おもちゃのチャチャ<br>チャ                                  | ・楽曲の気分を感じ取りながら、創造豊かに聴いたり思いをもって表現したりする。<br>・歌詞の表す様子や気持ちを想像して、楽曲の気分にあった表現を工夫して歌う。<br>・表現を豊かなものにするために必要な感性を育てる。<br>・様子を思い浮かべ、歌詞を大切に歌ったり、楽曲の気分にあった表現を工夫したりす<br>る学習を進める。                                                                                                             | ○楽曲を聴いたり、歌ったりしながら、曲の雰囲気を楽しんだり歌詞の表す情景を思い<br>浮かべる。<br>・猫や場面の様子を思い浮かべながら、楽曲全体の気分を楽しむ。<br>・歌詞の表す様子や気持ちに合う表現の仕方を工夫し、表情豊かに「はるなつあきふ<br>ゆ」を歌う。<br>・おもちゃの様子を想像しながら、「おもちゃのチャチャチャ」を楽しく歌う。                                                                                                                   | 2(7)<br>鑑賞の指導<br>2(1)イ<br>音楽との一体感<br>2(5)ア、イ<br>合奏で扱う楽器   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                               |                                         |    |
| 1      | いいおとを<br>みつけよう<br>(9時間)                             | シンコペーテッド<br>クロック<br>きらきらぼし<br>おとしがし<br>ほしぞらのおんがく                       | ◆いろいろな音に対する興味・関心を育てながら、様々な楽器の音色の特徴を捉えて表現の<br>仕方を工夫することに重点を置く題材である。鑑賞を通して、楽器の特徴的な音色を感じ取<br>り、楽曲のよさや面白さに気付いて聴く。また、様々な楽器に触れ、音探しや音楽づくりに<br>取り組む。                                                                                                                                    | ○楽曲の気分を楽しみながら音色やリズムに気を付けて聴く。<br>・「シンコペーテッド クロック」を音色やリズムに気を付けながら聴く。<br>・様子を思い浮かべながら「きらきらぼし」を歌詞や階名で歌う。<br>・鉄琴や鍵盤ハーモニカで演奏して楽しむ。<br>○自分がつくりたい音楽を考える。<br>・星空の様子に合った音選びをする。<br>・すずやトライアングルの持ち方を知り、いろいろな鳴らし方を試す。<br>・4人グループで「呼びかけとこたえ」(リズム模倣や音の対話)を生かし、「はじめ<br>」「なか」「おわり」の簡単な構成を意識しながら、星空の様子に合った音楽をつくる。 | 2(7)<br>鑑賞の指導<br>2(5)ア、イ<br>合奏で扱う楽器<br>2(6)<br>音楽づくりの指導   | 【3(2)】児童や<br>学校の実態に<br>応じ、適切に<br>位置付け<br>る。<br>○主体的な学習<br>に取り組める<br>よう学習の<br>見通しを立て<br>たり、学習し<br>たことを振り<br>返ったりして<br>自身の学びや<br>姿容を自覚で<br>きる場面をど<br>こに設定する<br>か<br>○対話によって<br>自分の考えな<br>どを広げたり<br>深めたりする<br>場面をどこに<br>設定するか<br>○学びを深め<br>るために、生<br>徒が考える<br>場面と教師が<br>教える場面を<br>どのように組<br>み立てるか<br>※このような<br>視点で授業改<br>善をすすめる<br>ことが求めら<br>れる。 | 【3(3)】                        |                                         |    |
| 2      |                                                     |                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                               |                                         |    |
| 3      | わらべうたを<br>たのしもう<br>(5時間)                            | さんちゃんが/<br>おおなみなみ<br>おちやらかはい<br>おちやをのみにきて<br>ください                      | ◆友達と一緒に歌ったり音楽に合わせて体を動かしたりして、日本に伝わるわらべうたの楽<br>しさを感じ取る題材である。我が国の音楽に親しむ第一段階として、各地に伝承されてきた<br>わらべうたを知る。そして、わらべうたには、様々な歌や遊び方があることを知り、友達と<br>一緒に歌ったり体を動かしたりして楽しむ。さらにわらべうたに親しむために、第2学年生<br>の「日本のうたを楽しもう」につなげていく。                                                                       | ○日本に伝わるわらべうたの旋律に親しみ楽しさを感じ取る。<br>・「さんちゃんが」「おおなみなみ」を聴き、絵描き歌や縄跳び歌を楽しむ。<br>・拍の流れを感じ取って、友達と一緒に「おちやらかはい」や「おちやをの<br>みにきてください」で遊ぶ。                                                                                                                                                                       | 2(1)エ<br>学校内外の音楽<br>活動<br>2(4)ア<br>日本のうた                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 【3(5)】                        |                                         |    |
|        | きいてあわせ<br>てたのしもう<br>(10時間)                          | やまびこごっこ<br>もりのくまさん<br>こいぬのマーチ<br>ラデツキー<br>こうしんきょく                      | ・互いの歌声や楽器の音を聴きながら、気持ちを合わせて歌ったり演奏したりする。<br>・楽器の響き合いに気付く、拍やフレーズを感じ取りながら楽しんで聴く。<br>・みんなの歌声や楽器の音を合わせることで、さらに音楽の楽しみが広がるようにする。                                                                                                                                                        | ○友達の歌声や楽器の音を聴き、音や気持ちを合わせる。<br>・互いの声を聴き合って「やまびこあそび」をしたり「もりのくまさん」を<br>歌ったりする。<br>・歌声と楽器の音を合わせて、「こいぬのマーチ」を演奏する。<br>・楽曲の気分に合わせて体の動きを工夫しながら「ラデツキー行進曲」を聴<br>く。                                                                                                                                         | 2(7)<br>鑑賞の指導<br>2(5)ア、イ<br>合奏で扱う楽器                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                               |                                         |    |
|        | みんなでの<br>しく(4時間)                                    | おおきなかぶ 他                                                               | ・これまでの学習の成果を生かし、友達の声を聴き合って歌ったり、音色に気を付けて楽器<br>を演奏したりする。<br>・これまでの学習を生かし、いろいろな掛け声の言葉を言ったり、掛け声を重ねたりして、<br>音楽表現を楽しむ。<br>・1年間の学習の成果が出るように、これまでの学習を想起させる。                                                                                                                             | ○楽しく音楽に関わりながら音楽表現をする。<br>・範唱を聴いて、「大きなかぶ」の旋律を覚える。<br>・拍にのって歌う。<br>・いろいろな掛け声の言葉を言ってみたり、掛け声を重ねたりして、音楽表現を工夫<br>する。                                                                                                                                                                                   | 2(1)エ<br>学校内外の<br>音楽活動                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 【3(3)】                        |                                         |    |

| 第3学年及び第4学年の目標<br>(1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。<br>(2) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。<br>(3) 進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。 |                          |                                                                                |    | 学 習 内 容                       |                                                                    |                           |                                   |                                 |                                                                      |                |                      |                             |                               |                                     |                               |                                                       |                       |                     |                                         | B 鑑 賞                |                                                     | 〔共通事項〕                         |                                                |                                                                                             |                                                                                                                                                                            |                                                                             |   |  |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|----|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------|---------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------|----------------|----------------------|-----------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------------------------|-----------------------|---------------------|-----------------------------------------|----------------------|-----------------------------------------------------|--------------------------------|------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|---|--|--|
|                                                                                                                                                                                                                                                             |                          |                                                                                |    | (1) 歌唱                        |                                                                    |                           |                                   |                                 |                                                                      | (2) 器楽         |                      |                             |                               |                                     |                               | (3) 音楽づくり                                             |                       |                     |                                         |                      |                                                     |                                |                                                |                                                                                             |                                                                                                                                                                            |                                                                             |   |  |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                             |                          |                                                                                |    | ア                             |                                                                    | イ                         |                                   | ウ                               |                                                                      | ア              |                      | イ                           |                               | ウ                                   |                               | ア                                                     |                       | イ                   |                                         | ウ                    |                                                     | ア                              |                                                | イ                                                                                           |                                                                                                                                                                            |                                                                             |   |  |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                             |                          |                                                                                |    | ア                             | イ                                                                  | (ア)                       | (イ)                               | (ウ)                             | ア                                                                    | イ              | (ア)                  | (イ)                         | (ウ)                           | (ア)                                 | (イ)                           | (イ)                                                   | (ア)                   | (イ)                 | (イ)                                     | (ア)                  | (イ)                                                 | ア                              | イ                                              | ア                                                                                           | イ                                                                                                                                                                          | ア                                                                           | イ |  |  |
|                                                                                                                                                                                                                                                             |                          |                                                                                |    | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くこと。 | 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつこと。 | 範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能。 | 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能。 | 互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能。 | 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつこと。 | 曲想と音楽の構造との関わり。 | 楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり。 | 範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏する技能。 | 音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能。 | 互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能。 | 即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ること。 | 音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつこと。 | いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴。 | 音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴。 | 設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能。 | 音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能。 | 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くこと。 | 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付くこと。 |                                                |                                                                                             | 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わりらせて理解すること。                                                                                                                | 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったこと感じたこととの関わりについて考えること。 |   |  |  |
| 月                                                                                                                                                                                                                                                           | 題 材 名                    | 主 教 材                                                                          | 時  |                               |                                                                    |                           |                                   |                                 |                                                                      |                |                      |                             |                               |                                     |                               |                                                       |                       |                     |                                         |                      |                                                     |                                |                                                |                                                                                             |                                                                                                                                                                            |                                                                             |   |  |  |
| ◎共通教材                                                                                                                                                                                                                                                       |                          |                                                                                |    |                               |                                                                    |                           |                                   |                                 |                                                                      |                |                      |                             |                               |                                     |                               |                                                       |                       |                     |                                         |                      |                                                     |                                |                                                |                                                                                             |                                                                                                                                                                            |                                                                             |   |  |  |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                           | 明るい歌声をひびかせて歌おう           | キラキラおひさま<br>◎春の小川<br>海風きって<br>せんりつづくり<br>◎茶つみ                                  | 9  | ○                             | ○                                                                  | ○                         | ○                                 |                                 | ○                                                                    |                | ○                    | ○                           |                               |                                     | ○                             |                                                       |                       | ○                   | ○                                       |                      |                                                     |                                |                                                | 音色、旋律<br>音の重なり<br>拍                                                                         | <br>五線と加線<br>↓<br>(プレス)                                                                 |                                                                             |   |  |  |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                           |                          |                                                                                |    |                               |                                                                    |                           |                                   |                                 |                                                                      |                |                      |                             |                               |                                     |                               |                                                       |                       |                     |                                         |                      |                                                     |                                |                                                |                                                                                             |                                                                                                                                                                            |                                                                             |   |  |  |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                           | リコーダーとなかよしになろう           | 小鳥のために<br>ステップ1・2・3／<br>小さな花<br>ゆかいなまきば<br>きらきら星<br>坂道／雨上がり／かり<br>かりわたれ<br>そよ風 | 10 |                               |                                                                    |                           |                                   |                                 |                                                                      |                |                      |                             |                               |                                     |                               |                                                       |                       |                     |                                         |                      |                                                     |                                |                                                | 音色<br>リズム<br>旋律<br>音の重なり<br>拍<br>フレーズ<br>反復<br>変化                                           | <br> |                                                                             |   |  |  |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                           |                          |                                                                                |    |                               |                                                                    |                           |                                   |                                 |                                                                      |                |                      |                             |                               |                                     |                               |                                                       |                       |                     |                                         |                      |                                                     |                                |                                                |                                                                                             |                                                                                                                                                                            |                                                                             |   |  |  |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                           | リズムをかんじて楽しもう             | ゆかいな木きん<br>手拍子でリズム<br>◎うさぎ                                                     | 8  | ○                             | ○                                                                  |                           |                                   |                                 | ○                                                                    |                | ○                    |                             |                               | ○                                   |                               | ○                                                     |                       |                     |                                         | ○                    |                                                     |                                |                                                | リズム、旋律音の<br>重なり<br>拍、反復、変化呼<br>びかけと答え                                                       |                                                                                         |                                                                             |   |  |  |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                          |                          |                                                                                |    |                               |                                                                    |                           |                                   |                                 |                                                                      |                |                      |                             |                               |                                     |                               |                                                       |                       |                     |                                         |                      |                                                     |                                |                                                |                                                                                             |                                                                                                                                                                            |                                                                             |   |  |  |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                          | せんりつのとくちようをかんじとってえんそうしよう | あの雲のように<br>メヌエット<br>山のボルカ<br>◎ふじ山                                              | 10 | ○                             | ○                                                                  | ○                         |                                   | ○                               |                                                                      | ○              | ○                    | ○                           |                               |                                     |                               |                                                       |                       |                     |                                         | ○                    | ○                                                   |                                | 音色、リズム<br>旋律、拍、反復<br>音の重なり<br>フレーズ、変化          | <br>(タ) |                                                                                                                                                                            |                                                                             |   |  |  |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                          | いろいろな音のひびきをかんじて楽しもう      | おかしのすきなまほう使い<br>まほうの音楽<br>パフ<br>トランペットふきの休日／アレグロ                               | 10 | ○                             | ○                                                                  | ○                         |                                   |                                 | ○                                                                    | ○              |                      |                             | ○                             |                                     | ○                             | ○                                                     | ○                     |                     | ○                                       | ○                    |                                                     |                                | 音色、リズム<br>旋律、強弱<br>音の重なり<br>拍、反復、変化<br>呼びかけと答え |                                                                                             |                                                                                                                                                                            |                                                                             |   |  |  |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                           | 日本の音楽のよさを見つけよう           | 神田囃子／花輪ばやし<br>／小倉祇園太鼓<br>ラドレの音でせんりつづくり                                         | 5  |                               |                                                                    |                           |                                   |                                 |                                                                      |                |                      |                             |                               |                                     | ○                             | ○                                                     |                       | ○                   |                                         | ○                    | ○                                                   |                                | 音色、リズム<br>速度、旋律<br>反復、変化                       |                                                                                             |                                                                                                                                                                            |                                                                             |   |  |  |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                           |                          |                                                                                |    |                               |                                                                    |                           |                                   |                                 |                                                                      |                |                      |                             |                               |                                     |                               |                                                       |                       |                     |                                         |                      |                                                     |                                |                                                |                                                                                             |                                                                                                                                                                            |                                                                             |   |  |  |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                           | 音を合わせる楽しみを味わおう           | 歌おう 声高く<br>かね<br>エーデルワイス                                                       | 8  | ○                             | ○                                                                  | ○                         |                                   | ○                               |                                                                      | ○              |                      |                             | ○                             |                                     |                               |                                                       |                       |                     |                                         | ○                    | ○                                                   |                                | 音色、旋律<br>反復、変化<br>音の重なり                        |                                                                                             |                                                                                                                                                                            |                                                                             |   |  |  |

各指導事項において取り扱う〔共通事項〕を示す。

※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて、確実に行う。

(4)各題材の具体を示した表 [第3学年]

| 扱い月      | 題材名                                        | 教材名<br>◎共通教材                                                                       | 題材について<br>(例として、◆の題材は詳細を記入。それ以外はポイントのみ記入。)                                                                                                                                                                                                                                                                                   | ○学習内容 ・学習活動                                                                                                                                           | 学習指導要領内容との関連                                                                                                                                                                                                        |                                                                     | 評価計画          |           | 備 考                 |
|----------|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|---------------|-----------|---------------------|
|          |                                            |                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                       | 指導事項                                                                                                                                                                                                                | 内容の取り扱い配慮事項                                                         | 評価<br>規 準     | 評価<br>方 法 |                     |
| 4<br>5   | 明るい歌声をひびかせて歌おう<br>(9時間)                    | キラキラおひさま<br>◎春の小川<br>海風きって<br>せんりつづくり<br>◎茶つみ<br>他                                 | ・ハ長調の楽譜に親しみ読譜に慣れる。<br>・自然で無理のない歌い方で友達と一緒に歌う楽しさを味わう。                                                                                                                                                                                                                                                                          | ○歌詞の表す情景を思い浮かべ、曲想を感じ取る。<br>・音程に気を付けながら解明視唱する。<br>・旋律の特徴に気付いて歌う。<br>・曲にふさわしい表現を工夫して歌う。                                                                 | マトリックス表参照                                                                                                                                                                                                           | 2 (1) イ<br>音楽との一体感<br>2 (1) オ<br>著作者の創造性を尊敬する態度<br>2 (4) ア<br>日本のうた | 評価に関する内容を記述する | 【3(5)】    | 各題材における特徴となる事項を記入する |
| 6<br>7   | リコーダーとなかよしになろう<br>(10時間)                   | 小鳥のために<br>ステップ 1・2・3 / 小さな花<br>ゆかいなまきば<br>きらきら星<br>坂道 / 雨上がり / かりかりわたれ<br>そよ風<br>他 | ◆リコーダーに親しみながら、その音色を感じ取ったり、基本的な演奏の仕方を身に付けたりする。鑑賞を通して、リコーダーの音色を味わい、リコーダーの演奏や音色にあこがれを抱き、興味・関心をもつことができるようにする。リコーダーの演奏では、音色やその響きの特性を生かすための技能を身に付けるようにする。リコーダーの音色を聴き取り、その響きのよさを感じ取りながら、タンギングや息の強さなど演奏の仕方を工夫する。                                                                                                                     | ○リコーダーの基本的な演奏の仕方を身に付ける。<br>・リコーダーによる演奏を鑑賞し、音色に興味をもつ。<br>・息の強さやタンギング、音色や運指に気を付けて演奏する。<br>・旋律の特徴に気付き、副次的な旋律を合わせて演奏する。                                   |                                                                                                                                                                                                                     | 2 (1) ア<br>言語活動<br>2 (5) ウ<br>旋律楽器の選択                               |               |           |                     |
| 9        | リズムをかんじて<br>楽しもう<br>(8時間)                  | ゆかいな木さん<br>手拍子でリズム<br>◎うさぎ<br>他                                                    | ・日本古謡の雰囲気を感じ取る。<br>・拍子やリズムの特徴を感じ取り、表現を工夫する。<br>・音楽の仕組みを生かしてまとまりのあるリズムをつくる。                                                                                                                                                                                                                                                   | ○二部形式のまとまりのあるリズムの仕組みに気付く。<br>・反復と変化によるまとまりのあるリズムの仕組みを生かしながら、演奏したりリズムをつくったりする。<br>・日本古謡の雰囲気を感じ取りながら歌う。                                                 |                                                                                                                                                                                                                     | 2 (4) ア<br>日本のうた<br>2 (5) オ<br>合奏で扱う楽器                              |               |           |                     |
| 10<br>11 | せんりつのとくちょうをかんじ<br>とってえんそう<br>しよう<br>(10時間) | あの雲のように<br>メヌエット<br>山のボルカ<br>◎ふじ山<br>他                                             | ◆旋律の特徴や曲想とその変化を感じ取り、曲想にふさわしい表現を工夫しながら思いや意図をもって歌ったり演奏したりする。鑑賞を通して感じ取った旋律の特徴の対比により、曲想の変化を感じ取って三部形式の楽曲の構成を捉えたり、表現の工夫を生かしたりする。歌唱では、旋律の特徴や曲想を感じ取ることで、思いや意図をもち、表現を工夫することの楽しさを味わえるようにする。思いや意図を言葉で伝え合うこと、実際に歌ってみることを繰り返しながら、旋律の特徴についての気付きを深め、必要な技能を身に付ける。器楽では、スタカートやスラーなどの表現方法を用いて旋律の特徴に合ったものを生かすなど、表現を工夫する楽しさを味わい、思いや意図を膨らませるようにする。 | ○旋律に着目し、その特徴を感じ取る。<br>・旋律の特徴を生かし、表現を工夫しながら、思いや意図をもって歌ったり演奏したりする。<br>・旋律の特徴を感じ取り、楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取りながら聴く。                                            | 【3(2)】児童や学校の実態に応じ、適切に位置付ける。<br>○主体的な学習に取り組めるよう学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりして自身の学びや変容を自覚できる場面をどこに設定するか<br>○対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面をどこに設定するか<br>○学びを深めるために、生徒が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるか<br>※このような視点で授業改善をすることが求められる。 | 2 (1) イ<br>音楽との一体感<br>2 (7)<br>鑑賞の指導                                | 【3(3)】        | 【3(5)】    |                     |
| 12       | いろいろな音のひびきをかんじて<br>楽しもう<br>(10時間)          | おかしのすきな<br>まほう使い<br>まほうの音楽<br>パフ<br>トランペットふきの<br>休日<br>アレグロ<br>他                   | ・楽器の音の特徴や音色の違いに着目し、即興的にイメージに合う音を表現したり、反復などの音楽の仕組みを生かしてまとまりのある音楽をつくったりする。また、互いの楽器の音を聴きながら音を合わせて演奏したり、楽曲の構造に気を付けて聴いたりする。<br>・即興的につくった音楽を反復したり、楽器の組合せや重ね方を工夫して変化させたりすることで、まとまりのある音楽をつくる。旋律の反復や変化が多くある楽曲を、楽曲の構造に気を付けて鑑賞し、反復や変化が生み出すよさや面白さを感じ取る。                                                                                  | ○いろいろな楽器の音色の特徴に気付く。<br>・楽器の材質の違いや、打つ位置、マレットを変えることでいろいろな音色を工夫しながら演奏する。<br>・楽器の組み合わせや重ね方など、音楽の仕組みを生かしながら、まとまりのある音楽をつくる。<br>・トランペットとホルンの音色の違いや音の特徴を感じ取る。 |                                                                                                                                                                                                                     | 2 (1) エ<br>学校内外の音楽活動<br>2 (6)<br>音楽づくりの指導<br>2 (7)<br>鑑賞の指導         |               |           |                     |
| 1<br>2   | 日本の音楽のよさを見つけよう<br>(5時間)                    | 神田囃子<br>花輪ばやし<br>小倉祇園太鼓<br>ラドレの音でせんりつづくり<br>他                                      | ◆和楽器や我が国の音楽、郷土の音楽に親しみ、雰囲気や特徴を感じ取る。鑑賞を通して、反復(繰り返し)のリズムで構成されている面白さや速度の変化、和楽器の音色などの観点を絞り、お囃子のよさを感じ取る。自分たちの住んでいる身近な地域の祭りの音楽や郷土に伝わる音楽に興味を広げ、古くから伝わる我が国の音楽や郷土に伝わる音楽のよさや特徴を感じ取る。                                                                                                                                                    | ○お囃子の特徴を感じ取る。<br>・楽器の音色に着目し、太鼓や笛などが使われていることを知る。<br>・三つのお囃子を聴き比べ、お囃子の特徴や共通点、相違点に気付き、それぞれのよさについて考える。<br>・ラ、ド、レの三つの音を使い、お囃子の旋律をつくる。                      |                                                                                                                                                                                                                     | 2 (3)<br>我が国や郷土の音楽の指導<br>2 (7)<br>鑑賞の指導                             |               |           |                     |
| 3        | 音を合わせる楽しさを味わおう<br>(7時間)                    | 歌おう 声高く<br>かね<br>エーデルワイス<br>他                                                      | ・重なり合う音や旋律に関心をもち、互いの歌声や楽器の音を合わせて演奏する。<br>・旋律の音の重なりや反復する旋律に着目しながら楽曲を聴く。                                                                                                                                                                                                                                                       | ○旋律が重なり合う面白さを感じ取る。<br>・旋律の重なりに気を付けて聴き、主な旋律、反復する旋律を歌う。<br>○重なり合う音の豊かな響きを感じ取る。<br>・互いの音を聴き合い、音量のバランスや強弱などを工夫して合奏する。                                     |                                                                                                                                                                                                                     | 2 (1) ア<br>言語活動<br>2 (7)<br>鑑賞の指導                                   |               |           |                     |
|          |                                            |                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                     |                                                                     |               |           |                     |

◆題材については「音楽的な見方・考え方をどう捉え、どのように働かせるか」「教材選択の理由」「生活や社会との関連」等の視点を明確にする。

○「何ができるようになるか」を具体的に学習内容を明確にし、資質・能力を育成するために・「どのように学ぶか」も明確にする。

| 第5学年及び第6学年の目標<br>(1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。<br>(2) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。<br>(3) 主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。 |                   |                                                                       |     | 学 習 内 容                                                                |   |   |     |                                |     |     |     |                                                     |           |     |     |                                 |  |   |  | B 鑑 賞                                                              |   | 〔共 通 事 項〕 |   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-----------------------------------------------------------------------|-----|------------------------------------------------------------------------|---|---|-----|--------------------------------|-----|-----|-----|-----------------------------------------------------|-----------|-----|-----|---------------------------------|--|---|--|--------------------------------------------------------------------|---|-----------|---|
|                                                                                                                                                                                                                                                               |                   |                                                                       |     | A 表 現                                                                  |   |   |     |                                |     |     |     |                                                     |           |     |     |                                 |  |   |  |                                                                    |   |           |   |
|                                                                                                                                                                                                                                                               |                   |                                                                       |     | (1) 歌唱                                                                 |   |   |     | (2) 器楽                         |     |     |     |                                                     | (3) 音楽づくり |     |     |                                 |  |   |  |                                                                    |   |           |   |
|                                                                                                                                                                                                                                                               |                   |                                                                       |     | ア                                                                      | イ | ウ |     |                                | ア   | イ   | ウ   |                                                     |           | ア   |     | イ                               |  | ウ |  |                                                                    | ア | イ         | ア |
|                                                                                                                                                                                                                                                               |                   | (ア)                                                                   | (イ) | (ウ)                                                                    |   |   | (ア) | (イ)                            | (ウ) | (ア) | (イ) | (ア)                                                 | (イ)       | (ア) | (イ) |                                 |  |   |  |                                                                    |   |           |   |
| 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつこと。                                                                                                                                                                                          |                   |                                                                       |     | 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつこと。 |   |   |     | 音楽づくりの過程を通して、音楽づくりの様々な発想を得ること。 |     |     |     | 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くこと。 |           |     |     | 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解すること。 |  |   |  | 音楽を聴く・つくる・表現する要素及びそれらの関わりについて、音楽における動きや用語について、音楽における動きや関わりを説明すること。 |   |           |   |
| 月                                                                                                                                                                                                                                                             | 題 材 名             | 主 教 材<br>◎共通教材                                                        | 時   |                                                                        |   |   |     |                                |     |     |     |                                                     |           |     |     |                                 |  |   |  |                                                                    |   |           |   |
| 4                                                                                                                                                                                                                                                             | ゆたかな声で歌い合わせよう     | レッツディクアチャンス<br>◎ こいのぼり<br>他                                           | 5   |                                                                        |   |   |     |                                |     |     |     |                                                     |           |     |     |                                 |  |   |  |                                                                    |   |           |   |
| 5                                                                                                                                                                                                                                                             |                   |                                                                       | 11  |                                                                        |   |   |     |                                |     |     |     |                                                     |           |     |     |                                 |  |   |  |                                                                    |   |           |   |
| 6                                                                                                                                                                                                                                                             | いろいろな音の重なりを感じ取ろう  | 小さな約束<br>いつでもあの海は<br>リボンのおどり<br>アイネ・クライネ・ナ<br>ハトムジーク第1楽章<br>リズムアンサンプル | 7   |                                                                        |   |   |     |                                |     |     |     |                                                     |           |     |     |                                 |  |   |  |                                                                    |   |           |   |
| 7                                                                                                                                                                                                                                                             |                   |                                                                       | 4   |                                                                        |   |   |     |                                |     |     |     |                                                     |           |     |     |                                 |  |   |  |                                                                    |   |           |   |
| 9                                                                                                                                                                                                                                                             | 和音のひびきを味わおう       | 静かにねむれ<br>こげよマイケル                                                     | 7   |                                                                        |   |   |     |                                |     |     |     |                                                     |           |     |     |                                 |  |   |  |                                                                    |   |           |   |
| 10                                                                                                                                                                                                                                                            | 曲の魅力を感じ取ろう        | 威風堂々第1番<br>まっかな秋<br>キリマンジャロ                                           | 8   |                                                                        |   |   |     |                                |     |     |     |                                                     |           |     |     |                                 |  |   |  |                                                                    |   |           |   |
| 11                                                                                                                                                                                                                                                            | 詩と音楽の関わりを楽しもう     | 山田耕筰の歌曲<br>◎冬げしき<br>◎スキーマの歌<br>ゆきの音楽づくり                               | 9   |                                                                        |   |   |     |                                |     |     |     |                                                     |           |     |     |                                 |  |   |  |                                                                    |   |           |   |
| 12                                                                                                                                                                                                                                                            |                   |                                                                       | 6   |                                                                        |   |   |     |                                |     |     |     |                                                     |           |     |     |                                 |  |   |  |                                                                    |   |           |   |
| 1                                                                                                                                                                                                                                                             | 日本と世界の音楽の魅力を見つけよう | 春の海<br>さくらさくら<br>◎子もり歌<br>旋律づくり<br>声による世界の国々の音楽                       | 6   |                                                                        |   |   |     |                                |     |     |     |                                                     |           |     |     |                                 |  |   |  |                                                                    |   |           |   |
| 2                                                                                                                                                                                                                                                             |                   |                                                                       |     |                                                                        |   |   |     |                                |     |     |     |                                                     |           |     |     |                                 |  |   |  |                                                                    |   |           |   |
| 3                                                                                                                                                                                                                                                             | 学んだことを生かして表現しよう   | 生命のいぶき<br>旅立ちの日に                                                      |     |                                                                        |   |   |     |                                |     |     |     |                                                     |           |     |     |                                 |  |   |  |                                                                    |   |           |   |

各指導事項において取り扱う〔共通事項〕を示す。

※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて、確実に行う。



## (6)題材の具体を示した表 [第5学年]

|             | 題材名                                | 教材名<br>◎共通教材                                                                  | 題材について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ○学習内容 ・学習活動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 学習指導要領内容との関連 |                                                                                   | 評価計画                                                                                                                                                                                                                        |                           | 備 考                                                 |
|-------------|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|-----------------------------------------------------|
|             |                                    |                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 指導事項         | 内容の取り扱い配慮事項                                                                       | 評価<br>標準                                                                                                                                                                                                                    | 評価<br>方法                  |                                                     |
| 4<br>5<br>6 | ゆたかな声で<br>歌い合わせよう<br>(5時間)         | レッツ テイク<br>ア チャンス<br>◎ こいのぼり<br>他                                             | ◆新年度がはじまり、不安を抱える児童もいる中、友達と一緒に音楽を楽しむ協働的な活動は、人間関係づくりに大変効果的である。本題材では、歌詞の内容と曲想との関連に気づき、曲の感じを生かした歌い方を工夫する。慣れない環境の中で児童が安心して活動できるように、前学年からの学習の繋がりを意識する。また、本時の課題を明確にして、達成感を味わえる授業を行う。<br>そのためには、共通事項の柱を、リズム、フレーズ、強弱などのように、明確にしておくことが必要である。そして、曲の山を見付けて、それに向かうまでの歌い方を試したり、「こいのぼり」の付点のリズムの歌い方を試したり、歌詞の意味を考えたフレーズで歌っているかを試したりするなどして、実際に歌いながら仲間と共に合唱を仕上げる楽しさを味わうようにする。4月の出会いにふさわしい、明るく軽快で、伸び伸びと歌える楽曲を選択する。                                                                                      | ○新しいクラスの仲間と一緒に歌う楽しみを味わう。<br>・校歌などのように、全員が知っている曲を歌って気分をほぐす。<br>・自然で無理のない響きのある歌い方ができるように、姿勢や発声の仕方を確認する。<br>○曲の雰囲気を感じ取る。<br>・「レッツ テイク ア チャンス」や「こいのぼり」の範唱を聴いて感じたことや、その理由を音や歌詞から見つけ、発言する。<br>・歌詞を朗読し、歌詞の意味を知る。<br>・旋律を歌えるようにする。<br>・リズムやフレーズに気をつけて歌う。<br>○歌唱表現を工夫する。<br>・曲の山の部分の歌い方について考え、意見交換しながらよりよい表現を追求する。                                                                   | マトリックス表参照    | 2 (1) イ<br>音楽との一体感                                                                | 【3 (2)】<br>児童や学校の実態に応じ、適切に位置付ける。<br>○主体的な学習に取り組めるよう学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりして自身の学びや変容を自覚できる場面をどこに設定するか<br>○対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面をどこに設定するか<br>○学びを深めるために、生徒が考える場面と教師が教える場面をどのように組み合わせるか<br>※このような視点で授業改善をすすめることが求められる。 | 評価<br>に関する<br>内容を<br>記述する | 各<br>題材<br>にお<br>ける<br>特徴<br>となる<br>事項<br>を記入<br>する |
| 7<br>9      | いろいろな音<br>の重なりを感じ<br>取ろう<br>(11時間) | 小さな約束<br>いつでもあの海<br>は<br>リボンのおどり<br>アイネ・クライ<br>ネ・ナハトムジーク<br>第1楽章<br>リズムアンサンブル | ・楽器の音色の特徴に気づき、旋律や伴奏が重なり合う響きを味わう。<br>・共通事項を音の重なりに焦点化し、各パートの役割を全体で確認する。どのようにバランスを取ったらよいか、主旋律を引き立てるためにはどんな演奏の工夫が必要か、試行錯誤する場面を設定する。<br>・楽器の組み合わせを試しながら偶然生まれたよい響きを楽しむなどの体験を通して、音の面白さ、音色のよさへの知識理解を深める。                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ○二部合奏や二部合唱の響きを感じ取る。<br>・「小さな約束」の短調の曲想を生かし、旋律が重なり合う響きを感じながらリコーダーで二部合奏をする。<br>・「いつでもあの海は」の主旋律と副次的な旋律の重なりがよい響きになるにはどうしたらよいかを意見交換したり、互いの声部を聴き合いながら歌ったりする。<br>○いろいろな楽器の音が重なり合う響きを味わう。<br>・まとまりのある演奏になるように音のバランスを考えて「リボンのおどり」を合奏する。<br>・弦楽器の旋律の重なり方の違いと曲想の変化に気付いて、弦楽合奏を鑑賞する。<br>・打楽器の音色の特徴を生かし重ね方やリズムを工夫してリズムアンサンブルをつくる。                                                          |              | 2 (5) オ<br>合奏で扱う楽器<br>2 (6)<br>音楽づくりの指導<br>2 (7)<br>鑑賞の指導                         |                                                                                                                                                                                                                             |                           |                                                     |
| 10          | 和音のひびき<br>を味わおう<br>(4時間)           | 静かにねわれ<br>こげよマイケル                                                             | ・和音の響きの変化を感じ取って演奏し、和音の響きの美しさを味わう。<br>・初めて学習する和音について、主要三和音の役割と響きを理解する。「続く感じ」「終わる感じ」など既習事項と関わりがあることを、音を通して実感する。ハーモニーをつくる楽しさを味わい、音の重なりで学習したことを生かして、調和させるための工夫について話し合う。<br>・普段の生活の中で聴いていた音楽もⅠ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅶなどの和音に支えられていることに気づき、身の回りの音楽への関心を広げる。                                                                                                                                                                                                                                                 | ○和音の響きの移り変わりをと感じ取る。<br>・和音について知り、「静かにねわれ」の旋律をピアノの和音伴奏に合わせて歌う。<br>○和音の響きのよさを味わう<br>・「こげよマイケル」の3つのパートそれぞれの旋律を歌う。<br>・3つのパートに分かれて、音程に気を付けて「マ」で歌う。<br>・和音の響きの移り変わりを楽しみながら歌詞をつけて歌う。                                                                                                                                                                                              |              | 2 (1) イ<br>音楽との一体感<br>2 (2)<br>和音の指導                                              |                                                                                                                                                                                                                             |                           |                                                     |
| 11          | 曲の魅力を感じ<br>取ろう<br>(7時間)            | 威風堂々第1番<br>まっかな秋<br>キリマンジャロ                                                   | ・曲想とその変化を感じ取りながら聴いたり、曲想にふさわしい表現を工夫して演奏したりする。<br>・曲想の変化を感じ取って、思い浮かべたことを自由に話したり、感じたことの根拠を音楽の中から見付け自分の言葉で説明したりする。繰り返しや曲想の変化を生かして自分はどうのように表現するかについて思いをもつようにする。<br>・生活の中での様々な場面において、自分の考えをもち、その根拠を明らかにして発言できるようにする。                                                                                                                                                                                                                                                                      | ○曲想の移り変わりをと感じ取る。<br>・対照的な2つの旋律が交互に現れることに着目して「威風堂々第1番」を聴く。<br>・同じ旋律でも、繰り返す度に作曲家の工夫によって曲想が変化する面白さに気づき、音楽の構造と関わらせて理解する。<br>○曲想の変化を感じ取って表現の仕方を工夫する。<br>・「まっかな秋」を前半と後半の曲想の変化を生かすために、どのように歌うか話し合い、意図したことが表現できるように歌う。<br>・「キリマンジャロ」の前半と後半の曲想の変化に気づき、曲想を生かした表現を工夫し、互いの音を聴き合って合奏を楽しむ。                                                                                                |              | 2 (1) ア<br>言語活動<br>2 (7)<br>鑑賞の指導                                                 |                                                                                                                                                                                                                             |                           |                                                     |
| 12          | 詩と音楽の<br>関わりを楽しもう<br>(8時間)         | 山田耕筈の歌曲<br>◎冬げしき<br>◎ スキーの歌<br>ゆきの音楽づくり                                       | ◆日本語の語感を生かした旋律のよさや面白さを感じ取り、情景を思い浮かべながら、聴いたり表現したりする題材である。日本語の持つリズムや抑揚について、音楽の面からアプローチすることで、これまでの国語の学習とつながることを児童が自覚し、日本の歌に興味・関心が深まるようにする。同時に、声の種類や独唱・重唱・斉唱などの演奏形態についての知識を広げ、「ゆきの音楽づくり」に生かすようにする。児童がスムーズに課題に取り組む、声だけで雪の世界を表現する面白さを味わうことができるように、教師が事前に準備をすることが大切である。「ゆきの音楽」の模範演奏や音楽づくりの手順の提示、ワークシートの書き方の例示、活動しやすいように意図的にグループをつくることも必要である。このような学習を通して、日本語の言葉のリズムや抑揚に関心をもち、長く歌い継がれてきた歌をこれからも大切にしようとする態度を養う。                                                                               | ○日本語の語感を生かした旋律のよさや面白さを感じ取る。<br>・「待ちぼうけ」の歌詞を音読して、言葉のリズムや抑揚と旋律の結び付きに気付く。<br>○曲を聴いて曲想や表現の工夫を味わう。<br>・演奏者の違う「待ちぼうけ」を聴き比べ、それぞれの表現のよさについて話し合う。<br>○声の種類や演奏形態の違いが生み出す演奏のよさを味わう。<br>・いろいろな声の種類で歌っている「赤とんぼ」や、演奏形態を変えている「この道」を聴き、それぞれのよさを意見交換する。<br>○「冬げしき」や「スキーの歌」、「ゆきの音楽づくり」の表現を工夫する。<br>・範唱を聴いたり、歌詞を音読したりして、言葉のリズムや抑揚と旋律との、結び付きを感じ取り、これまでの学習を生かして歌い方を考える。<br>・語感を生かしたゆきの音楽づくりを楽しむ。 |              | 2 (1) ア<br>言語活動<br>2 (1) オ<br>著作者の創造性を<br>尊敬する態度<br>2 (6)<br>音楽づくりの指導             |                                                                                                                                                                                                                             |                           |                                                     |
| 1<br>2<br>3 | 日本と世界の<br>音楽の魅力を見<br>つけよう<br>(9時間) | 春の海<br>さくらさくら<br>◎ 子もり歌<br>旋律づくり<br>声による世界<br>の国々の音楽                          | ◆この題材では、我が国の伝統的な音楽や諸外国の音楽の特徴を感じ取ったり、そのよさを味わったりして、それぞれの音楽に親しむようにする。「春の海」は我が国の伝統に西洋の音楽的要素を取り入れて作られた。A-B-Aの構成や、呼びかけとこたえ等の仕組みに気づき、楽器の音色や特徴を生かした美しい旋律を味わうようにする。「さくらさくら」の箏の演奏を体験することで、より音色や奏法などの理解が深められる。箏で旋律づくりをしなくても面白い。また、歌唱では「子もり歌」だけでなく、わらべうたや民謡等の日本のうたに触れ、地方によって多少の違いはあるが、長い時間をかけて変わらず伝えられてきた音楽のよさを味わうようにする。<br>諸外国の音楽に親しむ活動では、様々な「声」の音楽を取り上げ、比較鑑賞をしながら、音色や発声の仕方、リズム等の特徴に気づき、音楽の多様性を感じるようにする。このような学習を通して、音楽が、人々の暮らしの中から生まれ、長い年月大切な役割を果たしてきたことに気づき、自国の文化に誇りをもつだけでなく、他国の文化を尊重する態度を養う。 | ○我が国の伝統的な音楽の演奏のよさや楽曲のよさを味わう。<br>・「春の海」を鑑賞して箏と尺八の旋律の関わり合いに気づき、よさを話し合うとともに、全体の構成と曲想の変化を自分の言葉でまとめる。<br>・「さくらさくら」の曲想を生かすように、箏を演奏する。<br>○我が国の音楽に用いられる音階に親しむ。<br>・音階が異なる「子もり歌」を歌い比べて、曲想の違いを感じ取り、自分が知っている子もり歌はどちらに似ているか、他にはどんな日本のうたを知っているか、意見交換したり、歌ったりする。<br>・5つの音を使って旋律をつくり、つづく感じ、終わる感じを考えるとグループでまとまりのある音を生かす。<br>○世界のいろいろな音楽に親しむ。<br>・世界の国々の声の音楽を比較聴取し、それぞれの音楽の特徴や表現のよさを話し合う。   |              | 2 (1) ア<br>言語活動<br>2 (3)<br>我が国や郷土の音楽の指導<br>2 (4) ア<br>日本のうた<br>2 (6)<br>音楽づくりの指導 |                                                                                                                                                                                                                             |                           | 【3(3)(5)】                                           |
|             | 学んだことを<br>生かして表現<br>しよう<br>(6時間)   | 生命のいぶき<br>旅立ちの日に                                                              | ・これまでの学習を生かして表現を工夫し、合奏や合唱の響きを味わう。<br>・自分たちの演奏を録音するなどして客観的に聴き、意図したことが表現できているか意見を交換し、より豊かな表現を目指す。<br>・音楽を通して思いを表現することのよさを実感する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | ○曲の特徴を生かした表現を工夫し、合奏や合唱の響きを味わう。<br>・各パートの役割を意識して、全体のバランスを考えながら演奏する。<br>・録音して自分たちの演奏を客観的に聴き、意図したことが表現できているかを話し合ってよりよい表現を目指す。                                                                                                                                                                                                                                                  |              | 2 (1) エ<br>学校内外の音楽活動                                                              |                                                                                                                                                                                                                             |                           |                                                     |

◆題材については「音楽的な見方・考え方をどう捉え、どのように働かせるか」「教材選択の理由」「生活や社会との関連」等の視点を明確にする。

○「何ができるようになるか」を具体的にして学習内容を明確にし、資質・能力を育成するために「どのように学ぶか」も明確にする。

### 第3 音楽における「知識」の捉え方

音楽科における「知識」とは、児童が音楽を形づくっている要素などの働きについて理解し、表現や鑑賞などに生かすことができるような知識である。このような知識は、表現や鑑賞の活動を通して、実感を伴いながら理解されるようにするものであり、曲名や、音符、休符、記号や用語の名称などの知識のみを指すものではない。児童一人一人が、体を動かす活動などを含むような学習過程において、音楽に対する感性などを働かせて感じ取り、理解したものであり、個々の感じ方や考え方等に応じて習得されたり、新たな学習過程を通して更新されたりするのである。

音楽科における「知識」の習得に関する指導に当たっては、主に次の2点が重要である。

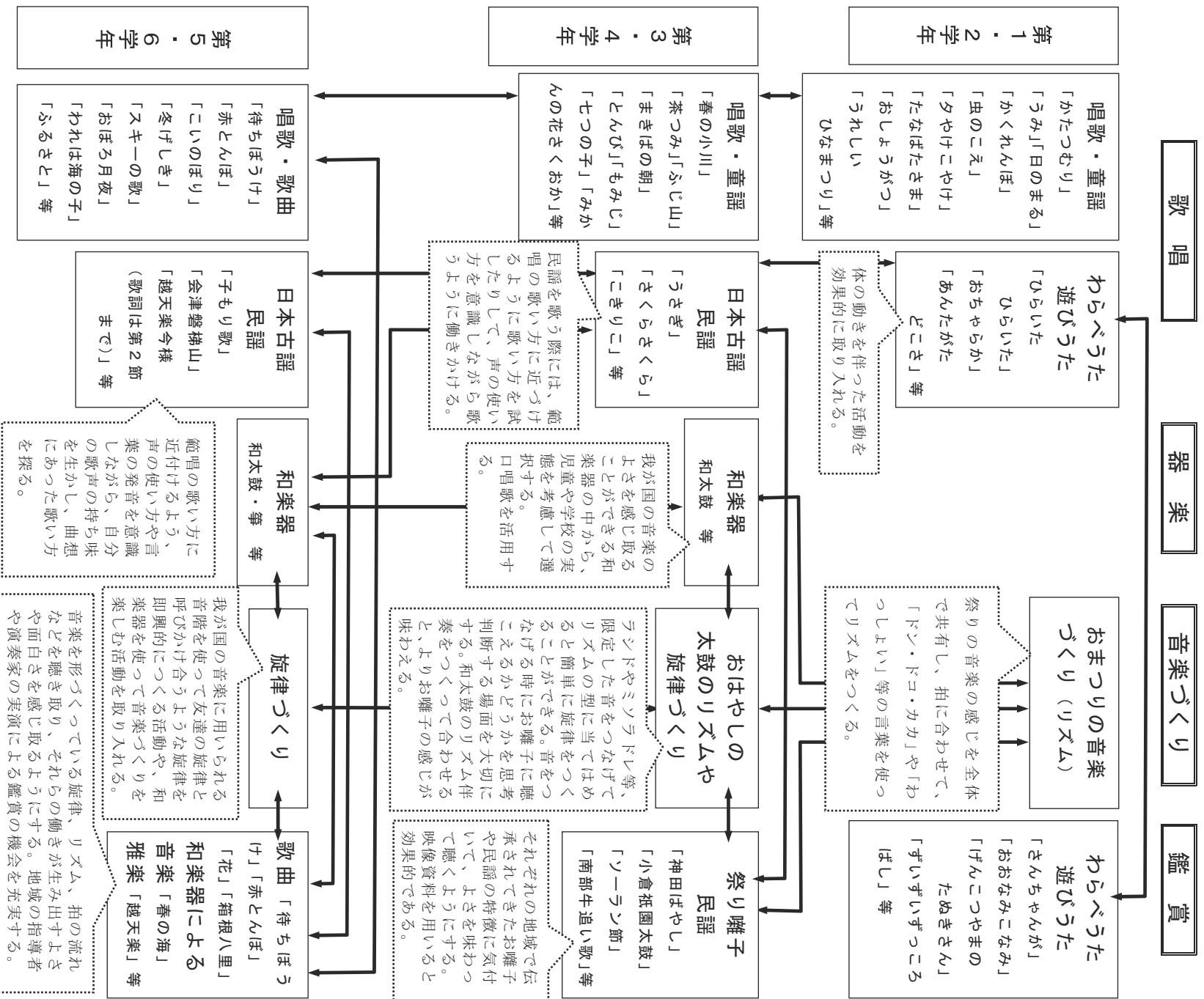
- ①〔共通事項〕を学習の支えとして、音楽を形づくっている要素などの働きについて実感を伴いながら理解し、表現や鑑賞などに生かすことができるようにすること
- ②音楽に関する歴史や文化的意義を、表現や鑑賞の活動を通して、自己との関わりの中で理解できるようにすること

#### 各学年・領域における「知識」の捉え方について（→は、具体的な例）

|     | 歌唱                                                                                                                          | 器楽                                                                                                                                                                                 | 音楽づくり                                                                                                                                                                                                                                                  | 鑑賞                                                                                                                                        |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 低学年 | イ 曲想と音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くこと<br>→「ゆったりとした感じがするのは、速度がゆっくりで、歌詞に海の大きさを表す言葉があるから。」ということに気付く。                    | イ 次の(㉠)及び(㉡)について気付くこと<br>(㉠) 曲想と音楽の構造との関わり<br>→「明るく楽しい感じがするのは、曲全体が跳ねるようなリズムでできているから。」といったことに気付く。<br>(㉡) 楽器の音色と演奏の仕方との関わり<br>→鍵盤/ハモニカは、息を速く吹き込んだときには鋭い音になることに気付く。                   | イ 次の(㉠)及び(㉡)について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くこと<br>(㉠) 声や身の回りの様々な音の特徴<br>→トランペットは、持ち方や打ち方を変えると音色や音の長さが違って面白くことに気付く。<br>(㉡) 音やフレーズのつながり(リズム)の特徴<br>→同じリズム・パターンを、楽器を変えて交互に演奏することで、お話し(まねっこ遊び)をしているようになることに気付く。                                                 | イ 曲想と音楽の構造との関わりについて気付くこと<br>→行進の列が近づいて来るように聞こえるのは、楽器の音がだんだんと強くなるからということに気付く。                                                              |
| 中学年 | イ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くこと<br>→「穏やかでゆったりとした感じがするのは、旋律が四分音符のみで構成されているから。また、歌詞に春の小川とその周囲のどんな状況が描かれているから。」といったことに気付く。      | イ 次の(㉠)及び(㉡)について気付くこと<br>(㉠) 曲想と音楽の構造との関わり<br>→「歯切れよく感じるのは、『タツカ』のリズムが繰り返し出てきたり、スワッカートで演奏したりするから。」といったことに気付く。<br>(㉡) 楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり<br>→「木琴は、マレットの違いによって音色や響きが違う。」といったことに気付く。  | イ 次の(㉠)及び(㉡)について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くこと<br>(㉠) いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴<br>→「ウッドブロックとクラベスを組み合わせて、同じ材質でも音高や音色が違って面白い。」など、音の響きやそれら組合せの違いに気付く。<br>(㉡) 音やフレーズのつながり(リズム)の特徴<br>→「短い旋律を繰り返したり、違う楽器で演奏したりすると面白い。」など、反復を意識したつながり(リズム)の特徴に気付く。                 | イ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付くこと<br>→「小鳥が静かに鳴いている感じから、仲間とおしゃべりしている感じに変わったのは、主旋律に副旋律が加わったから。」といったことに気付く。                                    |
| 高学年 | イ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解すること<br>→「勢いがあり、弾んだ感じになってるのは、速度が速く、付点を含んだ旋律が繰り返されているから。また、歌詞に大空を飛ぶ、大地を走るという表現があるから。」といったことを理解する。 | イ 次の(㉠)及び(㉡)について理解すること<br>(㉠) 曲想と音楽の構造との関わり<br>→「もの悲しい感じがするのは、イ短調で、旋律の動きが穏やかだから。」といったことを理解する。<br>(㉡) 多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり<br>→「弾は、爪を当てる角度を変えたり、弦を弾く強さを変えたりすると音色や響きが変わる。」などを理解する。 | イ 次の(㉠)及び(㉡)について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解すること<br>(㉠) いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴<br>→「カサネットとカウベルなど、材質の違う楽器の音色が重なり合っても、まとまりのある響きになる。」など組合せの統一感や響きの豊かさを理解する。<br>(㉡) 音やフレーズのつながり(リズム)の特徴<br>→「リズム・パターンを1小節ずつずらして人数を増やしながら重ねていくと曲に盛り上がり(リズム)が生まれる。」など重ね方の特徴を理解する。 | イ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解すること<br>→「動きのあるにぎやかな感じから堂々とした迫力のある雰囲気に変わったのは、八分音符や十六分音符などの細かいリズムが多い旋律から、二分音符などの伸ばす音が多い旋律に変わったから。」といったことを理解する。 |
| イ   | 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号について、音楽における働きと関わらせて理解すること。                                                                        |                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                           |

今回の改訂において、「我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、よさを一層味わえるようにしてい

我が国や郷土の音楽に関連する題材の関連性を示したものである。





音楽科では学年目標及び内容を2学年まとめて示している。このことは、音楽科で育成を目指す資質・能力が、学年の継続・発展によって高められるという、音楽の学習の特性を生かしたものである。各学校ではそれぞれの学年にふさわしい指導を工夫し、質的な高まりを意識することが重要である。また、小・中学校の9年間を見通した系統的な指導の展開にも十分考慮する必要がある。ここでは歌唱教材において、指導内容の系統化を示し、学年ごとの質的な高まりや、小・中学校の系統性の具体について示した。

|                       |              | 第5学年                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 第6学年                                                                                                                                                                                                                                                     | 中学校                                                                                                                                                     |
|-----------------------|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教材                    |              | 「旅立ちの日に」                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                         |
| 題材について                |              | <ul style="list-style-type: none"><li>これまでの学習を生かして表現を工夫し、合唱の響きを味わう。</li><li>自分たちの演奏を録音するなどして客観的に聴き、意図したことが表現できているか意見を交換し、より豊かな表現を目指す。</li><li>音楽を通して思いを表現することのよさを実感する。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <ul style="list-style-type: none"><li>同声二部合唱の響きを感じて歌う。</li><li>友達と声を合せたり、表現を工夫する喜びを味わったりしながら歌う。</li><li>曲想と音楽の構造（和音、フレーズ音楽の縦と横の関係）や歌詞の内容とを関わらせて工夫して歌う。</li><li>協働して音楽活動をする楽しさを感じること、今後も主体的に音楽に関わっていく。</li></ul>                                          | <ul style="list-style-type: none"><li>曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解し、曲に対する自分のイメージを膨らませたり、他者のイメージに共感したりする。</li><li>音楽表現を工夫し、そのために必要な技能を身に付けて合唱する。（1年）</li></ul> |
| 学習指導要領の内容（A表現・歌唱との関連） | 思考力、判断力、表現力等 | <div>工夫する根拠を曲の特徴に求めて表現をつくりだす</div> <div>このように歌いたいという考えをもつ</div> <div>◎ 歌唱表現について知識や技能を得たり生かしたりしながら曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつこと。</div> <p>○速度や旋律、音の重なりなどを根拠に曲の特徴を見いだし、どのように歌うか思いや意図をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>「白い光の～、勇気を翼に～、今別れの時～」の3つの部分で雰囲気が違うのでこの雰囲気の違いを生かして歌いたい。例えば、勇気を翼に～から盛り上がるので響きのある声で歌いたいで、その前のフレーズからクレッシェンドをして歌おう。」</li><li>「最初は斉唱で途中から二部合唱、最後は掛け合いになっていて、声の重なり方でも雰囲気の違いを表現している。斉唱の部分は穏やかな感じなのでプレスや言葉を揃えて歌い、二部合唱の部分では曲が盛り上がるので、広がりが出るように強弱を工夫して歌いたい。」</li></ul> <p>○音色やフレーズ、音楽の縦と横の関係を根拠に曲の特徴を見いだし、思いや意図をもって歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>「今別れの～、から速度が速くなり、掛け合いの言葉を繰り返しながら未来へ向かって羽ばたいていく歌詞の内容を表している。曲の最大の山場なので、歯切れ良いリズムや掛け合いの言葉の繰り返しを徐々にクレッシェンドして、大空に～ が一番響きのある声で歌いたい。」</li><li>この曲の作詞、作曲が学校の先生であることを知り、この曲の歌詞に込められた意味を考えながら工夫して歌う。</li></ul> <div>曲の特徴について理解を深めたり、必要な技能を身に付けたりしながら声の音色、強弱、速度などの違いによる表現方法などを様々試すなどして、歌唱表現を工夫する楽しさを味わい、思いや意図を膨らませることが大切</div> |                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                         |
|                       | 知識           | <div>その音楽固有の雰囲気や表情、味わい</div> <div>音楽を形づくっている要素の表れ方や、音楽を特徴付けている要素と音楽の仕組みとの関わり合い</div> <div>◎ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解すること。</div> <p>○感じ取った曲想と、歌詞の内容との関わりについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>「曲の雰囲気が違う3つの部分で、白い光の～、の部分が穏やかな感じがするのは旋律の動きが滑らかで、歌詞の穏やかな風景ともあっている。」</li><li>「勇気を翼に～、から音楽が盛り上がる感じがするのは、斉唱から二部合唱になって響きが豊かになったことや、徐々にクレッシェンドしていつているから。」</li></ul> <p>○感じ取った曲想と、音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>「今別れの～、から気持ちがあふれてくるような感じがするのは、速さが速くなったり、旋律や言葉が掛け合いになったりしているから。また、前へ向かっていく歌詞と掛け合いの旋律が、勇気もてるよう後押ししてくれる感じがする。」</li></ul> <div>児童が感じ取った曲想を基にしながら、リズムや旋律、声部の重なりなどの特徴や、歌詞の内容に目を向けるようにするなど、効果的な手立てを工夫することが大切</div>                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                         |
|                       | 技能           | <div>◎ 各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能 【指導事項ウ（ウ）】</div> <p>○斉唱の部分、二部合唱の部分、掛け合いの部分と、それぞれの音の重なり方における響きの違いを感じながら歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>「斉唱の部分はプレスやフレーズを揃えて歌い、合唱の部分はお互いの声を聴き合いながら歌おう。」</li><li>「勇気を翼に～、からは盛り上がり表現するために、響きのある声や徐々にクレッシェンドして歌おう。」</li></ul> <p>○斉唱の部分、二部合唱の部分と、掛け合いにより生み出される様々な響きを聴き取り、各声部の役割を理解しながら豊かな表現になるように歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>「合唱の部分は各声部の役割を理解して、全体のバランスを考えて歌おう。」</li><li>「この広い～、からは掛け合いによる面白さを表現するために、各声部の強弱を工夫して歌い、最後の付点二分音符や全音符の響きが豊かになるように、口形や息の使い方工夫して歌おう。」</li></ul> <div>思いや意図に合った表現するために必要な技能を身に付ける。</div> <div>児童が表現のよさを判断できるように互いの歌声をじっくりと聴くようにすること、また、合唱では自分が担当している声部だけでなく、他の声部との関わりを意識して歌うことで歌声を合わせる喜びを味わうようにすることも大切</div>                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                         |
| 学習活動                  |              | 曲の特徴を生かした表現を工夫し、合奏や合唱の響きを味わう。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 二部合唱の響きや重なり方の変化を感じたりして歌う。                                                                                                                                                                                                                                | ※中学校教育課程編成要領（音楽）参照                                                                                                                                      |
|                       |              | <ul style="list-style-type: none"><li>各パートの役割を意識して、全体のバランスを考えながら演奏する。</li><li>録音して自分たちの演奏を客観的に聴き、意図したことが表現できているかを話し合っよりよい表現を目指す。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"><li>パートごとに音程を確認しながら歌ったり、互いの声を聴きながら全体のバランスを考えて歌ったりする。</li><li>音の重なり方の変化と曲の構成を結び付け、互いの声を聴き合いながら響きの変化を感じ取って歌う。</li><li>縦と横の関係を感じ、和音の重なりを響きを感じ取ったり、豊かな響きになるように工夫し歌詞の内容がわかったりするよう、フレーズに着目し、表現にふさわしい呼吸や発音の仕方を工夫する。</li></ul> |                                                                                                                                                         |



第6 1 単位時間の指導計画 (第5学年)

題材名 日本と世界の音楽の魅力を見つけよう  
題材の目標 省略  
指導事項 A表現 音楽づくりーア、イ、ウ  
題材の指導計画 (9時間扱い)

|                     |                                                                                                    |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1<br>～<br>4         | 「春の海」「さくらさくら」<br>○箏と尺八の音色や旋律の関わり合いを感じ取り、楽曲全体の構成をつかんで聴く。<br>○箏の基本的な演奏の仕方を身に付け、「さくらさくら」を演奏する。        |
| 5                   | 「子もり歌」<br>○音階が異なる「子もり歌」を歌い比べ、曲想の違いを感じ取る。                                                           |
| 6<br>～<br>8<br>(本時) | 「旋律づくり」<br>○5つの音 [ミ、ファ、ラ、シ、ド、(ミ)] をつかって、2小節の旋律をつくり、ソプラノリコーダーで演奏する。<br>○グループで旋律をつなげて、まとまりのある旋律をつくる。 |
| 9                   | 「声による世界の国々の音楽」<br>○世界の国々の音楽の歌声、歌い方の特徴や違い、雰囲気を感じ取って聴く。                                              |

本時の目標 反復、呼びかけとこたえ、変化などを生かして、友達と旋律をつなげて、まとまりのある旋律をつくる。(7／9時間)

展開

| ○学習内容・学習活動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ○指導上の留意点                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○友達と旋律をつなげて、8小節のまとまりのある旋律をつくる。</p> <p>・4人グループになり、前時に自分がつくった2小節の旋律をソプラノリコーダーで発表し合う。</p> <p>・まとまりのある旋律になるように話し合いと試奏を繰り返す。</p> <div>①各自の旋律を、組合せの順番を考えながらつなげる。<br/>②つなげた旋律をまとまりのある旋律になるように工夫する。</div> <p>○他のグループの演奏を基に、旋律のつなげ方や終わり方を工夫する。</p> <p>・他のグループの発表を聴き、意見を発表し合う。</p> <p>・他のグループの発表を基に、各グループで、まとまりのある旋律になるように話し合いと試奏を繰り返す。</p> <div>主眼的・対話的で深い学びの視点</div> <p>○本時の学習を振り返る。</p> <p>・学習カードに、工夫した自分の2小節の旋律と、工夫の理由を記入する。</p> | <p>○発表の際には、前時に使用した学習プリントをグループの友達に見せるようにし、旋律を捉えやすくする。</p> <p>○思いや意図と音楽が結びつくようにするために、話し合いに始終せず、必ず音で確かめることを確認する。</p> <p>○各自の旋律の順番を考える際には、学習プリントを活用すること伝える。</p> <p>○旋律の演奏が困難な場合には、教師が代わりに演奏し、旋律のつながりを確かめられるようにする。</p> <div>配慮を要する児童への指導の視点</div> <p>○発表を聴く児童には、自分たちの旋律づくりを生かせるところと、改善できるところをポイントに聴くことを伝える。</p> <p>○まとまりのある旋律になるように、続く感じや終わる感じを意識したり、反復、呼びかけとこたえ、変化などの音楽の仕組みをつかったりして、旋律を変えてもよいことを例示しながら伝える。</p> <p>○発表を聴いた児童が考えた工夫を試す場を設ける。</p> <p>○各自がつくった旋律を見直し、グループの演奏に合わせて旋律を変えてもよいことを確認する。</p> <p>○振り返りをしやすくするため、ICレコーダーを活用し、録音を基に演奏の聴き比べをしたり、よさや課題を見付けたりし、よりよい音楽表現を生み出していくようにする。</p> <div>教科横断的な視点<br/>(情報活用能力・問題発見・活用能力)</div> <p>○自分の考えを表現できない児童には、対話を通して考えを引き出したリ、整理したりするようにする。</p> |

## 第7節 図画工作

### 第1 指導計画の作成

#### 1 指導計画作成の基本的な考え方

##### (1) 図画工作科の目標を押さえる（解 P 9～16）

目標の実現に当たっては、(1)知識及び技能 (2)思考力、判断力、表現力等 (3)学びに向かう力、人間性等を相互に関連させながら資質・能力の育成を図る。(1)、(2)、(3)は、別々に分けて育成したり、順序性をもって育成したりするものではない。

##### (2) 内容の構成を把握し、育成すべき資質・能力を押さえる（解 P20～25）

図画工作科の内容は、「A 表現」、「B 鑑賞」及び「共通事項」で、次のように構成されている。

内容の構成と三つの柱の関係

「A 表現」(1)【発想や構想に関する項目】

→ ア 造形遊び、イ 絵や立体、工作 を通して育成する「思考力、判断力、表現力等」

「A 表現」(2)【技能に関する項目】

→ ア 造形遊び、イ 絵や立体、工作 を通して育成する「技能」

「B 鑑賞」(1)【鑑賞に関する項目】

→ ア 鑑賞 を通して育成する「思考力、判断力、表現力等」

「共通事項」(1)

→ ア 「A 表現」「B 鑑賞」 を通して育成する「知識」

→ イ 「A 表現」「B 鑑賞」 を通して育成する「思考力、判断力、表現力等」

#### 2 指導計画作成の一般的な手順

##### (1) 図画工作科の指導の目標を設定する

学習指導要領及び本編成要領を踏まえ、各学校の教育目標や重点、施設設備や行事、児童の興味や関心、技能などの実態、地域の特色などを考慮して、具体的に設定する。

##### (2) 各学年の指導の目標を設定する

各学校が設定する各学年の指導の目標は、学習指導要領の教科並びに各学年の目標を受け当該年度の児童の実態を考慮して具体的に設定する。

##### (3) 各学年の指導内容を検討する

学習指導要領に示す内容構成に照らし、設定した各学年の目標に応じた指導内容を検討する。また、「共通事項」のアの指導（解 P114～116）、材料や用具について（解 P117～120）検討する。

|                               |                                            |
|-------------------------------|--------------------------------------------|
| ・「共通事項」のアの指導の配慮事項（知識として捉える内容） |                                            |
| 低学年                           | いろいろな形や色、触った感じなど                           |
| 中学年                           | 形・色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなど                |
| 高学年                           | 動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなど                       |
| ・材料や用具の取扱い（該当学年で扱う内容に従前と変更なし） |                                            |
| 低学年                           | 土、粘土、木、紙、クレヨン、パス、はさみ、のり、簡単な小刀類など身近で扱いやすいもの |
| 中学年                           | 木切れ、板材、釘、水彩絵の具、小刀、使いやすいのこぎり、金づちなど          |
| 高学年                           | 針金、糸のこぎりなど                                 |

##### (4) 題材を検討する

採択された教科書の題材を研究し、各学年の指導内容にふさわしい題材を検討する。

##### (5) 題材ごとの時間数を想定して、年間指導計画を作成する（解 P106～108）

題材の配列を基に年間の指導計画を作成する。計画の作成に当たっては、『独立した「鑑賞」』『「工作」と「絵や立体」に配当する時数をおおよそ等しくすること』について考慮する。

##### (6) 題材ごとの指導計画を作成する

年間指導計画を基に、児童の実態を踏まえ、造形的なよさや美しさ、特性をつかみ、指導の内容や評価の観点を整理し焦点化して、題材ごとの指導計画を作成する。

※ 「共通事項」は、それだけを題材にしたり、どの時間でも「共通事項」を教えてから授業を始めたりするなどの硬直的な指導にならないよう配慮して指導計画に位置付ける。（解 P33・34）

##### (7) 指導計画を評価し、改善する

年間指導計画は実践を基に検討し、問題点を明らかにして改善していく。

### 3 指導計画作成に当たっての 意すべき事項

#### (1) 「特別な配慮を必要とするなどの課題を抱えた児童への指導」の視点 (解 P110・111)

変化を見分けたり、微妙な違いを感じ取ったりすることが難しい場合は、造形的な特徴を理解し、技能を習得するように、児童の経験や実態を考慮して、特徴が分かりやすいものを例示したり、多様な材料や用具を用意したり、種類や数を絞ったりするなどの配慮をする。形や色などの特徴を捉えることや、自分のイメージをもつことが難しい場合は、形や色などに気付くことや自分のイメージをもつことのきっかけを得られるように、自分や友人の感じたことや考えたことを言葉にする場を設定するなどの配慮をする。

#### (2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点 (解 P104～106)

児童一人一人が「造形的な見方・考え方」を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習が充実するようにすることが大切である。「造形的な見方・考え方」とは、感性や想像力を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすことである。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けては、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」を相互に関連させながら資質・能力の育成を図る必要がある。その上で、自分の成長やよさ、可能性などに気付き、次の学習につなげられるようにすること、「この形や色でいいか」、「自分の表したいことは表せているか」などの自分との対話を大切にしつつ、互いの活動や作品を見合いながら考えたことを伝え合ったり感じたことや思ったことを話したりするなどの言語活動を一層充実すること、育成を目指す資質・能力を明確にし、つくり、つくりかえ、つくるという学習過程を重視することなどが大切である。

#### (3) 「教科等横断的」な視点 (解 P4・121・122)

他の教科等との関連を図るなどして、学習の基盤となる資質・能力（言語能力など）や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育むためのカリキュラム・マネジメントに努める。図画工作科においては、特に〔共通事項〕を視点に、感じたことや思ったこと、考えたことなどを、話したり聞いたり話し合ったりする、言葉で整理するなどの言語活動の充実を図る。

#### (4) 「社会に開かれた教育課程」の視点 (解 P121)

児童の鑑賞の充実の観点から、児童や学校の実態に応じて、地域の美術館や博物館など親しみのある美術作品や生活の中の造形などを展示している地域や場所を利用したり、連携を図ったりする。利用においては、鑑賞を通して「思考力、判断力、表現力等」を育成する目的で行うようにするとともに、児童一人一人が能動的な鑑賞ができるように配慮する。また、施設が提供する教材や教育プログラムを活用する、学芸員などの専門的な経験や知識を生かして授業をするなど、多様な取組を考える。

#### (5) 「道徳教育の充実」の視点 (解 P111・112)

教師の態度や行動による感化とともに、図画工作科と道徳教育との関連を明確に意識しながら、適切な指導を行う必要がある。図画工作科の年間指導計画の作成などに際しては、道徳教育の全体計画との関連、指導の内容及び時期等に配慮し、両者が相互に効果を高め合うようにすることが大切である。

#### (6) 「共同してつくりだす活動」の視点 (解 P108)

「A表現」の指導において、児童が友人と共に活動することを楽しむ傾向を生かし、適宜共同して製作する内容を取り入れる。共同して活動することは、様々な発想や構想、アイデア、表し方などがあることに互いに気付き、表現や鑑賞を高め合うことにつながる。活動を設定する場合には、児童の実態を考慮するとともに、児童一人一人の発想や構想や技能などが友人との交流によって一層働くようにすることが大切である。

#### (7) 「低学年における他教科等や幼児教育との関連」の視点 (解 P109・110)

育成を目指す資質・能力を明らかにした上で、例えば、題材を選択する時期と他教科等の関連的な単元等の時期を合わせる、図画工作科の時間につくったものを他教科等の時間に活用する、他教科等における自然や社会などの経験を造形的な発想に生かすことなどが考えられる。

#### (8) 「事故防止と学習環境の整備を図る」視点 (解 P124・125)

基本的な材料や用具は繰り返して体験できるように工夫し、その扱い方が確実に身に付くようにするとともに、鋭い刃物や電動式の用具などの管理に十分注意をはらうことが大切である。また、学校は児童の楽しいアイディアや工夫が見られる造形的な空間であることが望ましい。そこで、校内の適切な場所に作品を展示するなどして、それらを鑑賞できるように配慮することも大切である。



## 第2 指導計画作成のための資

### 1 指導内容の系統表

#### 〔幼稚園教育要領（表現）〕

感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1ねらい | (1) いろいろなものの美しさなどに対する感性をもつ。<br>(2) 感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。<br>(3) 生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 2内 容 | (1) 生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむ。<br>(2) 生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。<br>(3) 様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。<br>(4) 感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったりなどする。<br>(5) いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ。<br>(6) 音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう。<br>(7) かいたり、つくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりなどする。<br>(8) 自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう。 |

#### 〔第1学年及び第2学年〕 ※目標（解 P35） ※思、判、表等…思考力、判断力、表現力等の略

| 領域等                                                   | 項目           | 事項                    | 指導計画作成に当たって                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------------------------------------------------------|--------------|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A<br>表現                                               | (1)<br>発想や構想 | 「ア造形遊び<br>「思、判、表等」    | ○身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に造形的な活動を思い付くこと<br>・材料と十分に関わることができるよう、広くて安全な場所を活動場所にしたり、一人一人の児童が発想を広げたりすることのできる時間を確保する。(解 P40) 【3(2)(8)】<br>○感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えること<br>・児童の活動は多様であることを踏まえ、一人一人の発想や構想を可能な限り受け止める。また、児童の「感覚や気持ち」と「活動すること」を切り離さないように配慮する。(解 P40) 【3(6)】                |
|                                                       |              | 「イ絵や立体、工作<br>「思、判、表等」 | ○感じたこと、想像したことから、表したいことを見付けること<br>・児童の興味や関心を題材や指導に生かすことが必要であり、日頃から把握しておく。また、表したいことの変化などに柔軟に対応することや、表したいことを見付けることは児童自身が行うことだということを踏まえ、計画する。(解 P42) 【3(2)】<br>○好きな形や色を選んだり、考えたりしながら、どのように表すかについて考えること<br>・好きな色を選んだり、納得するまでつくり直したり、行きつ戻りつしながら表したり思い付いたりすることができる過程を重視する。(解 P42) 【3(2)】  |
|                                                       | (2)<br>技能    | 「ア造形遊び<br>「技能」        | ○身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れること<br>・手や体全体の感覚などを働かせて、いろいろな材料に触れ、材料を扱う楽しさや面白さを味わい、関心や意欲をもつように計画する。安全面に配慮し、危険が伴うものは、必ず教師が使い方を教えるようにする。また、用具の置き場所や活動場所などに配慮する。(解 P45) 【3(8)】<br>○並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくること<br>・材料だけでなく、活動場所について考慮する。また、児童が自ら工夫してつくるように配慮する。(解 P45) 【3(2)】 |
|                                                       |              | 「イ絵や立体、工作<br>「技能」     | ○身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れること<br>・材料や用具を楽しく使えるような題材を設定する。表し方を工夫して創造的に表す過程で使い方について関心を持ち、慣れるように計画する。危険が伴う用具は、必ず教師が使い方を教えるようにする。(解 P47) 【3(8)】<br>○手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表すこと<br>・感じたことを生かしながら表すことや、用具を使うことから表現が広がったりするように計画する。また、児童が主体的に表し方を工夫することができる設定をする。(解 P47) 【3(2)】       |
| B<br>鑑賞                                               | (1)<br>鑑賞    | 「ア鑑賞<br>「思、判、表等」      | ・自分と対象とを一体的に捉えている低学年らしさを指導に生かす。児童の意欲や関心を重視し、身の回りの作品や材料などを見たり触ったりしたときの素直な驚きや喜びを大切に、それを広げたり確かめたりできるように計画する。(解 P51) 【3(7)】<br>・表現と鑑賞が分けにくいこの時期の特性を考慮し、相互の関連を図るようにする。(解 P52)<br>・感じたことや思ったこと、考えたことなどを、話したり聞いたり話し合ったりする、言葉で整理するなどの言語活動を充実する。(解 P51) 【3(3)】                              |
| 〔共通事項〕                                                | (1)          | 「ア「知識」                | ○自分の感覚や行為を通して、形や色などに気付くこと<br>・児童が体験的に対象の形や色などに気付くことができるようにする。比べて選ぶ、様々な材料に触れるなど多様な学習活動を設定し、興味や関心をもてるように計画する。(解 P56) 【3(7)】                                                                                                                                                          |
|                                                       |              | 「イ「思、判、表等」            | ○形や色などを基に、自分のイメージをもつこと<br>・児童がもっているイメージを捉え、具体的に把握し指導に生かすように計画する。また、豊かなイメージにつながるような体験を設定する。(解 P56)<br>・児童のもつイメージは、活動しながら更新されていくことに配慮して活動の過程に着目する。                                                                                                                                   |
| 【使用する材料や用具】土、粘土、木、紙、クレヨン、パス、はさみ、のり、簡単な小刀類など身近で扱いやすいもの |              |                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

〔第3学年及び4学年〕

※目標（解 P58）

| 領域等                                           | 項目           | 事項                         | 指導計画作成に当たって                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------------------------------------|--------------|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A<br>表現                                       | (1)<br>発想や構想 | ア「造形遊び、<br>「思、判、表等」        | ○身近な材料や場所などを基に造形的な活動を思い付くこと<br>・材料や場所と十分関わりながら造形的な活動を思い付くように、材料から場所を考えたり、活動する場所にある材料を活用したりするなど、児童がいろいろ試みの中で、発想が広がるように計画する。(解 P63) 【3(8)】<br>・児童が材料の質や量と場所とを考え合わせながら活動できるように計画する。(解 P63)<br>○新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えること<br>・あらかじめグループでつくるものを決めて分担するのではなく、材料と関わる中で児童が自然に発想や構想が展開できるよう計画する。(解 P63) 【3(6)】                                                                                                          |
|                                               |              | イ「絵や立体、<br>「思、判、表等」<br>工作」 | ○感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けること<br>・表現する喜びを味わい、造形的な創造活動を楽しもうとする意欲がわくような題材名を設定する。<br>・題材は、表したいことのイメージが先に明確にあり、それを実現していく傾向が強いものや、表しながら表したいことを次々と思い浮かべ、表現の思いが膨らんでいく傾向が強いものなどがあり、様々な学習過程を経験するよう設定する。(解 P65)<br>○表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えること<br>・明確な手順どおりに表すというよりも、試しながら表したり、次第に表したいことや用途などが明確になったりするように配慮する。(解 P65) 【3(2)】<br>・自分の思いに合う材料を児童自身が集めたり、材料や用具を置く場所を設けて、材料を比べながら選んだりするようにする。(解 P65) 【3(2)】 |
|                                               | (2)<br>技能    | ア「造形遊び<br>「技能」             | ○材料や用具を適切に扱うこと<br>・児童が、材料や用具を十分に経験することを通して楽しみながら適切に扱うように計画する。<br>・用具の安全な使い方を指導するとともに、活動を通して扱いが分かっていくようにする。(解 P68)<br>○前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくること<br>・手や体全体を十分に働かせながら用具を使ったり、表し方を工夫したりする中で技能が育成されるよう、多様な材料や用具を用意したり、材料や用具の種類や数を絞ったりする。(解 P68) 【3(1)】<br>・低学年で扱った材料や用具を工夫して扱うなどの発展的な指導を行うように計画する。(解 P68)                                                                |
|                                               |              | イ「絵や立体、<br>「技能」<br>工作」     | ○材料や用具を適切に扱うこと<br>・児童の実態に配慮しながら、材料や用具が安全に使えるよう計画する。(解 P70) 【3(8)】<br>○前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと<br>・児童が積極的に材料や用具、表し方などを試すことができるように計画する。(解 P70)<br>・児童が造形遊びをする活動で得た材料などの経験を生かすことのできるような設定をする。<br>・自然に活動を交流できる場を設定する。(解 P70)                                                                                                                                |
| B<br>鑑賞                                       | (1)<br>鑑賞    | ア「鑑賞、<br>「思、判、表等」          | ・自ら働きかけながら見付けたよさや面白さを、児童自身が気付くようにする。表したことと、自らつくりだした形や色などとの関連に気付くような活動を設定する。(解 P74)<br>・美術作品を取り上げる場合は、児童一人一人が自分なりのよさや面白さを見付けるように配慮する。(解 P74)<br>・自分の作品や美術作品などについて、どのように感じたのか、思ったのかの根拠や理由を形や色などを基に話したり、適切な人数で話し合ったり、気持ちを振り返って書いたりするなど、学習形態を工夫する。(解 P74) 【3(1)(2)(3)】<br>・作品や事柄に対して意見を述べ合う中で、共通点だけでなく異なった捉え方や感じ方を大切にし、互いのよさや個性などを認め合うように活動を設定する。(解 P74)                                                                      |
| 〔共通事項〕                                        | (1)          | ア「知識」                      | ○自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かること<br>・教師から一方的に教えるのではなく、形や色などの感じが生まれるような水彩絵の具などの材料や用具を使ったり、様々な触り心地の材料を用意したりするなど、多様な学習活動を設定し、児童が形や色などの感じに興味や関心をもつように計画する。(解 P79)                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|                                               |              | イ「思、判、表等」                  | ○形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと<br>・材料にたっぷり触れ合ったり、行為や活動を繰り返したり、表したいことをじっくり考えたりすることができるように、材料などの量や活動などの時間を十分に確保した計画を立てる。(解 P79)<br>・特定の図像や情報を与えて、それに児童を沿わせるように指導するのではなく、自分の思ったことを簡単な絵や図にかきとめたり友人と語り合ったりするなど、児童が活動する中で自分のイメージに気付いて、活動の展開を図ることができるようにする。(解 P79) 【3(2)】                                                                                                                                                             |
| 【使用する材料や用具】 木切れ、板材、釘、水彩絵の具、小刀、使いやすいのこぎり、金づちなど |              |                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

〔第5学年及び6学年〕

※目標（解 P81）

| 領域等                    | 項目        | 事項             | 指導計画作成に当たって                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------------------------|-----------|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A 表現                   | (1) 発想や構想 | ア「造形遊び、思、判、表等」 | ○材料や場所、空間などの特徴を基に造形的な活動を思い付くこと<br>・児童が材料や場所、空間などの特徴を十分に関連させながら、造形的な活動を思い付くよう計画する。(解 P86)<br>○構成したり周囲の様子を考え合わせたりしながら、どのように活動するかについて考えること<br>・材料や場所に関わる活動の中から気付き、その実感を基に活動を更に展開したり、これまでの材料経験を生かし、活動を思い描いたりすることができるよう設定する。(解 P86) 【3(2)】<br>・一人一人がつくり、つくりかえ、つくることができるようにする。(解 P86)                                                                                                                                                                                                                                                          |
|                        |           | イ「絵や立体、表、工作」   | ○感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから、表したいことを見付けること<br>・主題の発想については児童自身が行うように計画する。(解 P88)<br>・材料に触れる、友人と交流する、言葉で考えを整理する、用具を使ってみるなどして、児童が表したいことを見付けることに自信をもつような方法やきっかけを考え設定する。(解 P88) 【3(5)】<br>○形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えること<br>・児童一人一人がこれまでの経験を十分に生かすことができるようにするため、思い付いたことを進んで取り入れられるよう配慮する。(解 P88) 【3(1)】<br>・材料や用具を使いながら表したいことが変わっていくこともあることを踏まえ、計画する。(解 P88)                                                                                                                                                         |
|                        | (2) 技能    | ア「造形遊び」「技能」    | ○活動に応じて材料や用具を活用すること<br>・材料の特徴を十分に感じ取ることができるように計画する。(解 P91)<br>・材料や用具が、どのように学習に用いられるに至ったのかを児童自身も理解し、愛着をもって扱うことができるようにする。(解 P91)<br>○前学年までの材料や用具についての経験や技能を総合的に生かしたり、方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫してつくること<br>・児童のつくりたいという主体的な気持ちを大切に、自分らしい方法を身に付けることができるように計画する。また、手応えや新鮮な喜びを感じられるような材料や場所との出会いを設定し、前学年までの材料や用具についての経験や技能を生かせるように配慮する。(解 P91)                                                                                                                                                                                                   |
|                        |           | イ「絵や立体、工作」「技能」 | ○表現方法に応じて材料や用具を活用すること<br>・表現方法と材料や用具の特徴を児童自身が照らし合わせて用いるようにする。その際、扱っている材料や用具自体のよさについて理解し、活用していくようにする。(解 P93)<br>○前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと<br>・児童自身が材料や用具を活用しながらその効果や可能性に気付くように計画する。(解 P93)<br>・これまで経験した材料や用具をすぐに手に取れるような環境を整えたり、試しながら新しい方法を見付けられたりできるように配慮する。(解 P93) 【3(8)】<br>・友人の表現方法や材料の使い方が自然に取り入れられるような学習環境を設定する。(解 P93)                                                                                                                                                   |
| B 鑑賞                   | (1) 鑑賞    | ア「鑑賞、思、判、表等」   | ・鑑賞する対象や鑑賞の方法を幅広く捉え、この時期の児童が、興味や関心の対象を広げる中で自分らしい見方や感じ方ができるようにする。(解 P97)<br>・対象と一体となって鑑賞する姿勢が大切であり、これを生かしながら、高学年らしい具体的な気付きを明確にし、その上で、「表現」との関連を図るようにする。(解 P98)<br>・美術館を利用したり連携を図ったりする際は、鑑賞を通して児童の見方や感じ方、考え方などが深まるように配慮する。(解 P98) 【3(4)】<br>・我が国の伝統や文化について取り扱う場合は、芸術や自然の美しさを味わっていかうとする態度の素地となるようにする。(解 P98) 【3(4)(5)】<br>・言語活動を目的とした特定の型や方法に固執せず、児童の資質・能力の育成を重視できるよう指導計画を工夫する。教師が一方的に情報を与えることがないよう配慮する。(解 P97)<br>・友人の感じ方に共感するだけでなく、それを基に自分の考え方を確かにできるよう配慮する。児童自身が決めたテーマで鑑賞の作品を集めたり、それを基に適切な人数で話し合ったりするなど、他者との交流を重視した活動を設定する。(解 P97) 【3(3)】 |
| 〔共通事項〕                 | (1)       | ア「知識」          | ○自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること<br>・児童が体験的に理解することができるよう、造形的な特徴を捉えやすいような場所で活動する、材料を比べられるようにするなど多様な学習活動を設定する。(解 P102)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|                        |           | イ「思、判、表等」      | ○形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと<br>・児童自身が自分の心に浮かんだイメージを具体化するような手立てを設定する。(解 P102)<br>・形や色などを活用してコミュニケーションを図れるよう計画する。(解 P102)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 【使用する材料や用具】 針金、糸のこぎりなど |           |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |



〔中学校第1学年〕 ※中解美…中学校学習指導要領解説美術編の略

| 目標   | <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。</p> <p>(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</p> <p style="text-align: right;">(中解美 P52)</p> |                            |                                                  |                                                                                                  |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|--------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 領域等  | 項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 事 項                        |                                                  | 内 容                                                                                              |
|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 指導内容                       | 指導事項                                             |                                                                                                  |
| A 表現 | (1) 発想や構想に関する資質・能力<br>「思考力、判断力、表現力等」                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ア感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想 | (ア) 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想                    | ○対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること(中解美 P57) |
|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | イ目的や機能などを考えた発想や構想          | (ア) 構成や装飾を考えた発想や構想                               | ○構成や装飾の目的や条件などを基に、対象の特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練ること(中解美 P61)             |
|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                            | (イ) 伝達を考えた発想や構想                                  | ○伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどの調和を考え、表現の構想を練ること(中解美 P63)                        |
|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                            | (ウ) 用途や機能などを考えた発想や構想                             | ○使う目的や条件などを基に、使用する者の気持ち、材料などから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練ること(中解美 P64)                  |
|      | (2) 技能に関する資質・能力<br>「技能」                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ア発想や構想をしたことを基に表す技能         | (ア) 創意工夫して表す技能                                   | ○材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと(中解美 P67)                                                       |
|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                            | (イ) 見通しをもって表す技能                                  | ○材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すこと(中解美 P69)                                                  |
| B 鑑賞 | (1) 鑑賞に関する資質・能力<br>「思考力、判断力、表現力等」                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ア美術作品などに関する鑑賞              | (ア) 感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現に関する鑑賞                 | ○造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること(中解美 P72)                               |
|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                            | (イ) 目的や機能などを考えた表現に関する鑑賞                          | ○目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること(中解美 P73)                       |
|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | イ美術の働きや美術文化に関する鑑賞          | (ア) 生活や社会を美しく豊かにする美術の働きに関する鑑賞                    | ○身の回りにある自然物や人工物の形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること(中解美 P74)       |
|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                            | (イ) 美術文化に関する鑑賞                                   | ○身近な地域や日本及び諸外国の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げること(中解美 P75)                        |
| 〔共通〕 | (1) 「知識」                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ア形や色彩などの性質や感情にもたらす効果の理解    | ○形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること(中解美 P78) |                                                                                                  |
|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | イ全体のイメージや作風などで捉えることの理解     | ○造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること(中解美 P78)  |                                                                                                  |

## 2 内容別題材配当表例

### 【第1学年】

(総授業数 68時間)

※このページ以降の(絵)(立)(工)という表記は、その題材の主たる活動を示す。  
 ※◎印は、適宜共同してつくりだす活動を取り上げるようにした題材を示す。  
 ※時間の「2～4」という表記は、児童や学級の実態に応じてその時間の範囲を弾力的に扱うことを表す。  
 ※主な材料・用具覧の下線は、当該学年(低・中・高学年の2学年間)で扱うべき材料または用具を示す。  
 ※〔共通事項〕は題材ごとにア、イを指導するが、本誌では主たる例としていずれか一方を示す。

| 内容                         | 題材名                              | 時間     | 学習活動                                           | 〔共通事項〕例                            | 主な材料・用具                |
|----------------------------|----------------------------------|--------|------------------------------------------------|------------------------------------|------------------------|
| 造形遊びをする活動(14時間)            | ◎しげんと ともだち<br>【3(6)(7)】          | 4      | 自然の材料を基にして、並べたり、つないだり積んだりする。                   | イ自然の材料の形や色などを基に、イメージをもつ            | 自然の材料(葉、枝、草、石、土、砂)     |
|                            | ◎ふわふわ ポンポン<br>【3(6)】             | 2      | 傘袋などをふくらませ、触った感じや動きなどを試し、形や色を楽しむ。              | ア感覚や活動を通して、形や色などに気付く。              | 傘袋、カラーポリ袋、セロハンテープ      |
|                            | ◎はこを ならべて<br>【3(6)】              | 4      | 箱を基にして、並べたり、つないだり積んだりする。                       | ア箱を並べる活動を通して、形や色などに気付く。            | 紙箱やカップなどの身近な材料         |
|                            | ◎ころころ ペったん<br>【3(6)】             | 2      | 身近な材料を写して、面白い形を見付けたり、写し方を試したりする。               | ア材料を写す活動を通して形や色などに気付く。             | 共用絵の具、スタンプ台、版画用紙、身近な材料 |
|                            | ◎おおきな かみで<br>【3(6)】              | 2      | 大きな紙をやぶいたり、さいたり、丸めたりし、形や色を変化させながら楽しく活動する。      | ア紙をやぶいたり、丸めたりする活動を通して、形や色などに気付く。   | 大きな紙                   |
| 絵や立体、工作に表す活動(53時間)         | すきな もの なあに?<br>(絵)【3(7)】         | 2      | 表したいことを見付けて、いろいろな形をかいいたり、好きな色を選んだりしながら表す。      | イかいた線の形や色などを基に、自分のイメージをもつ。         | 画用紙、クレヨン、パス、カラーペン      |
|                            | あつ みいつけた<br>(絵)                  | 2<br>4 | 切り取った紙の形や色などから表したいことを見付けて表す。                   | ア紙を切り取る活動を通して、形や色などに気付く。           | 画用紙、クレヨン、パス、カラーペン、のり   |
|                            | えのぐが スイスイ<br>(絵)                 | 4      | 色を選び、絵の具で自由な線にかく、心地よさを楽しみながら表したいことを表す。         | イ絵の具でかいた形や色を基に、自分のイメージをもつ。         | 共用絵の具、画用紙、皿、筆          |
|                            | すきな かんじに<br>はりしたいな (絵)           | 4      | 花紙の触った感じや形、色を楽しみながら、貼り付けて表す。                   | イ紙の触った感じや貼り付けた紙の形や色を基に自分のイメージをもつ。  | 花紙、水のり、画用紙             |
|                            | ウキウキ ドキドキ<br>(絵)                 | 2      | 生活の中で楽しかったことやおどろいたことを基に表したいことを見付け、形や色を考えながら表す。 | ア遊んだことなど基に絵に表す活動を通して、形や色などに気付く。    | 画用紙、クレヨン、パス、カラーペン      |
|                            | てで かいたら<br>たのしいことが (絵)<br>【3(7)】 | 2      | 液体粘土と絵の具を使って、手で感触を楽しみながら表したいことを表す。             | イ手でかいた形や色を基に、自分のイメージをもつ。           | 画用紙、共用絵の具、液体粘土         |
|                            | いっばいつくったよ<br>(立)                 | 2      | 粘土の感触を体全体で感じながら、表したいことを見付けて表す。                 | イ粘土の感触を体全体で感じたことを基に、自分のイメージをもつ。    | 粘土、粘土板                 |
|                            | ※(絵や立体<br>なかまたち (立)              | 2<br>4 | 光を通す材料を袋の中に入れ、形や色の美しさを感じながらつくる。                | ア材料を光に通す活動を通して、形や色などに気付く。          | 透明な袋、接着剤、色セロハン、セロハンテープ |
|                            | チョッキン かざり<br>(工)【3(8)】           | 4      | 色紙を選び、折ったり切ったりしながら、形を見付けてつくる。                  | ア色紙を折ったり、切ったりする活動を通して、形や色などに気付く。   | 色紙、のり、はさみ、糸            |
|                            | はこと はこを<br>つなげたら (工)             | 6      | 紙箱の組み合わせた形から発想し、つなぎ方や飾りを工夫してつくる。               | ア紙箱の組み合わせる活動を通して形や色などに気付く。         | 紙箱、接着剤、身近な材料           |
| ※(絵や立体<br>26時間、工作<br>27時間) | おさんぽ コロコロ<br>(工)【3(7)】           | 4      | 転がる仕組みを生かして、考えたおもちゃをつくる。                       | イ仕組みの動きを基に、自分のイメージをもつ。             | 紙コップ、ペットボトル、めうち        |
|                            | くしゃくしゃがみから<br>(工)                | 2      | 紙を丸めたり、ねじったりした形から発想し、工夫してつくる。                  | イ紙を操作した形を基に、自分のイメージをもつ。            | クレープ紙、のり               |
|                            | このへや いいな (工)<br>【3(7)】           | 7      | 紙箱の中に自分の部屋を発想してつくり、持ち寄って楽しむ。                   | イ紙箱の形や色などを基に、自分のイメージをもつ。           | 紙箱、接着剤、はさみ、身近な材料       |
|                            | ◎1ねんかん<br>ありがたう(絵・立・工)<br>【3(6)】 | 8      | 形や色を考えたり、材料を選んだりしながら、飾るものや贈るものをつくって楽しむ。        | イ形や色などを考えて、材料を選ぶ活動を通して、自分のイメージをもつ。 | 身近な材料、接着剤              |
|                            | でこぼこ いっぱい                        | 1      | 身の回りのものを紙にこすり出し、言葉に表すなどして互いの発見を伝え合う。           | アこすり出す活動を通して、形や色などに気付く。            | 身の回りのもの、紙、色鉛筆、クレヨン、パス  |

【第2学年】（総授業数 70時間）

| 内容                 | 題材名                              | 時間     | 学習活動                                    | 〔共通事項〕例                           | 主な材料・用具                     |
|--------------------|----------------------------------|--------|-----------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|
| 造形遊びをする活動（12時間）    | ◎ちきゅうからの<br>おくりもの 【3(6)】         | 4      | 自然の材料の形や色の組合せを楽しむ。                      | イ自然の材料の形や色を基に自分のイメージをもつ。          | 自然の材料、ひも、粘着テープ、ホチキス         |
|                    | ◎いろコレクション<br>【3(6)】              | 2      | 色水のつくり方や並べ方を試したり見付けたりして楽しむ。             | ア色水をつくる活動を通して、形や色などに気付く。          | ペットボトル、透明容器、共用絵の具           |
|                    | ◎しんぶんしと<br>なかよくなろう<br>【3(6)】     | 3      | 新聞紙から思い付いたことを基に、自分らしい発想をして表現を楽しむ。       | イ新聞紙の形や色を基に、自分のイメージをもつ。           | 新聞紙、粘着テープ、ひも                |
|                    | ◎くるくる くねくね<br>つながって 【3(6)】       | 3      | 紙を切ったり、はったり、丸めたりしてつなぐことを基に、自分らしい表現を楽しむ。 | ア紙を操作する活動を通して、形や色などに気付く。          | 紙（切り落としなど）、はさみ、のり           |
| 絵や立体、工作に表す活動（57時間） | つづきえ ゴー（絵）                       | 2      | 小さな画用紙のつなぎ方を考えながら、お話を想像して表す。            | アお話を考える活動を通して、形や色などに気付く。          | 小さい画用紙、クレヨン、パス、カラーペン        |
|                    | えのぐを たらして<br>楽しいことが（絵）           | 4      | 絵の具を画用紙に垂らしてできた模様から発想を広げて絵に表す。          | イ絵の具を垂らしてできた模様の形や色を基に、自分のイメージをもつ。 | 画用紙、クレヨン、パス、カラーペン、共用絵の具     |
|                    | わっ！ すごいなあ<br>（絵）                 | 4      | 体験を基に、驚きや感動を絵に表す。                       | イ感じたことを形や色などにして、自分のイメージをもつ。       | 画用紙、クレヨン、パス、カラーペン、共用絵の具     |
|                    | ぼかして<br>すてきなせかい（絵）               | 4      | クレヨンやパスでかいた線をぼかして、絵に表す。                 | イぼかしたクレヨンやパスの形や色を基に、自分のイメージをもつ。   | 画用紙、クレヨン、パス                 |
|                    | キラキラ<br>シャボンから・・・（絵）             | 4      | 泡からできた形や色から発想を広げて絵に表す。                  | イできた泡の形や色を基に、自分のイメージをもつ。          | 洗剤、ストロー、共用絵の具、画用紙、容器、カラーペン  |
|                    | うつして ためして<br>（絵）                 | 4      | 型紙を使ったローラー遊びから思いを膨らませて、絵に表す。            | アローラー遊びを通して、形や色などに気付く。            | 画用紙、ローラー、共用絵の具、練り板          |
|                    | おしゃれな<br>どうぶつ（立）                 | 2      | 粘土を使い、好きな動物を想像して形にする楽しさを味わう。            | ア粘土の感触を味わう活動を通して、形に気付く。           | 粘土、粘土板、粘土べら、ぞうきん            |
|                    | ぎゅっとしたい（立）                       | 2      | もんだ紙を膨らませて、思い付いたものをつくる。                 | ア紙をもむことを通して、形や色に気付く。              | クラフト紙、新聞紙、木工用接着剤            |
|                    | くつつき<br>マグネット（工）                 | 4      | マグネットでくつつくものを考えてつくる。                    | イ紙粘土の形や色を基に、自分のイメージをもつ。           | 紙粘土、磁石、共用絵の具、カラーペン          |
|                    | 紙けんだま<br>【3(7)】（工）               | 4      | 紙の形や色を考えて、けん玉をつくる。                      | イ紙の形や色を基に、自分のイメージをもつ。             | 画用紙、割り箸、糸、セロハンテープ           |
|                    | ブカブカ うかぶもの<br>（工）                | 2<br>4 | 身近な材料を使い、水に浮かぶ仕組みを生かして遊ぶものをつくる。         | イ水に浮かぶ材料の形や色、などを基に、自分のイメージをもつ。    | ビニルテープ、釘、割り箸、化学接着剤、モール、空き容器 |
|                    | カラフル カッチン<br>（工）                 | 3      | 身近な材料と木工用接着剤をまぜて、乾燥させ、飾るものをつくる。         | ア木工用接着剤をまぜる活動を通して、形や色などに気付く。      | 身近な材料、はさみ、木工用接着剤            |
|                    | わたしの おはなし<br>ロボット（工）             | 4      | 身近な材料の特徴を生かし、組み合わせで思い付いたロボットをつくる。       | ア身近な材料を組み合わせることを通して、形や色に気付く。      | 空き箱、容器、のり、身近な材料、はさみ、接着剤     |
|                    | にんじゃロープで<br>スイスイ（工）              | 2<br>4 | 糸を引くと動く仕組みから発想し、飾りを工夫して、おもちゃをつくる。       | イ動く仕組みを基に、自分のイメージをもつ。             | 厚口画用紙、輪ゴム、ストロー、たこ糸          |
|                    | カッターナイフで<br>すてきなタワー（工）<br>【3(8)】 | 4      | 紙を切ったり、立てたりすることを基に、自分らしい発想をし、工夫してつくる。   | ア紙を切ったり、立てたりすることを通して、形や色などに気付く。   | カッターナイフ、カッターマット、接着剤、色画用紙    |
|                    | ◎モンスター・<br>ワールド（絵・立・工）<br>【3(6)】 | 6      | 今までの学習を生かし、自分が考えた表現方法で自分のモンスターを想像して表す。  | イ材料の形や色などを基に自分のイメージをもつ。           | 身近な材料、紙粘土、色画用紙、接着剤、はさみ      |
| 鑑賞                 | 絵から うまれる<br>ものがたり                | 1      | 絵を基に、自分で考えたお話を紹介し合い、お互いの思いを聞きながら鑑賞する。   | ア自分や友人の作品を鑑賞することを通して、形や色などに気付く。   | 自分や友人の作品、感じたことのメモ           |



【第3学年】（総授業数 60時間）

| 内容                                   | 題材名                     | 時間          | 学習活動                                                     | 〔共通事項〕例                                  | 主な材料・用具                                              |
|--------------------------------------|-------------------------|-------------|----------------------------------------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 造形遊びをする活動（10時間）                      | ◎いつもの場所を大変身！【3(6)】      | 4           | 場所の特徴から感じたことを大切にしながら、場所の様子を変化させて楽しむ。                     | イ場所の特徴（形や色）を基に、場所を変身させるためのイメージをもつ。       | 透明なプラスチック容器、ペットボトル、枝、葉                               |
|                                      | ◎どんどんのびのびダンボール【3(6)】    | 2<br>～<br>4 | いろいろな形や大きさの段ボール箱を重ねたり並べたりするなど、体全体で関わりながら材料に親しむ。          | ア段ボールをつなげる活動から、形や色、組合せなどの感じが分かる。         | 段ボール箱、粘着テープ、段ボールカッター                                 |
|                                      | ◎チョキチョキつないで【3(6)】       | 2<br>～<br>4 | 細長い紙をたくさんつくり、量や感触、空間の特徴などから思い付いた活動を楽しむ。                  | イ細長い紙の量や感触、空間の特徴などから、自分のイメージをもつ。         | 新聞紙、広告紙、包装紙、はさみ、セロハンテープ                              |
| 絵や立体、工作に表す活動（48時間）※（絵や立体24時間、工作24時間） | 絵の具ですてきな色・形（絵）          | 2<br>～<br>4 | 色づくりを楽しみながら、思いのままにかくことを通して自分の色や形を見付ける。                   | アかくことを通して、形や色、組合せ、色の明るさなどの感じが分かる。        | 画用紙（いろいろな大きさに切っておいたもの）、 <u>水彩絵の具</u>                 |
|                                      | とびらの向こうは!?（絵）           | 4<br>～<br>6 | 伝えたいことがよく分かるように、扉の向こうに広がる世界のかき方を工夫して表す。                  | イ扉の向こうの世界を想像しながら形や色を基に、自分のイメージをもつ。       | 画用紙、色画用紙、 <u>水彩絵の具</u> 、カラーペン、カッターナイフ                |
|                                      | これにも、かけるよ（絵）            | 4           | いろいろな材料の見た感じや触った感じから、思いを膨らませ絵に表す。                        | イいろいろな材料の形や色、感触を基に表したいもののイメージをもつ。        | 麻布、段ボール、緩衝材、 <u>水彩絵の具</u> 、クレヨン、カラーペン                |
|                                      | でこぼこアニマルズ（絵）            | 6           | 厚紙や身近にある材料を使って動物等の版をつくったり、写したりすることから想像を広げ、色の効果を工夫して版に表す。 | ア版をつくって写す活動を通して、版の形や色、色の明るさなどの感じが分かる。    | 版画インク、スポンジローラー、練り板、版画用紙、厚紙、身近な材料                     |
|                                      | 光をとおして（立）【3(3)】         | 4           | 身の回りの透明な材料を集め、材料の組合せ方を考え、透明感や光を通す感じを生かしてつなぎ、立体に表す。       | イ光を通す材料の形や色などの感じを基に、つくりたいもののイメージをもつ。     | ライト、色セロハン、両面テープ、身近な材料、ペットボトルばさみ                      |
|                                      | ねん土でタウン（立）              | 2           | 粘土を丸めたりのばしたりして、自分が住んでみたい街を想像して表す。                        | ア粘土の形を変える活動を通して、形や組合せなどの感じが分かる。          | 粘土、粘土板、切り糸、粘土べら、雑巾                                   |
|                                      | 光の力でファンタジー（工）【3(3)】     | 4<br>～<br>6 | トレーシングペーパーや和紙を貼ってスクリーンをつくり、光の効果を考えながら色セロハンなどを貼る。         | ア自分の感覚や活動を通し、形や色、組合せ、色の明るさなどの感じが分かる。     | 厚紙、色セロハン、片面段ボール、トレーシングペーパー、和紙                        |
|                                      | カラフルねん土でマイショップ（工）       | 4           | 軽量紙粘土に絵の具を練り込みその色や質感を楽しみながら形や色の組合せを工夫して飾るものをつくる。         | ア色のついた紙粘土を使った活動を通し形や色、色の明るさなどの感じが分かる。    | 軽量紙粘土、粘土板、竹ひご、ひも、モール、 <u>水彩絵の具</u>                   |
|                                      | ゴムゴムトコトコ（工）【3(3)】       | 6           | ゴムの力で動く仕組みをつくり、他の材料を組み合わせ、動くおもちゃをつくる。                    | イ材料の形や色などの感じを基に、自分のつくりたいもののイメージをもつ。      | 空き容器、輪ゴム、乾電池、たこ糸、カラービニルテープ                           |
|                                      | 箱の中の物語（工）               | 4<br>～<br>6 | 半分に切った箱の中に、紙粘土や身近な材料をもとに自分の想像した世界を楽しみながら表す。              | ア箱の中に、自分だけの世界をつくる活動を通して、材料の形や色などの感じが分かる。 | 牛乳パック、紙粘土、色画用紙、カラーペン、カッターナイフ                         |
| 鑑賞                                   | トントントントンくぎトントン（工）【3(8)】 | 4           | 釘打ちを試しながら、釘の打ち方、釘の並べ方、木切れのつなぎ方を工夫して表す。                   | イ釘を打った感触やできた形をとらえ、つくりたいもののイメージをもつ。       | 木切れ、 <u>板材</u> 、枝、 <u>金づち</u> 、 <u>釘</u> 、毛糸、モール、輪ゴム |
|                                      | ◎カードでゲーム～作品となかよし～       | 2           | 絵葉書や印刷物など作品図版による絵合わせや仲間集めなどのゲームで美術作品と親しむ。                | ア身近な美術作品に親しみながら、形や色などの形、表現方法の違いが分かる。     | カレンダーや写真、絵葉書やカード、美術館の図版                              |

【第4学年】（総授業数 60時間）

| 内容                 | 題材名                            | 時間          | 学習活動                                                          | 〔共通事項〕 例                             | 主な材料・用具                            |
|--------------------|--------------------------------|-------------|---------------------------------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| 造形遊びをする活動（10時間）    | ◎かげは友達<br>【3(6)】               | 2<br>～<br>4 | いろいろな材料を組み合わせてできる影の形や色の映り方を楽しむ。                               | イ光がつくりだす影の形や色などの感じを基に、自分なりのイメージをもつ。  | 光源、ロール紙や白布、ひも、ビニルテープ、デジタルカメラ       |
|                    | ◎囲んで囲んで<br>すてきな場所に<br>【3(6)】   | 2<br>～<br>4 | 仕切ることから生まれた空間と様々な材料との関わりから見慣れた場所に対する感じ方が変わることを楽しむ。            | ア囲んだ場所の様子と材料を組み合わせてできたものの形や色の感じが分かる。 | ポリエチレンシート、PPテープ、養生テープ、油性マーカー       |
|                    | ◎つないで<br>つないで【3(6)】            | 4           | 新聞紙や棒状のものなどの材料をどんだんつないで、つなぎ方や組合せなどを工夫して、楽しむ。                  | イ長い材料の形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつ。        | 新聞紙、割り箸、竹ひご、麻ひも、ひも、はさみ             |
| 絵や立体、工作に表す活動（48時間） | 絵の具で遊んで<br>いろいろ色紙（絵）           | 4           | 筆を使った技法以外の絵の具遊び（モダンテクニック）を通しての模様づくりや、できたものを組み合わせて楽しむ。         | ア絵の具遊びを通して、形や色などの感じが分かる。             | 画用紙、色画用紙、ぼかし網、スポンジローラー、歯ブラシ        |
|                    | こつこつほりほり<br>夢の世界（絵）<br>【3(8)】  | 6           | 彫る前に一度刷り、その後、刷った紙の形や色から想像を広げ、版木を彫り、2版を重ねて刷る。                  | イ彫る形や刷る色の組合せを基に、自分のイメージをもつ。          | 合板、版画用紙、版画インク、ローラー、練り板、ばれん、彫刻刀     |
|                    | 物語の1ページ<br>（絵）                 | 6           | 物語の好きな場面の様子を想像し、形や色の組合せを考えて絵に表す。                              | ア物語の好きな場面の様子を想像しながら、形や色、組合せの感じが分かる。  | 画用紙、色画用紙、水彩絵の具、クレヨン、パス、カラーペン       |
|                    | 森から生まれる<br>すてきな世界（立）<br>【3(8)】 | 2<br>～<br>4 | 木の材料の特徴を生かしながらかつくりたいもののイメージをもち、組合わせて、立体に表す。                   | ア木の材料を組み合わせる活動を通して、形や色、組合せの感じが分かる。   | 木・枝・板材・木の実、身近な材料、のこぎり、釘、金づち、接着剤    |
|                    | ドロドロかっちゃん<br>（立）               | 4<br>～<br>6 | 布やいろいろな材料を組み合わせた形を液体粘土で固め、色を塗ったり、様々な材料を組み合わせてたりして、立体に表す。      | イ布や材料が、液体粘土で固まってできる形を基に、自分のイメージをもつ。  | 布、身近な材料、液体粘土、段ボールカッター、接着剤、水彩絵の具    |
|                    | ※ バタバタパック<br>（工）               | 4<br>～<br>6 | 輪切りにした牛乳パックを材料に、簡単な仕組みを使った動くおもちゃをつくる。                         | ア自分の感覚や活動を通して、形や色、動きの組合せなどの感じが分かる。   | 牛乳パック、割り箸、色画用紙、クリップ、モール、カッターナイフ    |
|                    | ハッピーカード<br>（工）                 | 4           | 飛び出すものの形を考え、使う仕組みを選び、色画用紙などでカードをつくる。                          | ア飛び出すカードづくりを通して、形や色などの感じが分かる。        | 画用紙、色画用紙、折り紙、カッターナイフ、水彩絵の具、カラーペン   |
|                    | 箱をつなげて<br>マイボックス（工）            | 4<br>～<br>6 | 造形紙などの材料を使って、箱状のものをづくり、組合わせて、生活に役立つ小物入れをつくる。                  | イ製作した箱の形や色などを基に、自分でつくりたいもののイメージをもつ。  | 厚口造形紙、接着剤、カッターナイフ、クリップ、身近な材料、水彩絵の具 |
|                    | ギコギコ<br>アーティスト（工）<br>【3(8)】    | 6           | 木でできた身近なものを思い浮かべ、板や木切れなどを切った形を基に、生活に使えるものをつくる。                | ア木片を組み合わせる活動を通して、形や色、組合せの感じが分かる。     | 角材、板材、のこぎり、金づち、釘、紙やすり、接着剤          |
|                    | らんらんランプ<br>（工）                 | 4           | 色セロハンなどの光を透す材料で、自分の気に入った模様をペットボトルなどの透明容器に施し、中から発した光に色をつけて楽しむ。 | イ光を透す形や色などを基に、自分なりのイメージをもつ。          | 油性マーカー、色セロハン、アルミホイル、LEDライト         |
| 鑑賞                 | ◎探検！発見！<br>かくれた形！<br>【3(8)】    | 2           | 校内や身の回りで、顔や生き物に見える場所やものを探し出し、デジタルカメラで撮って、発表し合う。               | イいろいろな見方を紹介し合う中で、形や色を基に自分のイメージをもつ。   | デジタルカメラ、プロジェクター                    |

【第5学年】（総授業数 50時間）

| 内容                                  | 題材名                        | 時間          | 学習活動                                                                | 〔共通事項〕 例                                          | 主な材料・用具                                 |
|-------------------------------------|----------------------------|-------------|---------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 造形遊びをする活動（6時間）                      | ◎風を感じてとらえて 【3(6)】          | 2           | 目に見えない風を身近な材料を使ってつかまえ、その動きや形が変化する美しさをとらえ、見せ方を工夫する。                  | イ風によって動くものの形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。            | 布、リボン、紙テープ、PPテープ、棒                      |
|                                     | ◎こんなところに！？【3(6)】           | 2           | 身近な場所の特徴を生かして、材料の組み合わせ方や使い方を工夫して楽しい空間に変身させる。                        | ア場所の特徴を生かした空間と材料とを組み合わせる活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。 | 紙類、カラーペン、水彩絵の具、身近な材料、デジタルカメラ            |
|                                     | ◎自然のキャンパス 【3(6)】           | 2           | 季節を感じる材料や場所を基に、自然の材料に身近な材料を加えて、活動を楽しむ。                              | イ季節を感じる材料や場所などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。              | 葉と枝、木の実、段ボール、ひも                         |
| 絵や立体、工作に表す活動40時間 ※（絵や立体20時間、工作20時間） | 春のきもちを（絵）                  | 4<br>～<br>6 | 春の息吹にふれ、風や匂いなどから感じたことを形と色などで表す。                                     | イ春の風景の色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。                   | 画用紙、水彩絵の具、カラーペン、クレヨン                    |
|                                     | 心に浮かぶカラーワールド（絵）            | 4           | 写真や本から想像して、心に浮かんだまだ見ぬ世界の形や色で自分の思いに合った表し方を工夫して表す。                    | イ写真や本から心に浮かんだ形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。          | 画用紙、水彩絵の具、紙粘土、段ボール、ひも、砂                 |
|                                     | 色を重ねて心を重ねて（絵）【3(1)】        | 4<br>～<br>6 | 心に感じたことをもとに、想像を広げ、線や形、色の重なりを生かして版に表す。                               | ア自分の感覚や活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。                  | スチレンボード、版画インク、ローラー、インク練り板、カッターナイフ、身近な材料 |
|                                     | のばして切ってくっつけて（立）            | 2           | 板状にした粘土を切り取ったり、切り起こしたりしたものを組み合わせて、立体に表す。                            | ア粘土を切ったり切り起こしたりする活動を通して、形などの造形的な特徴を理解する。          | 土粘土、切糸、粘土べら、たたら板、のし棒                    |
|                                     | くねくね ぐるぐる 生まれたものは（立）【3(8)】 | 4           | アルミ線、間伐材、紙テープなどの線材を曲げたり巻いたりした形から思い付いたことを工夫して表す。                     | イ線を組み合わせた形などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。                | アルミ線、針金、モール、ペンチ、ラジオペンチ、間伐材等             |
|                                     | 糸のこ de Go Go（工）【3(8)】      | 6<br>～<br>8 | 電動糸のこぎりを使って、板を曲線に切って、生まれた形から発想し、その板を組み合わせて新しい形に表す。                  | ア切った板の形や色の組合せを試す活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。         | 合板、電動糸のこぎり、水彩絵の具、（接着剤）                  |
|                                     | ビー玉 コロコロ大冒険（工）             | 6           | 材料や仕組みを工夫して、ビー玉が楽しく転がるおもちゃをコースやしかけを考えたり、形や色を工夫したりしてつくる。             | ア遊ぶものをつくる活動を通して、形や色、動きなどの造形的な特徴を理解する。             | 段ボール、板材、色画用紙、紙バンド、接着剤、はさみ               |
|                                     | ダンダンだんボール（工）               | 6<br>～<br>8 | 段ボールの材料としての可能性を試して活動する。切る・折る・剥がす・水につけて加工する活動から発想して表す。               | ア材料との関わりを通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。                   | 段ボール、段ボールカッター、カッターナイフ、接着剤、（ポスターカラー）     |
| 鑑賞（4時間）                             | ◎カードでトーク                   | 2           | アートカードやポストカードを使って、感じたことを伝え合う。                                       | アカードの作品を見比べる活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。             | アートカード、ポストカード                           |
|                                     | ◎どこに かくれて いるのかな            | 2           | 植物や生き物の「擬態」について知り、身近な場所やそのものの特徴を生かしてかき表したり、自他の作品を鑑賞し発想のよさを伝え合ったりする。 | イ身近な場所の中にある形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。            | 画用紙、水彩絵の具                               |



【第6学年】（総授業数 50時間）

| 内容                                   | 題材名                         | 時間          | 学習活動                                                                    | 〔共通事項〕例                                              | 主な材料・用具                           |
|--------------------------------------|-----------------------------|-------------|-------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 造形遊び（6時間）                            | ◎光とかげのハーモニー<br>【3(6)】       | 2           | 電球や LED ライト、光源を使って、光を通すものを組み合わせて、光や影を工夫して映し出して楽しむ。                      | イ光と影の形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。                     | 光源、プロジェクター、LED 懐中電灯、光を通す材料        |
|                                      | ◎ひらいてならべてつるして<br>【3(6)(8)】  | 2           | 開いた傘を使って、校舎の内外の広い空間に働きかけて場所の変化を楽しんだり、自分たちの思いを表したりする。                    | ア傘を開いた時の形や色から発想する活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。           | 不用の傘、針金、ペンチ、ビニルテープ、PP テープ、デジタルカメラ |
|                                      | ◎一瞬の水をとらえて<br>【3(6)】        | 2           | 水が流れたり飛び散ったりする様子を捉えたあと、水に触れたり動かししたりしながら表したい水の姿をつくる。                     | イ素材や場所などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。                       | 色セロハン、バケツ、ひしゃく、じょうろ、デジタルカメラ       |
| 絵や立体、工作に表す活動（40時間）※（絵や立体20時間、工作20時間） | 心に咲いた花（絵）                   | 4<br>5<br>6 | 見たり想像したりした花から発想を広げて、感じたままに楽しみながら自分の好きな形や色で表す。                           | イ花の形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。                       | 画用紙、水彩絵の具、クレヨン、カラーペン              |
|                                      | 墨と筆から（絵）                    | 4           | 墨や用具の特徴を生かして自分の表したいことを見付け、いろいろ試しながら自分の思いに合う表し方を工夫して表す。                  | イ墨と筆から生まれる形や線、色の濃淡などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。           | 和紙、刷毛、小皿、墨汁、筆、スポイト、文鎮、筆洗          |
|                                      | 版で表す心の模様（絵）                 | 4           | スチレンボードの特徴とこれまでの経験を生かして、型押しやボードの分解・再構成をしながら版で表す。                        | イ版で表現できる形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。                  | スチレンボード、版画用和紙、水性版画インク、身近な材料       |
|                                      | 水の流れを（立）                    | 2           | ガラスが溶けて流れたり溜まったりする様子をイメージしながら、どのような流れにするのか、どんな形にするのか、想像しながら粘土で表す。       | ア水の流れや溜まる様子をイメージする活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。          | 焼成用粘土、ガラス片、かきべら、切り糸、のし棒、竹ぐし、      |
|                                      | 白い世界を（立）                    | 4<br>5<br>6 | 身近な材料と液体粘土を使い、思いのままに形ができる美しさを味わいながら、自分の想像する白の世界を広げて表す。                  | ア身近な材料と液体粘土で立体に表す活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。           | 布、空き缶、液体粘土、紙類、針金、角材、板、釘、金づち       |
|                                      | 動いてはじまるストーリー（工）             | 6           | かんたんな仕組みや動き方を試しながら、動く面白なおもちゃを形や色、バランスを考えながら工夫してつくる。                     | ア簡単な仕組みと動き方を試す活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。              | 紙箱、包装紙、針金、ペンチ、竹ぐし、ストロー            |
|                                      | 自分の力で～板から生活に役立つもの～（工）【3(8)】 | 6<br>7<br>8 | 一枚の板から、用途や仕組みを考えて、つくりたい思いを膨らませながら生活に役立つものをつくる。                          | ア板を切ったり組み合わせたりしてできる姿をイメージする活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。 | 板、電動糸のこぎり、釘、金づち、紙やすり、水彩絵の具        |
|                                      | 夢をかなえて（工）                   | 6<br>7<br>8 | やってみたいこと、仕事などをしていて時の様子を想像し、思いを広げて自分の将来の姿がよりよく伝わるように工夫しながらつくる。           | ア将来の自分をイメージする活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。               | 紙箱、紙粘土、板材、木片、白ボール紙、アルミ線、金づち、水彩絵の具 |
| 鑑賞（4時間）                              | ◎この絵どう見る？<br>【3(4)】         | 2           | 絵画作品をよく見て絵の中から見付けたことや感じたこと、想像したことなどを友達と話し合うことで、自分や友達の見方や考え方、発想の面白さに気付く。 | ア自他の感じ方を伝え合う活動を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。                | 関係する資料                            |
|                                      | ◎和の心日本の美                    | 2           | 私たちの暮らしを楽しく豊かにしている「和の形」にふれ、よさや美しさを感じ取る。                                 | イ日本の美術のよさや美しさなどの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。                | ワークシート、実物投影機、家庭で見付けた和を感じる物        |

3 題材及び1単位時間の指導計画作成の留意事項

| 〔題材の指導計画作成の留意事項〕                                                                                                                                                                                                                                                                               | 〔1単位時間の指導計画作成の留意事項〕                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画を基に、児童の実態を踏まえ、題材の造形的なよさや美しさ、特性をつかみ、指導の内容や評価の観点を整理し焦点化する。</li> <li>・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「造形的な見方・考え方」を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習を計画する。</li> <li>・育成を目指す資質・能力を明確にし、「つくり、つくりかえ、つくる」という学習過程を設定する。</li> <li>・〔共通事項〕を視点に言語活動を効果的に位置付ける。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が教える場面と児童に考えさせる場面を明確にして計画する。</li> <li>・本時の目標の実現に向け、提案（導入）、指導（活動中）、まとめ（終末）を工夫する</li> <li>・対話によって児童の考えなどを広げたり深めたりする。</li> <li>・互いの活動や作品を見合いながら考えたことを伝え合ったり、感じたことや思ったことを話したりするなどの言語活動を充実させる。</li> <li>・学習の振り返りを行い自身の学びや変容を自覚できるようにする。</li> <li>・自分の成長やよさ、可能性などに気付き、次の学習につなげるようにする。</li> </ul> |

## 第8節 家 庭

### 第1 指導計画の作成

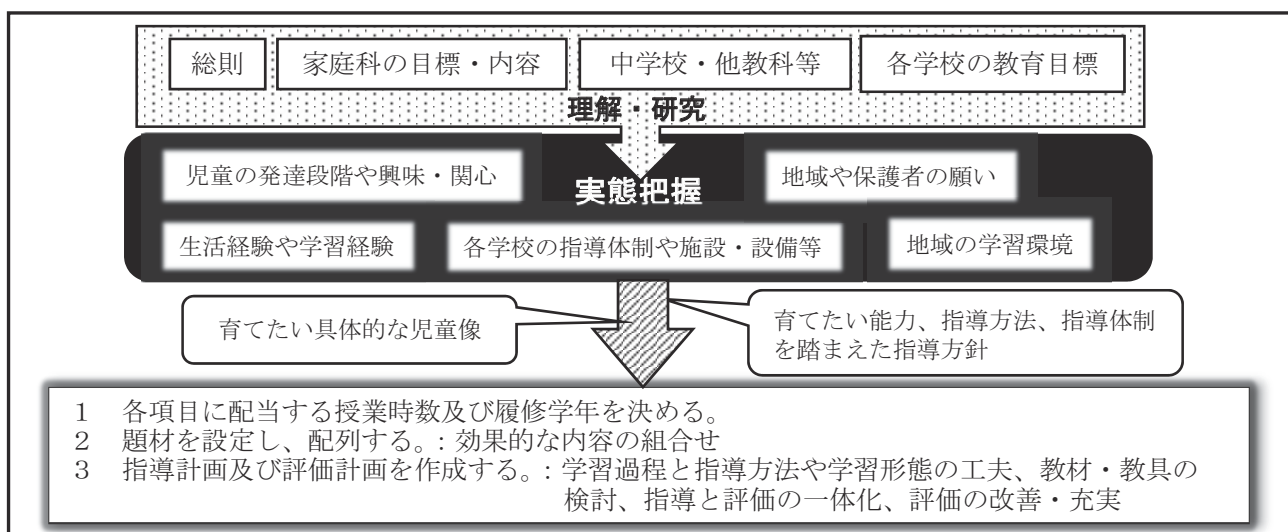
#### 1 指導計画作成の基本的な考え方

学習指導要領の目標を踏まえて、2学年にわたって学習する内容を「A家族・家庭生活」「B衣食住の生活」「C消費生活・環境」で示しているが、これらは指導の順序や三つの内容別に指導を示しているものではない。

指導に当たっては、各内容の各項目の指導の順序を工夫し、各指導事項ア、イとの関連を図って題材を構成し、効果的な学習指導ができるよう年間計画を作成する。

#### 2 指導計画作成の一般的な手順

2学年間を見通した全体的な指導計画の作成に当たっては、次のような手順が考えられる。



#### 3 指導計画作成に当たっての留意すべき事項

- (1) 「特別な配慮を必要とするなど課題を抱えた児童への指導」の視点（解P70、71）  
個々の児童によって、学習活動を行う場合に生じる困難さが異なることに留意し、困難さに応じた指導内容や指導方法を工夫する。その際、児童の学習負担や心理面にも配慮する。
- (2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点（解P67、68）  
題材などの内容や時間のまとまりの中で育む資質・能力の育成に向けて、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図る。その際、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、知識と生活経験等と関連付けて深く理解するとともに、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し様々な解決方法を考え、他者と意見交流し、実践を評価・改善して、新たな課題を見いだす過程を重視した学習の充実を図る。
- (3) 「教科等横断的」な視点（解P4、5）  
指導に当たって、他教科等の指導内容の関連を検討し、指導の時期や指導の方法などについて相互の関連を考慮して指導することが考えられる。また、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していく。
- (4) 「社会に開かれた教育課程」の視点（解P2）  
教育課程の編成に当たって、社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、求められる資質・能力を教育課程において明確化し育み、地域の人的・物的資源を活用する。
- (5) 「道徳教育の充実」の視点（解P71、72）  
家庭科と道徳科で扱う内容や教材の中で、適切なものを相互に活用すると効果的である。
- (6) 各項目に配当する授業時数及び各項目の履修学年（解P68、69）  
児童や学校、地域の実態等を考慮し、各学校において適切な授業時数を配当する。2学年間を通して履修学年や指導内容を適切に配列すること。2学年間の学習の見通しをもたせるために、第5学年の最初に、ガイダンスを設定する。（編P133チェック表参照）

(7) 「A 家族・家庭生活」の(4)の指導（解P 69）

「家族・家庭生活についての課題と実践」については、それまでの学習により習得した知識及び技能などを十分に活用できるようにする。A、B、Cの内容の関連を図り、2 学年間で一つ又は二つの課題を設定し、時期を考慮して実施する。

(8) 段階的な題材の配列（解P 69）

学年の発展性や系統性、季節、学校行事、地域等との関連を考え配列する。基礎的なものから応用的なものへ、簡単なものから複雑なものへというように、次第に発展する内容であることに留意する。また、反復が必要なものについては、題材に繰り返し位置付けるなど、指導計画を工夫する。

題材の構成（解P 69、70）

育成する資質や能力を明確する。関連する内容の組合せを工夫したり、学習過程との関連を図ったりする。児童や地域の実態に合わせ、身近な題材を設定するよう配慮する。

|       | 食生活                                                             | 衣生活                |
|-------|-----------------------------------------------------------------|--------------------|
| 題材の指定 | ・日本の伝統的な文化を重視し、継承するための米飯とみそ汁<br>・ゆでる材料として青菜やじゃがいも・和食の基本となるだしの役割 | ゆとりや縫いしろを理解させるための袋 |

4 内容の取扱いと指導上の配 事項（解P 72～78）

(1) 言語活動の充実

家庭科では国語科を中心として育まれた言語能力を基に、調理や製作等における体験を通して生活の中の様々な言葉を実感を伴って理解するようにしたり、観察や実習等の際のレポート作成や考察、思考したことを発表したりするなどの言語活動を通して、教科のねらいをより確実に定着させることができるようにする。

(2) コンピュータや情報通信ネットワークの活用

実習等における情報の収集・整理や、実践結果の発表などを行う際に、コンピュータをはじめとする情報機器を効果的に活用する。

(3) 実践的・体験的な活動の充実

実践的・体験的な活動を中心とし、児童が習得した知識及び技能を生活の場で生かすことができるよう、児童の実態を踏まえた具体的な活動を設定する。何をどのように学び、生活のどの場面でどのように生かすのかを児童がイメージし、実践できるようにする。

(4) 個に応じた指導の充実

児童一人一人の個性を生かし伸ばすために、ティームティーチングや少人数指導を取り入れたりと、教材・教具を工夫したりする。また、学習形態の工夫や、児童の家庭科における実態をもとにした学習場面でのグループやペアなどのメンバー構成を考えるなど、効果的な学びができるようにする。

(5) 家庭や地域との連携

家庭や地域との連携を積極的に図り、児童が習得した知識及び技能を定着させていく。そのために、日ごろから家庭が家庭科の授業への関心をもてるよう、家庭科の学習内容を広くアピールしたり、授業におけるボランティアを要請したりするなど、計画的に行う。家庭・地域との連携が児童の学習を学校とともに支えていることを理解し、連携体制を持続させる。

(6) 実習の指導

家庭科は実践的・体験的な活動を通して学習するという特徴がある。その中心的な学習活動である調理や製作などの実習を安全かつ効果的に進めるために、事故防止、安全管理、衛生管理に十分配慮し、指導を徹底する。米飯とみそ汁、青菜とじゃがいも以外は題材を指定していないため、地域や学校、児童の実態に応じた多様な食品を用いることができる。その際、食物アレルギーへの対応には、十分配慮し、食品の扱い方に注意した適切な活用を図る。



## 第2 指導計画作成のための資料

### 1 内容、項目、事項について

内容の指導に当たっては、第4学年までの学習を踏まえ、他教科等との関連を考慮しながら、各内容の系統性を明確にして指導ができるよう配慮する。各内容の指導事項アは、知識及び技能の習得に係る事項、各内容の指導事項イは、アで習得した知識及び技能を活用して思考力、判断力、表現力等を育成することに係る事項である。それらの指導事項ア及びイは、学習過程を踏まえ、関連を図って取り扱う。

なお、家族構成や児童のプライバシーに十分配慮する。

【3(2)】、【3(3)】等について例示として示しているが、他の内容でも該当することが考えられる。授業を組み立てる際に、題材など内容や時間のまとまりを見通してこれらの視点を働かせ、授業改善を進めることが求められる。

#### (1) 各項目に示す事項のねらい、配慮事項及び活動例

| 内容・項目・事項・ねらい                                  |                                                                                                                  | *配慮事項                                                                                                                                                                                                                                                                  | ○活動例 | ☆各教科等の関連 |
|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------|
| A<br>家族・<br>家庭<br>生活                          | (1) 自分の成長と家族・家庭生活                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |          |
|                                               | ア 自分の成長の自覚、家庭生活と家族の大切さ、家族との協力                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |          |
|                                               | ・これまでの自分の生活を振り返るとともに、各内容と関連させ、自分の成長を自覚することを通して、家庭生活と家族の大切さや、家庭生活が家族の協力によって工夫して営まれていることに気付く。                      | * AからCまでの各内容の学習と関連を図り、日常生活における様々な問題について、家族や地域の人々との協力、健康・快適・安全、持続可能な社会の構築を視点として考え、解決に向けて工夫することが大切であることに気付かせる。【3(2)(4)】<br>○学期や学年の終わりなど学習の区切りの時期に、実践記録などから学習の成果を振り返ることを通して自分の成長への気づきが段階的に深まるようにする。<br>☆道徳科「家族愛、家庭生活の充実」【3(5)】                                            |      |          |
|                                               | (2) 家庭生活と仕事                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |          |
|                                               | ア 家庭の仕事と生活時間                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |          |
|                                               | ・家庭には衣食住や家族に関する仕事があり、自分や家族の生活を支えていることが分かる。<br>・家族が協力し、仕事を分担する必要があることや生活時間の有効な使い方が理解できる。                          | * 家庭の仕事の分担と生活時間の有効な使い方を関連付けて扱う。<br>○家庭での家族の生活や仕事を観察したり、家庭の仕事をされていてうれしいのはどんなときかインタビューしたりする。<br>○自分と家族の生活時間の使い方を比較することで、家族の生活や家庭の仕事と関連付け、自分の生活時間の使い方を見直すようにする。                                                                                                           |      |          |
|                                               | イ 家庭の仕事の計画と工夫                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |          |
|                                               | ・家族との協力や健康・快適・安全などの視点から家庭の仕事の計画を考え、工夫することができる。                                                                   | * 児童の家庭の状況に十分配慮し、家庭との連携を図るようにする。<br>* 「B 衣食住の生活」と関連を図り、衣食住に関わる仕事を具体的に実践できるよう配慮する。<br>○B (6)「快適な住まい方」の整理・整頓や清掃の仕方を取り上げ、効率よく行うために家族と協力して分担するための実践計画を考え、工夫して活動に取り組む。【3(2)(3)】                                                                                             |      |          |
|                                               | (3) 家族や地域の人々との関わり                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |          |
|                                               | ア(ア) 家族との触れ合いや団らん                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |          |
|                                               | ・日常生活で、家族に気持ちを伝えたり触れ合う場をもったりすることで、家族相互のつながりが深まることが分かり、触れ合いや団らんの大切さについて理解できる。                                     | * 自分の家庭生活との結び付きを考えながら学習するようにし、児童の家庭の状況に応じた方法で課題を解決していくことができるように配慮する。<br>○普段何気なく過ごしている触れ合いの場や団らんを楽しむことの大切さや日々の感謝の気持ちを表した手紙やメッセージカードを添えた手作りの品など心豊かに家庭生活を送るための工夫をする。<br>☆道徳科「家族愛、家庭生活の充実」【3(5)】                                                                           |      |          |
|                                               | (イ) 地域の人々との関わり                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |          |
|                                               | ・家庭生活が地域の人々と関わりをもちながら成り立っており、異なる世代の人々との関わりや地域の人々との協力が大切であることが理解できる。                                              | * 家庭や地域と積極的に連携を図り、具体的な場面から、家庭生活と地域とのつながりや地域の人々との協力の大切さについて気付くことができるようにする。<br>○地域における生活のルールやマナーを調べたり、B (6)「快適な住まい方」との関連を図ったり、家族や地域の人々と快適に住まうために、生活の仕方によって発生する生活音等を取り上げたりして、自分の行動や生活を見直す。【3(4)】<br>☆特別活動「異学年交流」等、総合的な学習の時間「福祉教育・環境教育」等【3(3)】                             |      |          |
|                                               | イ 家族や地域の人々との関わり方の工夫                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |          |
|                                               | ・家族や地域の人々との協力などの視点からよりよい関わりについて考え、工夫することができる。                                                                    | * 他教科等における学習と関連させて、幼児や低学年の児童、高齢者などの異なる世代の人々との関わりについても扱う。【3(3)】<br>○家族や地域の人々との直接的な触れ合いの場について、招待状を準備したり、お茶や果物を供したり、楽しく和やかに過ごす工夫を考えて計画し実践する。【3(2)(3)】                                                                                                                     |      |          |
|                                               | (4) 家族・家庭生活についての課題と実践                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |          |
|                                               | ア 日常生活についての課題と計画、実践、評価                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |          |
|                                               | ・これまでの学習との関連を図り、日常生活の中から問題を見出して課題を設定し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考えたことを表現するなどの学習を通して、課題を解決する力と生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。 | * 学校や地域の行事等と関連付けて実践的な活動を実施する。【3(7)(8)】<br>* 家庭や地域での実践が難しい場合には、実践の場を学校に求めるなどの配慮をすることで、児童が安心して学習に取り組み、自分の家庭生活を見つめることができるようにする。<br>* 2学年間で一つ又は二つの課題を設定して履修する。<br>○地域の高齢者や幼児、低学年の児童が参加する行事等で、交流したり協力したりすることを課題として設定し、交流会へ向けて、簡単な調理や必要な材料などを購入する計画を立てて実践し、評価・改善する。【3(2)(3)】 |      |          |
| (1) 食事の役割                                     |                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |          |
| ア 食事の役割と食事の大切さ、日常の食事の仕方                       |                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |          |
| ・食事の役割が分かり、日常の食事が大切であることや、日常の食事の仕方について理解できる。  | ○食事の仕方を実物や情報機器の活用により考えたり、学校給食や調理実習の試食の際にマナーや食器の扱いについて話し合ったりする。【3(3)】<br>☆第3・4学年体育科「健康な生活に関する学習」等、第4学年までの食に関する学習  |                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |          |
| イ 楽しく食べるための食事の仕方の工夫                           |                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |          |
| ・楽しく食べるために、健康などの視点から食事の仕方を考え、工夫することができるようにする。 | ○A (3)「家族や地域の人々との関わり」と関連させ、低学年の児童との交流給食など共に楽しく食べるための計画を立て、自分の食事の仕方の自覚と改善方法を考え、工夫する。【3(2)(3)】                     |                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |          |
| (2) 調理の基礎                                     |                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |          |

|                                 |                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                |
|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| B<br>衣<br>食<br>住<br>の<br>生<br>活 | ア(ア) 材料の分量や手順、調理計画                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                |
|                                 | ・調理に必要な材料の分量や手順が分かり、手際よく調理を進めるための調理計画について理解できる。                                      | ＊材量の分量は、一人分の量から考えておよその量が分かるようにする。<br>＊手順については、材料を洗ってから切るなどの調理の手順を理解できるようにする。<br>○身支度を整えて、必要な材料や調理器具等を準備し、調理の手順を確認し、グループでの協力の仕方を考え、時間配分をする。                                                                                     |
|                                 | (イ) 用具や食器の安全で衛生的な取扱い、加熱用調理器具の安全な取扱い                                                  |                                                                                                                                                                                                                                |
|                                 | ・調理に必要な用具や食器を取り上げ、安全で衛生的な取扱いについて理解して適切に使用できるようにするとともに、加熱調理器具の安全な取扱いについて理解し、適切に使用できる。 | ＊包丁の安全な取扱いと食器やまな板、ふきんの衛生的な取扱いについて理解し、適切にしようできるようにする。<br>＊実習で使用する加熱用調理器具の特徴が分かり、火傷の防止などに留意して、安全な取扱いができる。<br>＊調理用具の安全な使い方を視覚的に捉えられる掲示物で明示する。【3(1)】                                                                               |
|                                 | (ウ) 材料に応じた洗い方、調理に適した切り方、味の付け方、盛り付け、配膳及び後片付け                                          |                                                                                                                                                                                                                                |
|                                 | ・材料に応じた洗い方、調理や食べやすさに配慮した切り方、適度な味の付け方、おいしく見える盛り付け、配膳及び後片付けを理解し、適切にできる。                | ＊洗い方や切り方を示範する場合には、実物投影機やタブレット端末等情報機器を活用して、手元がよく見えるようにする。<br>＊盛り付けや配膳については、B(1)「食事の役割」と関連させ、学校給食の時間を活用して効果的な指導を行う。【3(3)】<br>＊調理をすることによって出たごみや残菜、油などを排水口に流さないようにしたり、適切に分別したりできるようにする。<br>○汚れを余り布や古紙などで拭き取ってから洗う。                 |
|                                 | (エ) 材料に適したゆで方、いため方                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                |
|                                 | ・ゆでたり、いためたりする調理の仕方について理解し、材料や調理の目的に応じて適切に加熱操作ができる。                                   | ＊生の魚や肉は扱わない。<br>＊じゃがいもの芽や緑化した部分は、取り除く。<br>＊実習や実験を取り入れ、ゆで方、いため方の手順等の根拠について考える。<br>○ゆでる材料として青菜やじゃがいもを扱う。【3(9)】<br>○食品の変化を実感させるために、野菜やいも類、卵などについてゆで時間を変えて実験を行い、硬さ、色、味などを観察する。                                                     |
|                                 | (オ) 伝統的な日常食の米飯及びみそ汁の調理の仕方                                                            |                                                                                                                                                                                                                                |
|                                 | ・米飯とみそ汁が我が国の伝統的な日常食であることや、調理の仕方を理解し、適切に調理できる。                                        | ＊体験的な活動を通して、なぜそうするのか、手順の根拠について考えたり、観察して気付いたことなどを実感をもって言葉で表現したりする学習活動を取り入れ、理解を深める。【3(9)】<br>○だしをとったみそ汁とだしのないみそ汁を比較し、和食の基本となるだしの役割について話し合う。<br>○米飯については硬い米が柔らかい米飯になるまでの炊飯に関する一連の操作や変化について理解し、炊飯することができるようになる。<br>☆第4学年までの食に関する学習 |
|                                 | イ おいしく食べるための調理計画及び調理の工夫                                                              |                                                                                                                                                                                                                                |
|                                 | ・おいしく食べるために、健康・安全などの視点から、調理計画や調理の仕方を考え、工夫することができる。                                   | ＊調理計画においては、一人で調理する場合の計画についても考えることができるようにする。<br>○米飯とみそ汁、ゆでたりいためたりする調理、それらを組み合わせた朝食などについて、調理計画を考え、調理の仕方を工夫する。【3(2)(3)】                                                                                                           |
|                                 | (3) 栄養を考えた食事                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                |
|                                 | ア(ア) 体に必要な栄養素の種類と働き                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                |
|                                 | ・体に必要な栄養素の種類と主な働きについて理解し、栄養を考えて食事をとることの大切さが分かる。                                      | ＊名称や働きを覚えることだけに重点を置くのではなく、体に必要な要素を食事によってとっていることに気付き、栄養を考えて食事をとることの大切さが分かるようにする。<br>○日常食べている食品に主に含まれる五大栄養素の種類や働きを調べて発表したり、栄養を考えて食事をとるにはどうしたらよいかを話し合ったりする。<br>☆第5学年理科「植物の種子の中の養分に関する学習」【3(3)】                                    |
|                                 | (イ) 食品の栄養的な特徴と組合せ                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                |
|                                 | ・食品は含まれる栄養素の特徴により三つのグループに分けることができることや料理や食品を組み合わせると必要があることが理解できる。                     | ＊食品には複数の栄養素が含まれていることから、必ずしもいずれかのグループに厳密に分類しなくてもよい場合があることに配慮する。<br>○日常の食事や給食に使われている食品や実習で使った食品を調べてグループ分けする。                                                                                                                     |
|                                 | (ウ) 献立を構成する要素、献立作成の方法                                                                |                                                                                                                                                                                                                                |
|                                 | ・献立を構成する要素として主食、主菜、副菜があることが分かり、1食分の献立作成の方法について理解できる。                                 | ＊主食、主菜、副菜の組合せにより、栄養バランスがよくなることに気付き、組み合わせることの大切さが分かるようにする。<br>＊米飯とみそ汁を中心とした1食分を扱う。<br>○主菜、副菜を例示の中から選択し、献立に含まれる食品を三つのグループに分けて栄養バランスを確認する。                                                                                        |
|                                 | イ 1食分の献立の工夫                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                |
|                                 | ・健康などの視点から、栄養のバランスを考え、1食分の献立を工夫することができる。                                             | ○調理実習と関連を図り、米飯とみそ汁、ゆでたりいためたりしたおかずなどのような料理や食品を加えれば1食分の献立として栄養のバランスがよくなるのか考え、工夫する。【3(2)(3)】                                                                                                                                      |
|                                 | (4) 衣服の着用と手入れ                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                |
|                                 | ア(ア) 衣服の主な働き、日常着の快適な着方                                                               |                                                                                                                                                                                                                                |
|                                 | ・衣服の主な働きとして、保健衛生上及び生活活動上の働きが分かり、それらと関わらせて、季節や状況に応じた日常着の快適な着方について理解できる。               | ＊季節や状況に応じた日常着の着方については、観察や実験を通して具体的に考えられるよう配慮する。【3(8)】<br>○実際に衣服を重ねて着た際の暖かさを調べたり、動作による身体の動き方を観察したり、実験を通して布の特徴を調べたりする。                                                                                                           |
|                                 | (イ) 日常着の手入れ、ボタン付け及び洗濯の仕方                                                             |                                                                                                                                                                                                                                |
|                                 | ・衣服を大切に扱い、気持ちよく着るために、日常の手入れが必要であることが分かり、ボタン付けや洗濯の仕方を理解し、適切にできる。                      | ＊実験・実習を通して、実感を伴って理解できるように配慮する。<br>＊A(2)「家庭生活と仕事」のイの学習との関連を図り、家庭と連携し、実践する喜びを味わうことができるよう配慮する。<br>○靴下や体育着などの手洗いを通して、水だけの場合や、道具を使った場合の汚れの落ち方、乾きやすい干し方など結果を発表し合う。                                                                   |
|                                 | イ 日常着の快適な着方や手入れの工夫                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                |

|              |                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| B<br>衣食住の生活  | ・健康・快適などの視点から、日常の快適な着方や手入れの仕方を考え、工夫することができる。                                                                 | ○夏を涼しく、冬を暖かく過ごすための着方を取り上げて、児童が考えた実験を通して比較する。<br>○身近な衣服の手洗いを取り上げて、洗剤の量、水の温度、洗い方などによる比較を通して、効率的な洗い方について考えたり、干し方を変えて衣服の形の変化を比べてみたりして、手洗いの仕方を見直して工夫する。【3(2)(3)】                                                                          |
|              | (5) 生活を豊かにするための布を用いた製作                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                      |
|              | ア(ア) 製作に必要な材料や手順、製作計画                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                      |
|              | ・製作に必要な材料や製作手順が分かる。<br>・製作する物や使い方などに応じた製作計画の必要性和計画の立て方を理解する。                                                 | * 布や布で作られた物に対する関心を高めたり、でき上がりを具体的に思い描いたりして、製作への意欲をもたせるようにする。<br>○縫いしろやゆとりの必要性について、不織布などを使って考えたり、必要な寸法を計ったり、又は既にある物を観察したりする。<br>○布製品の実物を観察して製作手順を考えたり、段階見本等を用いて確かめたりする。                                                                |
|              | (イ) 手縫いやミシン縫いによる縫い方、用具の安全な取扱い                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                      |
|              | ・手縫いやミシン縫いの仕方が分かり、目的に応じた縫い方を理解する。<br>・作業に必要な用具の安全な取扱いについて理解し、適切にできる。                                         | * 製作する喜びを味わいながら手縫いなどの基礎的・基本的な知識及び技能が身に付くようにする。なぜ、そのように縫うのかなど、手順等の根拠について理解できるように配慮する。<br>* 製作の準備から片付けまで、児童一人一人が責任をもって安全に留意して行うことができるようにする。<br>○製作品の使い方に応じて、丈夫に縫ったり、針目の大きさを変えて縫ったり、ほつれやすい布端を始末したりすることの必要性に気付かせ、製作計画を見直す。               |
|              | イ 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画及び製作の工夫                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                      |
|              | ・健康・快適・安全などの視点から、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画や製作を考え、工夫する。                                                          | * 日常生活で使用する物を入れる袋などの製作を扱う。<br>○目的に合っているか、手順や技能、時間、材料などが適切かどうかについて検討し、計画を見直して改善する。【3(2)(3)】<br>○手縫いやミシン縫いを用いて飾り縫いをしたり、はぎれやボタンなどを用いて作品を飾ったりして工夫する。【3(2)(3)】                                                                            |
|              | (6) 快適な住まい方                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                      |
|              | ア(ア) 住まいの主な働き、季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                      |
| C<br>消費生活・環境 | ・住まいの主な働きが分かり、季節の変化に合わせて自然を生かして生活することの大切さについて理解する。<br>・暑さ・寒さへの対処の仕方やそれらと通風・換気との関わり、適切な採光及び音と生活との関わりについて理解する。 | * 暑さ・寒さ、通風・換気、採光、及び音については、健康・快適などを視点として、それぞれを関連付けて扱うようにする。<br>○暑さへの対処の仕方については、窓の外側で太陽の熱をさえぎると暑さを防ぐ効果が大きいことを確かめたり、窓の開閉条件を変えて風通しを比べたりして、夏季を涼しく過ごすための工夫を考える。<br>☆第3学年理科「光と音の性質」「太陽と地面の様子」、体育科「健康な生活に関する学習」、第4学年理科「空気と温度に関する学習」【3(3)】    |
|              | (イ) 住まいの整理・整頓や清掃の仕方                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                      |
|              | ・気持ちよく生活するために、住まいの整理・整頓や清掃が必要であることが分かる。<br>・身の回りの整理・整頓や清掃の仕方を理解し、適切にできるようにする。                                | * A(2)「家庭生活と仕事」のイの学習との関連を図り、実践する喜びや家族との関わりを感じながら学習を進める。<br>* 適切な整理・整頓や清掃は、家庭内の事故を防ぐための安全な住まい方を考える上でも大切なことに気付かせるなど、中学校での学習につながるよう配慮する。<br>○教室や家庭科室の机や引き出し、棚やロッカーなどで試行することを通して、整理・整頓の多様な視点に気付かせる。                                      |
|              | イ 季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の工夫                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                      |
|              | ・健康・快適・安全などの視点から、季節に変化に合わせた住まい方及び整理・整頓や清掃の仕方を考え、工夫することができる。                                                  | ○暑さ・寒さへの対処として様々な冷暖房機器を比較したり、通風・換気について、自然換気と換気扇等を比較したりする。【3(2)(3)】<br>○洗剤や清掃用具を用いて汚れの落ち方を比較し、その理由を考えたり調べたりする。【3(2)(3)】                                                                                                                |
|              | (1) 物や金銭の使い方と買物                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                      |
|              | ア(ア) 買物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の大切さ、計画的な買い方                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                      |
|              | ・買物の仕組みや消費者の役割が分かる。<br>・生活を支える物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解する。                                                      | * 物や金銭の計画的な使い方については、身近な消費生活を振り返り、自分の課題に気付くことができるようにする。<br>* 売買契約の基礎について触れる。<br>○買物の仕組みについて、児童に身近な例での契約と約束の違いに気付かせたり、買物のどの場面で売買契約が成立したのかを考えさせたりする。<br>○消費者の役割について、自分や家族の買物の経験を基に購入した物の使い方について話し合う。<br>☆第3学年社会科「地域に見られる生産や販売の仕事」【3(3)】 |
|              | (イ) 身近な物の選び方、買い方、情報の収集・整理                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                      |
|              | ・身近な物の選び方、買い方を理解し、目的に合った品質のよい物を選んで購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできる。                                                 | * 身近な物を実際に購入する場合を想定し、具体的に考えることができるようにする。<br>○調理実習や製作に使う材料や用具を購入する場合を想定して、必要な情報を収集・整理し、選んだ理由や買い方について意見を交換し合う。                                                                                                                         |
| 環境           | イ 身近な物の選び方、買い方の工夫                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                      |
|              | ・持続可能な社会の構築などの視点から、物の選び方、買い方を考え、工夫することができる。                                                                  | * 身近な物を実際に購入する場合を想定し、日常生活で実践できるようにする。<br>○団らんや会食のための買物や、調理や製作の実習材料、整理・整頓の学習での持ち物の見直しなどを取り上げ、計画を立てて購入の仕方を工夫する。【3(2)(3)】                                                                                                               |
|              | (2) 環境に配慮した生活                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                      |
|              | ア 身近な環境との関わり、物の使い方                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                      |
|              | ・自分の生活が身近な環境から影響を受けたり、影響を与えたりしていることが分かる。<br>・環境に配慮した物の使い方などについて理解できる。                                        | * 「B衣食住の生活」との内容との関連を図り、調理の材料や製作で使用する布などの具体的な物を対象として、実践的な学習を展開する。<br>○実習材料の無駄のない使い方について、各自の工夫を発表し合い、効果的な方法に気付くことができるようにする。<br>☆総合的な学習の時間「環境教育」等【3(3)】                                                                                 |
|              | イ 環境に配慮した物の使い方の工夫                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                      |
| 環境           | ・持続可能な社会の構築などの視点から、自分の生活と身近な環境との関わり及び物の使い方などを考え、工夫する。                                                        | * 「B衣食住の生活」との関連を図り、実践的な学習ができるようにする。<br>* 身近なものを実際に購入する場合を想定し、日常生活で実践できるよう配慮する。<br>○材料や水、ガスなどの使い方や、ごみを減らす工夫を考えて持続的に取り組む。<br>○使い終わった物を他の用途に再利用するなど、不用品を減らすために工夫する。【3(2)(3)】<br>○リサイクル活動等の環境に配慮した地域の取組を調べ、協力する。【3(4)】                   |



- (2) 空間軸や時間軸の視点を重視し、小・中・高等学校の体系化を図った指導計画の作成  
空間軸の視点では、家庭、地域、社会という空間的な広がりから、時間軸の視点では、これまでの生活、現在の生活、これからの生活、生涯を見通した生活という時間的な広がりから学習対象を捉え、学校段階を踏まえて指導内容を整理する。
- (3) 学習過程を踏まえた育成する資質・能力の明確化  
生活の中から問題を見だし、課題を設定し、解決方法を検討し、計画、実践、評価・改善するという一連の学習過程を重視し、この過程を踏まえて知識及び技能の習得に係る内容や、それらを活用して思考力、判断力、表現力等の育成に係る内容について整理する。

## 2 小学校家庭、中学校技術・家庭（家庭分野）の内容一覧

| 小 学 校                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 中 学 校（家庭分野）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目標は「小学校学習指導要領解説 家庭編」P11参照                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 目標は「中学校学習指導要領解説 技術・家庭編」P60参照                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <b>A 家族・家庭生活</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <b>A 家族・家庭生活</b> （ <input type="checkbox"/> は選択項目）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| (1) 自分の成長と家族・家庭生活<br>ア 自分の成長の自覚、家庭生活と家族の大切さ、家族との協力<br>(2) 家庭生活と仕事<br>ア 家庭の仕事と生活時間<br>イ 家庭の仕事の計画と工夫<br>(3) 家族や地域の人々との関わり<br>ア (ア) 家族との触れ合いや団らん<br>(イ) 地域の人々との関わり<br>イ 家族や地域の人々との関わりの工夫<br>(4) 家族・家庭生活についての課題と実践<br>ア 日常生活についての課題と計画、実践、評価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | (1) 自分の成長と家族・家庭生活<br>ア 自分の成長と家庭生活との関わり、家族・家庭の基本的な機能、家族や地域の人々との協力・協働<br>(2) 幼児の生活と家族<br>ア (ア) 幼児の発達と生活の特徴、家族の役割<br>(イ) 幼児の遊びの意義、幼児との関わり方<br>イ 幼児との関わり方の工夫<br>(3) 家族・家庭や地域との関わり<br>ア (ア) 家族の協力と家族関係<br>(イ) 家庭生活と地域との関わり、高齢者との関わり方<br>イ 家庭生活をよりよくする方法及び地域の人々と協働する方法の工夫<br><b>(4) 家族・家庭生活についての課題と実践</b><br>ア 家族、幼児の生活又は地域の生活についての課題と計画、実践、評価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| <b>B 衣食住の生活</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <b>B 衣食住の生活</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| (1) 食事の役割<br>ア 食事の役割と食事の大切さ、日常の食事の仕方<br>イ 楽しく食べるための食事の仕方の工夫<br>(2) 調理の基礎<br>ア (ア) 材料の分量や手順、調理計画<br>(イ) 用具や食器の安全で衛生的な取扱い、加熱用調理器具の安全な取扱い<br>(ウ) 材料に応じた洗ひ方、調理に適した切り方、味の付け方、盛り付け、配膳及び後片付け<br>(エ) 材料に適したゆで方、いため方<br>(オ) 伝統的な日常食の米飯及びみそ汁の調理の仕方<br>イ おいしく食べるための調理計画及び調理の工夫<br>(3) 栄養を考えた食事<br>ア (ア) 体に必要な栄養素の種類と働き<br>(イ) 食品の栄養的な特徴と組合せ<br>(ウ) 献立を構成する要素、献立作成の方法<br>イ 1食分の献立の工夫<br>(4) 衣服の着用と手入れ<br>ア (ア) 衣服の主な働き、日常着の快適な着方<br>(イ) 日常着の手入れ、ボタン付け及び洗濯の仕方<br>イ 日常着の快適な着方や手入れの工夫<br>(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作<br>ア (ア) 製作に必要な材料や手順、製作計画<br>(イ) 手縫いやミシン縫いによる縫ひ方、用具の安全な取扱い<br>イ 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画及び製作の工夫<br>(6) 快適な住まい方<br>ア (ア) 住まいの主な働き、季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方<br>(イ) 住まいの整理・整頓や清掃の仕方<br>イ 季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方の工夫 | (1) 食事の役割と中学生の栄養の特徴<br>ア (ア) 食事が果たす役割<br>(イ) 中学生の栄養の特徴、健康によい食習慣<br>イ 健康によい食習慣の工夫<br>(2) 中学生に必要な栄養を満たす食事<br>ア (ア) 栄養素の種類と働き、食品の栄養的特質<br>(イ) 中学生の1日に必要な食品の種類と概量、献立作成<br>イ 中学生の1日分の献立の工夫<br>(3) 日常食の調理と地域の食文化<br>ア (ア) 用途に応じた食品の選択<br>(イ) 食品や調理用具等の安全・衛生に留意した管理<br>(ウ) 材料に適した加熱調理の仕方、基礎的な日常食の調理<br>(エ) 地域の食文化、地域の食材を用いた和食の調理<br>イ 日常の1食分の調理及び食品の選択や調理の仕方、調理計画の工夫<br>(4) 衣服の選択と手入れ<br>ア (ア) 衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用や個性を生かす着用、衣服の選択<br>(イ) 衣服の計画的な活用、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ<br>イ 日常着の選択や手入れの工夫<br>(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作<br>ア 製作する物に適した材料や縫ひ方、用具の安全な取扱い<br>イ 生活を豊かにするための資源や環境に配慮した布を用いた物の製作計画及び製作の工夫<br>(6) 住居の機能と安全な住まい方<br>ア (ア) 家族の生活と住空間との関わり、住居の基本的な機能<br>(イ) 家族の安全を考えた住空間の整え方<br>イ 家族の安全を考えた住空間の整え方の工夫<br><b>(7) 衣食住の生活についての課題と実践</b><br>ア 食生活、衣生活、住生活についての課題と計画、実践、評価 |
| <b>C 消費生活・環境</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <b>C 消費生活・環境</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| (1) 物や金銭の使い方と買物<br>ア (ア) 買ひ物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の大切さ、計画的な使い方<br>(イ) 身近な物の選び方、買ひ方、情報の収集・整理<br>イ 身近な物の選び方、買ひ方の工夫<br>(2) 環境に配慮した生活<br>ア 身近な環境との関わり、物の使い方<br>イ 環境に配慮した物の使い方の工夫                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | (1) 金銭の管理と購入<br>ア (ア) 購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理<br>(イ) 売買契約の仕組み、消費者被害、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理<br>イ 情報を活用した物資・サービスの購入の工夫<br>(2) 消費者の権利と責任<br>ア 消費者の基本的な権利と責任、消費生活が環境や社会に及ぼす影響<br>イ 自立した消費者としての消費行動の工夫<br><b>(3) 消費生活・環境についての課題と実践</b><br>ア 環境に配慮した消費生活についての課題と計画、実践、評価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

### 3 2学年間を見通した指導計画

#### (1) 基礎的な理解及びそれらに関わる技能の確実な定着を重視した年間指導計画例

◎実践的・体験的な学習活動を繰り返し行い、基礎的な理解及びそれらに関わる技能を確実に身に付け、活用する場面を設定した指導計画とした。

#### ＜第5学年（60時間）＞

| 月  | 題材名(題材の時間の目安)<br>○小題材名と内訳時数                                                                 | 内容                                                                                         | 学 習 活 動<br>太字：改訂によって新設・変更された事項                                                                                                                                                                | ☆ 実践的・体験的な活動 ・ 指導上の留意点<br>太字：改訂によって新設・変更された事項                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4  | <b>わくわく家庭科<br/>スタート！</b> （2時間）<br>○わたしと家族の生活 ①<br>○始めよう家庭科 ①                                | A(1)<br>ア                                                                                  | ・これまでの生活を振り返って自分の成長を自覚するとともに家庭生活と家族の大切さに気付く。<br>・家庭科の学習について2学年間の見直しをもつ。                                                                                                                       | ・入学からの生活や学習の振り返りにより、これまで家族や周囲の人々に支えられてきたことに気付くようにする。<br>☆ガイダンスとして家庭科室を自由に探検し、掲示物や作品見本などから、2学年間の学習を見直し、自分のめあてをもって学習する。                                                                                                                                                                                                              |
|    | <b>見つめてみよう家庭の<br/>仕事</b> （3時間）                                                              | A(1)<br>ア<br>A(2)<br>アイ                                                                    | ・家庭の中での衣食住や家族に関する仕事について考える。<br>・家族の一員として、自分の分担する仕事を決めて、家庭で実践する。                                                                                                                               | ☆家庭での観察を通して、家庭の中には衣食住や家族に関する様々な仕事があることに気付かせ、互いに協力し分担して自分や家族の生活を支えていることを理解させる。<br>・実践カードを活用し、継続して家庭で仕事を続けられるように工夫する。<br>【3(2)(3)】                                                                                                                                                                                                   |
| 5  | <b>ゆでる調理に<br/>チャレンジ！</b> （9時間）<br>○ゆでるよさって？③<br>○ゆでるおかずを作ろう ⑥                               | B(2)ア<br>(ア)(イ)<br>(ウ)(エ)                                                                  | ・ゆでる調理に関心をもち、材料や手順を考えて調理をする。<br>・調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取り扱い方や加熱用調理器具の安全な使い方を知る。<br>・環境に配慮し、材料の分量や後片付けの仕方を考える。                                                                                    | ・ <b>加熱用調理器具</b> や調理用具の安全な取扱いをしっかり身に付けさせる。<br>☆ゆでる材料として <b>青菜やじゃがいも</b> 、卵などを扱い、実験実習を通して調理の特性を理解できるようにする。<br>・実験実習を生かして、ゆでる調理をする。<br>・「どこまでできるかなカード～食生活編～」で達成状況を確認する。                                                                                                                                                              |
| 6  | <b>身に付けよう！手ぬい</b> （9時間）<br>○さいほう用具をそろえて手ぬいに挑戦 ⑦<br>○かわいい小物作り②                               | B(5)<br>ア<br>(ア)(イ)<br>C(1)<br>ア(イ)                                                        | ・手縫いに必要な用具を揃え正しく安全に使う。<br>・針と糸の扱い方、手縫いの仕方やボタンの付け方を知る。<br>・生活を豊かにする簡単な小物を手縫いで製作する。                                                                                                             | ☆学校の裁縫用具を使って試しに縫ってみることににより、手縫いの用具には何が必要かを考えて購入する。<br>・はさみや針等の用具の安全な使い方について十分指導する。<br>・手縫いの仕方を生かして、簡単な小物製作に取り組ませる。<br>・「どこまでできるかなカード～衣生活編～」で達成状況を確認する。                                                                                                                                                                              |
| 7  | <b>快適な生活をしよう<br/>～夏をすっきり<br/>すずしく～</b> （5時間）<br>○すずしい着方 ②<br>○すずしい住まい方③                     | B(4)<br>ア(ア)<br>B(6)<br>ア(ア)<br>イ                                                          | ・衣服の主な働きについて考え、季節や状況に応じた涼しい着方を工夫し、実践する。<br>・ <b>住まいの主な働き</b> を知り、季節の変化に合わせた涼しい住まい方の工夫について調べてまとめ、発表する。                                                                                         | ・暑さの残る時期に、実感を伴って学習し、家庭生活に生かせるようにする。<br>・ <b>住まいの主な働き</b> や涼しく過ごすための通風の仕方が分かり、工夫できるようにする。<br>☆理科や総合的な学習の時間の学習との関連を図り、自分の課題を見つけ、調べたり取材したり実践したりしたことをまとめ、発表する。<br>【3(2)(3)】                                                                                                                                                            |
| 10 | <b>身に付けよう！ミシン<br/>ぬい</b> （10時間）<br>○ミシンぬいに挑戦②<br>○楽しく便利な物を作ろう ⑧                             | B(5)<br>ア<br>(ア)(イ)<br>イ                                                                   | ・ミシンの安全な使い方を知り、直線縫いをする。<br>・ミシンを正しく安全に使い、縫う。<br>・身の回りの布製品を調べ、ミシンを使って <b>生活を豊かにする</b> 物を工夫して製作する。                                                                                              | ・ミシンの取扱いについて、友達同士での教え合いや資料の活用など、自主的に学習が進められるように環境を整える。<br>・ミシンに慣れることに重点を置き、製作する物は平易な物にする。（ランチョンマット、カフェエプロンなど）<br>・「どこまでできるかなカード～衣生活編～」で達成状況を確認する。                                                                                                                                                                                  |
| 11 | <b>身の回りを気持ちよく</b> （5時間）<br>○整理・整とんをしよう ②<br>○そうじで身の回りを快適にしよう ③                              | B(6)<br>ア<br>(イ)<br>イ<br>C(2)<br>アイ                                                        | ・家庭や学校での経験をもとに住まいの整理・整頓及び清掃に関する問題を見つけ、身の回りを快適にする方法を考える。<br>・身の回りの整理・整頓や清掃の仕方を知り、学校や家庭で実践する。                                                                                                   | ・環境に配慮した片付け方や掃除の仕方を見付けて実践できるように支援する。<br>☆学校で実践するとともに、家庭での実践を報告し合い、友達の工夫を生活に生かす。<br>【3(2)(3)】<br>・道徳の節度節制の学習との関連を図り、学習を進め、実践を継続できるよう意欲を喚起する。<br>【3(5)】                                                                                                                                                                              |
| 12 | <b>冬休みはおまかせ</b> （2時間）                                                                       | A(4)<br>ア                                                                                  | ・これまでの学習で身に付けた知識及び技能を活用し、冬休みに行う家庭の仕事を考え計画を立て、実践する。                                                                                                                                            | ☆家の人に困っていることをインタビューして課題を見付け、地域のアドバイザーの方にそれぞれの課題についてアドバイスをもらい、学習計画を立てられるようにする。<br>【3(2)(3)】<br>・報告会を通して、さらなる実践意欲を高める。                                                                                                                                                                                                               |
| 1  | <b>食べて元気に<br/>ザ・和食！</b> （14時間）<br>○どんなものを食べているのかな ①<br>○栄養を考えて食べよう ④<br>○ご飯とみそ汁の作りにチャレンジ！ ⑨ | B(1)<br>アイ<br>B(3)<br>ア<br>(ア)(イ)<br>B(2)<br>ア(ア)<br>(イ)(ウ)<br>(エ)(オ)<br>イ<br>C(1)<br>ア(イ) | ・食事の役割を知り、食事の大切さについて考える。<br>・食品の栄養的な特徴と組み合わせについて考え、自分の食事を見直す。<br>・体に必要な栄養素の種類と主な働きを知り栄養を考えて食事をとることの大切さを理解する。<br>・ <b>伝統的な日常食</b> である米飯とみそ汁の作り方を調べ、試し調理をする。<br>・調べたことや試し調理をもとにして、米飯とみそ汁の調理をする。 | ・栄養教諭とのT.Tを取り入れ、栄養を考えた食事について、より深く学べるようにする<br>・五大栄養素と食品の体内での働きを中心に扱う。<br>・好き嫌いを減らしたり1品加えたりと自分にできることから始め、継続して家庭実践できるように励ますようにする。<br>☆米の洗いや水加減、浸水時間、加熱の仕方、蒸らし方、 <b>和食の基本となるだしの役割</b> ととり方、みそ汁の味の選び方、みその扱い方などを調べ、試し作りをし、本実習につなげる。<br>・地域素材を活用するための家庭や地域で調べた情報を交換し、材料を選び、工夫して調理計画を立てる。<br>【3(2)(3)】<br>・「どこまでできるかなカード～食生活編～」で達成状況を確認する。 |
| 3  | <b>できるようになったよ<br/>家庭の仕事</b> （1時間）                                                           | A(1)<br>ア                                                                                  | ・1年間の学習を振り返る。                                                                                                                                                                                 | ・これまでの学習や「どこまでできるかなカード」などを振り返ることにより1年間の成長を実感し、第6学年への目標をもつことができるようにする。                                                                                                                                                                                                                                                              |

<第6学年 (55時間)>

| 月  | 題材名(題材の時間の目安)<br>○小題材名と内訳時数                                                                   | 内容                                                                                   | 学 習 活 動<br>太字：改訂によって新設・変更された事項                                                                                                                                                  | ☆ 実践的・体験的な活動 ・ 指導上の留意点<br>太字：改訂によって新設・変更された事項                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4  | <b>生活時間、見直し<br/>大作戦！</b> (4時間)<br>○生活時間を調べよう②<br>○だんらんでにっこり<br>ほっこり作戦 ②                       | A(2)<br>アイ<br>A(3)<br>ア<br>(ア)(イ)<br>イ                                               | ・自分の生活時間を見直し、生活の仕方や家族との触れ合いのために有効な使い方や家族や地域の人々に協力できる工夫を考える。<br>・お茶の入れ方を知り、団らんの計画を立てて工夫し、実践する。                                                                                   | ・生活時間の見直しをすることによりできた時間を有効に使う方法を考え、グループで個々の考えを発表させ、話し合うことで考えを深め、工夫して家族や地域の人々との関わりをもてるように促す。 【3(2)(3)】<br>☆お茶を入れ、団らんを楽しむための工夫を考えたり、話し合ったりして家庭での計画を立て、実践する。 【3(2)(3)】                                                                                                                                                   |
| 5  | <b>朝食作りに<br/>チャレンジ！</b> (10時間)<br>○朝食の役割 ②<br>○いためるよさって？ ②<br>○いためておいしい<br>おかず作り ⑥            | B(1)<br>ア<br>B(2)<br>ア<br>(ア)(イ)<br>(ウ)(エ)<br>イ<br>B(3)<br>ア<br>(イ)(ウ)<br>イ<br>C(2)ア | ・朝食の役割を知る。<br>・いためる調理のよさをと材料に適したいため方を知る。<br>・いためる調理を生かした朝食作りの計画を工夫する。<br>・いためる調理に関心をもち材料や手順を考えて調理をする。<br>・フライパンの扱い方や環境に配慮した後片付けの仕方を知る。                                          | ・朝食をとることにより学習や活動のための体の準備ができることをおさえる。<br>・実験実習により、いためる調理のよさと材料に適したいため方をおさえる。<br>☆短時間でできるいためる調理を活かして、栄養のバランスのよい朝食作りの計画を立てる。 【3(2)(3)】<br>☆1人で調理を行えるように環境を整備し、調理の技能を確実に身に付ける。<br>・「どこまでできるかなカード～食生活編～」で達成状況を確認する。<br>☆家族のための朝食作りの計画を立て、家庭実践へつなげる。<br>・環境へ配慮した片付け方を身に付けさせる。 【3(2)(3)】                                    |
| 6  | <b>気持ちよく着よう</b><br>(6時間)<br>○日常着の手入れ ②<br>○手洗いできれいに ④                                         | B(4)<br>ア<br>(ア)(イ)<br>イ<br>B(5)<br>ア(イ)<br>C(2)<br>ア                                | ・日常着の快適な着方や <b>日常着の手入れ</b> の必要性について考える。<br>・ボタンの付け方や洗濯の仕方を知る。<br>・身近なものを手洗いする計画を立て、実習を行う。<br>・洗濯の必要性や環境に配慮した洗濯の仕方について考え、工夫する。                                                   | ・日常着を快適に着るためには、ボタン付けや洗濯、 <b>衣替え</b> など手入れが必要であることを理解させる。<br>☆第5学年の小物づくりで行ったボタン付けに関し、繰り返し実習し、技能の定着を図る。<br>☆靴下や体育着など身近な物を観察して自分の課題を見つけ、手洗いし、結果を共有する。<br>・「どこまでできるかなカード～衣生活編～」で達成状況を確認する。                                                                                                                               |
| 9  | <b>お金と物をしょうずに<br/>使おう</b> (5時間)<br>○買物の仕組み ②<br>○よりよい買い物の<br>仕方を考えよう ③                        | C(1)<br>ア<br>(ア)(イ)<br>イ<br>C(2)<br>イ                                                | ・自分の物の選び方や買い方について振り返る。<br>・ <b>買物の仕組み</b> を知る。<br>・修学旅行の小遣いの使い方の計画を立て、実際に買物をして、よりよい買物の仕方を工夫する。                                                                                  | ☆買物シミュレーションをし、いろいろな場面を想定して物の選び方や買い方を考える。<br>・ <b>買物の仕組みと売買契約の基礎、消費者の役割</b> 、物や金銭の大切さと計画的な使い方について理解させる。<br>☆みやげ物の写真や価格表から必要な情報を収集・整理して計画を立て、実際に修学旅行での買物を通して、自分の買物の仕方について振り返る。 【3(2)(3)】                                                                                                                               |
| 10 | <b>1食分の食事作りに<br/>チャレンジ！</b> (11時間)<br>○献立の立て方 ③<br>○食事の役割と食事の<br>仕方 ②<br>○1食分の食事を<br>作ってみよう ⑥ | B(1)<br>アイ<br>B(3)ア<br>(イ)(ウ)<br>イ<br>B(2)ア<br>(ア)(イ)<br>(ウ)(エ)<br>(オ)イ              | ・米飯とみそ汁を中心として三つの食品グループの揃った1食分の <b>献立(主食、主菜、副菜)</b> を考える。<br>・食事の役割や <b>食事の仕方</b> 、楽しく食事をする工夫について確かめる。<br>・これまでの学習を生かして栄養バランスのよい1食分の献立を立てる。<br>・考えた献立を実際に調理し、さらに改善して、家庭実践に結び付ける。 | ・ <b>献立を構成する要素</b> と作成方法を確認する。<br>☆これまでの調理技能や栄養についての学習を生かした献立を工夫し、1食分の食事を調理する。<br>・2学年間の食生活の学習の総まとめの学習になるので、食事の役割や <b>食事の仕方</b> 、楽しく食事をする工夫についても再度考え、家庭で実践できるようにする。 【3(2)(3)】<br>・「どこまでできるかなカード～食生活編～」で達成状況を確認する。                                                                                                    |
| 11 | <b>生活を豊かにする物を<br/>作ろう</b> (10時間)<br>○製作計画を立てよう②<br>○生活を豊かにする<br>物を作ろう ⑦<br>○使ってみました<br>報告会 ①  | B(5)<br>ア<br>(ア)(イ)<br>イ<br>C(1)<br>ア(イ)                                             | ・手縫いやミシン縫いの学習を生かして、目的に応じた縫い方を考え、工夫して製作計画を立てる。<br>・材料や用具を購入するための情報を集め、意見交換をする。<br>・ <b>生活を豊かにする物</b> を製作する。<br>・製作した物を実際に使い、自分の感想や家族へのインタビューなどを報告し合う。                            | ☆既習の製作や活用状況を振り返り、形や作り方などを工夫し、 <b>袋</b> など <b>生活を豊かにする物</b> を製作する。<br>・製作手順やミシン等の安全な使い方、ゆとりや縫いしろの必要性を視覚的に捉えられる掲示物を明示する。 【3(1)】<br>・製作の目的に合った布を選ぶために、布見本や価格表などから必要な情報を収集・整理し、選んだ理由や買い方について意見を交換し合う場を設定する。 【3(2)(3)】<br>・「どこまでできるかなカード～衣生活編～」で達成状況を確認する。<br>・仕上がった作品を日常生活で活用する楽しさや手作りのよさを報告し合わせ、次の製作への意欲を高める。 【3(2)(3)】 |
| 12 | <b>快適な生活をしよう<br/>～冬をもっと<br/>あたたかく～</b><br>(6時間)<br>○あたたかい着方 ②<br>○あたたかい住まい ④                  | B(6)<br>ア(ア)<br>イ<br>B(4)<br>ア(ア)<br>イ<br>A(4)<br>ア                                  | ・生活を振り返ったり実験をしたりして季節や状況に応じた日常着の快適な着方を考える。<br>・暖かい着方を工夫し、実践する。<br>・季節の変化に合わせた暖かい住まい方の工夫について調べる。<br>・適切な採光や <b>音</b> について考える。                                                     | ☆第5学年の「涼しい着方」と比較したり、着方の実験をしたりして、体感する。<br>・ <b>季節の変化に合わせた住まい方</b> をおさえる。<br>・暖かい住まい方については、暖房器具を使うだけでなく採光や <b>音</b> 、換気の仕方、家具の置き方など生活の仕方の知恵・生活文化の大切さに気付かせ、日常生活を見直して課題を設定し、計画・実践・改善し、さらに次の実践へつなげられるようにする。 【3(2)(3)】                                                                                                     |
| 1  | <b>感謝の気持ちを伝え、<br/>つながりを深めよう</b><br>(2時間)                                                      | A(3)<br>イ                                                                            | ・家庭生活と <b>地域</b> の人々との関わりについて考え、自分にできる計画を立てる。                                                                                                                                   | ・家庭の状況に応じた方法で学習を進められるよう支援する。<br>・ <b>低学年の児童や地域</b> の人々を招いて楽しく和やかに過ごすための工夫を考え、実践する。 【3(4)】                                                                                                                                                                                                                            |
| 2  | <b>成長したね<br/>わたしたち</b> (1時間)                                                                  | A(1)<br>ア                                                                            | ・今までの成長を自覚し、家庭生活をよりよくするための新しい課題をもつ。                                                                                                                                             | ・これまでの学習や「どこまでできるかなカード」などを見て、2学年間の学習の成果を振り返ることにより、自分の成長に気付き、家族の一員としての自覚をもって中学校へつなげるようにする。                                                                                                                                                                                                                            |



(2) 家庭生活と学習を結び付け、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成することを重視した年間指導計画例

◎「A家族・家庭生活」に視点を当て、児童が家族や地域の人々と協力し、よりよい家庭生活を工夫して実践する喜びを味わえるよう「みつめる・さぐる・実践・深める・いかす」の学びの過程を重視した指導計画とした。

＜第5学年（60時間）＞

| 月  | 題材名(題材の時間の目安)<br>○小題材名と内訳時数                                                                                     | 内容                                                                                 | 学 習 活 動<br>太字：改訂によって新設・変更された事項                                                                                                                                                  | ☆生活をよりよくしようと工夫する活動・指導上の留意点<br>太字：改訂によって新設・変更された事項                                                                                                                                                                                                  |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4  | はじめよう！「家庭科」<br>見直そう「家庭生活」<br>(2時間)<br>○見直そう家庭生活 ①<br>○よりよくしたいな<br>2年後の家庭生活 ①                                    | A(1)<br>ア                                                                          | ・これまでの生活を振り返り自分の成長を実感する。<br>・2学年間の学習を見直し、よりよい家庭生活実現のためにできるようになりたいことを話し合う。                                                                                                       | ・生活の営みに係る見方・考え方の視点から家庭生活を見直すことができるようにする。<br>☆自分の目標や課題を見付け、見直しをもって学習に取り組ませるために、学習の区切りの時期に学習の成果を振り返る。<br>・道徳の家族愛・家庭生活の充実の学習との関連を図る。 【3(5)】                                                                                                           |
| 5  | 目指そう<br>かしこい消費者<br>(2時間)                                                                                        | C(1)<br>ア<br>(ア)(イ)                                                                | ・買物の仕組みや消費者の役割を理解し、物や金銭の大切さと計画的な使い方を考える。                                                                                                                                        | ・身近な物の購入を例に取り上げ、消費者である自覚をもたせ、適切な消費行動をとる必要に気付かせる。<br>・5年生1学期に題材を設定することで、B 衣食住の題材との関連を図る。                                                                                                                                                            |
| 6  | 協力しよう！家庭の仕事<br>(20時間)<br>○家庭の仕事を調べ<br>生活時間を見直そう ②<br>○目指そう快適な住まい<br>「整理・整とん 編」 ③<br>○豊かにしよう衣生活1<br>手ぬいにチャレンジ！ ⑥ | A(2)<br>ア<br><br>B(6)<br>ア(イ)<br>C(2)ア<br><br>B(4)<br>ア(イ)<br>B(5)ア<br>(ア)(イ)<br>イ | ・家庭の仕事を調査し、自分と家族の生活時間を比較する中で仕事を分担し実践する。<br><br>・自分の家庭や学校の整理・整頓の方法を調べ、快適にする方法を考え実践する。<br>・環境に配慮した物の使い方を考える。<br><br>・自分や家族の生活を豊かにする物を調べ、目的に応じた手縫いやボタン付けの仕方を理解し、手縫いで小物作りを工夫して行う。   | ☆分担した仕事を継続的にを行い、定期的に見直しや改善を図りワークシートにまとめることで、仕事を分担することの必要性に気付かせる。<br><br>・散らかっている部屋の写真から身の回りの整理・整頓の方法について考え、身の回りの人たちに取材してレポートを作成し、「快適」の視点で実践できるようにする。 【3(2)(3)】<br><br>・製作に必要な用具の安全な使い方を十分指導し、小物作りを通して日常生活で活用する楽しさや手作りのよさを味わうことができるようにする。 【3(2)(3)】 |
| 7  | ○食事って何だろう？<br>ゆでる調理に挑戦！ ⑦                                                                                       | B(1)<br>アイ<br>B(2)ア<br>(ア)(イ)<br>(ウ)(エ)<br>B(3)ア<br>(ア)<br>C(1)ア<br>(ア)(イ)         | ・食事の役割やマナーについて知り、楽しく食事をする工夫をする。<br>・栄養を考えて食事をするための大切さを知る。(五大栄養素)<br>・ゆでる調理の仕方について理解し、材料や目的に応じて食品をゆでる。(卵・青菜)<br>・食品の選び方、買い方を知り、情報を収集・整理し、選んだ理由等の意見交換をする。<br>・ゆでるおかずや材料の購入計画を立てる。 | ☆調理実習の試食や学校給食を通し、低学年の児童との交流給食など、楽しく食事をするためのマナーや食卓の工夫について考えたり話し合ったりする。 【3(2)(3)】<br>・青菜では、ゆでてかさが減ることやゆで時間と食感、卵では、ゆで時間と固まり具合を実験等で体感させる。<br>・青菜や卵など調理実習で使う材料の買い方について、値段や分量、品質など多様な観点から比較検討し具体的な買物計画を立てられるようにする。 【3(2)(3)】                             |
| 8  | ○やってみよう！家庭の仕事夏休み編1<br>・夏休み実せん計画を立てよう ①<br>・夏休みチャレンジ発表会 ①                                                        | A(1)ア<br>B(2)ア<br>(ア)イ                                                             | ・今までの学習からできるようになったことを振り返り、夏休みに行く家族のためのゆでる作のおかずの実践計画を立てる。<br>・夏休みに家庭で実践したことを発表し合う。                                                                                               | ・卵や青菜の他にも他の食品も扱って、家族のためのゆでる作のおかずの実践計画を立てることができるようにする。 【3(2)(3)】<br>☆1学期を振り返り、自分にとってできるようになったことをワークシートに記入するとともに、教師、家族、友達からのアドバイスをもらい自分の成長を実感させる。                                                                                                    |
| 9  | 伝統的な日常食<br>ご飯とみそしるを作ろう<br>(16時間)<br>○ご飯とみそしるの<br>ひみつをさぐる ⑥<br>○家族のためのオリジナルみそしるを作ろう ⑤                            | B(2)ア<br>(ア)(イ)<br>(ウ)(オ)<br>B(3)ア<br>(イ)(ウ)                                       | ・米飯とみそ汁の調理に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。<br>・家族のためのオリジナルみそ汁を作る。<br>・食品の栄養的な特徴による三つのグループの分け方や1食分の献立の立て方を理解する。<br>・米とみそ汁を中心とした献立を普段食べているおかずと組み合わせで考える。<br>・自分の考えた献立を友達と発表し合う。          | ・家庭での米の炊き方やみそ汁の具の取り合わせをインタビューしたり、給食の献立を振り返ったりして、自分達の計画の参考とする。 【3(2)(3)】<br>・ご飯とみそ汁の調理やその配膳など日本の伝統的な食文化の大切さに気付かせる。<br>・実習の手順や時間配分を大きく掲示する。 【3(1)】<br>・主菜、副菜の例示の中から選択し、献立に含まれる食品を三つのグループに分けて栄養のバランスを確認させる。                                           |
| 10 | ○栄養バランスのよい<br>献立を考えよう ⑤                                                                                         |                                                                                    |                                                                                                                                                                                 | ☆栄養の学習と献立の学習は、繰り返し行い、自分の献立を見直す中で、「健康」の視点で改善できるようにしていく。                                                                                                                                                                                             |
| 11 | 目指そう快適な住まい<br>「整理・整とん・<br>そうじ編」 (5時間)<br>○そうじで快適生活 ③<br>○物の使い方や購入について考えよう ②                                     | B(6)<br>ア(イ)<br>C(1)ア(イ)                                                           | ・学校や家の汚れやすいところを調査し、清掃の方法を知り、整理・整頓と組み合わせで清掃の実践を行う。<br>・整理した中から出てきた物をもとに購入の仕方について話し合う。                                                                                            | ・なぜ汚れるのか、何のために清掃するのかを考えさせ、汚れに応じた清掃が実践にできるようにする。<br>・今まで無駄な物の購入がなかったかを反省し、購入の仕方についてこれからの生活への生かし方を考えるようにする。                                                                                                                                          |
| 12 | よりよくしよう家庭生活<br>(4時間)<br>○冬休み実せん計画を立てよう ②<br>○冬休みチャレンジ発表会 ②                                                      | A(1)ア<br>A(4)ア<br>B(6)ア<br>(イ)                                                     | ・「目指そう快適な住まい」の学習を振り返り生活の中から課題を見付け、解決に向けての冬休み実践計画を立てる。<br>・冬休みに実践したことを言葉や図表や概念で表し、グループで発表し合う。<br>・発表後、意見交換を行い友達のアドバイスなどを参考に実践を見直す。                                               | ☆自分の生活の中から課題が見付けられるように支援し「みつめる・さぐる・実践・深める・いかす」の学びの過程で見直しをもって学習を進めることができるようにする。【3(2)(3)】<br>☆実践報告で互いの取組のよさを認めたりアドバイスし合ったりし自分の実践を振り返り今後の学習に生かしていく。<br>☆家庭実践やできるようになったことを振り返り家族からメッセージをもらうことで変容を見取り自分の成長を実感する。                                        |
| 1  | 豊かにしよう衣生活2<br>ミシンぬいにチャレンジ！<br>(10時間)                                                                            | B(5)<br>ア<br>(ア)(イ)<br>イ                                                           | ・身の回りにある布製品について調べ、ミシン縫いと手縫いの比較からそれぞれの縫い方のよさに気付きミシン縫いの基本的な操作を身に付ける。                                                                                                              | ・ミシン縫いの基本的操作を繰り返し行い、練習に布を重ねて縫うコースター等を作成しながら確実に身に付けさせる。<br>・簡単な直線縫いのできるランチョンマットやカフェエプロンなど製作計画を立て、製作の見直しをもって製作させる。                                                                                                                                   |
| 2  | ○ミシンぬいにトライ ②                                                                                                    |                                                                                    |                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 3  | ○ミシンぬいで作ろう ⑧                                                                                                    |                                                                                    |                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                    |
|    | できるようになったよ<br>家庭の仕事 (1時間)                                                                                       | A(1)<br>ア                                                                          | ・1年間の学習を振り返り、6年生の学習への見通しを立たせる。                                                                                                                                                  | ☆目標を達成できたかを自己評価するとともにできるようになったことを実践記録から振り返り、第6学年への目標をもつ。                                                                                                                                                                                           |

<第6学年 (55時間)>

| 月  | 題材名(題材の時間の目安)<br>○小題材名と内訳時数                                                                                                 | 内容                                                                         | 学習活動<br><b>太字：改訂によって新設・変更された事項</b>                                                                                                                                                                        | ☆生活をよりよくしようと工夫する活動・指導上の留意点<br><b>太字：改訂によって新設・変更された事項</b>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4  | <b>充実させよう家庭生活</b><br>(3時間)                                                                                                  | A(2)イ<br>A(3)<br>ア(ア)<br>(イ)イ                                              | ・これまで行ってきた家庭の仕事の課題を見付け、工夫して行う計画を立てる。<br>・自分の生活時間を振り返り、家族や <b>地域</b> の人々との関わりを見直し、自分の家庭生活をよりよくする工夫を考える。                                                                                                    | ☆自分の家庭生活をよりよくする工夫や1年間でするように<br>なりた目標をワークシートに記入し、家族からもメッセージ<br>をもらい意欲付けを図る。<br>・触れ合いの場を楽しし和やかにする工夫等を考えさせる。<br>【3(2)(3)】                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 5  | <b>作ろう栄養を考えた食事</b><br>(20時間)<br>○いために挑戦！⑦                                                                                   | A(3)<br>ア(ア)<br>B(1)<br>アイ<br>B(2)<br>ア(ア)                                 | ・いためる調理の実習計画を立て、野菜のための調理を行う。試食の際にマナーについて考えさせ、楽しく食べる工夫をする。                                                                                                                                                 | ・調理の目的によっていためる時間や火力に違いがあることに<br>気付かせ、いため方の手順について根拠をもって言葉で表現<br>する活動を取り入れる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 6  | ○1食分の食事を作ってみよう<br>・食生活を振り返ろう ①<br>・簡単なおかずを作ろう ④<br>・ご飯・みそしる中心の1食分の献立を作成して実習をしよう ⑤<br>・家族のための1食分の実習計画を立てよう ②<br>・実践報告会を開こう ① | B(2)<br>アイ<br>B(3)ア<br>(イ)(ウ)<br>(エ)<br>イ<br>B(3)ア<br>(イ)(ウ)<br>イ<br>C(1)イ | ・ <b>じゃがいも</b> や加工食品を使い、ゆでる・いためるを組み合わせた調理に挑戦する。<br>・第5学年で学習した米飯とみそ汁を中心とした献立の立て方をもとに、バランスのよい献立を考え、調理実習をする。<br>・家族のための1食分の献立を工夫する。<br>・新鮮な野菜の選び方や加工食品の買物の仕方を工夫する。<br>※太枠内：「4 題材の計画と一単位時間の展開例」(編P132)参照<br>↓ | ・第5学年の献立学習や栄養の学習を生かし、いろいろな食品を組み合わせたり、体に必要な栄養素の働きを考えたりしながら、1食分の食事の献立が工夫できるようにする。【3(2)(3)】<br>・じゃがいもや加工食品を使った調理カードなどを準備する。<br>・家庭実践アドバイザー(保護者ボランティア)のアドバイスを受けて自分の立てた献立を振り返り、決定する機会を設ける。<br>・家族との食事を囲んでの団らんの大切さに気付かせる。<br>・目的に合った品質のよい物を無駄なく購入する方法について考えられるよう模擬買物体験を行う。                                                                                                                                                               |
| 7  | <b>やってみよう！家庭の仕事夏休み編2</b> (2時間)<br>○夏休み実せん計画を立てよう ①                                                                          | A(1)ア<br>B(2)<br>ア(ア)                                                      | ・今までの学習からできるようになったことを振り返り、夏休みに行う家族のための1食分の食事作りの実践計画を立てる。<br>・学習を生かし、夏休みに向けて家族と協力して家庭での実践計画を立てる。<br>・実践したことを図や表や画像にまとめ、ワークショップ形式で発表し合う。                                                                    | ☆夏休み中に実践したことをワークショップ形式で行うことを伝え、実践報告レポートを夏季休業中に取り組みさせる。<br>☆お互いの実践のよさを認め合い、アドバイスし合うことで、さらによりよい実践ができるようにする。【3(2)(3)】<br>・児童一人一人の家庭環境に十分配慮する。                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 8  | ○夏休みチャレンジ発表会 ①                                                                                                              |                                                                            |                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 9  | <b>「おすすめします！」快適な生活</b> (16時間)<br>○快適な衣服の着方を考えよう ⑤<br>○「気持ちいい」快適な衣服の手入れ ⑥                                                    | B(4)<br>ア(ア)                                                               | ・実験や観察を通して衣服の主な働きを理解したり、生活を振り返ったりして快適な着方を考える。                                                                                                                                                             | ・快適な衣服の着方を家庭での着替えや衣服の選び方などから取材をし、日常生活における衣服の着方と関連させる。<br>・夏と冬の衣服を比較したり実験したりして実感を伴った理解ができるようにする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 10 | ○工夫しよう快適な住まい方 ⑤                                                                                                             | B(4)<br>ア(イ)イ<br>C(2)<br>アイ<br>B(6)<br>ア(ア)<br>B(6)イ<br>C(2)<br>アイ         | ・環境に配慮した衣服の手入れの方法や必要性について観察、実験、実習を通して知る。<br>・環境に配慮し、水や洗剤の量を考え、工夫して手洗いをを行う。<br>・快適な住まい方の工夫をするために、 <b>住まいの主な働き</b> や季節の変化に合わせた住まい方を理解し、自然を生かした快適な住まい方の工夫を考える。                                               | ・家族や自分が行っている衣服の手入れを調べ、話し合う。<br>・体育着や靴下などの身近な物を洗濯し、手洗いと道具を使った場合の汚れの落ち方の違いなどについて比較し発表し合う。<br>【3(2)(3)】<br>・「快適な住まい方」をキーワードに、季節の変化に合わせた住まい方の大切さを家族の生活と関連させて理解を深めさせる。また、日本の生活文化や昔からの生活の知恵についても気付かせる。<br>【3(2)(3)】<br>・主として暑さ・寒さ、通風・換気、採光及び音を取り上げる。                                                                                                                                                                                     |
| 11 | <b>作ろう心をこめて生活を豊かにするおくり物</b><br>(7時間)                                                                                        | B(5)ア<br>(ア)(イ)<br>イ                                                       | ・手縫いやミシン縫いで <b>生活を豊かにする物</b> に必要な材料や手順を考え製作する。<br>(袋物の製作)<br>・製作した物を見直し、改善点を考え、生活にさらに生かす方法を考える。                                                                                                           | ・ <b>生活を豊かにする物</b> にはどんなものがあるのかを家族にインタビューし、製作をする。<br>・不織布での試し作りなど、ゆとりや縫いしろの必要性を理解させる。<br>・冬休みの課題として、「家族や <b>地域</b> の人々と交流したり、協力したりするために自分にできることは何かがあるのか。」を設定し、3学期の交流会につなげるようにする。                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 12 |                                                                                                                             |                                                                            |                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 1  | <b>よりよい生活を目指して</b><br>(6時間)<br>○生活課題を見付け解決しよう ②<br>○感謝の気持ちを表す交流会の計画を立てよう ①<br>○作ろう心をこめておくり物 ②                               | A(4)<br>ア                                                                  | ・第5学年からの学習を振り返り、できるようになったことをもとに生活課題を見付ける。<br>・生活を見つめる中で、お世話になった <b>地域</b> の方々に目を向け、感謝の気持ちを表す交流会の計画を考える。                                                                                                   | ☆生活課題を見付けるために、今まで学習してきた実践カードや振り返りなどに書いたものをもとに、もっとやりたいことや調べたいこと、疑問に思ったことなどを自分の家庭生活を見つめ直す。加えて、地域との関わりからも考えられるようにする。そこから学校応援団や地域の <b>高齢者</b> への感謝の気持ちを表すための交流会を、学校行事「感謝の会」と合わせて計画・実施する。<br>【3(2)(3)】<br>・手紙やメッセージカードを添え、感謝の気持ちを伝える等の工夫をする。<br>・他教科や他領域の連携も考えて交流会を設定するようにする。<br>(交流会→総合的な学習の時間 交流会準備→学級活動)<br>☆お世話になった地域の方々や縦割り活動でペアとなった低学年の児童に感謝の気持ちを表す交流の場を設定する。<br>【3(4)】<br>☆実践報告を行い互いの取組のよさを認め合い、アドバイスし合あって今後家庭や地域での実践に生かせるようにする。 |
| 2  | ○交流会を開こう<br>(交流会の準備・実施は他教科等)<br>○交流会をふり返って ①                                                                                | B(5)ア<br>(ア)(イ)<br>A(4)ア<br>A(3)イ                                          | ・手縫いやミシン縫いで家族や地域の方々へ <b>生活を豊かにする物</b> を製作する。<br>(カード入れやティッシュ入れなど短時間でできるもの)<br>・地域の方を招いての交流会の準備を行う。<br>・交流会を実施する。<br>・交流会を実施しての振り返りを行う。<br>・交流会を実施して、振り返りを行う。各自の生活課題の家庭実践を紹介し合い、振り返りを行う。                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 3  | <b>ふり返ろう家庭科2年間、生かそうこれからの家庭生活</b><br>(1時間)                                                                                   | A(1)ア                                                                      | ・2学年間の学習で、できるようになったことを振り返り、家族からの「ありがとう」のメッセージを読み、今後できるようになりたいことを考える。                                                                                                                                      | ☆「協力・協働」の視点から家族や地域の方からの手紙を用意することで、自分の生活が家族や地域の方々によって支えられていることを実感させる。<br>☆第5学年の最初に立てた目標を達成できたかを振り返り、自己の成長に気付かせ、中学校での技術・家庭科の学習に目を向けさせる。                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

#### 4 題材の計画と一単位時間の展開例

2学年間を見通した指導計画（編 P131）第6学年 1食分の食事を作ってみよう 題材の計画（13時間扱い）

| 過程        | 時間  | ○ねらい ・学習活動 ☆他教科との関連                                                                                                                                                                       |                                             |
|-----------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| みつめる      | 1   | ○自らの食生活を「健康な食生活」で振り返り、食べることの大切さを理解する。<br>・これまでの調理実習で作った料理を栄養面から分類する。<br>・食べることにについて考え、和食の効果を知る。 ☆道徳                                                                                       | B (2) ア (ア)                                 |
| さぐる<br>実践 | 4   | ○ゆでる調理方法を学習し、簡単なおかずを作ることができる。<br>・じゃがいもをゆでることを通して、ゆでることを効果を実感できるようにする<br>・ゆでたじゃがいもで粉ふきいもを作り、簡単な味付けをする。<br>・これまでの学習した調理方法（いためる）と今回学習したゆでる調理方法を組み合わせて副菜を作ることができることを理解し、調理実習に生かすことができるようにする。 | B (2) ア<br>(イ) (ウ) (エ)                      |
|           | 3   | ○料理を組み合わせることの効果を考え、家族のための1食分の献立を作成する。<br>・栄養のバランスや献立作成のポイントを考えて米飯とみそ汁を中心とした1食分の献立を考える。<br>○自分が考えた米飯とみそ汁を中心とした1食分の献立を見直す。<br>○1食分の献立の調理計画を立てる。<br>・調理計画を考え、調理の仕方を工夫する                      | B (3) ア (イ) (ウ)<br>C (1) (イ)<br><br>B (3) イ |
|           | 2   | ○1食分の献立の調理実習をする。（作った献立からグループで1つの献立を選び実習する。またはおかずのみとして、自分の献立の調理を行う。）                                                                                                                       | B (2) ア (ア) (イ)<br>(ウ) (エ)<br>B (2) イ       |
| 深め        | 本時1 | ○家族のための1食分の献立と調理計画を工夫する。<br>・実習をもとに改善し、学校栄養士（T2）や家庭実践アドバイザー（保護者ボランティア）のアドバイスを受けて献立と調理計画を決定する。                                                                                             | B (3) イ                                     |
| る         | 1   | ○目的に合った品質のよい物を無駄なく購入する方法を工夫する。<br>・1食分の献立を家庭で実践するために買い物計画を立てる。                                                                                                                            | C (1) イ                                     |
| いかす       | 1   | ○家族の大切さに気付き、家族の健康について協力できるようにする。<br>・家族と一緒に食べる楽しさを実感できるよう、食生活の工夫を考える。<br>・家庭実践の報告会を開く。                                                                                                    | B (3) イ<br>A (3) ア (ア)                      |

#### 本時の展開例

##### ○目標

- ・自分が考えた家族に喜んでもらえる献立と調理計画を見直して、完成させる。〈創意工夫〉

| 時間      | 学習活動                      | ・教師の働きかけ (T1:授業者 T2:学校栄養士) ◇ 評価                                                                                                                           | 資料                                              |
|---------|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 2       | 1 本時の学習課題を確認し、解決の見通しをもつ。  | ・T1 前時から各自で考えてきた家族のための1食分の献立を完成させることを確認する。                                                                                                                | 献立を考えたワークシート（前時の分）                              |
| 3<br>20 | 2 班内で発表する準備をする。           | ・T1 班内での発表の仕方、発表内容（「家族のため」「献立作成のポイント」等）についてアドバイスをすることを確認させる。                                                                                              | 発表用ワークシート<br>注意事項を示した掲示物<br>付箋紙                 |
|         | 3 班内で発表し、アドバイスし合う。（学び合い）  | ・T1 発表、質問、アドバイスを時間で区切って、班ごとに進めさせる。<br>・T1 アドバイスは付箋紙に書き、発表者に渡すようにさせる。<br>・献立作成のポイントを確認し、そのポイントでお互いにアドバイスし合うよう助言する。                                         |                                                 |
|         | 4 自分の献立と調理計画を見直す。         | ・T1 付箋紙のアドバイスをよく読んで、見直しをして、必要に応じて修正させる。<br>・T1 調理計画の見直しが不十分な児童に助言する。<br>・T2 栄養バランスについて見直しが不十分な児童に助言する。<br>・家庭実践アドバイザー（保護者ボランティア）には家族に喜ばれる具体的なアドバイスをしてもらう。 |                                                 |
| 13      |                           | ◇家族のための献立について、もう一度見直したり、班員のアドバイスを生かしたりしてよりよいものになるよう工夫している。〈創意工夫〉（ワークシート・行動観察）                                                                             | 掲示資料<br>・切り方<br>・メニューカード<br>・栄養表<br>・季節の食材カレンダー |
| 5       | 5 よりよくした献立を発表する。          | ・T1 アドバイス等によってよりよく改善した献立（1～2点）を全体に発表させて、共有させる。<br>・T2 発表した献立について、健康の視点で考えている栄養のバランスのよい献立について紹介する。                                                         | 実物投影機                                           |
| 2       | 6 本時の学習を振り返り、次時以降の見通しをもつ。 | ・T1 出来上がった1食分の献立をもとに、必要な材料の買い物の計画を立ててから、休日等に家庭で調理して家族から評価をもらい、レポートを作り、報告会をすることを知らせる。                                                                      |                                                 |



## 5 指導項目・事項チェック表

年間指導計画をチェックしているものです。これを作成して、漏れがないか確認してください。

| 題 材 名                                       | 内 容<br>項目<br>事項                             | A          |     |     |          |          |     | B |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      | C        |          |   |          |          |   | 時<br>間<br>数 |          |          |   |          |          |            |          |            |   |     |
|---------------------------------------------|---------------------------------------------|------------|-----|-----|----------|----------|-----|---|-----|----------|----------|----------|----------|----------|-----|----------|----------|----------|---|----------|----------|-----|----------|----------|------|----------|----------|---|----------|----------|---|-------------|----------|----------|---|----------|----------|------------|----------|------------|---|-----|
|                                             |                                             | (          | (2) | (3) |          |          | (4) | ( | (2) |          |          |          |          |          | (3) |          |          | (4)      |   |          | (5)      |     |          | (        |      |          | (        |   |          | (2)      |   |             |          |          |   |          |          |            |          |            |   |     |
|                                             |                                             | ア          | ア   | イ   | ア<br>(ア) | ア<br>(イ) | イ   | ア | イ   | ア<br>(ア) | ア<br>(イ) | ア<br>(イ) | ア<br>(エ) | ア<br>(オ) | イ   | ア<br>(ア) | ア<br>(イ) | ア<br>(イ) | イ | ア<br>(ア) | ア<br>(イ) | イ   | ア<br>(ア) | ア<br>(イ) | イ    | ア<br>(ア) | ア<br>(イ) | イ | ア<br>(ア) | ア<br>(イ) | イ |             | ア<br>(ア) | ア<br>(イ) | イ | ア<br>(ア) | ア<br>(イ) | イ          | ア<br>(ア) | ア<br>(イ)   | イ |     |
|                                             |                                             | ア          | ア   | イ   | ア<br>(ア) | ア<br>(イ) | イ   | ア | イ   | ア<br>(ア) | ア<br>(イ) | ア<br>(イ) | ア<br>(エ) | ア<br>(オ) | イ   | ア<br>(ア) | ア<br>(イ) | ア<br>(イ) | イ | ア<br>(ア) | ア<br>(イ) | イ   | ア<br>(ア) | ア<br>(イ) | イ    | ア<br>(ア) | ア<br>(イ) | イ | ア<br>(ア) | ア<br>(イ) | イ |             | ア<br>(ア) | ア<br>(イ) | イ | ア<br>(ア) | ア<br>(イ) | イ          | ア<br>(ア) | ア<br>(イ)   | イ |     |
| 第5学年                                        | はじめよう！「家庭科」<br>見直そう「家庭生活」                   |            |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          |            |          |            | 2 |     |
|                                             | 見直そう家庭生活                                    | ○          |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          |            |          | (1)        |   |     |
|                                             | よりよくしたいな<br>2年後の家庭生活                        | ○          |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          |            |          |            |   | (1) |
|                                             | 目指そうかしこい消費者                                 |            |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          |            |          | 2          |   |     |
|                                             | 協力しよう！家庭の仕事                                 |            |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          |            |          | 20         |   |     |
|                                             | 家庭の仕事を調べ                                    |            | ○   |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          |            | (2)      |            |   |     |
|                                             | 生活時間を見直そう                                   |            |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          |            | (3)      |            |   |     |
|                                             | 目指そう快適な住まい<br>「整理・整とん 編」                    |            |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          |            | (3)      |            |   |     |
|                                             | 豊かにしよう衣生活 1<br>手ぬいにチャレンジ！                   |            |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          |            | (6)      |            |   |     |
|                                             | 食事って何だろう？<br>ゆでる調理に挑戦！                      |            |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          |            | (7)      |            |   |     |
|                                             | やってみよう！<br>家庭の仕事夏休み編 1<br>夏休み実せん計画を<br>立てよう | ○<br>○     |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          |            |          | (1)<br>(1) |   |     |
|                                             | 夏休みチャレンジ発表会                                 | ○          |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          |            |          | (1)        |   |     |
|                                             | 伝統的な日常食<br>ご飯とみそしるを作ろう                      |            |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          |            | 16       |            |   |     |
|                                             | 目指そう快適な住まい<br>「整理・整とん・そうじ編」                 |            |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          |            | 5        |            |   |     |
|                                             | よりよくしよう家庭生活<br>冬休み実せん計画を立てよう                | ○          |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          |            | 4<br>(2) |            |   |     |
|                                             | 冬休みチャレンジ発表会                                 |            |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          | (2)        |          |            |   |     |
|                                             | 豊かにしよう衣生活 2<br>ミシンぬいにチャレンジ！                 |            |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          | 10         |          |            |   |     |
|                                             | できるようになったよ<br>家庭の仕事                         | ○          |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          | 1          |          |            |   |     |
|                                             | 第5学年時間数                                     | 5          | 2   |     | 0        |          | 2   | 2 |     |          |          |          |          |          |     | 17       |          |          | 4 |          |          | 0.5 |          |          | 15.5 |          | 7        |   |          |          | 4 |             |          | 1        |   |          |          | 60         |          |            |   |     |
|                                             | 第6学年                                        | 充実させよう家庭生活 |     |     | ○        | ○        | ○   | ○ |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          |            |          | 3          |   |     |
| 作ろう栄養を考えた食事                                 |                                             |            |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          |            | 20       |            |   |     |
| いためものに挑戦！                                   |                                             |            |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          | (7)        |          |            |   |     |
| 1食分の食事を作ってみよう                               |                                             |            |     |     | ○        |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          | (13)       |          |            |   |     |
| やってみよう！<br>家庭の仕事夏休み編 2<br>夏休み実せん計画を<br>立てよう |                                             | ○<br>○     |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          | 2<br>(1)   |          |            |   |     |
| 夏休みチャレンジ発表会                                 |                                             | ○          |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          | (1)        |          |            |   |     |
| 「おすすめします！」<br>快適な生活                         |                                             |            |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          | 16         |          |            |   |     |
| 快適な衣服の着方を考えよう<br>「気持ちいい」                    |                                             |            |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          | (5)        |          |            |   |     |
| 快適な衣服の手入れ<br>工夫しよう快適な住まい方                   |                                             |            |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          | (6)<br>(5) |          |            |   |     |
| 作ろう心をこめて<br>生活を豊かにするおくり物                    |                                             |            |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          | 7          |          |            |   |     |
| よりよい生活を目指して<br>生活課題を見付け解決しよう                |                                             |            |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          | 6<br>(2)   |          |            |   |     |
| 感謝の気持ちを表す交流会の<br>計画を立てよう                    |                                             |            |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          | (1)        |          |            |   |     |
| 作ろう心をこめておくり物<br>交流会を開こう<br>交流会              |                                             |            |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          | (2)<br>(1) |          |            |   |     |
| 交流会をふり返って<br>ふり返ろう家庭科2年間、<br>生かそうこれからの家庭生活  |                                             | ○          |     |     |          |          |     |   |     |          |          |          |          |          |     |          |          |          |   |          |          |     |          |          |      |          |          |   |          |          |   |             |          |          |   |          |          | 1          |          |            |   |     |
| 第6学年時間数                                     |                                             | 2          | 1   |     | 3.5      |          | 3   | 2 |     |          |          |          |          |          |     | 13.5     |          |          | 3 |          |          | 9   |          |          | 9    |          | 3        |   |          |          | 2 |             |          | 4        |   |          |          | 55         |          |            |   |     |
| 総時間数                                        |                                             | 7          | 3   |     | 3.5      |          | 5   | 4 |     |          |          |          |          |          |     | 30.5     |          |          | 7 |          |          | 9.5 |          |          | 24.5 |          | 10       |   |          |          | 6 |             |          | 5        |   |          |          | 115        |          |            |   |     |

## 第1 指導計画の作成

### 1 指導計画作成の基本的な考え方

#### 【体育科の目標】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、思考力、判断力、表現力等を養う。

#### 【体育科の見方・考え方】

体育科においては、「見方・考え方」を働かせる学習過程を工夫することにより、体育科で育成を目指す資質・能力がより豊かになり、体育科の目標である、「生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力」の育成につなげることを目指すものである。

#### 【体育の見方・考え方】

運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けることである。

#### 【保健の見方・考え方】

個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けることである。

### 2 指導計画作成の一般的な手順

年間指導計画は、各学校の体育科の時間等の根幹をなす基本的な計画である。各学校においては、地域や学校及び児童の実態や特性を十分考慮して、小学校6年間を見通し、各学年の目標や内容、授業時数、単元配列等を的確に定め、年間を通して運動の実践が円滑に行われるなど調和のとれた年間指導計画を作成する必要がある。

#### 【手順】

- (1) 基礎資料（児童の実態、施設・用具の規模と数、学級・教職員数、地域の条件等）を作成する。
- (2) 学校における体育科の目標を定め、指導方針を明確にする。
- (3) 各学年の指導内容・領域別時数を決める。
- (4) 単元の構成や規模を決める。
- (5) 単元の配列を決める。
- (6) 年間指導計画を作成する。
- (7) 実践をもとに年間指導計画の評価、改善を行う。

### 3 指導計画作成に当たっての留意すべき事項

各教科等共通の視点

体育科の視点

#### (1) 「特別な配慮を必要とするなど課題を抱えた児童への指導」の視点

運動領域の指導に当たっては、当該児童の運動（遊び）の行い方を工夫するとともに、活動の場や用具、補助の仕方に配慮するなど、困難さに応じた手立てを講じていく。保健領域の指導においても、不安や悩みなどへの対処やけがの手当などの技能の実技指導については、運動領域の指導と同様の配慮をする。

#### 【運動領域における配慮の例】

- ・複雑な動きをしたり、バランスをとったりすることに困難がある場合には、動きを細分化したり、適切に補助をしたりする。

(2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点

《主体的な学び》

- ・運動の楽しさや健康の意義等に気付き、運動や健康についての興味や関心を高め、課題の解決に向けて自ら粘り強く取り組み。
- ・学習を振り返り、課題を修正したり、新たな課題を設定したりする。

《対話的な学び》

- ・運動や健康についての課題の解決に向け、他者との対話を通して、自己の思考を広げたり深めたりする。

《深い学び》

- ・自己の運動や健康についての課題を見付け、解決に向けて試行錯誤を重ねながら、思考を深め、よりよく解決する。
- これらの三つの学びの過程を独立して取り上げるのではなく、相互に関連を図り、体育や保健の見方・考え方を働かせ、単元の内容や時間のまとまりの中で、多様な学習活動を組み合わせながら授業を組み立てていく。

【多様な学習活動の例】

- ・自身の学びや変容を自覚できる活動
- ・自分の考えを広げたり深めたりする活動
- ・児童が考える活動と教師が教える活動

(3) 「教科等横断的」な視点

育成すべき資質・能力の三つの柱を踏まえ、教科等の枠を超え、全ての教科等のつながりの中で育んでいくものを明確にする。

【教科等横断的な学習活動の例】

- ・筋道を立てて練習や作戦について話し合うことや、身近な健康の保持増進について話し合うことなど、コミュニケーション能力や論理的な思考力の育成を促すための言語活動を積極的に行う。
- ・「器械・器具を使っている運動遊び」と、生活科の「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」とを関連付け、施設や用具の安全に気を付けて運動遊びをする。

(4) 「社会に開かれた教育課程」の視点

社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、求められる資質・能力を教育課程において明確にしたり、地域の人的・物的資源の活用や放課後、土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりしていく。

【人的資源の活用を図った学習活動の例】

- ・地域のスポーツクラブの指導者を招き、示範や実技指導などを行うことで、技能の向上を図る。

(5) 「道徳教育の充実」の視点

道徳教育の全体計画との関連を図ったり、道徳科の指導の内容及び時期等に配慮したりすることで、体育科で扱った内容や教材の中で適切なものを道徳科に活用したり、道徳科で取り上げたことに関係のある内容や教材を体育科で扱ったりするなど、相互に効果を高め合うようにする。

【道徳教育との関連を図った学習活動の例】

- ・集団で楽しくゲームを行うことを通して、仲間と協力する、勝敗を受け入れる、フェアプレイを大切にする、仲間の考えや取組を理解するなどの態度を養う。

(6) 「授業時数配当」の視点

- ・児童の実態や学校・地域に応じた指導ができるように、特色ある領域別時数を工夫し配当する。ただし、一部の領域に偏らないようにする。
  - ・機能的特性に十分触れ、学習内容の確実な習得を図るために、2学年間で運動の取り上げ方の弾力化を図り、できる限り低・中学年でも中・大単元化する。
  - ・日常的な体育活動が活性化するように、学校行事との関連を図る。
- ・第3学年及び第4学年の内容の「G 保健」に配当する授業時数は、2学年間で8単位時間程度、また、第5学年及び第6学年の内容の「G 保健」に配当する授業時数は、2学年間で16単位時間程度とする。なお、効果的な学習が行われるよう適切な時期に、ある程度まとまった時間を配当する。



## 第2 指導計画作成のための資料

### 1 各学年の内容の取扱い

ゴシック体…新たに加わったもの、または変更したもの

| 領域及び内容（学年）                                                                                                                                                                                                                                                     | 内容の取扱い                                                                 |                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                                                                                                                                                                | 第1・2学年（低）                                                              | 第3・4学年（中）                                                                                                                                                                                               | 第5・6学年（高）                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <b>A 体つくりの運動遊び（低）</b><br>ア 体ほぐしの運動遊び<br>イ 多様な動きをつくる運動遊び<br><b>体つくり運動（中）</b><br>ア 体ほぐしの運動<br>イ 多様な動きをつくる運動<br><b>体つくり運動（高）</b><br>ア 体ほぐしの運動<br>イ 体の動きを高める運動                                                                                                     | ○ 2学年間にわたって指導するものとする。                                                  | ○ 2学年間にわたって指導するものとする。                                                                                                                                                                                   | ○ 2学年間にわたって指導するものとする。また、(1)のイ「体の動きを高める運動」については、体の柔らかさ及び巧みな動きを高めることに重点を置いて指導するものとする。 <b>その際、音楽に合わせて運動をするなどの工夫を図ること。</b><br>○ (1)の <b>ア「体ほぐしの運動」</b> と「 <b>G 保健</b> 」の(1)の <b>ア(ウ)「不安や悩みなどへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動するなどいろいろな方法があること。」</b> については、相互の関連を図って指導するものとする。 |
| <b>B 器械・器具を使つての運動遊び（低）</b><br>ア 固定施設を使った運動遊び<br>イ マットを使った運動遊び<br>ウ 鉄棒を使った運動遊び<br>エ 跳び箱を使った運動遊び<br><b>器械運動（中・高）</b><br>ア マット運動    イ 鉄棒運動<br>ウ 跳び箱運動                                                                                                             | ○ いずれかの学年で指導することもできる。                                                  | ○ いずれかの学年で指導することもできる。                                                                                                                                                                                   | ○ いずれかの学年で指導することもできる。                                                                                                                                                                                                                                              |
| <b>C 走・跳の運動遊び（低）</b><br>ア 走の運動遊び    イ 跳の運動遊び<br><b>走・跳の運動（中）</b><br>ア かけっこ・リレー    イ 小型ハードル走<br>ウ 幅跳び    エ 高跳び<br><b>陸上運動（高）</b><br>ア 短距離走・リレー    イ ハードル走<br>ウ 走り幅跳び    エ 走り高跳び                                                                                 | ○ いずれかの学年で指導することもできる。<br>○ <b>児童の実態に応じて投の運動遊びを加えて指導することができる。</b>       | ○ いずれかの学年で指導することもできる。<br>○ <b>児童の実態に応じて投の運動を加えて指導することができる。</b>                                                                                                                                          | ○ いずれかの学年で指導することもできる。<br>○ <b>児童の実態に応じて、投の運動を加えて、指導することができる。</b>                                                                                                                                                                                                   |
| <b>D 水遊び（低）</b><br>ア 水の中を移動する運動遊び<br>イ もぐる・浮く運動遊び<br><b>水泳運動（中）</b><br>ア 浮いて進む運動    イ もぐる・浮く運動<br><b>水泳運動（高）</b><br>ア クロール    イ 平泳ぎ<br>ウ 安全確保につながる運動                                                                                                           | ○ いずれかの学年で指導することもできる。                                                  | ○ いずれかの学年で指導することもできる。                                                                                                                                                                                   | ○ いずれかの学年で指導することもできる。<br>○ (1)の <b>ア「クロール」</b> 及び <b>イ「平泳ぎ」</b> については、水中からのスタートを指導するものとする。また、学校の実態に応じて背泳ぎを加えて指導することができる。                                                                                                                                           |
| <b>E ゲーム（低）</b><br>ア ボールゲーム    イ 鬼遊び<br><b>ゲーム（中）</b><br>ア ゴール型ゲーム    イ ネット型ゲーム<br>ウ ベースボール型ゲーム<br><b>ボール運動（高）</b><br>ア ゴール型    イ ネット型<br>ウ ベースボール型                                                                                                            | ○ いずれかの学年で指導することもできる。                                                  | ○ いずれかの学年で指導することもできる。<br>○ (1)の <b>ア「ゴール型ゲーム」</b> については、味方チームと相手チームが入り交じって得点を取り合うゲーム及び陣地を取り合うゲームを取り扱うものとする。                                                                                             | ○ いずれかの学年で指導することもできる。<br>○ (1)「知識及び技能」については、アはバスケットボール及びサッカーを、イはソフトバレーボールを、ウはソフトボールを主として取り扱うものとするが、これらに替えてハンドボール、 <b>タグラグビー、フラッグフットボール</b> などア、イ及びウの型に応じたその他のボール運動を指導することもできるものとする。なお、学校の実態に応じてウは取り扱わないことができる。                                                     |
| <b>F 表現リズム遊び（低）</b><br>ア 表現遊び    イ リズム遊び<br><b>表現運動（中）</b><br>ア 表現    イ リズムダンス<br><b>表現運動（高）</b><br>ア 表現    イ フォークダンス                                                                                                                                          | ○ いずれかの学年で指導することもできる。<br>○ (1)のイ「リズム遊び」については、簡単なフォークダンスを含めて指導することができる。 | ○ いずれかの学年で指導することもできる。<br>○ (1)「知識及び技能」については、地域や学校の実態に応じてフォークダンスを加えて指導することができる。                                                                                                                          | ○ いずれかの学年で指導することもできる。<br>○ (1)「知識及び技能」については、地域や学校の実態に応じてリズムダンスを加えて指導することができる。                                                                                                                                                                                      |
| <b>G 保健（中）</b><br>(1)健康な生活<br>(2)体の発育・発達<br><b>保健（高）</b><br>(1)心の健康<br>(2)けがの防止<br>(3)病気の予防                                                                                                                                                                    |                                                                        | ○ (1)「健康な生活」を第3学年、(2)「体の発育・発達」を第4学年で指導するものとする。<br>○ (1)「健康な生活」については、学校でも、健康診断や学校給食など様々な活動が行われていることについて触れるものとする。<br>○ (2)「体の発育・発達」については、自分と他の人では発育・発達などに違いがあることに気付き、それらを肯定的に受け止めることが大切であることについて触れるものとする。 | ○ (1)「心の健康」及び(2)「けがの防止」を第5学年、(3)「病気の予防」を第6学年で指導するものとする。 <b>また、けがや病気からの回復についても触れるものとする。</b><br>○ (3)の <b>ア(エ)「喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。」</b> の薬物については、有機溶剤の心身への影響を中心に扱うものとする。また、覚醒剤等についても触れるものとする。                                                            |
| ※ 低学年においては、学校や地域の実態に応じて歌や運動を伴う伝承遊び及び自然の中での運動遊びを加えて指導することができる。また、各領域の各内容については、運動と健康が関わっていることの具体的な考えがもてるよう指導すること。（解P66）<br>※ 中学年においては、各領域の各内容については、運動と健康が密接に関連していることについての具体的な考えがもてるよう指導すること。（解P110）<br>※ 高学年においては、各領域の各内容については、運動領域と健康領域との関連を図る指導に留意すること。（解P160） |                                                                        |                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                    |

2 指導計画作成上の手順と留意点

- (1) 基礎資料（児童の実態、施設・用具の規模と数、学級・教職員数、地域の条件等）を作成する  
児童の実態や学校・地域に応じた特色ある年間指導計画を作成するためには、まず、児童の実態、施設・用具の規模と数、学級・教職員数、地域の条件等を的確に把握することが必要である。  
(例：A小学校)

|            |                                                           |
|------------|-----------------------------------------------------------|
| 児童の実態      | 新体力テストの結果を見ると、50m走・ソフトボール投げ・20mシャトルランの記録が県平均を下回っている学年が多い。 |
| 施設・用具の規模と数 | 校庭は1周130m弱のトラックでやや狭い。<br>ソフトボールの用具が不足している。                |
| 学級・教職員数    | 全学年3学級で合計18学級である。教職員数は、26名である。                            |
| 地域の条件      | サッカー少年団に所属している児童がやや多い。<br>ボールを使用して遊べるような広い公園がない。          |
| 地域の体育的行事   | 市民体育祭 小学生ドッジボール大会 ウォーキング大会                                |

- (2) 学校における体育科の目標を定め、指導方針を明確にする

(例：A小学校)

ア 体育科の目標・・・運動の有する特性や魅力に応じて、基本的な動きや技能を身に付けたり、健康・安全に関する課題を解決したりし、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質や能力を育成する。  
(資質・能力の三つの柱の育成)

イ 指導方針・・・指導内容の系統性を踏まえた運動の取り上げ方の重点化・弾力化を図る。  
指導内容の明確化と確実な定着を図る。運動領域と保健領域の関連を図る。  
児童の課題となっている体力（特に走力・投力・持久力）の向上を図る。  
(主体的・対話的で深い学びの実現)

- (3) 各学年の指導内容・領域別時数を定める

○運動の取上げ方の重点化

基礎資料（児童の実態、施設・用具の規模と数、学級・教職員数、地域の条件等）や学校における体育科の目標、指導方針等を基に重点領域を選定し、領域別の指導時数を配当する。

(例：A小学校)

|         | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 | 第4学年 | 第5学年 | 第6学年 |
|---------|------|------|------|------|------|------|
| 体づくり運動系 | 16   | 16   | 15   | 15   | 10   | 12   |
| 器械運動系   | 20   | 20   | 22   | 22   | 18   | 16   |
| 陸上運動系   | 20   | 23   | 20   | 20   | 16   | 16   |
| 水泳系     | 10   | 10   | 10   | 10   | 10   | 10   |
| ボール運動系  | 24   | 24   | 24   | 24   | 17   | 18   |
| 表現運動系   | 12   | 12   | 10   | 10   | 11   | 10   |
| 保健      |      |      | 4    | 4    | 8    | 8    |
| 合計      | 102  | 105  | 105  | 105  | 90   | 90   |

【A小学校における配当上の留意点】

○体づくり運動系は、持久力が低下している実態や、体の基本的な動きや多様な動きを身に付ける視点から、低・中学年の時数を十分に確保する。  
○陸上運動系は、走力や投力が低下している実態や、運動会、市内陸上大会などの関連から、全学年にわたって時数を多く配当する。また、「[投の運動(遊び)]を加えて指導することができる」ことが示されたことから、偶数学年に「[投の運動(遊び)]を取り入れる。  
○ボール運動系は、投力が低下している実態や、学習内容に発展性があるため、全学年にわたって時数を多く配当する。

○運動の取上げ方の弾力化

学年の目標及び内容が2学年ごとにまとめて示されている意図を踏まえ、いずれの学年に分けるか、いずれの学年においても取り上げるか等、6年間を見通して、2学年間での弾力的な扱いを工夫することで、児童にじっくりと学習に取り组ませ、指導内容の確実な定着を図る。

(例：A小学校 第3学年・第4学年)

|        | 第3学年                     | 第4学年                       |
|--------|--------------------------|----------------------------|
| 体づくり運動 | 体ほぐしの運動 多様な動きをつくる運動      | 体ほぐしの運動 多様な動きをつくる運動        |
| 器械運動   | バット運動 鉄棒運動 跳び箱運動         | バット運動 鉄棒運動 跳び箱運動           |
| 走・跳の運動 | かけっこ・リレー 小型ハートル走 幅跳び     | かけっこ・リレー 小型ハートル走 高跳び 投の運動  |
| 水泳運動   | 浮いて進む運動 もぐる・浮く運動         | 浮いて進む運動 もぐる・浮く運動           |
| ゲーム    | ボール型ゲーム(タグラグビー) (ハンドボール) | ボール型ゲーム(ボートボール) (ライオンサッカー) |
| 表現運動   | ベースボール型ゲーム(テイクボール)       | ネット型ゲーム(レベルボール)            |
| 保健     | 表現 リズムダンス                | 表現 リズムダンス                  |
| 健康     | 健康な生活                    | 体の発育・発達                    |

(4) 単元の構成や規模を決める

機能的特性や学年の発達の段階を考慮して、単元の規模や各運動にどの程度の時間をかけるかを定める。主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、大単元を多く設定するとよい。

(例：A小学校)

|     | 低学年 (102、105 時間)                                                                                                                                                  | 中学年 (105 時間)                                                                                                                     | 高学年 (90 時間)                                                                                                             |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | (2 時間程度)                                                                                                                                                          | (2 ～ 4 時間程度)                                                                                                                     | (2 ～ 4 時間程度)                                                                                                            |
| 小単元 | ・体ほぐしの運動遊び<br>・固定施設を使った運動遊び<br>・走の運動遊び (1 年 4 月)<br>・跳の運動遊び (1 年 4 月)                                                                                             | ・体ほぐしの運動 (3 年 4、12 月、4 年 4、11 月)<br>・多様な動きをつくる運動 (3 年 4、1 月、4 年 4、11 月)<br>・投の運動<br>・健康的な生活<br>・体の発育・発達                          | ・体ほぐしの運動<br>・体の動きを高める運動<br>・投の運動<br>・フオークダンス<br>・心の健康<br>・けがの防止                                                         |
| 中単元 | (3 ～ 5 時間程度)<br>・鉄棒を使った運動遊び<br>・走の運動遊び (1 年 9 月)<br>(2 年 4、9、3 月)<br>・投の運動遊び<br>・鬼遊び (2 年 10 月)                                                                   | (5 ～ 7 時間程度)<br>・多様な動きをつくる運動 (3 年 12 月、4 年 1 月)<br>・ワット運動 (3 年 10 月)<br>・跳び箱運動 (4 年 2 月)<br>・かけっこ・リレー<br>・小型ハードル走<br>・高跳び<br>・表現 | (5 ～ 7 時間程度)<br>・ワット運動 (5 年 4 月)<br>・鉄棒運動<br>・跳び箱運動 (5 年 1 月)<br>・ハードル走<br>・走り高跳び                                       |
| 大単元 | (6 時間以上)<br>・多様な動きをつくる運動遊び<br>・ワットを使った運動遊び<br>・跳び箱を使った運動遊び<br>・走の運動遊び (1 年 10 月)<br>・跳の運動遊び (1、2 年 2 月)<br>・鬼遊び (1、2 年 1 月)<br>・水遊び<br>・ボールゲーム<br>・表現遊び<br>・リズム遊び | (8 時間以上)<br>・ワット運動 (4 年 10 月)<br>・跳び箱運動 (3 年 2 月)<br>・鉄棒運動<br>・水泳運動<br>・ゲーム                                                      | (8 時間以上)<br>・短距離走・リレー<br>・走り幅跳び<br>・走り高跳び<br>・ワット運動 (6 年 4 月)<br>・跳び箱運動 (6 年 1 月)<br>・水泳運動<br>・ボール運動<br>・表現運動<br>・病気の予防 |

(5) 単元の配列を決める

機能的特性が明確で、児童にわかりやすく、かつ、その内容が豊かで発展性のある運動を主単元とし、主単元を中心にゆとりある学習時間を確保した計画を立てていく。その他の運動は副単元とし、主単元と組み合わせで配列し、時間を十分に配当する単元、時間を少し配当する単元といったように、軽重をつける工夫が必要である。

(単元の組み合わせの例：A小学校 第1学年)

| 月(時)   | 4月 (6)                   |   |   |   | 5月 (9)                 |   |   |   |   |    |
|--------|--------------------------|---|---|---|------------------------|---|---|---|---|----|
| 時間(回)  | 1                        | 2 | 3 | 4 | 5                      | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 構<br>成 | 固定施設を使った運動遊び<br>(25分×4回) |   |   |   | 鉄棒を使った運動遊び<br>(27分×5回) |   |   |   |   |    |
|        | 走の運動遊び<br>(20分×4回)       |   |   |   | 跳の運動遊び<br>(18分×5回)     |   |   |   |   |    |

【単元配列にあたっての留意点】

- 季節によって位置付けが決めやすい単元から決める。
- 学校行事と関連する単元を位置付ける。
- 各学期にどう配分するかを考え、関係領域の各単元を位置付ける。
- 体育施設・用具の合理的な使用ができるように学年間での調整を図る。

(6) 年間指導計画を作成する

|        |                                                                                      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 月 (時)  | 【年間指導計画に必要な項目】                                                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 体育的行事  | ○月 (時) …月ごとに指導時間がわかるように示す。                                                           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 単元名    | ○体育的行事…新体力テスト、プール開き、運動会等を示す。                                                         |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ねらい    | ○単元名…わかりやすい単元名を示す。                                                                   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 時間 (回) | ○ねらい…各学校の実態に即してねらいを定める。                                                              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|        | ○時間 (回) …年間の指導時間 (回数) を1 単位時間ごとに示す。                                                  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| (分)    | ○構成…単独単元か組み合わせ単元かがわかるように示す。組み合わせ単元の場合には、その順序と45分をどのように区切って合わせるのかかわかるように示す。           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 備考     | ○備考…他教科等とのつながり、地域との連携等について示す。<br>※その他…単元ごとの指導計画には、学習内容や学習の道筋、場づくり、必要な用具、評価標準等を示すとよい。 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

(7) 実践をもとに年間指導計画の評価、改善を行う

○単元終了時や学期末に、実践を踏まえた改善点を年間指導計画に書きし、見直しを積み重ねる。併せて、使用した学習資料や学習カード、手作り教具、電子データ等の整理及び保存をする。  
○学年末に、次年度に向け、積み上げてきた朱書き等をもとに年間指導計画を改善する。



# 第1学年 ○A 小学校の年間指導計画

○児童の実態から、走力・投力・持久力に重点を置く。

☆…重点単元 網掛けの単元…体育館を使用

| 月（時）  |     | 4月（6）                                                                                                                                  |                                                    |                                                          |                                 | 5月（9）                                                                                                                                   |                                                |                             |                         | 6月（12）                                                                                                                                                                                                 |    |    |    | 7月（6）                                      |    |    |    | 9月（9）                                                                                                                                                           |    |    |    | 10月（12）                                                                                                                                                    |    |    |    |                                                                                                                                     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|-------|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|--------------------------------------------|----|----|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 体育的行事 |     | （健康診断）                                                                                                                                 |                                                    |                                                          |                                 | 新体力テスト                                                                                                                                  |                                                |                             |                         | プール開き                                                                                                                                                                                                  |    |    |    | （林間学校（5年））                                 |    |    |    | 運動会                                                                                                                                                             |    |    |    |                                                                                                                                                            |    |    |    |                                                                                                                                     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 単元名   |     | <div>〈器〉<br/>固定施設を使った運動遊び②<br/>☆〈走〉<br/>走の運動遊び②</div>                                                                                  | <div>〈器〉<br/>鉄棒を使った運動遊び③<br/>〈走〉<br/>跳の運動遊び②</div> | <div>〈体〉<br/>体ほぐしの運動遊び②<br/>〈体〉<br/>多様な動きをつくる運動遊び⑥</div> | <div>〈器〉<br/>マットを使った運動遊び⑥</div> | <div>〈水〉<br/>水の中を移動する運動遊び⑥<br/>もぐる・浮く運動遊び④</div>                                                                                        | <div>〈表〉<br/>リズム遊び⑥<br/>☆〈走〉<br/>走の運動遊び④</div> | <div>☆〈ゲ〉<br/>ボールゲーム⑥</div> | <div>〈器〉<br/>☆〈走〉</div> |                                                                                                                                                                                                        |    |    |    |                                            |    |    |    |                                                                                                                                                                 |    |    |    |                                                                                                                                                            |    |    |    |                                                                                                                                     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| ねらい   |     |                                                                                                                                        |                                                    |                                                          |                                 |                                                                                                                                         |                                                |                             |                         | （略）                                                                                                                                                                                                    |    |    |    |                                            |    |    |    |                                                                                                                                                                 |    |    |    |                                                                                                                                                            |    |    |    |                                                                                                                                     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 時間（回） |     | 1                                                                                                                                      | 2                                                  | 3                                                        | 4                               | 5                                                                                                                                       | 6                                              | 7                           | 8                       | 9                                                                                                                                                                                                      | 10 | 11 | 12 | 13                                         | 14 | 15 | 16 | 17                                                                                                                                                              | 18 | 19 | 20 | 21                                                                                                                                                         | 22 | 23 | 24 | 25                                                                                                                                  | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 |
| 構成    | （分） | <div>○固定施設を使った運動遊び<br/>・ジャングルジム<br/>・雲梯<br/>・登り棒・肋木<br/>・平均台を使った運動遊び<br/><br/>○30～40m程度のかげっこ<br/>・様々な形状の線上等を真っ直ぐに走ったり、蛇行して走ったりする</div> |                                                    |                                                          |                                 | <div>○鉄棒を使った運動遊び<br/>・ふとん干し、ツバメ、足抜き回り、ぶたの丸焼き、さる、こもり、ぶら下がり、跳び上がり、下り、前に回って下りる<br/><br/>○跳の運動遊び<br/>・幅跳び遊び<br/>・ケンパー跳び遊び<br/>・ゴム跳び遊び</div> |                                                |                             |                         | <div>○体ほぐしの運動遊び<br/>・リズムに乗って心が弾むような動作で運動遊び<br/><br/>○体のバランスをとる運動遊び<br/>・回る、寝ころび、起きる、座る、立つ、体のバランスを保つなどの動き<br/><br/>○用具を操作する運動遊び<br/>・用具をつかむ、持つ、降ろす、回す、転がす、用具をくぐる、用具を運ぶ、用具を投げる、捕る、用具を跳ぶ、用具に乗るなどの動き</div> |    |    |    | <div>・ゆりかご、前転がり、後ろ転がり、だるま転がり、丸太転がりなど</div> |    |    |    | <div>○水の中を移動する運動遊び<br/>・水につかっただの水かけっこ、まねっこ遊び<br/>・水につかっただの電車ごっこ、リレー遊び、鬼遊び<br/>○もぐる・浮く運動遊び<br/>・水中でのじゃんけん、にらめっこ、石拾い<br/>・くらげ浮き、伏し浮き、大の字浮き<br/>・バブリングやホッピング</div> |    |    |    | <div>○リズム遊び<br/>・弾んで踊れるようなロックやサンバなどの軽快なリズム<br/>・へそ（体幹部）を中心に軽快なリズムの音楽に乗って即興的に踊る<br/>・友達と関わって踊る<br/>○30～40m程度のかげっこ<br/>・様々な形状の線上等を真っ直ぐに走ったり、蛇行して走ったりする</div> |    |    |    | <div>○的あてゲーム<br/>○シュートゲーム<br/>・ねらったところにボールを投げる、的に当てる、得点する<br/>・ボールが飛んだり、転がったりしてくるコースに入る<br/><br/>○鉄棒を使った運動遊び<br/><br/>○走の運動遊び</div> |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|       |     |                                                                                                                                        |                                                    |                                                          |                                 |                                                                                                                                         |                                                |                             |                         |                                                                                                                                                                                                        |    |    |    |                                            |    |    |    |                                                                                                                                                                 |    |    |    |                                                                                                                                                            |    |    |    |                                                                                                                                     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|       |     |                                                                                                                                        |                                                    |                                                          |                                 |                                                                                                                                         |                                                |                             |                         |                                                                                                                                                                                                        |    |    |    |                                            |    |    |    |                                                                                                                                                                 |    |    |    |                                                                                                                                                            |    |    |    |                                                                                                                                     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|       |     |                                                                                                                                        |                                                    |                                                          |                                 |                                                                                                                                         |                                                |                             |                         |                                                                                                                                                                                                        |    |    |    |                                            |    |    |    |                                                                                                                                                                 |    |    |    |                                                                                                                                                            |    |    |    |                                                                                                                                     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 備考    |     | ・集団行動の指導<br>・生活科との関連【3(3)】                                                                                                             |                                                    |                                                          |                                 | ・生活科との関連【3(3)】                                                                                                                          |                                                |                             |                         | ・生活科との関連【3(3)】                                                                                                                                                                                         |    |    |    | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                      |    |    |    | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                                                                                                           |    |    |    |                                                                                                                                                            |    |    |    | ・道徳教育との関連【3(5)】                                                                                                                     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

| 月（時）   |     | 10月                                                                                        |    | 11月（12）    |    |    |                         |    |    |    |    |                                                 |    | 12月（6） |    |                                                                                                                                                     |              |    |    |    |    | 1月（9）       |    |    |    |    |                 |    |    |                                                     |    | 2月（12）         |    |    |    |    |                 |    |    |    |    | 3月（9）  |    |                                                                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    |     |     |     |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                                                                              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------|----|------------|----|----|-------------------------|----|----|----|----|-------------------------------------------------|----|--------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|----|----|----|----|-------------|----|----|----|----|-----------------|----|----|-----------------------------------------------------|----|----------------|----|----|----|----|-----------------|----|----|----|----|--------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|--|--|--|--|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 体育的行事  |     |                                                                                            |    | 陸上大会（5・6年） |    |    |                         |    |    |    |    |                                                 |    | 持久走大会  |    |                                                                                                                                                     |              |    |    |    |    |             |    |    |    |    |                 |    |    |                                                     |    | なわ跳び大会         |    |    |    |    |                 |    |    |    |    | 学年球技大会 |    |                                                                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    |     |     |     |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                                                                              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 単元名    |     | 〈器〉<br>鉄棒を使った運動遊び③<br>☆〈走〉<br>走の運動遊び⑥                                                      |    |            |    |    | 〈器〉<br>跳び箱を使った運動遊<br>び⑥ |    |    |    |    | 〈体〉<br>体ほぐしの運動遊び②<br>☆〈体〉<br>多様な動きをつくる運動遊び<br>⑥ |    |        |    |                                                                                                                                                     | 〈表〉<br>表現遊び⑥ |    |    |    |    | 〈ゲ〉<br>鬼遊び⑥ |    |    |    |    | ☆〈ゲ〉<br>ボールゲーム⑥ |    |    |                                                     |    | 〈走〉<br>跳の運動遊び⑥ |    |    |    |    | ☆〈ゲ〉<br>ボールゲーム⑥ |    |    |    |    |        |    |                                                                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    |     |     |     |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                                                                              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ねらい    |     | (略)                                                                                        |    |            |    |    |                         |    |    |    |    |                                                 |    |        |    |                                                                                                                                                     |              |    |    |    |    |             |    |    |    |    |                 |    |    |                                                     |    |                |    |    |    |    |                 |    |    |    |    |        |    |                                                                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    |     |     |     |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                                                                              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 時間（回）  |     | 52                                                                                         | 53 | 54         | 55 | 56 | 57                      | 58 | 59 | 60 | 61 | 62                                              | 63 | 64     | 65 | 66                                                                                                                                                  | 67           | 68 | 69 | 70 | 71 | 72          | 73 | 74 | 75 | 76 | 77              | 78 | 79 | 80                                                  | 81 | 82             | 83 | 84 | 85 | 86 | 87              | 88 | 89 | 90 | 91 | 92     | 93 | 94                                                                                                                                                                                                | 95 | 96 | 97 | 98 | 99 | 100 | 101 | 102 |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                                                                              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 構<br>成 | (分) | ○鉄棒を使った運動遊び<br>・ふとん干し、ツバメ、<br>足抜き回り、ぶたの丸<br>焼き、さる、こうも<br>り、ぶら下がり、跳び<br>上がり、下り、前に<br>回って下りる |    |            |    |    |                         |    |    |    |    |                                                 |    |        |    | 馬跳び、<br>タイや跳び、<br>うさぎ跳び、<br>ゆりかご、<br>前転がり、<br>背支持倒立(首倒立)、<br>かえるの逆立ち、<br>かえるの足打ち、<br>壁より下り倒立、<br>支持でまたぎ乗り、<br>またぎ下り、<br>支持で跳び乗り、<br>跳び下り、<br>踏み越し跳び |              |    |    |    |    |             |    |    |    |    |                 |    |    | ○体ほぐしの運動遊び<br>・伸び伸びとした動作で操作<br>しやすい用具などを用いた<br>運動遊び |    |                |    |    |    |    |                 |    |    |    |    |        |    | ・特徴が捉えやすく多様<br>な感じを多く含む題材<br>・特徴が捉えやすくス<br>ピードの変化のある動<br>きを多く含む題材<br>・「○○が○○してい<br>るところ」など、いろ<br>んな題材の特徴や様<br>子の変化のある全身<br>の動きで即興的に踊<br>る<br>・どこかに「大変だ！○<br>○だ！」などの急変<br>する場面を入れて簡単<br>な話にして続けて踊る |    |    |    |    |    |     |     |     |  |  |  |  |  | ○一人鬼、手つなぎ<br>鬼、増やし鬼<br>○宝取り鬼、ボール<br>運び鬼<br>・空いている場所を見付<br>けて速く走ったり、急<br>に曲がったり、身を<br>かわしたりする<br>・相手（鬼）のいな<br>い場所への移動、<br>駆け込み<br>・少人数で連携して<br>相手（鬼）をかわし<br>たり、走り抜けたり<br>する<br>・逃げ回る相手を追<br>いかけてタッチしたり、<br>マーク（タグやフラ<br>ッグ）を取ったりす<br>る |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○的あてゲーム<br>○シュートゲーム<br>・ねらったところに<br>ボールを投げる、的<br>に当てる、得点する<br>・ボールを捕ったり、<br>止めたりする<br>・ボールが飛んだり、<br>転がったりしてくる<br>コースへの移動<br>・ボールを操作でき<br>る位置への移動 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○幅跳び遊び<br>・助走を付けて片足<br>でしっかり地面を蹴<br>って前方に跳ぶ<br>○ゴム跳び遊び<br>・助走を付けて片足<br>でしっかり地面を蹴<br>って上方に跳ぶ<br>・片足や両足で連続<br>して上方に跳ぶ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○相手コートにボー<br>ルを投げ入れる<br>ゲーム<br>○攻めがボールを<br>手などで打ったり蹴<br>ったりして行うゲー<br>ム<br>・ねらったところに<br>ボールを投げる、蹴<br>る、得点する<br>・相手コートにボー<br>ルを投げ入れるた<br>り、捕ったりする<br>・ボールを捕たり、<br>止めたりする<br>・ボールが飛んだり、<br>転がったりしてく<br>るコースへの移動 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|        | 10  | ○走の運動遊び<br>・30～40m程度のかけ<br>っこ                                                              |    |            |    |    |                         |    |    |    |    |                                                 |    |        |    | ○力試しの運動遊び<br>・人を押す、引く動き<br>や力比べをするなど<br>の動き、人を運ぶ、<br>支えるなどの動き                                                                                       |              |    |    |    |    |             |    |    |    |    |                 |    |    |                                                     |    |                |    |    |    |    |                 |    |    |    |    |        |    | ・道徳教育との関連<br>【3(5)】                                                                                                                                                                               |    |    |    |    |    |     |     |     |  |  |  |  |  | ・道徳教育との関連<br>【3(5)】                                                                                                                                                                                                                   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ・道徳教育との関連<br>【3(5)】                                                                                                                              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                                                                              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|        | 20  | ○折り返しリレー遊び、<br>低い障害物を使っ<br>てのリレー遊び                                                         |    |            |    |    |                         |    |    |    |    |                                                 |    |        |    |                                                                                                                                                     |              |    |    |    |    |             |    |    |    |    |                 |    |    |                                                     |    |                |    |    |    |    |                 |    |    |    |    |        |    |                                                                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    |     |     |     |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                                                                              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|        | 30  |                                                                                            |    |            |    |    |                         |    |    |    |    |                                                 |    |        |    |                                                                                                                                                     |              |    |    |    |    |             |    |    |    |    |                 |    |    |                                                     |    |                |    |    |    |    |                 |    |    |    |    |        |    |                                                                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    |     |     |     |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                                                                              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 40     |     |                                                                                            |    |            |    |    |                         |    |    |    |    |                                                 |    |        |    |                                                                                                                                                     |              |    |    |    |    |             |    |    |    |    |                 |    |    |                                                     |    |                |    |    |    |    |                 |    |    |    |    |        |    |                                                                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    |     |     |     |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                                                                                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                                                                              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 備考     |     | ・地域やスポーツ指導者<br>との連携【3(4)】                                                                  |    |            |    |    |                         |    |    |    |    |                                                 |    |        |    | ・地域やスポーツ指導<br>者との連携【3(4)】                                                                                                                           |              |    |    |    |    |             |    |    |    |    |                 |    |    |                                                     |    |                |    |    |    |    |                 |    |    |    |    |        |    | ・道徳教育との関連<br>【3(5)】                                                                                                                                                                               |    |    |    |    |    |     |     |     |  |  |  |  |  | ・道徳教育との関連<br>【3(5)】                                                                                                                                                                                                                   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ・道徳教育との関連<br>【3(5)】                                                                                                                              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                                                                                              |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※○数字は、1単位時間を45分とした場合の時数。

※「体づくりの運動遊び」は、上記のように「体ほぐし…」と「多様な動き…」を、単元を通して帯で取り扱うこともできるが、それぞれを1単位時間で取り扱うこともできる。

## 第2学年 ○A 小学校の年間指導計画

○児童の実態から、走力・投力・持久力に重点を置く。

☆…重点単元 網掛けの単元…体育館を使用

| 月（時）  |     | 4月（9）                                                                                                       |   |   |   |   |   | 5月（9）                                                                                                                                  |   |   |    |    |    | 6月（12）                                                                                                                                                                               |    |    |    |    |    | 7月（6）                                                                             |    |    |    |    |    | 9月（10）                                                                                                                                       |    |    |    |    |    | 10月（10）                                                                                                                                                                                                                                |    |    |    |    |    |                                                                                                                          |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|-------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|---|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|----|----|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|-----------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 体育的行事 |     | （健康診断）                                                                                                      |   |   |   |   |   | 新体力テスト                                                                                                                                 |   |   |    |    |    | プール開き                                                                                                                                                                                |    |    |    |    |    | （林間学校（5年））                                                                        |    |    |    |    |    | 運動会                                                                                                                                          |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                        |    |    |    |    |    |                                                                                                                          |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 単元名   |     | 〈器〉<br>固定施設を使った運動遊び②<br>☆〈走〉<br>走の運動遊び④                                                                     |   |   |   |   |   | 〈器〉<br>鉄棒を使った運動遊び③<br>☆〈走〉<br>投の運動遊び③                                                                                                  |   |   |    |    |    | 〈体〉<br>体ほぐしの運動遊び②<br>〈体〉<br>多様な動きをつくる運動遊び⑥                                                                                                                                           |    |    |    |    |    | 〈器〉<br>マットを使った運動遊び⑥                                                               |    |    |    |    |    | 〈水〉<br>水の中を移動する運動遊び④<br>もぐる・浮く運動遊び⑥                                                                                                          |    |    |    |    |    | 〈表〉<br>リズム遊び⑥<br>☆〈走〉<br>走の運動遊び④                                                                                                                                                                                                       |    |    |    |    |    | ☆〈ゲ〉<br>ボールゲーム⑧                                                                                                          |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| ねらい   |     | (略)                                                                                                         |   |   |   |   |   |                                                                                                                                        |   |   |    |    |    |                                                                                                                                                                                      |    |    |    |    |    |                                                                                   |    |    |    |    |    |                                                                                                                                              |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                        |    |    |    |    |    |                                                                                                                          |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 時間（回） |     | 1                                                                                                           | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7                                                                                                                                      | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13                                                                                                                                                                                   | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19                                                                                | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25                                                                                                                                           | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31                                                                                                                                                                                                                                     | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37                                                                                                                       | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 |
| 構成    | (分) | ○固定施設を使った運動遊び<br>・ジャンルジム<br>・雲梯・登り棒・肋木<br>・平均台を使った運動遊び<br>○30～40m程度のかけっこ<br>・様々な形状の線上等を真っ直ぐに走ったり、蛇行して走ったりする |   |   |   |   |   | ○鉄棒を使った運動遊び<br>・ふとん干し、ツバメ、足抜き回り、ぶたの丸焼き、さる、こうもり、ぶら下がり、跳び上がり、下り、前に回って下りる<br>○投の運動遊び<br>・ボールの握り方<br>・紙鉄砲<br>・どすこいバウンド投げ<br>・チーム対抗ボール投げゲーム |   |   |    |    |    | ○体ほぐしの運動遊び<br>・動作や人数などの条件を変えて、歩いたり走ったりする運動遊び<br>○体のバランスをとる運動遊び<br>・回る、寝ころび、起きる、座る、立つ、体のバランスを保つなどの動き<br>○用具を操作する運動遊び<br>・用具をつかむ、持つ、降ろす、回す、転がす、用具をくぐる、用具を運ぶ、用具を投げる、捕る、用具を跳ぶ、用具に乗るなどの動き |    |    |    |    |    | ○マットを使った運動遊び<br>・背支持倒立（首倒立）、壁登り逆立ち、ブリッジ、かえるの逆立ち、かえるの足打ち、うさぎ跳び、支持での川跳び、腕立て横跳び越し、肋木 |    |    |    |    |    | ○水の中を移動する運動遊び<br>・水につかっただけの水かけっこ、まねっこ遊び<br>・水につかっただけの電車ごっこ、リレー遊び、鬼遊び<br>○もぐる・浮く運動遊び<br>・水中でのじゃんけん、にらめっこ、石拾い<br>・くらげ浮き、伏し浮き、大の字浮き、バブリングやホッピング |    |    |    |    |    | ○リズム遊び<br>・弾んで踊れるようなロックやサンバなどの軽快なリズム<br>・へそ（体幹部）を中心に軽快なリズムの音楽に乗って即興的に踊る<br>・友達と関わって踊る<br>○30～40m程度のかけっこ<br>・様々な形状の線上等を真っ直ぐに走ったり、蛇行して走ったりする<br>○折り返しリレー遊び、低い障害物を使ってのリレー遊び<br>・相手の手の平にタッチをしたり、バトンの受渡しをしたりして走る<br>・様々な間隔に並べられた低い障害物を走り越える |    |    |    |    |    | ○的あてゲーム<br>○シュートゲーム<br>・ねらったところにボールを投げる、的に当てる、得点する<br>・ボールを捕ったり、止めたりする<br>・ボールが飛んだり、転がったりしてくるコースへの移動<br>・ボールを操作できる位置への移動 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|       | 10  |                                                                                                             |   |   |   |   |   |                                                                                                                                        |   |   |    |    |    |                                                                                                                                                                                      |    |    |    |    |    |                                                                                   |    |    |    |    |    |                                                                                                                                              |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                        |    |    |    |    |    |                                                                                                                          |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|       | 20  |                                                                                                             |   |   |   |   |   |                                                                                                                                        |   |   |    |    |    |                                                                                                                                                                                      |    |    |    |    |    |                                                                                   |    |    |    |    |    |                                                                                                                                              |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                        |    |    |    |    |    |                                                                                                                          |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|       | 30  |                                                                                                             |   |   |   |   |   |                                                                                                                                        |   |   |    |    |    |                                                                                                                                                                                      |    |    |    |    |    |                                                                                   |    |    |    |    |    |                                                                                                                                              |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                        |    |    |    |    |    |                                                                                                                          |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 40    |     |                                                                                                             |   |   |   |   |   |                                                                                                                                        |   |   |    |    |    |                                                                                                                                                                                      |    |    |    |    |    |                                                                                   |    |    |    |    |    |                                                                                                                                              |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                        |    |    |    |    |    |                                                                                                                          |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 備考    |     | ・集団行動の指導<br>・生活科との関連【3(3)】                                                                                  |   |   |   |   |   | ・生活科との関連【3(3)】                                                                                                                         |   |   |    |    |    | ・生活科との関連【3(3)】                                                                                                                                                                       |    |    |    |    |    | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                             |    |    |    |    |    | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                                                                                        |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                        |    |    |    |    |    | ・道徳教育との関連【3(5)】                                                                                                          |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

| 月（時）  |     | 10月                                                                                                                    |    |    |    |    |    | 11月（12）                                                                                          |    |    |    |    |    | 12月（6）                                                                                                                                              |    |    |    |    |    | 1月（9）                                                                                                                                                             |    |    |    |    |    | 2月（12）                                                                                                                                                         |    |    |    |    |    | 3月（10）                                                                                                                                                       |    |    |    |    |    |                                                                                                   |    |    |    |    |    |                                                                                                           |    |    |    |     |     |     |     |     |     |
|-------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 体育的行事 |     |                                                                                                                        |    |    |    |    |    | 陸上大会（5・6年）                                                                                       |    |    |    |    |    | 持久走大会                                                                                                                                               |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    | なわ跳び大会                                                                                                                                                         |    |    |    |    |    | 学年球技大会                                                                                                                                                       |    |    |    |    |    |                                                                                                   |    |    |    |    |    |                                                                                                           |    |    |    |     |     |     |     |     |     |
| 単元名   |     | 〈器〉<br>鉄棒を使った運動遊び③<br>☆〈ゲ〉<br>鬼遊び③                                                                                     |    |    |    |    |    | 〈器〉<br>跳び箱を使った運動遊び⑥                                                                              |    |    |    |    |    | 〈体〉<br>体ほぐしの運動遊び②<br>☆〈体〉<br>多様な動きをつくる運動遊び⑥                                                                                                         |    |    |    |    |    | 〈表〉<br>表現遊び⑥                                                                                                                                                      |    |    |    |    |    | 〈ゲ〉<br>鬼遊び⑥                                                                                                                                                    |    |    |    |    |    | ☆〈ゲ〉<br>ボールゲーム⑦                                                                                                                                              |    |    |    |    |    | 〈走〉<br>跳の運動遊び⑥                                                                                    |    |    |    |    |    | ☆〈走〉<br>走の運動遊び③<br>☆〈走〉<br>投の運動遊び③                                                                        |    |    |    |     |     |     |     |     |     |
| ねらい   |     | (略)                                                                                                                    |    |    |    |    |    |                                                                                                  |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                     |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                              |    |    |    |    |    |                                                                                                   |    |    |    |    |    |                                                                                                           |    |    |    |     |     |     |     |     |     |
| 時間（回） |     | 54                                                                                                                     | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60                                                                                               | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66                                                                                                                                                  | 67 | 68 | 69 | 70 | 71 | 72                                                                                                                                                                | 73 | 74 | 75 | 76 | 77 | 78                                                                                                                                                             | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 | 84                                                                                                                                                           | 85 | 86 | 87 | 88 | 89 | 90                                                                                                | 91 | 92 | 93 | 94 | 95 | 96                                                                                                        | 97 | 98 | 99 | 100 | 101 | 102 | 103 | 104 | 105 |
| 構成    | (分) | ○鉄棒を使った運動遊び<br>・ふとん干し、ツバメ、足抜き回り、ぶたの丸焼き、さる、こうもり、ぶら下がり、跳び上がり、下り、前に回って下りる<br><br>○鬼遊び<br>・一人鬼、手つなぎ鬼、子増やし鬼<br>・宝取り鬼、ボール運び鬼 |    |    |    |    |    | ・馬跳び、タイヤ跳び、うさぎ跳び、ゆりかご、前転がり、背支持倒立（首倒立）、かえるの逆立ち、かえるの足打ち、壁上り下り倒立、支持でまたぎ乗り、またぎ下り、支持で跳び乗り、跳び下り、踏み越し跳び |    |    |    |    |    | ○体ほぐしの運動遊び<br>・伝承遊びや集団による運動遊び<br><br>○体を移動する運動遊び<br>・這う、歩く、走る、跳ぶ、はねるなどの動き<br>・一定の速さでのかけ足（2～3分）<br>○力試しの運動遊び<br>・人を押す、引く動きや力比べをするなどの動き、人を運ぶ、支えるなどの動き |    |    |    |    |    | ・特徴が捉えやすく多様な感じを多く含む題材<br>・特徴が捉えやすくスピードの変化のある動きを多く含む題材<br>・「○○が○○しているところ」など、いろいろな題材の特徴や様子を捉え、高低の差や速さの変化のある全身の動きで即興的に踊る<br>・どこかに「大変だ！○○だ！」などの急変する場面を入れて簡単な話にして続けて踊る |    |    |    |    |    | ○宝取り鬼、<br>○ボール運び鬼<br>・空いている場所を見付けて速く走ったり、急に曲がったり、身をかわしたりする<br>・相手（鬼）のいない場所への移動、駆け込み<br>・少人数で連携して相手（鬼）をかわしたり、走り抜けたりする<br>・逃げる相手を追いかけてタッチしたり、マーク（タグやフラッグ）を取ったりする |    |    |    |    |    | ○相手コートにボールを投げ入れるゲーム<br>○攻めがボールを手などで打ったり蹴ったりして行うゲーム<br>・ねらったところにボールを投げる、蹴る、得点する<br>・相手コートにボールを投げ入れたり、捕ったりする<br>・ボールを捕ったり、止めたりする<br>・ボールが飛んだり、転がったりしてくるコースへの移動 |    |    |    |    |    | ○幅跳び遊び<br>・助走を付けて片足でしっかりと地面を蹴って前方に跳ぶ<br>○ゴム跳び遊び<br>・助走を付けて片足でしっかりと地面を蹴って上方に跳ぶ<br>・片足や両足で連続して上方に跳ぶ |    |    |    |    |    | ○走の運動遊び<br>・折り返しリレー遊び、低い障害物を使ってのリレー遊び<br><br>○投の運動遊び<br>・ボールの握り方<br>・紙鉄砲<br>・どすこいバウンド投げ<br>・チーム対抗ボール投げゲーム |    |    |    |     |     |     |     |     |     |
|       |     |                                                                                                                        |    |    |    |    |    |                                                                                                  |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                     |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                              |    |    |    |    |    |                                                                                                   |    |    |    |    |    |                                                                                                           |    |    |    |     |     |     |     |     |     |
|       |     |                                                                                                                        |    |    |    |    |    |                                                                                                  |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                     |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                              |    |    |    |    |    |                                                                                                   |    |    |    |    |    |                                                                                                           |    |    |    |     |     |     |     |     |     |
|       |     |                                                                                                                        |    |    |    |    |    |                                                                                                  |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                     |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                              |    |    |    |    |    |                                                                                                   |    |    |    |    |    |                                                                                                           |    |    |    |     |     |     |     |     |     |
| 備考    |     | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                                                                  |    |    |    |    |    | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                                            |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                     |    |    |    |    |    | ・道徳教育との関連【3(5)】                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    | ・道徳教育との関連【3(5)】                                                                                                                                                |    |    |    |    |    | ・道徳教育との関連【3(5)】                                                                                                                                              |    |    |    |    |    | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                                             |    |    |    |    |    |                                                                                                           |    |    |    |     |     |     |     |     |     |

※○数字は、1単位時間を45分とした場合の時数。

※「体づくりの運動遊び」は、上記のように「体ほぐし…」と「多様な動き…」を、単元を通して帯で取り扱うこともできるが、それぞれを1単位時間で取り扱うこともできる。

※「投の運動遊び」の指導に際しては、達成・競争の特性を失わないように配慮する。

### 第3学年 ○A 小学校の年間指導計画

○児童の実態から、走力・投力・持久力に重点を置く。

☆…重点単元 網掛けの単元…体育館を使用

| 月（時）  |     | 4 月（9）                                 |   |   |   | 5 月（9）                                                                                                                          |   |   |   | 6 月（12）                                                                                                    |    |    |    | 7 月（6）                                                                                                                                                                |    |    |    | 9 月（9）                                                                                           |    |    |    | 10 月（12）                                                                                                                                                                                                                                                                            |    |    |    |                                                                           |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|-------|-----|----------------------------------------|---|---|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|---------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 体育的行事 |     | （健康診断）                                 |   |   |   | 新体力テスト                                                                                                                          |   |   |   | プール開き                                                                                                      |    |    |    | （林間学校（5年））                                                                                                                                                            |    |    |    | 運動会                                                                                              |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |    |    |    |                                                                           |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 単元名   |     | 〈体〉<br>体ほぐしの運動①<br>〈体〉<br>多様な動きをつくる運動③ |   |   |   | ☆〈走〉<br>かけっこ・リレー⑥                                                                                                               |   |   |   | ☆〈ゲ〉<br>ベースボール型ゲーム⑧                                                                                        |    |    |    | 〈器〉<br>鉄棒運動⑧                                                                                                                                                          |    |    |    | 〈水〉<br>もぐる・浮く運動⑩                                                                                 |    |    |    | 〈表〉<br>リズムダンス④<br>〈表〉<br>表現⑥                                                                                                                                                                                                                                                        |    |    |    | 〈走〉<br>幅跳び⑦                                                               |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| ねらい   |     | (略)                                    |   |   |   |                                                                                                                                 |   |   |   |                                                                                                            |    |    |    |                                                                                                                                                                       |    |    |    |                                                                                                  |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |    |    |    |                                                                           |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 時間（回） |     | 1                                      | 2 | 3 | 4 | 5                                                                                                                               | 6 | 7 | 8 | 9                                                                                                          | 10 | 11 | 12 | 13                                                                                                                                                                    | 14 | 15 | 16 | 17                                                                                               | 18 | 19 | 20 | 21                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 22 | 23 | 24 | 25                                                                        | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 |
| 構成    | （分） | ○体ほぐしの運動<br>・用具を用いた運動<br>・リズムに乗った運動    |   |   |   | ○30～50m程度のかけっこ<br>・様々な走り出しの姿勢から、素早く走り始める<br>・真っ直ぐ前を見て、腕を前後に大きく振って走る<br>○周回リレー<br>・走りながら、タイミングよくバトンを受渡しをする<br>・コーナーの内側に体を軽く傾けて走る |   |   |   | ○ティーボール<br>・ボールをフェアグラウンド内に打つ<br>・投げる手と反対の足を一歩前に踏み出してボールを投げる<br>・向かってくるボールの正面への移動<br>・ベースに向かって全力で走り、かけ抜けること |    |    |    | ○基本的な前転グループ技<br>・前回り下り<br>（発展技：前方支持回転）<br>・かかえ込み回り<br>（発展技：前方支持回転）<br>・転向前下り<br>（発展技：片足踏み越し下り）<br>○基本的な後転グループ技<br>・補助逆上がり<br>（発展技：逆上がり）<br>・かかえ込み後ろ回り<br>（発展技：後方支持回転） |    |    |    | ○浮いて進む運動<br>・け伸び<br>・初歩的な泳ぎ<br>○もぐる・浮く運動<br>・プールの底にタッチ、股くぐり、変身もぐり<br>・背浮き、だるま浮き、変身浮き<br>・簡単な浮き沈み |    |    |    | ○軽快なテンポやビートの強いロックのリズム<br>○陽気で小刻みなビートのサンバのリズム<br>・ロックやサンバなどのリズムの特徴を捉えて踊る<br>・おへそ（体幹部）を中心にリズムに乗って全身で即興的に踊る<br>・動きに変化をつけて踊る<br>・友達と関わり合って踊る<br>・踊りで交流する<br>○身近な生活からの題材<br>・「○○づくり」「1日の生活」<br>・題材の主な特徴を捉え、動きに差をつけて誇張したり、表したい感じを2人組で対応する動きや対立する動きで変化をつけたりして、メリハリ（緩急・強弱）のあるひと流れの動きで即興的に踊る |    |    |    | ○短い助走からの幅跳び<br>・5～7歩程度の助走から踏み切り足を決めて前方に強く踏み切り、遠くへ跳ぶ<br>・膝を柔らかく曲げて、両足で着地する |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|       | 10  |                                        |   |   |   |                                                                                                                                 |   |   |   |                                                                                                            |    |    |    |                                                                                                                                                                       |    |    |    |                                                                                                  |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |    |    |    |                                                                           |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|       | 20  |                                        |   |   |   |                                                                                                                                 |   |   |   |                                                                                                            |    |    |    |                                                                                                                                                                       |    |    |    |                                                                                                  |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |    |    |    |                                                                           |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|       | 30  |                                        |   |   |   |                                                                                                                                 |   |   |   |                                                                                                            |    |    |    |                                                                                                                                                                       |    |    |    |                                                                                                  |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |    |    |    |                                                                           |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 40    |     |                                        |   |   |   |                                                                                                                                 |   |   |   |                                                                                                            |    |    |    |                                                                                                                                                                       |    |    |    |                                                                                                  |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |    |    |    |                                                                           |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 備考    |     | ・集団行動の指導                               |   |   |   | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                                                                           |   |   |   | ・道徳教育との関連【3(5)】                                                                                            |    |    |    | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                                                                                                                 |    |    |    | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                                            |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |    |    |    | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

| 月（時）  |     | 10月                                                                                                         |    |    |    |    | 11月（12）                                                                                    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                        |    |    |    |    | 12月（6）                     |    |    |    |    | 1月（9）                                                           |    |    |    |    |                                 |    |    |    |    | 2月（12）                                     |    |    |    |    |                                                                                   |    |    |    |    | 3月（9）  |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |  |  |  |  |  |  |  |
|-------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----------------------------|----|----|----|----|-----------------------------------------------------------------|----|----|----|----|---------------------------------|----|----|----|----|--------------------------------------------|----|----|----|----|-----------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|--------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|--|--|--|--|--|--|
| 体育的行事 |     |                                                                                                             |    |    |    |    | 陸上大会（5・6年）                                                                                 |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                        |    |    |    |    | 持久走大会                      |    |    |    |    |                                                                 |    |    |    |    |                                 |    |    |    |    | なわ跳び大会                                     |    |    |    |    |                                                                                   |    |    |    |    | 学年球技大会 |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |  |  |  |  |  |  |  |
| 単元名   |     | 〈器〉<br>マット運動⑥                                                                                               |    |    |    |    | 〈ゲ〉<br>ゴール型ゲーム⑧                                                                            |    |    |    |    | 〈体〉<br>体ほぐしの運動①<br>☆〈体〉<br>多様な動きをつくる運動⑦                                                                                                                                                |    |    |    |    | 〈体〉<br>多様な動きをつくる運動③        |    |    |    |    | ☆〈走〉<br>小型ハードル走⑦                                                |    |    |    |    | 〈保〉<br>健康な生活④                   |    |    |    |    | 〈器〉<br>跳び箱運動⑧                              |    |    |    |    | 〈ゲ〉<br>ゴール型ゲーム⑧                                                                   |    |    |    |    |        |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |  |  |  |  |  |  |  |
| ねらい   |     | (略)                                                                                                         |    |    |    |    |                                                                                            |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                        |    |    |    |    |                            |    |    |    |    |                                                                 |    |    |    |    |                                 |    |    |    |    |                                            |    |    |    |    |                                                                                   |    |    |    |    |        |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |  |  |  |  |  |  |  |
| 時間（回） |     | 54                                                                                                          | 55 | 56 | 57 | 58 | 59                                                                                         | 60 | 61 | 62 | 63 | 64                                                                                                                                                                                     | 65 | 66 | 67 | 68 | 69                         | 70 | 71 | 72 | 73 | 74                                                              | 75 | 76 | 77 | 78 | 79                              | 80 | 81 | 82 | 83 | 84                                         | 85 | 86 | 87 | 88 | 89                                                                                | 90 | 91 | 92 | 93 | 94     | 95 | 96 | 97 | 98 | 99 | 100 | 101 | 102 | 103 | 104 | 105 |  |  |  |  |  |  |  |
| 構成    | (分) | ○基本的な前転グループ技<br>・前転<br>(発展技：開脚前転)<br>・場を使った開脚前転<br>○基本的な後転グループ技<br>・後転<br>(発展技：開脚後転)<br>・開脚後転<br>(発展技：伸膝後転) |    |    |    |    | ○タグラグビー<br>・味方へのボールの手渡し、パス、ゴールへのボールの持ち込み<br>・ボール保持時に体をゴールに向ける<br>・ボール保持者と自分の間に守備者がいないように移動 |    |    |    |    | ○体ほぐしの運動<br>・動作や人数などの条件を変えて、歩いたり走ったりする運動<br>・伝承遊びや集団による運動<br>○体のバランスをとる運動<br>○用具を操作する運動<br>・つかむ、持つ、降ろす、回す、転がす<br>・くぐる、運ぶ<br>・投げる、捕る、振る<br>・跳ぶ<br>・乗る<br>○体を移動する運動<br>・一定の速さでのかけ足（3～4分） |    |    |    |    | ○体のバランスをとる運動<br>○用具を操作する運動 |    |    |    |    | ○様々なリズムでの小型ハードル走<br>・インターバルの距離や小型ハードルの高さに応じた様々なリズムで小型ハードルを走り越える |    |    |    |    | ○健康な生活<br>○1日の生活の仕方<br>○身の回りの環境 |    |    |    |    | ○基本的な切り返し跳びグループ技<br>・開脚跳び<br>(発展技：かかえ込み跳び) |    |    |    |    | ○ハンドボール<br>・味方へのボールの手渡し、パス、シュート<br>・ボール保持時に体をゴールに向ける<br>・ボール保持者と自分の間に守備者がいないように移動 |    |    |    |    |        |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |  |  |  |  |  |  |  |
|       | 10  |                                                                                                             |    |    |    |    |                                                                                            |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                        |    |    |    |    |                            |    |    |    |    |                                                                 |    |    |    |    |                                 |    |    |    |    |                                            |    |    |    |    |                                                                                   |    |    |    |    |        |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |  |  |  |  |  |  |  |
|       | 20  |                                                                                                             |    |    |    |    |                                                                                            |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                        |    |    |    |    |                            |    |    |    |    |                                                                 |    |    |    |    |                                 |    |    |    |    |                                            |    |    |    |    |                                                                                   |    |    |    |    |        |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |  |  |  |  |  |  |  |
|       | 30  |                                                                                                             |    |    |    |    |                                                                                            |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                        |    |    |    |    |                            |    |    |    |    |                                                                 |    |    |    |    |                                 |    |    |    |    |                                            |    |    |    |    |                                                                                   |    |    |    |    |        |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |  |  |  |  |  |  |  |
|       | 40  |                                                                                                             |    |    |    |    |                                                                                            |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                        |    |    |    |    |                            |    |    |    |    |                                                                 |    |    |    |    |                                 |    |    |    |    |                                            |    |    |    |    |                                                                                   |    |    |    |    |        |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |  |  |  |  |  |  |  |
| 備考    |     | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                                                       |    |    |    |    | ・道徳教育との関連【3(5)】                                                                            |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                        |    |    |    |    |                            |    |    |    |    |                                                                 |    |    |    |    | ・養護教諭、栄養教諭等との連携                 |    |    |    |    | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                      |    |    |    |    | ・道徳教育との関連【3(5)】                                                                   |    |    |    |    |        |    |    |    |    |    |     |     |     |     |     |     |  |  |  |  |  |  |  |

※○数字は、1 単位時間を45分とした場合の時数。

※「体づくりの運動」は、上記のように「体ほぐし…」と「多様な動き…」を、単元を通して帯で取り扱うこともできるが、それぞれを1 単位時間で取り扱うこともできる。



## 第4学年 ○A小学校の年間指導計画

○児童の実態から、走力・投力・持久力に重点を置く。

☆…重点単元 網掛けの単元…体育館を使用

| 月（時）  |     | 4月（9）                                  |   |   |   |   | 5月（9）                                                                                                                        |   |   |   |    | 6月（12）                                                                             |    |    |    |    | 7月（6）                                                                                                                                            |    |    |    |    | 9月（9）                                                                                            |    |    |    |    | 10月（12）                                                                                                                                                                                                                                                                                      |    |    |    |    |                                                                                                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|-------|-----|----------------------------------------|---|---|---|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|----|------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 体育的行事 |     | （健康診断）                                 |   |   |   |   | 新体力テスト                                                                                                                       |   |   |   |    | プール開き                                                                              |    |    |    |    | （林間学校（5年））                                                                                                                                       |    |    |    |    | 運動会                                                                                              |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |    |    |    |    |                                                                                                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 単元名   |     | 〈体〉<br>体ほぐしの運動①<br>〈体〉<br>多様な動きをつくる運動④ |   |   |   |   | ☆〈走〉<br>かけっこ・リレー⑤                                                                                                            |   |   |   |    | 〈ゲ〉<br>ゴール型ゲーム⑧                                                                    |    |    |    |    | 〈器〉<br>鉄棒運動⑧                                                                                                                                     |    |    |    |    | 〈水〉<br>浮いて進む運動⑩                                                                                  |    |    |    |    | 〈表〉<br>リズムダンス④<br>〈表〉<br>表現⑥                                                                                                                                                                                                                                                                 |    |    |    |    | 〈器〉<br>マット運動⑧                                                                                                                                   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| ねらい   |     | （略）                                    |   |   |   |   |                                                                                                                              |   |   |   |    |                                                                                    |    |    |    |    |                                                                                                                                                  |    |    |    |    |                                                                                                  |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |    |    |    |    |                                                                                                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 時間（回） |     | 1                                      | 2 | 3 | 4 | 5 | 6                                                                                                                            | 7 | 8 | 9 | 10 | 11                                                                                 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16                                                                                                                                               | 17 | 18 | 19 | 20 | 21                                                                                               | 22 | 23 | 24 | 25 | 26                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 27 | 28 | 29 | 30 | 31                                                                                                                                              | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 |
| 構成    | （分） | ○体ほぐしの運動<br>・用具を用いた運動<br>・リズムに乗った運動    |   |   |   |   | ○30～50m程度のかけっこ<br>・様々な走り出しの姿勢から素早く走り始める<br>・真っ直ぐ前を見て腕を前後に大きく振って走る<br>○周回リレー<br>・走りながら、タイミングよくバトンを受渡りする<br>・コーナーの内側に体を軽く傾けて走る |   |   |   |    | ○ポートボール<br>・味方へのボールの手渡し、パス、シュート<br>・ボール保持時に体をゴールに向ける。<br>・ボール保持者と自分の間に守備者がいないように移動 |    |    |    |    | ○基本的な前方足掛け回転グループ技<br>・膝掛け振り上がり（発展技：膝掛け上がり）<br>・前方片膝掛け回転（発展技：前方もも掛け回転）<br>○基本的な後方脚掛け回転グループ技<br>・後方片膝掛け回転（発展技：後方もも掛け回転）<br>・両膝掛け倒立下り（発展技：両膝掛け振動下り） |    |    |    |    | ○浮いて進む運動<br>・け伸び<br>・初歩的な泳ぎ<br>○もぐる・浮く運動<br>・プールの底にタッチ、股くぐり、変身もぐり<br>・背浮き、だるま浮き、変身浮き<br>・簡単な浮き沈み |    |    |    |    | ○軽快なテンポやビートの強いロックのリズム<br>○陽気で小刻みなビートのサンバのリズム<br>・ロックやサンバなどのリズムの特徴を捉えて踊る<br>・おへそ（体幹部）を中心にリズムに乗って全身で即興的に踊る<br>・動きに変化をつけて踊る<br>・友達と関わり合って踊る<br>・踊りで交流する<br>○空想の世界からの題材<br>・「○○探検」（ジャングル・宇宙・海底）「忍者」<br>・題材の主な特徴を捉え、動きに差をつけて誇張したり、表したい感じを2人組で対応する動きや対立する動きで変化をつけたりして、メリハリ（緩急・強弱）のあるひと流れの動きで即興的に踊る |    |    |    |    | ○基本的な倒立回転グループ技<br>・補助倒立ブリッジ（発展技：倒立ブリッジ）<br>・側方倒立回転（発展技：ロングアート）<br>○基本的なねえ起きグループ技<br>・首はね起き（発展技：頭はね起き）<br>○基本的な倒立グループ技<br>・壁倒立（発展技：補助倒立）<br>・頭倒立 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|       | 10  |                                        |   |   |   |   |                                                                                                                              |   |   |   |    |                                                                                    |    |    |    |    |                                                                                                                                                  |    |    |    |    |                                                                                                  |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |    |    |    |    |                                                                                                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|       | 20  |                                        |   |   |   |   |                                                                                                                              |   |   |   |    |                                                                                    |    |    |    |    |                                                                                                                                                  |    |    |    |    |                                                                                                  |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |    |    |    |    |                                                                                                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|       | 30  |                                        |   |   |   |   |                                                                                                                              |   |   |   |    |                                                                                    |    |    |    |    |                                                                                                                                                  |    |    |    |    |                                                                                                  |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |    |    |    |    |                                                                                                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 40    |     |                                        |   |   |   |   |                                                                                                                              |   |   |   |    |                                                                                    |    |    |    |    |                                                                                                                                                  |    |    |    |    |                                                                                                  |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |    |    |    |    |                                                                                                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 備考    |     | ・集団行動の指導                               |   |   |   |   | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                                                                        |   |   |   |    | ・道徳教育との関連【3(5)】                                                                    |    |    |    |    | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                                                                                            |    |    |    |    | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                                            |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |    |    |    |    | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                                                                                           |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

| 月（時）  |     | 10月                                                                                                                                                   |    |    |    |    | 11月（12）                                 |    |    |    |    | 12月（6）          |                                                                                              |    |    |    | 1月（9）               |    |    |    |    | 2月（12）           |    |                                                                                                                        |    |    | 3月（9）           |    |    |    |    |               |    |    |                                                                                                          |    |                 |    |    |    |    |    |    |    |    |                                                      |    |     |     |     |     |     |     |  |  |  |                                               |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                             |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|-----------------------------------------|----|----|----|----|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|---------------------|----|----|----|----|------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|-----------------|----|----|----|----|---------------|----|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----------------|----|----|----|----|----|----|----|----|------------------------------------------------------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|--|--|-----------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|----------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-----------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 体育的行事 |     |                                                                                                                                                       |    |    |    |    | 陸上大会（5・6年）                              |    |    |    |    | 持久走大会           |                                                                                              |    |    |    |                     |    |    |    |    | なわ跳び大会           |    |                                                                                                                        |    |    | 学年球技大会          |    |    |    |    |               |    |    |                                                                                                          |    |                 |    |    |    |    |    |    |    |    |                                                      |    |     |     |     |     |     |     |  |  |  |                                               |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                             |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 単元名   |     | ☆〈走〉<br>投の運動④<br>〈走〉<br>高跳び⑤                                                                                                                          |    |    |    |    | 〈体〉<br>体ほぐしの運動①<br>☆〈体〉<br>多様な動きをつくる運動③ |    |    |    |    | 〈ゲ〉<br>ネット型ゲーム⑧ |                                                                                              |    |    |    | 〈体〉<br>多様な動きをつくる運動⑥ |    |    |    |    | ☆〈走〉<br>小型ハードル走⑥ |    |                                                                                                                        |    |    | 〈保〉<br>体の発育・発達④ |    |    |    |    | 〈器〉<br>跳び箱運動⑥ |    |    |                                                                                                          |    | 〈ゲ〉<br>ゴール型ゲーム⑧ |    |    |    |    |    |    |    |    |                                                      |    |     |     |     |     |     |     |  |  |  |                                               |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                             |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ねらい   |     | (略)                                                                                                                                                   |    |    |    |    |                                         |    |    |    |    |                 |                                                                                              |    |    |    |                     |    |    |    |    |                  |    |                                                                                                                        |    |    |                 |    |    |    |    |               |    |    |                                                                                                          |    |                 |    |    |    |    |    |    |    |    |                                                      |    |     |     |     |     |     |     |  |  |  |                                               |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                             |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 時間（回） |     | 54                                                                                                                                                    | 55 | 56 | 57 | 58 | 59                                      | 60 | 61 | 62 | 63 | 64              | 65                                                                                           | 66 | 67 | 68 | 69                  | 70 | 71 | 72 | 73 | 74               | 75 | 76                                                                                                                     | 77 | 78 | 79              | 80 | 81 | 82 | 83 | 84            | 85 | 86 | 87                                                                                                       | 88 | 89              | 90 | 91 | 92 | 93 | 94 | 95 | 96 | 97 | 98                                                   | 99 | 100 | 101 | 102 | 103 | 104 | 105 |  |  |  |                                               |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                             |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 構成    | (分) | ○投の運動<br>・どすこいバウンド投げ<br>・バトン投げ<br>・落下傘投げ<br>・チーム対抗ボール投げゲーム<br>・スローイングゴルフ<br>○短い助走からの高跳び<br>・3～5歩程度の短い助走から踏切り足を決めて上方に強く踏み切り、高く跳ぶ<br>・膝を柔らかく曲げて、足から着地する |    |    |    |    |                                         |    |    |    |    |                 | ○体ほぐしの運動<br>・動作や人数などの条件を変えて、歩いたり、走ったりする運動<br>・伝達遊びや電報による運動<br>○体を移動する運動<br>・一定の速さでのかけ足（3～4分） |    |    |    |                     |    |    |    |    |                  |    | ○ブレルボール<br>・いろいろな高さのボールを片手、両手ではじいたり、打ちつけたりする<br>・相手コートから返球されたボールの片手、両手での返球<br>・ボールの方向に体向けること、もしくは、ボールの落下点や操作しやすい位置への移動 |    |    |                 |    |    |    |    |               |    |    | ○力試しの運動<br>・人を押す、引く動きや力比べをするなどの動き<br>・人を運ぶ、支えるなどの動き<br>○基本的な動きを組み合わせる運動<br>・バランスをとりながら移動<br>・用具を操作しながら移動 |    |                 |    |    |    |    |    |    |    |    | ○30～40m程度の小型ハードル走<br>・一定の間隔に並べられた小型ハードルを一定のリズムで走り越える |    |     |     |     |     |     |     |  |  |  | ○体の発育・発達<br>○思春期の体の変化<br>○体をよりよく発育・発達させるための生活 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○基本的な回転跳びグループ技<br>・台上前転（発展技：伸膝台上前転）<br>・首はね跳び（発展技：頭はね跳び） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ラインサッカー<br>・味方へのパス、シュート<br>・ボール保持時に体をゴールに向ける。<br>・ボール保持者と自分の間に守備者がいないように移動 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|       | 10  |                                                                                                                                                       |    |    |    |    |                                         |    |    |    |    |                 |                                                                                              |    |    |    |                     |    |    |    |    |                  |    |                                                                                                                        |    |    |                 |    |    |    |    |               |    |    |                                                                                                          |    |                 |    |    |    |    |    |    |    |    |                                                      |    |     |     |     |     |     |     |  |  |  |                                               |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                             |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|       | 20  |                                                                                                                                                       |    |    |    |    |                                         |    |    |    |    |                 |                                                                                              |    |    |    |                     |    |    |    |    |                  |    |                                                                                                                        |    |    |                 |    |    |    |    |               |    |    |                                                                                                          |    |                 |    |    |    |    |    |    |    |    |                                                      |    |     |     |     |     |     |     |  |  |  |                                               |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                             |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|       | 30  |                                                                                                                                                       |    |    |    |    |                                         |    |    |    |    |                 |                                                                                              |    |    |    |                     |    |    |    |    |                  |    |                                                                                                                        |    |    |                 |    |    |    |    |               |    |    |                                                                                                          |    |                 |    |    |    |    |    |    |    |    |                                                      |    |     |     |     |     |     |     |  |  |  |                                               |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                             |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|       | 40  |                                                                                                                                                       |    |    |    |    |                                         |    |    |    |    |                 |                                                                                              |    |    |    |                     |    |    |    |    |                  |    |                                                                                                                        |    |    |                 |    |    |    |    |               |    |    |                                                                                                          |    |                 |    |    |    |    |    |    |    |    |                                                      |    |     |     |     |     |     |     |  |  |  |                                               |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                             |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 備考    |     | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                                                                                                 |    |    |    |    |                                         |    |    |    |    |                 | ・道徳教育との関連【3(5)】                                                                              |    |    |    |                     |    |    |    |    |                  |    |                                                                                                                        |    |    |                 |    |    |    |    |               |    |    | ・養護教諭、栄養教諭等との連携                                                                                          |    |                 |    |    |    |    |    |    |    |    | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                |    |     |     |     |     |     |     |  |  |  | ・道徳教育との関連【3(5)】                               |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                             |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※○数字は、1単位時間を45分とした場合の時数。

※「体づくりの運動」は、上記のように「体ほぐし…」と「多様な動き…」を、単元を通して帯で取り扱うこともできるが、それぞれを1単位時間で取り扱うこともできる。

※「投の運動」の指導に際しては、達成・競争の特性を失わないように配慮する。

# 第5学年 ○A 小学校の年間指導計画

○児童の実態から、走力・投力・持久力に重点を置く。

☆…重点単元 網掛けの単元…体育館を使用

| 月（時）  |     | 4月（9）                                                                              |   |   |   |   | 5月（9）                                                                                                                                            |   |   |   |    | 6月（12）                                                                                                            |    |    |    |    | 7月（6）                                                                                                      |    |    |    |    | 9月（10）                              |    |    |    |    |                                                                                                       |    |    |    |    |                                                                                             |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|-------|-----|------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|-------------------------------------|----|----|----|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|---------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 体育的行事 |     | （健康診断）                                                                             |   |   |   |   | 新体力テスト                                                                                                                                           |   |   |   |    | プール開き                                                                                                             |    |    |    |    | 林間学校（5年）                                                                                                   |    |    |    |    | 運動会                                 |    |    |    |    |                                                                                                       |    |    |    |    |                                                                                             |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 単元名   |     | 〈体〉<br>体ほぐしの運動②<br>〈体〉<br>体の動きを高める運動③（柔らかさ②巧み①）                                    |   |   |   |   | 〈器〉<br>マット運動⑥                                                                                                                                    |   |   |   |    | 〈ボ〉<br>ゴール型⑧                                                                                                      |    |    |    |    | 〈表〉<br>フォークダンス③                                                                                            |    |    |    |    | 〈保〉<br>心の健康④                        |    |    |    |    | 〈水〉<br>クロール⑤<br>〈水〉<br>平泳ぎ④<br>〈水〉<br>安全確保につながる運動①                                                    |    |    |    |    | 〈表〉<br>表現⑧                                                                                  |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| ねらい   |     | (略)                                                                                |   |   |   |   |                                                                                                                                                  |   |   |   |    |                                                                                                                   |    |    |    |    |                                                                                                            |    |    |    |    |                                     |    |    |    |    |                                                                                                       |    |    |    |    |                                                                                             |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 時間（回） |     | 1                                                                                  | 2 | 3 | 4 | 5 | 6                                                                                                                                                | 7 | 8 | 9 | 10 | 11                                                                                                                | 12 | 13 | 14 | 15 | 16                                                                                                         | 17 | 18 | 19 | 20 | 21                                  | 22 | 23 | 24 | 25 | 26                                                                                                    | 27 | 28 | 29 | 30 | 31                                                                                          | 32 | 33 | 34 | 35 | 36                                                                                                                                                                                                                                | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 |
| 構成    | (分) | ○体ほぐしの運動<br>・伸び伸びとした全身運動<br>・用具を用いた運動<br>・リズムに乗って、心が弾むような動作での運動<br>・ペアでのリラックスできる運動 |   |   |   |   | ○基本的な前転グループ技<br>○前転グループ発展技<br>・開脚前転<br>○基本的な後転グループ技<br>○後転グループ発展技<br>・伸膝後転<br>○基本的な倒立回転グループ技<br>○倒立回転グループ発展技<br>・倒立ブリッジ<br>・補助倒立<br>○基本的な倒立グループ技 |   |   |   |    | ○バスケットボール<br>・近くにいるフリーの味方へパス<br>・相手に取られない位置でのドリブル<br>・パスを受けてのシュート<br>・ボール保持者と自分の間に守備者が入らない位置への移動<br>・得点しやすい場所への移動 |    |    |    |    | ○日本の民謡<br>・軽快なリズムでの踊り、力強い踊り<br>○外国のフォークダンス<br>・シングルサークルで踊る力強い踊り、パートナーチェンジのある軽快な踊り、特徴的な隊形と構成の踊り<br>・踊りで交流する |    |    |    |    | ○心の発達<br>○心と体の密接な関係<br>○不安や悩みなどへの対処 |    |    |    |    | ○安全確保につながる運動・背浮き・浮き沈み<br>○25～50m程度を目安にしたクロール<br>・手を交互に前方に伸ばして水に入れ、かく<br>・リズムカルなばた足をする<br>・顔を横に上げて呼吸する |    |    |    |    | ○25～50m程度を目安にした平泳ぎ<br>・円を描くように左右に開き水をかく<br>・足の裏や脚の内側で水を挟み出すかえる足をする<br>・水をかきながら、顔を前に上げて呼吸をする |    |    |    |    | ○激しい感じの題材<br>・「激しく○○する」「急に○○する」<br>○群（集団）が生きる題材<br>・「祭り」「スポーツの攻防」「出口を探せ！」<br>・題材の特徴を捉えて、表したい感じやイメージを、動きに変化を付けたり繰り返したりして、メリハリ（緩急・強弱）のあるひと流れの動きにして即興的に踊る<br>・表したい感じやイメージを「はじめーなカーおわり」の構成や群の動きを工夫して簡単なひとまとまりの動きで表現する<br>・感じを込めて通して踊る |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|       | 10  |                                                                                    |   |   |   |   |                                                                                                                                                  |   |   |   |    |                                                                                                                   |    |    |    |    |                                                                                                            |    |    |    |    |                                     |    |    |    |    |                                                                                                       |    |    |    |    |                                                                                             |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|       | 20  |                                                                                    |   |   |   |   |                                                                                                                                                  |   |   |   |    |                                                                                                                   |    |    |    |    |                                                                                                            |    |    |    |    |                                     |    |    |    |    |                                                                                                       |    |    |    |    |                                                                                             |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|       | 30  |                                                                                    |   |   |   |   |                                                                                                                                                  |   |   |   |    |                                                                                                                   |    |    |    |    |                                                                                                            |    |    |    |    |                                     |    |    |    |    |                                                                                                       |    |    |    |    |                                                                                             |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|       | 40  |                                                                                    |   |   |   |   |                                                                                                                                                  |   |   |   |    |                                                                                                                   |    |    |    |    |                                                                                                            |    |    |    |    |                                     |    |    |    |    |                                                                                                       |    |    |    |    |                                                                                             |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 備考    |     | ・集団行動の指導                                                                           |   |   |   |   | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                                                                                            |   |   |   |    | ・道徳教育との関連【3(5)】                                                                                                   |    |    |    |    | ・養護教諭等との連携                                                                                                 |    |    |    |    | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】               |    |    |    |    |                                                                                                       |    |    |    |    |                                                                                             |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

| 月（時）  |     | 10月（12）                                                                                                            |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 11月（10）                                      |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 12月（5）                                                                                                                                                                                                                                                                          |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 1月（5）                                                                                      |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |  | 2月（8）                                                                                    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 3月（4）                                                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----------------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|--|--|--|------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 体育的行事 |     |                                                                                                                    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 陸上大会（5・6年）                                   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 持久走大会                                                                                                                                                                                                                                                                           |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |                                                                                            |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |  | なわ跳び大会                                                                                   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 学年球技大会                                                           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 単元名   |     | ☆〈ボ〉<br>ベースボール型⑨                                                                                                   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 〈保〉<br>けがの防止④                                |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 〈器〉<br>鉄棒運動⑥<br>☆〈体〉<br>体の動きを高める運動②（動きを持続②）                                                                                                                                                                                                                                     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 〈陸〉<br>走り幅跳び⑧                                                                              |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |  | 〈体〉<br>体の動きを<br>高める運動<br>③（柔①巧<br>②）                                                     |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 〈器〉<br>跳び箱運動⑥                                                    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ☆〈陸〉<br>短距離走・リレー⑧                                                                                                                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ねらい   |     | (略)                                                                                                                |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |                                              |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |                                                                                            |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |  |                                                                                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 時間（回） |     | 46                                                                                                                 | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58                                           | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 | 64 | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70                                                                                                                                                                                                                                                                              | 71 | 72 | 73 | 74 | 75 | 76 | 77 | 78 | 79 | 80 | 81 | 82                                                                                         | 83 | 84 | 85 | 86 | 87 | 88 | 89 | 90 |  |  |  |                                                                                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 構成    | (分) | ○ソフトボール<br>・易しく投げられたボールをバットでフェアグラウンド内に打つ<br>・打球の方向に移動し捕球<br>・捕球する相手に向かっての投球<br>・塁間を全力で走塁<br>・守備の隊形をとって得点を与えないようにする |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | ○交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがとその防止<br>○けがの手当て |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | ○基本的な前転グループ技<br>○前転グループ発展技<br>・前方支持回転<br>・片足踏み越し下り<br>○基本的な後転グループ技<br>○後転グループ発展技<br>・逆上がり<br>・後方支持回転<br>○基本的な前方足掛け回転グループ技<br>○前方足掛け回転グループ発展技<br>・膝掛け上がり<br>○基本的な後方脚掛け回転グループ技<br>○後方足掛け回転グループ発展技<br>・両膝掛け振動下り<br>○動きを持続する能力を高めるための運動<br>・時間やコースを決めて行う全身運動<br>・無理のない速さで5～6分程度の持久走 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | ○リズムカルな助走からの走り幅跳び<br>・7～9歩程度のリズムカルな助走をする<br>・幅30～40cm程度の踏み切りゾーンで力強く踏み切る<br>・かがみ跳びから両足で着地する |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |  | ○体の柔らかさを高めるための運動<br>・用具などを用いた運動<br>○巧みな動きを高めるための運動<br>・人や物の動き、場の状況に対応した運動<br>・用具などを用いた運動 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○基本的な切り返し跳びグループ技<br>○基本的な回転跳びグループ技<br>○切り返し跳びグループ発展技<br>・かかえ込み跳び |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○50～60m程度の短距離走<br>・スタンディングスタートから、素早く走り始める<br>・体を前傾させて全力で走る<br>○様々な距離でのリレー<br>・一人が走る距離は50～60m程度<br>・テークオーバーゾーン内で、減速の少ないバトンの受け渡しをする |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|       | 10  |                                                                                                                    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |                                              |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |                                                                                            |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |  |                                                                                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|       | 20  |                                                                                                                    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |                                              |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |                                                                                            |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |  |                                                                                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|       | 30  |                                                                                                                    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |                                              |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |                                                                                            |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |  |                                                                                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|       | 40  |                                                                                                                    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |                                              |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |                                                                                            |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |  |                                                                                          |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 備考    |     | ・道徳教育との関連【3(5)】                                                                                                    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | ・養護教諭等との連携                                   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                                                                                                                                                                                                                           |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                                      |    |    |    |    |    |    |    |    |  |  |  | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                                    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                            |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                                                                   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※○数字は、1単位時間を45分とした場合の時数。

※「体づくりの運動」は、上記のように「体ほぐし…」と「体の動きを…」を、単元を通して帯で取り扱うこともできるが、それぞれを1単位時間で取り扱うこともできる。

# 第6学年      ○A 小学校の年間指導計画

## ○児童の実態から、走力・投力・持久力に重点を置く。

☆…重点単元      網掛けの単元…体育館を使用

| 月（時）  |     | 4 月（9）                                                                                                                                                                                     |   |   |   |   |   | 5 月（9）                                                                                                                                    |   |   |    |    |    | 6 月（12）                                                                                                                                                      |    |    |    |    |    | 7 月（6）                                                      |    |    |    |    |    | 9 月（10）                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                              |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|-------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|---|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|----|----|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|-------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 体育的行事 |     | （健康診断）                                                                                                                                                                                     |   |   |   |   |   | 新体力テスト                                                                                                                                    |   |   |    |    |    | プール開き                                                                                                                                                        |    |    |    |    |    | 林間学校（5年）                                                    |    |    |    |    |    | 運動会                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                              |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 単元名   |     | 〈体〉<br>体ほぐしの運動②<br>〈体〉<br>体の動きを高める運動④<br>（柔軟かさ①巧み①力強さ②）                                                                                                                                    |   |   |   |   |   | 〈器〉<br>マット運動⑧                                                                                                                             |   |   |    |    |    | ☆〈陸〉<br>ハードル走⑥<br>☆〈陸〉<br>投の運動②                                                                                                                              |    |    |    |    |    | 〈保〉<br>病気の予防④                                               |    |    |    |    |    | 〈水〉<br>クロール④<br>平泳ぎ⑤<br>安全確保につながる運動①                                                                                                                                                                                                                                                                      |    |    |    |    |    | 〈表〉<br>表現⑩                                                                                                                                                                                                                                   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| ねらい   |     | (略)                                                                                                                                                                                        |   |   |   |   |   |                                                                                                                                           |   |   |    |    |    |                                                                                                                                                              |    |    |    |    |    |                                                             |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                              |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 時間（回） |     | 1                                                                                                                                                                                          | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7                                                                                                                                         | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13                                                                                                                                                           | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19                                                          | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31                                                                                                                                                                                                                                           | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 |
| 構成    | (分) | ○体ほぐしの運動<br>・動作や人数などの条件を変えて歩いたり走ったりする運動<br>・仲間と力を合わせて挑戦する運動<br>・伝承遊びや集団による運動<br>○体の柔軟さを高めるための運動<br>・徒手での運動<br>○巧みな動きを高めるための運動<br>・人や物の動き、場の状況に対応した運動<br>○力強い動きを高めるための運動<br>・人や物の重さなどを用いた運動 |   |   |   |   |   | ○基本的な前転グループ技<br>○前転グループ発展技<br>・補助倒立前転<br>○基本的な倒立グループ技<br>○基本的な倒立回転グループ技<br>○基本的なはね起きグループ技<br>○倒立回転グループ発展技<br>・ロンダート<br>・頭はね起き<br>○技の組み合わせ |   |   |    |    |    | ○40～50m程度のハードル走<br>・第1ハードルを決めた足で踏み切って走り越える<br>・スタートから最後まで、体のバランスをとりながら真っ直ぐ走る<br>・インターバルを3歩または5歩で走る<br><br>○投の運動<br>・どすこいバウンド投げ<br>・シャトル投げ<br>・チーム対抗スローイングゴルフ |    |    |    |    |    | ○病気の起こり方<br>○病原体が主な要因となって起こる病気の予防<br>○生活行動が主な要因となって起こる病気の予防 |    |    |    |    |    | ○安全確保につながる運動・背浮き・浮き沈み<br>○25～50m程度を目安にした平泳ぎ<br>・円を描くように左右に開き水をかく<br>・足の裏や脚の内側で水を挟み出すかえる足をする<br>・水をかきながら、顔を前に上げて呼吸をする<br>○ゆったりとした平泳ぎ<br>・キックの後に顎を引いた伏し浮きの姿勢を保つ<br>○25～50m程度を目安にしたクロール<br>・手を交互に前方に伸ばして水に入れ、かく<br>・リズムカルなばた足をする<br>・顔を横に上げて呼吸する<br>○ゆったりとしたクロール<br>・両手を揃えた姿勢で片手ずつ大きく水をかく<br>・ゆっくりと動かすばた足をする |    |    |    |    |    | ○群（集団）が生きる題材<br>・「祭り」「スポーツの攻防」「出口を探せ！」<br>○多様な題材<br>・「わたしたちの地球」「ニュース○○」「○月×日、私のダイアリー」<br>・題材の特徴を捉えて、表したい感じやイメージを、動きに変化を付けたり繰り返したりして、メリハリ（緩急・強弱）のあるひと流れの動きにして即興的に踊る<br>・表したい感じやイメージを「はじめなかーおわり」の構成や群の動きを工夫して簡単なひとまとまりの動きで表現する<br>・感じを込めて通して踊る |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|       | 備考  | ・集団行動の指導                                                                                                                                                                                   |   |   |   |   |   | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                                                                                     |   |   |    |    |    | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                                                                                                        |    |    |    |    |    | ・養護教諭、学校医等との連携【3(4)】                                        |    |    |    |    |    | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                                                                                                                                                                                                                                                     |    |    |    |    |    |                                                                                                                                                                                                                                              |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

| 月（時）  |     | 10 月（12）                         |    |    |    |    |    | 11 月（8）                                                                        |    |    |    |    |    | 12 月（5）                                                                                                              |    |    |    |    |    | 1 月（6）                                                                                  |    |    |    |    |    | 2 月（8）                                                                  |    |    |    |    |    | 3 月（5）                                                                                                             |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|-------|-----|----------------------------------|----|----|----|----|----|--------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|-----------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|-------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 体育的行事 |     |                                  |    |    |    |    |    | 陸上大会（5・6年）                                                                     |    |    |    |    |    | 持久走大会                                                                                                                |    |    |    |    |    |                                                                                         |    |    |    |    |    | なわ跳び大会                                                                  |    |    |    |    |    | 学年球技大会                                                                                                             |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 単元名   |     | 〈保〉<br>病気の予防④                    |    |    |    |    |    | 〈陸〉<br>走り高跳び⑧<br>☆〈体〉<br>体の動きを高める運動③（動きを持続③）                                   |    |    |    |    |    | 〈ボ〉<br>ネット型⑩                                                                                                         |    |    |    |    |    | 〈体〉<br>体の動きを高める運動③（柔①巧②）                                                                |    |    |    |    |    | 〈器〉<br>跳び箱運動⑧                                                           |    |    |    |    |    | 〈ボ〉<br>ゴール型⑧                                                                                                       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| ねらい   |     | (略)                              |    |    |    |    |    |                                                                                |    |    |    |    |    |                                                                                                                      |    |    |    |    |    |                                                                                         |    |    |    |    |    |                                                                         |    |    |    |    |    |                                                                                                                    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 時間（回） |     | 46                               | 47 | 48 | 49 | 50 | 51 | 52                                                                             | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58                                                                                                                   | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 | 64                                                                                      | 65 | 66 | 67 | 68 | 69 | 70                                                                      | 71 | 72 | 73 | 74 | 75 | 76                                                                                                                 | 77 | 78 | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 | 84 | 85 | 86 | 87 | 88 | 89 | 90 |
| 構成    | (分) | ○喫煙、飲酒、薬物乱用と健康<br>○地域の様々な保健活動の取組 |    |    |    |    |    | ○リズムカルな助走からの走り高跳び<br>・5～7歩程度のリズムカルな助走をする<br>・上体を起こして力強く踏み切る<br>・はさみ跳びで、足から着地する |    |    |    |    |    | ○ソフトバレーボール<br>・自陣のコート（中央付近）から相手コートへのサービス<br>・味方が受けやすいようにボールをつなぐ<br>・片手、両手での相手コートへの返球<br>・ボールの方向に体を向けることとボール方向への素早い移動 |    |    |    |    |    | ○体の柔軟さを高めるための運動<br>・用具などを用いた運動<br>○巧みな動きを高めるための運動<br>・人や物の動き、場の状況に対応した運動<br>・用具などを用いた運動 |    |    |    |    |    | ○基本的な切り返し跳びグループ技<br>○基本的な回転跳びグループ技<br>○回転跳びグループ発展技<br>・伸膝台上前転<br>・頭はね跳び |    |    |    |    |    | ○サッカー<br>・近くにいるフリーの味方へのパス<br>・パスを受けてのシュート<br>・ボール保持者と自分の間に守備者が入らない位置への移動<br>・得点しやすい場所への移動<br>・ボール保持者とゴールの間に体を入れた守備 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|       | 備考  | ・警察、保健センター等の連携【3(4)】             |    |    |    |    |    | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                          |    |    |    |    |    | ・道徳教育との関連【3(5)】                                                                                                      |    |    |    |    |    |                                                                                         |    |    |    |    |    | ・地域やスポーツ指導者との連携【3(4)】                                                   |    |    |    |    |    | ・道徳教育との関連【3(5)】                                                                                                    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |

※○数字は、1 単位時間を45分とした場合の時数。  
 ※「体づくりの運動」は、上記のように「体ほぐし…」と「体の動きを…」を、単元を通して帯で取り扱うこともできるが、それぞれを1 単位時間で取り扱うこともできる。  
 ※「投の運動」の指導に際しては、達成・競争の特性を失わないように配慮する。



### 3 領域別指導内容系統表

#### (1) 小学校体育科の領域構成と内容

| 1 年                        | 2 年           | 3 年                 | 4 年         | 5 年           | 6 年        |
|----------------------------|---------------|---------------------|-------------|---------------|------------|
| 【体つくりの運動遊び】                |               | 【体つくり運動】            |             |               |            |
| 体ほぐしの運動遊び                  | 体ほぐしの運動遊び     | 体ほぐしの運動             | 体ほぐしの運動     | 体ほぐしの運動       | 体ほぐしの運動    |
| 多様な動きをつくる運動遊び              | 多様な動きをつくる運動遊び | 多様な動きをつくる運動         | 多様な動きをつくる運動 | 体の動きを高める運動    | 体の動きを高める運動 |
| 【器械・器具を使つての運動遊び】           |               | 【器械運動】              |             |               |            |
| 固定施設を使つた運動遊び               |               |                     |             |               |            |
| マットを使つた運動遊び                |               | マット運動               |             | マット運動         |            |
| 鉄棒を使つた運動遊び                 |               | 鉄棒運動                |             | 鉄棒運動          |            |
| 跳び箱を使つた運動遊び                |               | 跳び箱運動               |             | 跳び箱運動         |            |
| 【走・跳の運動遊び】                 |               | 【走・跳の運動】            |             | 【陸上運動】        |            |
| 走の運動遊び                     |               | かけっこ・リレー            |             | 短距離走・リレー      |            |
|                            |               | 小型ハードル走             |             | ハードル走         |            |
| 跳の運動遊び                     |               | 幅跳び                 |             | 走り幅跳び         |            |
|                            |               | 高跳び                 |             | 走り高跳び         |            |
| 【水遊び】                      |               | 【水泳運動】              |             |               |            |
| 水の中を移動する運動遊び<br>もぐる・浮く運動遊び |               | 浮いて進む運動<br>もぐる・浮く運動 |             | クロール          |            |
|                            |               |                     |             | 平泳ぎ           |            |
|                            |               |                     |             | 安全確保につながる運動   |            |
| 【ゲーム】                      |               |                     |             | 【ボール運動】       |            |
| ボールゲーム<br>鬼遊び              |               | ゴール型ゲーム             |             | ゴール型          |            |
|                            |               | ネット型ゲーム             |             | ネット型          |            |
|                            |               | ベースボール型ゲーム          |             | ベースボール型       |            |
| 【表現リズム遊び】                  |               | 【表現運動】              |             |               |            |
| 表現遊び                       |               | 表現                  |             | 表現            |            |
| リズム遊び                      |               | リズムダンス              |             |               |            |
|                            |               |                     |             | フォークダンス       |            |
|                            |               | 【保健】                |             |               |            |
|                            |               | 健康な生活               | 体の発育・発達     | 心の健康<br>けがの防止 | 病気の予防      |

#### (2) 中学校保健体育科の内容及び取扱い等

##### 【体育分野】

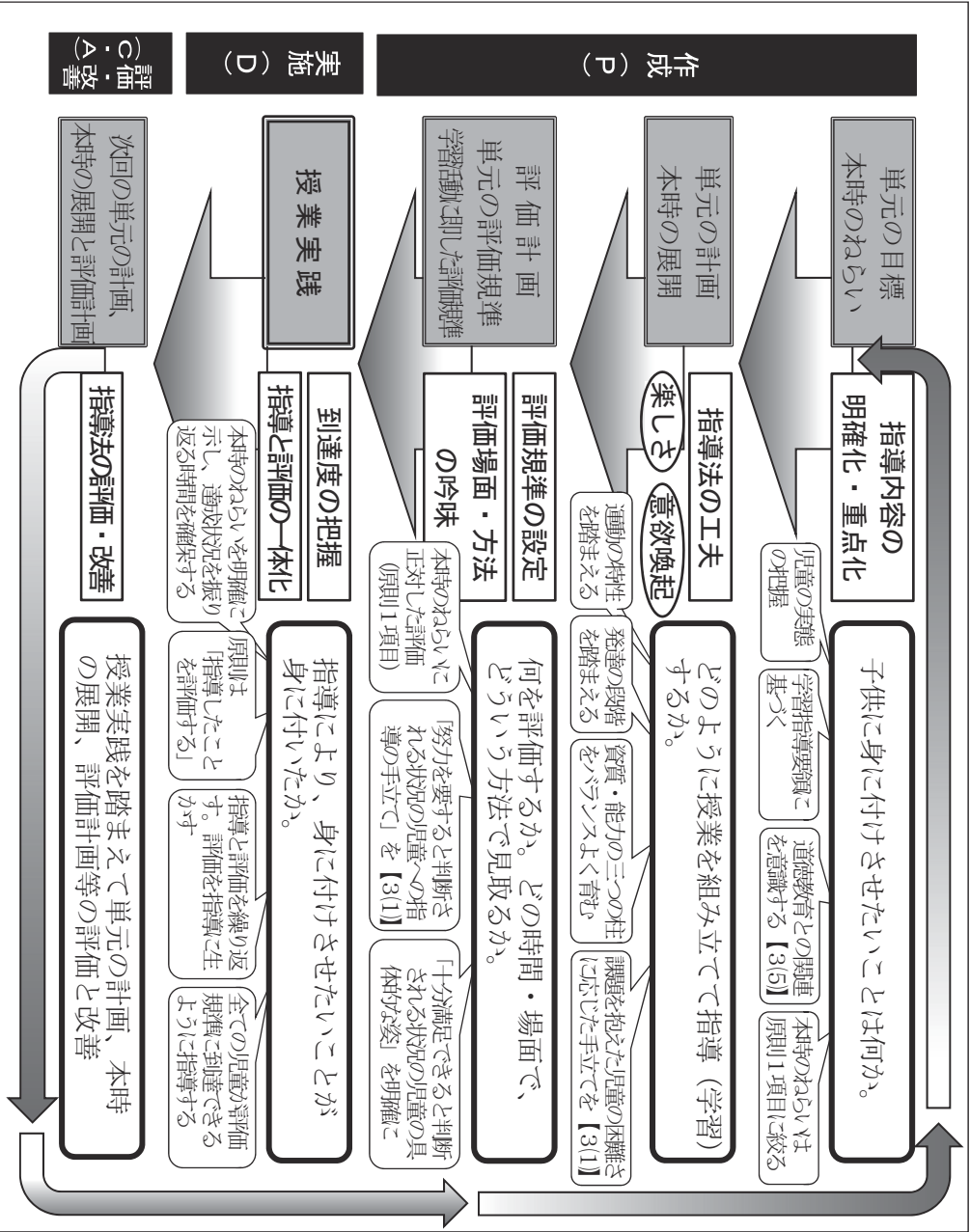
| 領域及び領域の内容                                       | 1 年 | 2 年 | 内容の取扱い                                 | 領域及び領域の内容               | 3 年                  | 内容の取扱い                 |
|-------------------------------------------------|-----|-----|----------------------------------------|-------------------------|----------------------|------------------------|
| 【A 体つくり運動】                                      | 必修  | 必修  | ア、イ必修<br>(各学年7単位<br>時間以上)              | 【A 体つくり運動】              | 必修                   | ア、イ必修<br>(7単位時間<br>以上) |
| ア 体ほぐしの運動                                       |     |     |                                        | ア 体ほぐしの運動               |                      |                        |
| イ 体の動きを高める運動                                    |     |     |                                        | イ 実生活に生かす運動の計画          |                      |                        |
| 【B 器械運動】                                        | 必修  |     | 2年間でアを含む二種目選択                          | 【B 器械運動】                |                      | ア～エから選択                |
| ア マット運動                                         |     |     |                                        | ア マット運動                 |                      |                        |
| イ 鉄棒運動                                          |     |     |                                        | イ 鉄棒運動                  |                      |                        |
| ウ 平均台運動                                         |     |     |                                        | ウ 平均台運動                 |                      |                        |
| エ 跳び箱運動                                         |     |     |                                        | エ 跳び箱運動                 |                      |                        |
| 【C 陸上競技】                                        | 必修  |     | 2年間でア及びイのそれぞれの中から選択                    | 【C 陸上競技】                | B, C, D, G から一領域以上選択 | ア及びイのそれぞれの中から選択        |
| ア 短距離走・リレー, 長距離走又はハードル走                         |     |     |                                        | ア 短距離走・リレー, 長距離走又はハードル走 |                      |                        |
| イ 走り幅跳び又は走り高跳び                                  |     |     |                                        | イ 走り幅跳び又は走り高跳び          |                      |                        |
| 【D 水泳】                                          | 必修  |     | 2年間でア又はイを含む二種目選択                       | 【D 水泳】                  |                      | ア～オから選択                |
| ア クロール                                          |     |     |                                        | ア クロール                  |                      |                        |
| イ 平泳ぎ                                           |     |     |                                        | イ 平泳ぎ                   |                      |                        |
| ウ 背泳ぎ                                           |     |     |                                        | ウ 背泳ぎ                   |                      |                        |
| エ バタフライ                                         |     |     |                                        | エ バタフライ                 |                      |                        |
| オ 複数の泳法で泳ぐ又はリレー                                 |     |     |                                        | オ 複数の泳法で泳ぐ又はリレー         |                      |                        |
| 【E 球技】                                          | 必修  |     | 2年間でア～ウの全てを選択                          | 【E 球技】                  | E, F から一領域以上選択       | ア～ウから二種目選択             |
| ア ゴール型                                          |     |     |                                        | ア ゴール型                  |                      |                        |
| イ ネット型                                          |     |     |                                        | イ ネット型                  |                      |                        |
| ウ ベースボール型                                       | 必修  |     | 2年間でア～ウから一種目選択                         | ウ ベースボール型               |                      | ア～ウから一種目選択             |
| 【F 武道】                                          |     |     |                                        | 【F 武道】                  |                      |                        |
| ア 柔道                                            |     |     |                                        | ア 柔道                    |                      |                        |
| イ 剣道                                            |     |     |                                        | イ 剣道                    |                      |                        |
| ウ 相撲                                            | 必修  |     | 2年間でア～ウから選択                            | ウ 相撲                    | B, C, D, G から一領域以上選択 | ア～ウから選択                |
| 【G ダンス】                                         |     |     |                                        | 【G ダンス】                 |                      |                        |
| ア 創作ダンス                                         |     |     |                                        | ア 創作ダンス                 |                      |                        |
| イ フォークダンス                                       |     |     |                                        | イ フォークダンス               |                      |                        |
| ウ 現代的なリズムのダンス                                   | 必修  | 必修  | (1)第1学年必修<br>(2)第2学年必修<br>(各学年3単位時間以上) | ウ 現代的なリズムのダンス           | 必修                   | (1)第3学年必修<br>(3単位時間以上) |
| 【H 体育理論】                                        |     |     |                                        | 【H 体育理論】                |                      |                        |
| (1) 運動やスポーツの多様性<br>(2) 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 |     |     |                                        | (1) 文化としてのスポーツの意義       |                      |                        |

##### 【保健分野】

| 内容                | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 | 内容の取扱い      |
|-------------------|------|------|------|-------------|
| (1) 健康な生活と疾病の予防   | 必修   | 必修   | 必修   | (1)は全学年で必修  |
| (2) 心身の機能の発達と心の健康 |      |      |      | (2)は第1学年で必修 |
| (3) 傷害の防止         |      |      |      | (3)は第2学年で必修 |
| (4) 健康と環境         |      |      |      | (4)は第3学年で必修 |

4 単元計画及び1単位時間の指導計画作成

(1) 児童の実態に基づいた単元及び1単位時間の計画の作成・実施・評価・改善 (カリキュラム・マネジメントの実現)



(2) 単元計画作成のポイント (課題を見付け、その解決に向けて取り組む学習過程例)

| 時間   | 1                                               | ～           | X                                    |
|------|-------------------------------------------------|-------------|--------------------------------------|
| ねらい  | 2年間の「1つのまとまり」として計画を考える                          |             |                                      |
| 指導内容 | ※ 指導と評価にリンクしたねらいを明記する。<br>※ 各時間における主な指導内容を明記する。 |             |                                      |
| 学習過程 | 例                                               | 易しい運動から取り組む | 自己の思いや願い、体力や技能に応じて、目標をもつ             |
|      |                                                 | 楽しい         | 目標に向けた運動課題とその解決方法を知る                 |
|      |                                                 | もっと知りたい     | 自己の能力やチームの特徴に応じて課題を選び、課題解決のための活動を決める |
|      |                                                 | もっと知りたい     | 決めた課題に取り組む                           |
| 評価計画 | ③④                                              | 思いや願い       | 成果を確認し、振り返る                          |
|      |                                                 | 思考表         | 次の課題に向けて取り組む                         |
|      |                                                 | 観察・学習カード    |                                      |
|      |                                                 | 場面          |                                      |

※上記の単元の流れやポイントは例示であり、これに限定されるものではない。  
※表に示した評価の観点、小学校学習指導要領解説総則編（29年6月）P93を受けたものであるが、変更の場合もあるので、今後の動向を注視されたい。

(3) 1 単位時間の指導計画作成のポイント 【3(2)】

| 段階 | 学習内容・活動                                                                                                                    | 押さえておきたいポイント                                                                                                                                                                                                                                            |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入 | 1 集合、整列、挨拶、健康観察                                                                                                            | ①ねらいの明確化                                                                                                                                                                                                                                                |
|    | 2 本時のねらいや学習内容等の確認                                                                                                          | <input type="checkbox"/> 本時は、児童に何を身に付けさせるのかを明確になっている。(本時における児童のゴール像が描かれている。)                                                                                                                                                                            |
|    | 3 学習の場づくり、用具の準備                                                                                                            | <input type="checkbox"/> 本時のねらいを児童に明確に示している。<br><input type="checkbox"/> 本時について、単元全体での位置付けや前時からのつながりを意識させている。<br><input type="checkbox"/> 本時の見通しをもたせている。                                                                                                |
|    | 4 準備運動                                                                                                                     | ②「感覚づくりの運動」の重視                                                                                                                                                                                                                                          |
|    | 5 感覚づくりの運動                                                                                                                 | <input type="checkbox"/> 主運動につながる基礎的・基本的な運動を厳選している。<br><input type="checkbox"/> 主運動とのつながりを理解させ、目的意識、必要感、切実感をもたせながら丁寧に指導している。<br><input type="checkbox"/> 運動量を確保しながら、質の向上に努めている。                                                                         |
|    | 6 練習                                                                                                                       | ③思考を促す「発問」                                                                                                                                                                                                                                              |
| 展開 | ・課題の解決に取り組む                                                                                                                | <input type="checkbox"/> 本時のねらいに迫る発問をし、考えさせ、時には実際に動いて試しながら、気付かせることで児童の「わかる」「できる」を保障している。<br><input type="checkbox"/> 児童に教えること、児童に投げかけ気付かせることを、単元全体を見通してバランスよく計画している。                                                                                    |
|    | 7 練習の成果の確認<br>・記録会、発表会、ゲーム等                                                                                                | ④豊富な運動学習場面(運動量)の確保                                                                                                                                                                                                                                      |
|    | 8 自己評価、相互評価                                                                                                                | <input type="checkbox"/> 単元及び本時の計画段階で全体を見通して、児童が主体的に運動に取り組める時間をできるだけ多く確保している。<br><input type="checkbox"/> 単元のはじめに、学び方や役割行動を明確に示して励行させ、学習規律を確立している。<br><input type="checkbox"/> 教師の全体指導の回数を精選し、短く簡潔にわかりやすく行っている。                                         |
| 展開 | 9 練習<br>…                                                                                                                  | ⑤「学び合い」(対話的な学び)の指導【3(2)※3】                                                                                                                                                                                                                              |
|    | <div>学習指導要領解説体育編の各領域の内容に示されている<br/>「運動が苦手な児童への配慮の例」<br/>(知識及び技能)<br/>「運動が意欲的でない児童への配慮の例」(学びに向かう力, 人間性等)を参考にする。【3(1)】</div> | <input type="checkbox"/> 「学び合い」の目的を明確にしている。<br><input type="checkbox"/> 具体的な「学び合い」の姿を示し、丁寧に指導している。<br><input type="checkbox"/> 学習資料を使用する場合には、その活用の仕方を具体的な姿で示し、丁寧に指導している。<br><input type="checkbox"/> 気付いたことや考えたことを、言葉や動作、絵図、ICT 機器を活用して友達に伝える方法を指導している。 |
|    |                                                                                                                            | ⑥指導と評価の一体化                                                                                                                                                                                                                                              |
| 整理 | 12 片付け                                                                                                                     | <input type="checkbox"/> 一貫して、ねらいに沿った指導と評価を繰り返している。<br><input type="checkbox"/> 指導したことを評価している。<br><input type="checkbox"/> 「努力を要すると判断される状況の児童への指導の手立て」を実行している。<br><input type="checkbox"/> 規準に達している児童には、「十分満足できると判断される状況の児童の具体的な姿」を目指し、指導している。          |
|    | 13 整理運動                                                                                                                    | ⑦「振り返り」の重視                                                                                                                                                                                                                                              |
|    | 14 学習の振り返り<br>15 整列、健康観察、挨拶                                                                                                | <input type="checkbox"/> 児童が本時のねらいに沿って自己の学習活動を振り返る時間を確保している。<br><input type="checkbox"/> 本時のねらいに沿って学習活動を振り返り、評価し、まとめをして、次時の意欲喚起につなげている。                                                                                                                 |

※上記の授業の流れやポイントは例示であり、これに限定されるものではない。



## 第10節 外国語

### 第1 指導計画の作成

#### 1 指導計画作成の基本的な考え方

指導計画作成に当たっては、第3学年及び第4学年並びに中学校及び高等学校における指導との接続に留意しながら、外国語の目標や基本的な理念を踏まえて行うようにする。また、学年ごとの目標を適切に定め、2学年間を通じて外国語科の目標の実現が図れるように配慮する。

##### (1) 外国語の目標 (学 P137)

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

##### (2) 外国語の基本的な理念 (ガイドブック基本編「小学校外国語教育(外国語活動・外国語)の基本的理念」参照)

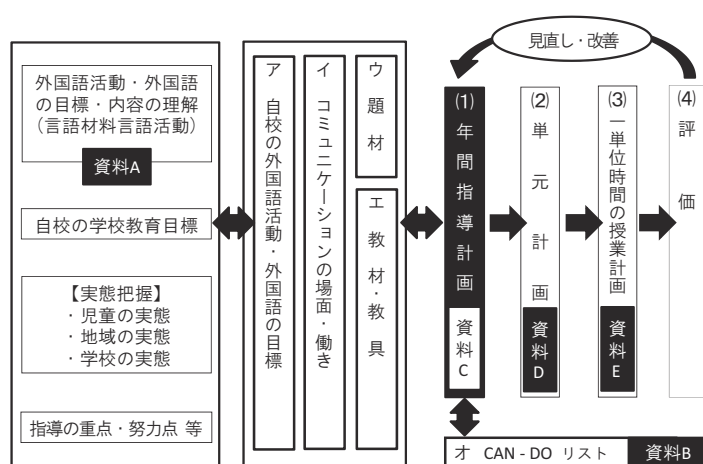
ア 外国語を用いたコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力の育成  
イ 「聞くこと」「話すこと」及び、「読むこと」「書くこと」の4技能を扱う  
ウ 音声から文字への指導を行う  
エ 言語活動を通して、文や文構造への理解を図る

\* ガイドブック：文部科学省「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック」のこと。

#### 2 指導計画作成の一般的な手順

##### (1) 年間指導計画 (編 P154～157 資料C)

(ガイドブック実践編「題材選定の仕方・教材の在り方」及び「年間指導計画の立案」参照)



年間指導計画を作成する際には、以下の点に留意する。

ア 自校の外国語の目標は、外国語の目標・内容(編 P150～152 資料A)を踏まえ、自校の学校教育目標、児童・地域・学校の実態に合わせ、指導の重点・努力点等を参考に設定する。

イ コミュニケーションの場面(挨拶、買い物、地域の行事等)やコミュニケーションの働き(気持ちを伝える、事実・情報を伝える等)を参考に活動を整理し、学校行事等に関連付けて学習できるよう配列し、年間指導計画を作成する。

ウ 言語活動で扱う題材は、「児童の興味・関心」、「他教科等の学習や学校行事等で扱う内容との関連」、「国際理解と自国理解」について留意する。

エ 教材選定に当たっては、各学年の目標や内容に資するものであるかという点が重要である。各学校や学級の実態に合わせたオリジナル教材の活用などの工夫を図ることが必要である。

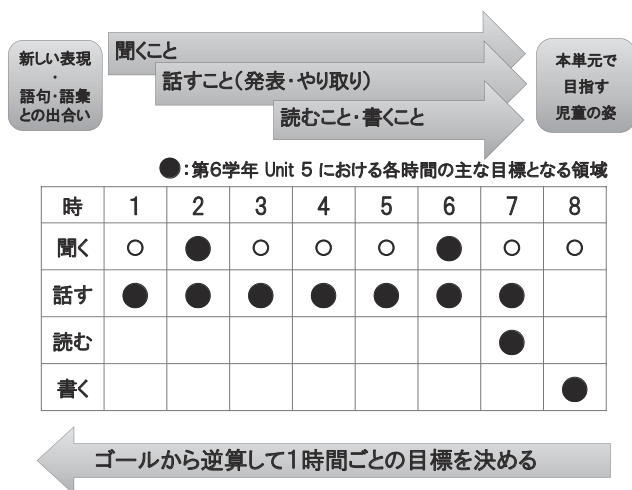
オ 学年ごとの「学習到達目標」(CAN-DO リスト)(編 P153 資料B)を設定することにより、児童にどのような英語力が身に付くか、英語を用いて何ができるようになるか、あらかじめ明らかにし、児童と共有することで授業のねらいを明確にすることとなる。

##### (2) 単元計画の立案 (ガイドブック授業研究編Ⅱ外国語「単元・授業構成上の留意点」参照)

単元計画を構成する際には、ゴールから逆算した(バックワード・デザイン)1単位時間ごとの目標を設定し、言語活動を組み立ていく。特に以下の点について留意する。

ア 「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の順序性を踏まえる。

イ 単元を通じて繰り返し取り組ませる活動を位置付ける。



ウ 教師が単元終末段階で児童に望む具体的な姿のイメージをもち、実態に応じて単元を見通した具体的な課題を設定する。

(編 P155,157,158～160 **資料D**)

- (3) 1 単位時間の授業計画 (ガイドブック授業研究編Ⅱ 外国語「単元・授業構成上の留意点」参照)

(編 P160,161 **資料E**)

1 単位時間の授業計画を構成する際には、以下の点に留意する。

ア 「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の順序性を踏まえる。

イ 当該単位時間のねらいや評価する言語活動を焦点化する。

#### (4) 評価

完成した年間指導計画は、学校行事や他教科等の学習内容、児童の発達の段階や興味・関心に応じて、見直しや修正を行う。

### 3 指導計画作成に当たっての留意すべき事項

- (1) 「特別な配慮を必要とするなど課題を抱えた児童への指導」の視点 (解 P64,65)

音声を聞き取ることが難しい場合、外国語と日本語の音声やリズムの違いに気付くことができるよう、リズムやイントネーションを、教員が手拍子を打つ、音の強弱を手を上下に動かして表すなどの配慮をする。また、本時の流れが分かるように、本時の活動の流れを黒板に記載しておくなどの配慮をする。

- (2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点 (ガイドブック授業研究編Ⅱ 外国語「授業研究の視点⑧」参照)

単元など内容や時間のまとまりの中で、以下の視点で授業改善を進める。

ア「主体的」: 架空のことだけではなく、自分自身の考えや気持ちを表現させる。

イ「対話的」: 伝え合う目的があり、伝え合う内容が互いに未知であるよう工夫する。

ウ「深い学び」: 伝え合う活動を通して、言語材料の「意味」「場面」「目的」を結び付けるようにする。

- (3) 「教科等横断的」な視点 (ガイドブック授業研究編Ⅱ 外国語「授業研究の視点⑥」参照)

他教科等や学校行事で得た知識や体験を、外国語の学習の中で適切に生かすために、相互の関連について検討し、指導計画に位置付ける。

- (4) 「社会に開かれた教育課程」の視点 (解 P65,66)

学級担任の教師又は外国語を担当する教師が指導計画を作成し、授業を実施するに当たっては、ネイティブ・スピーカーや英語が堪能な地域人材などの協力を得る等、指導体制の充実を図るとともに、指導方法の工夫を行う。

- (5) 「道徳教育の充実」の視点 (解 P73,74)

道徳教育の全体計画との関連、指導内容及び時期等に配慮し、両者が相互に効果を高め合うようにする。

- (6) 「外国語教育の充実」の視点 (ガイドブック基本編「外国語の基本的な理念」参照)

ア 中学年の外国語活動、中学校外国語との接続に留意する。

イ 中学年の外国語活動を履修する際に扱った簡単な語句や基本的な表現などの学習内容を繰り返し指導して定着を図る。これにより、外国語を用いたコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。

ウ 「聞くこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」及び、「読むこと」「書くこと」の五領域を扱う。ただし、「読むこと」「書くこと」については、「慣れ親しみ」であり、「聞くこと」「話すこと」に求める技能とは同等ではないことに留意する。

エ まずは音声で十分に慣れ親しんだ後、細かな段階を踏んで文字への指導を行う。

オ 言語活動を通して、文や文構造への理解を図る。文や文構造の解説を通してではなく、児童にとって必然性のある活動を通して語彙や表現に出合わせるなどの工夫をし、児童が考えや気持ちを表現できるようにする。

## 第2 指導計画作成のための資料

### 資料A 「外国語活動・外国語の目標」の学校段階別一覧表（解 P75～78）

#### 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方

外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること

| 目 標          |                                                                                                |                                                                                                                                                     |                                                                                                                                  |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|              | 小学校第3学年及び第4学年<br>外国語活動                                                                         | 小学校第5学年及び第6学年<br>外国語                                                                                                                                | 中学校<br>外国語                                                                                                                       |
|              | 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 | 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。                                            | 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 |
| 知識・技能        | (1) 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。               | (1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付くこと、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。 | (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。                           |
| 思考力・判断力・表現力等 | (2) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。                                        | (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。     | (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。                           |
| 学びに向かう力・人間性等 | (3) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。                  | (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。                                                                                | (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。                                                |

| 5つの領域別の目標  |                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                            |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|            | 小学校第3学年及び第4学年<br>外国語活動                                                                                                                                                                            | 小学校第5学年及び第6学年<br>外国語                                                                                                                                                                                      | 中学校<br>外国語                                                                                                                                                                                                 |
| 聞くこと       | ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。<br>イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。<br>ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。                                                | ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。<br>イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。<br>ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。        | ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。<br>イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。<br>ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。                                                          |
| 読むこと       |                                                                                                                                                                                                   | ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。<br>イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。                                                                                                                        | ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。<br>イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。<br>ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。                                                |
| 話すこと「やり取り」 | ア 基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりするようにする。<br>イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。<br>ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり質問に答えたりするようにする。 | ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。<br>イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。<br>ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。 | ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。<br>イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。<br>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。 |
| 話すこと「発表」   | ア 身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。<br>イ 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。<br>ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。           | ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。<br>イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。<br>ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。       | ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。<br>イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。<br>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。            |
| 書くこと       |                                                                                                                                                                                                   | ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。<br>イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。                                               | ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。<br>イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。<br>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。            |



「外国語の言語材料」の学校段階別一覧表（解 P79, 80）

| 小学校第5学年及び第6学年<br>外国語               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 中学校<br>外国語                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 音声                                 | 次に示す事項のうち基本的な語や句、文について取り扱うこと。<br>(7) 現代の標準的な発音<br>(4) 語と語の連結による音の変化<br>(7) 語や句、文における基本的な強勢<br>(2) 文における基本的なイントネーション<br>(4) 文における基本的な区切り                                                                                                                                                                                                                                                                             | 次に示す事項について取り扱うこと。<br>(7) 現代の標準的な発音<br>(4) 語と語の連結による音の変化<br>(7) 語や句、文における基本的な強勢<br>(2) 文における基本的なイントネーション<br>(4) 文における基本的な区切り                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 文字及び符号<br>/符号                      | (7) 活字体の大文字、小文字<br>(4) 終止符や疑問符、コンマなどの基本的な符号                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 感嘆符、引用符などの符号                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 語、連語及び<br>慣用表現                     | (7) 1に示す五つの領域別の目標を達成するために必要となる、第3学年及び第4学年において第4章外国語活動を履修する際に取り扱った語を含む600～700語程度の語<br>(4) 連語のうち、get up, look atなどの活用頻度の高い基本的なもの<br>(7) 慣用表現のうち、excuse me, I see, I'm sorry, thank you, you're welcomeなどの活用頻度の高い基本的なもの                                                                                                                                                                                                | (7) 1に示す五つの領域別の目標を達成するために必要となる、小学校で学習した語に1600～1800語程度の新語を加えた語<br>(4) 連語のうち、活用頻度の高いもの<br>(7) 慣用表現のうち、活用頻度の高いもの                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 文及び<br>文構造/<br>文、文構<br>造及び<br>文法事項 | 次に示す事項について、日本語と英語の語順の違い等に気付かせるとともに、基本的な表現として、意味のある文脈でのコミュニケーションの中で繰り返し触れることを通して活用すること。<br>文<br>a 単文<br>b 肯定、否定の平叙文<br>c 肯定、否定の命令文<br>d 疑問文のうち、be動詞で始まるものや助動詞(can, doなど)で始まるもの、疑問詞(who, what, when, where, why, how)で始まるもの<br>e 代名詞のうち、I, you, he, sheなどの基本的なものを含むもの<br>f 動名詞や過去形のうち、活用頻度の高い基本的なものを含むもの<br>文<br>構造<br>a 〔主語＋動詞〕<br>b 〔主語＋動詞＋補語〕のうち、<br>主語＋be動詞＋名詞 / 代名詞 / 形容詞<br>c 〔主語＋動詞＋目的語〕のうち、<br>主語＋動詞＋名詞 / 代名詞 | 小学校学習指導要領第2章第10節外国語第2の2の(1)のエ及び次に示す事項について、意味のある文脈でのコミュニケーションの中で繰り返し触れることを通して活用すること。<br>a 重文、複文<br>b 疑問文のうち、助動詞(may, willなど)で始まるものやorを含むもの、疑問詞(which, whose)で始まるもの<br>c 感嘆文のうち基本的なもの<br>a 〔主語＋動詞＋補語〕のうち、<br>主語＋be動詞以外の動詞＋名詞 / 形容詞<br>b 〔主語＋動詞＋目的語〕のうち、<br>(a) 主語＋動詞＋動名詞 / to不定詞 / how(など)to不定詞<br>(b) 主語＋動詞＋thatで始まる節 / whatなどで始まる節<br>c 〔主語＋動詞＋間接目的語＋直接目的語〕のうち<br>(a) 主語＋動詞＋間接目的語＋名詞 / 代名詞<br>(b) 主語＋動詞＋間接目的語＋how(など)to不定詞<br>(c) 主語＋動詞＋間接目的語＋thatで始まる節/ whatなどで始まる節<br>d 〔主語＋動詞＋目的語＋補語〕のうち、<br>(a) 主語＋動詞＋目的語＋名詞 / 形容詞<br>(b) 主語＋動詞＋目的語＋原形不定詞<br>e その他<br>(a) There＋be動詞＋～<br>(b) It＋be動詞＋～(＋for～)＋to不定詞<br>(c) 主語＋tell, wantなど＋目的語＋to不定詞<br>(d) 主語＋be動詞＋形容詞＋thatで始まる節 |
| 文法事項                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | a 代名詞<br>(a) 人称や指示、疑問、数量を表すもの<br>(b) 関係代名詞のうち、主格のthat, which, who、目的格のthat, whichの制限的用法<br>b 接続詞<br>c 助動詞<br>d 前置詞<br>e 動詞の時制及びび相など<br>現在形や過去形、現在進行形、過去進行形、現在完了形、現在完了進行形、助動詞などを用いた未来表現<br>f 形容詞や副詞を用いた比較表現<br>g to不定詞<br>h 動名詞<br>i 現在分詞や過去分詞の形容詞としての用法<br>j 受け身<br>k 仮定法のうち基本的なもの                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

（参考）小学校第3学年及び第4学年 外国語活動

- (1) 英語の特徴等に関する事項  
実際に英語を用いた言語活動を通して、次の事項を体験的に身に付けることができるよう指導する。  
ア 言語を用いて主体的にコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さを知ること。  
イ 日本と外国の言語や文化について理解すること。  
(7) 英語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさ気付くこと。  
(4) 日本と外国との生活や習慣、行事などの違いを知り、多様な考え方があることに気付くこと。  
(9) 異なる文化をもつ人々との交流などを体験し、文化等に対する理解を深めること。

「外国語活動・外国語の言語活動の」の学校段階別一覧表（解 P81, 82）

|                | 小学校第3学年及び第4学年<br>外国語活動                                                      | 小学校第5学年及び第6学年<br>外国語                                                                             | 中学校<br>外国語                                                                                          |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 聞くこと           | ( ) 身近で簡単な事柄に関する短い話を聞いておおよその内容が分かったりする活動。                                   | ( ) 自分のことや学校生活など身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動。                           | ( ) 日常的な話題について自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。                                                    |
|                | ( ) 身近な人や身の回りの物に関する簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表すイラストや写真などと結び付ける活動。                | ( ) 日付や時刻 値段などを表す表現など、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取る活動。                                        | ( ) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。                                                 |
|                | ( ) 文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体で書かれた文字と結び付ける活動。                                   | ( ) 友達や家族 学校生活など、身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現で話される短い会話や説明を、イラストや写真などを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動。         | ( ) 友達からの招待など身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞いて、その内容を把握し、適切に応答する活動。                                              |
|                |                                                                             |                                                                                                  | ( ) 友達や家族学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて、概要や要点を把握する活動。また、その内容を英語で説明する活動。                        |
| 読むこと           |                                                                             | ( ) 活字体で書かれた文字を見てどの文字であるかやその文字が大文字であるか小文字であるかを識別する活動。                                            | ( ) 書かれた内容や文章の構成を考えながら黙読したり、その内容を表現するよう音読したりする活動。                                                   |
|                |                                                                             | ( ) 活字体で書かれた文字を見てその読み方を適切に発音する活動。                                                                | ( ) 日常的な話題について簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動。                       |
|                |                                                                             | ( ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とする掲示やパンフレットなどから、自分が必要とする情報を得る活動。                                         | ( ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ、物語などを読んで概要を把握する活動。                                              |
|                |                                                                             | ( ) 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、絵本などの中から識別する活動。                                                    | ( ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。        |
| 話すこと<br>「やり取り」 | ( ) 知り合いと簡単な挨拶を交わしたり、感謝や簡単な指示、依頼をして、それらに応じたりする活動。                           | ( ) 初対面の人や知り合いと挨拶を交わしたり相手に指示や依頼をして、それらに応じたり断ったりする活動。                                             | ( ) 関心のある事柄について相手からの質問に対し、その場で適切に答えたり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。                                    |
|                | ( ) 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、好みや要求などの自分の気持ちや考えなどを伝え合う活動。                   | ( ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動。                              | ( ) 日常的な話題について伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。                                         |
|                | ( ) 自分や相手の好み及び欲しいものなどについて、簡単な質問をしたり質問に答えたりする活動。                             | ( ) 自分に関する簡単な質問に対してその場で答えたり、相手に関する簡単な質問をその場でしたりして、短い会話をする活動。                                     | ( ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に答えたり自ら質問し返したりする活動。 |
| 話すこと<br>「発表」   | ( ) 身の回りの物の数や形状などについて、人前で実物やイラスト、写真などを見せながら話す活動。                            | ( ) 時刻や日時 場所など、日常生活に関する身近で簡単な事柄を話す活動。                                                            | ( ) 関心のある事柄についてその場で考えを整理して口頭で説明する活動。                                                                |
|                | ( ) 自分の好き嫌いや、欲しい物などについて、人前で実物やイラスト、写真などを見せながら話す活動。                          | ( ) 簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の趣味や得意なことなどを含めた自己紹介をする活動。                                                  | ( ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。                                                     |
|                | ( ) 時刻や曜日、場所など、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物やイラスト、写真などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを話す活動。 | ( ) 簡単な語句や基本的な表現を用いて学校生活や地域に関することなど、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動。                               | ( ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりする活動。             |
| 書くこと           |                                                                             | ( ) 文字の読み方が発音されるのを聞いて活字体の大文字、小文字を書く活動。                                                           | ( ) 趣味や好き嫌いなど自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。                                                                |
|                |                                                                             | ( ) 相手に伝えるなどの目的を持って身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動。                                        | ( ) 簡単な手紙や電子メールの形で自分の近況などを伝える活動。                                                                    |
|                |                                                                             | ( ) 相手に伝えるなどの目的を持って語と語の区切りに注意して、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ基本的な表現を書き写す活動。                          | ( ) 日常的な話題について簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。                                                 |
|                |                                                                             | ( ) 相手に伝えるなどの目的を持って、名前や年齢、趣味、好き嫌いなど、自分に関する簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動。 | ( ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書く活動。                                       |

## 外国語・外国語活動「学習到達目標」CAN－DO リスト（例）

| 中学校                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 聞くこと                                                                                                                                                                                           | 読むこと                                                                                                                                                      | 話すこと〈やり取り〉                                                                                                                                                                                                                            | 話すこと〈発表〉                                                                                                                                                                                                                                  | 書くこと                                                                                                                                                                                                                |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。</li> <li>○はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができる。</li> <li>○はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。</li> <li>○日常的・社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要や要点を捉えることができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。</li> <li>○日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文で伝えたり、相手の質問に答えたりすることができる。</li> <li>○社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由について述べ合うことができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。</li> <li>○日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を簡単な語句や文を用いて話すことができる。</li> <li>○社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて話すことができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。</li> <li>○日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる。</li> <li>○社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを書くことができる。</li> </ul> |
| 小学校第5学年及び第6学年                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                     |
| 聞くこと                                                                                                                                                                                           | 読むこと                                                                                                                                                      | 話すこと〈やり取り〉                                                                                                                                                                                                                            | 話すこと〈発表〉                                                                                                                                                                                                                                  | 書くこと                                                                                                                                                                                                                |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ゆっくりはっきりと話されれば、自分のこと、日常生活のことなど、身近な事柄について簡単な語句を聞き取るとともに、基本的な情報を聞き取ったり、具体的な情報を聞き取ったりできる。</li> <li>○ゆっくりはっきりと話されれば、短い話の概要を捉えることができる。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○活字で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができる。</li> <li>○音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができる。</li> <li>○日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。</li> <li>○自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、その場で質問したり質問に答えたりして伝え合うことができる。</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○日常生活に関する身近で簡単な事柄について、基本的な表現を用いて話すことができる。</li> <li>○自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、話すことができる。</li> <li>○身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちを伝える、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○大文字、小文字を活字で書くことができる。また、語順を意識して音声で十分に慣れ親しんだ語句や、基本的な表現を書き写すことができる。</li> <li>○自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や基本的な表現を用いて書くことができる。</li> </ul>                          |
| 小学校第3学年及び第4学年                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                     |
| 聞くこと                                                                                                                                                                                           | 読むこと                                                                                                                                                      | 話すこと〈やり取り〉                                                                                                                                                                                                                            | 話すこと〈発表〉                                                                                                                                                                                                                                  | 書くこと                                                                                                                                                                                                                |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ゆっくりはっきりと話された際に、自分の身の回りのものを表す簡単な語句を聞き取る。</li> <li>○ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味を理解する。</li> <li>○文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかを理解する。</li> </ul> |                                                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な表現を用いて挨拶したり、感謝の気持ちを表現したりできる。また簡単な指示をしたり、それらに応じたりする。</li> <li>○自分のことや身の回りの物について、動作を交えて伝え合う。</li> <li>○サポートを受け、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、質問したり質問に答えたりする。</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>○身の回りの物について、人前で実物等を見せながら、基本的な表現を用いて話す。</li> <li>○自分のことについて、人前で実物等を見せながら、基本的な表現を用いて話す。</li> <li>○日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、基本的な表現を用いて話す。</li> </ul>                                        |                                                                                                                                                                                                                     |

## 1 CAN－DO リストについて

学習指導要領に基づき、児童生徒が身に付ける能力を明確化し「英語を使って何ができるようになるのか」を学習到達目標として記述する。その目標に到達するために授業を通して段階的に「できること」を積み上げ、児童ができるようになっていくかを評価し指導に生かす。

## 2 CAN－DO リストの活用

## 【3(6) 外国語教育の充実の視点】

授業で扱った表現を、全ての児童がすぐに使えるようになるとは限らない。繰り返し使うことで定着へと近づく。CAN－DO リストを利用して児童の「つまずき」を把握し、一人一人を伸ばす指導に役立てる。

中学校では各校の実態に応じてCAN－DO リストの作成が求められている。今後は小学校でも作成が義務づけられる可能性があるため、大きな目標から逆算して小さな目標を作っていくなど、より細分化したリストを作成し、卒業後の英語力を見据えて指導計画を立てる。

「CAN－DO リスト」に関する詳細は、『各中・高等学校の外国語教育における「CAN－DO リスト」の形での学習到達目標設定のための手引き（平成25年3月 文部科学省）』を参照  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kokusai/gaikokugo/1332306.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1332306.htm)

学習到達目標を基に細分化した  
児童用CAN－DO リストの例

Hi, friends 1 宮代町立東小学校・笠原小学校

「I can do!」リスト

\_\_\_\_\_ grade \_\_\_\_\_ class \_\_\_\_\_

name \_\_\_\_\_

こんなことが  
できるよう  
になりました!

|                                       |                                 |                                          |                                        |
|---------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------------|----------------------------------------|
| 英語でのあいさつができる。                         | 英語で自分の名前の紹介ができる。                | 表情やジェスチャーをつけて自分の感情を伝えたり、相手の気持ちをたずねたりできる。 | 英語で1～10までの数を数え、ものの数をたずねたり答えたりすることができる。 |
| 英語での会話をとおして日本語と英語の音のちがいを発見することができた。   | 英語で好きなものや嫌いなものについてたずねたり答えたりできる。 | アルファベットの大きな文字26文字がわかった。                  | 身の回りにはアルファベットの文字がたくさんあることを発見できた。       |
| アルファベットの大きな文字26文字がわかるようになった。          | 英語でほしいものをたずねたり答えたりできる。          | 英語での会話をとおして日本語と英語の共通点やちがいを発見することができた。    | 英語で「これは何?」とたずねたり答えたりできる。               |
| 英語での会話をとおして世界の小学校の学校生活にも興味をもてるようになった。 | 英語で何曜日どんな教科を学習するかをたずねたり答えたりできる。 | 英語での会話をとおして世界の食べ物に興味をもてるようになった。          | ほしいものについていぬいな英語でたずねたりこたえたりできる。         |



## 第2 指導計画作成のための資料

### 資料C 第5学年 外国語 年間指導計画 例

※吹き出しは「P149 3の指導計画作成にあたっての留意すべき事項」と対応している ※ は、繰り返し学習することで定着を図る表現

※主な活動例について… [L] 聞くこと [S] 話すこと [W] 書くこと

| 時数              | 単元名                                             | 単元目標                                                                                                                     | 主な活動例                                                                                                                                                              | 表現例                                                                                                                                                                                                                    | 新出語彙・語句例                                                                                                                                          | 既習表現・語彙例                                                                                                  |
|-----------------|-------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1<br>7 単位<br>時間 | Hello, everyone.<br>アルファベット・自己紹介                | ・他者に配慮しながら自分の好きなものを含めて自己紹介をしたり自己紹介を聞いて概要を捉えたりする。<br>・活字体の大文字を識別し読む(発音する)ことができる。                                          | ・音声聞いて登場人物の好きな物を聞き取ったり、友達は何が欲しいのかを考えたりしながらインタビューをする。【LS】<br>・好きなものを含めて自己紹介をしたり自己紹介を聞いて具体的な情報を聞き取ったりしながら「仲良しパーティー」をする。【LS】<br>・名前をアルファベットで伝える。【RW】                  | Hello, I'm...<br>My name is...<br>How do you spell your name?<br>K-o-s'e-i.<br>What...do you like?<br>I like...very much.                                                                                              | nice, to, meet,<br>very, much, name,<br>spell                                                                                                     | Hello, I'm...<br>Are you...?<br>活字体(大文字・小文字)、色、スポーツ、飲食物、動物など                                              |
| 2<br>8 単位<br>時間 | When is your birthday?<br>行事・誕生日                | ・文字の音に慣れ親しみ、大文字の読み方や書き方、季節や誕生日の尋ね方、答え方などが分かる。<br>・祭りや行事に関するまとまりのある話を聞いて、おおよその内容を聞き取るとともに、相手の誕生日や好み、欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。 | ・「いつ」を尋ねたり答えたりする表現を聞いたり、言ったりする。【LS】<br>・誕生日や好きなものを尋ねたり答えたりして伝え合う。【LS】<br>・パースデークカードを作成して友達と贈り合う。【RW】                                                               | When is your birthday?<br>My birthday is...<br>What...do you like?<br>I [like/don't like] ...<br>What do you want for your birthday?<br>I want...<br>Happy birthday.<br>This is for you.<br>Thank you. You're welcome. | 月、季節、<br>序数 (1st~31st)<br>when,<br>for, your, birthday<br>状態や気持ちを表す語                                                                              | What...do you like?<br>I [like/want] ...<br>What do you want?<br>Your birthday is Monday.<br>数字<br>(1~50) |
| 3<br>8 単位<br>時間 | What do you have on Monday?<br>学校生活・教科・職業       | ・世界の同世代の子どもの私たちの学校生活と自分たちとの相違点や共通点を取り取る。<br>・時間割について、尋ねたり答えたりして伝え合う。                                                     | ・学校生活についての世界と日本の話を比べながら聞く。【L】<br>・時間割について尋ねたり答えたりする。【LS】<br>・「夢の時間割」を作成し、自分の考えを伝え合う。【LRW】                                                                          | Do you have (P/E) on (Monday)?<br>Yes, I do. / No, I don't.<br>What do you have on (Monday)?<br>I study (math).                                                                                                        | on, school, study                                                                                                                                 | Do you have...?<br>Yes, I do.<br>No, I don't.<br>曜日、教科                                                    |
| 4<br>7 単位<br>時間 | What time do you get up?<br>一日の生活               | ・活字体の小文字の書き方や一日の生活について尋ねたり答えたりする表現が分かる。<br>・他者に配慮しながら自分の一日の生活について伝え合うようにする。                                              | ※ 必要な情報を推測しながら読み取り、単元に関する簡単な語句を書き写し、一日の生活について伝え合う。【LS】<br>※ 必要情報を読み取りながら、単元に関する簡単な語句を書き写し、一日の生活について伝え合う。【LS】<br>※ 必要情報を読み取りながら、単元に関する簡単な語句を書き写し、一日の生活について伝え合う。【LS】 | What time do you (get up)?<br>I usually (get up) at (7:00).<br>I always (wash the dishes).                                                                                                                             | always, usually,<br>sometimes, never,<br>at, get up<br>手伝いの表現 (walk my dog, wash the dishes, clean the room など)                                   | What time is it?<br>wash my face<br>日曜、時刻<br>数字 (1~60)<br>動作、スポーツ、曜日                                      |
| 5<br>8 単位<br>時間 | She can run fast.<br>He can jump high.<br>できること | ・第三者についてのまとまった話から、具体的な情報を聞き取る。<br>・他者に配慮しながら、自分や第三者について、できることできないことを紹介し合う。                                               | ・世界で活躍するスポーツ選手や研究者についてのまとまった話から、誰についての話なのかを推測する。【L】<br>・校内の先生について、できることできないことを含めて紹介し合う。【LS】<br>・He/She を4線に書き写す。【W】                                                | Can you...well?<br>Yes, I can. / No, I can't.<br>[I/You/He/She] [can/can't] ... well.<br>【3(5)】「道徳教育の充実」の視点<br>能力的なことでcan'tを扱う際は道徳的配慮を要する。                                                                             | he, she, can, can't,<br>well, 動作(do<br>[kendo/judo] ,<br>play [soccer など]<br>cook, ride, run fast,<br>etc.) 身の回りの物<br>(bicycle, piano, guitar など) | play<br>動作、スポーツ                                                                                           |
| 6<br>8 単位<br>時間 | Where is the treasure?<br>位置と場所                 | ・ある物の位置や場所、位置関係についての説明を聞いて、概要を捉えたり、道案内をしたりする。<br>・場所や物の位置関係について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを推測しながら読み取り、場所を推測したりする。   | ・ある物の場所や物の位置関係について説明を聞いたり位置関係を表したりする。【LS】<br>・地図にある語句を読み、自分が必要とする情報を得ながら、宝物までの場所を尋ねたり、宝物までの道案内をしたりする。【SR】<br>・道案内の中で出てくるものの頭文字をワークシートに書き写す。【W】                     | Where is the (treasure) ?<br>Go straight for (three) blocks.<br>Turn [right/left] at the (third) corner.<br>You can see it on your [right/left] .<br>It's [on/in/under/by] (the desk) .                                | treasure, block, in,<br>under, by, corner<br>身の回りの物<br>(cap, cup, box, basket など)<br>施設と建物<br>(school, library, park など)<br>数字(1~60)、<br>数字<br>序数 | right, left<br>go straight<br>動作、<br>施設と建物<br>(school, library, park など)<br>数字(1~60)、<br>数字<br>序数         |

文字との「出会い直し」として

【3(5)】「道徳教育の充実」の視点

各家庭で一日のライフスタイルは異なることを理解させ、  
た上で活動させる。

【3(2)】「主体的・対話的で深い学び」の視点

地図には、原図が読みたいという必要感のある情報を取り入れ、情報活用能力向上の一助とする。

|                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>7</b><br/>8 単位<br/>時間</p> <p>I want to go to Italy.<br/>行ってみたい国や地域</p> <p><b>【3(2)】「主体的・対話的で深い学び」の視点</b><br/>単元 6 で十分に扱った、場所の尋ね方や答え方を生かして、世界に、主体的に取り組ませる。</p> | <p>活字体の文字とその音が分かるとともに、国名やどこに行きたいか尋ねたり答えたりする表現が分かる。</p> <p>・行きたい国や地域の説明から具体的な情報を聞き取ったり、行きたい国や地域について説明しながら、自分の考えを整理して伝え合ったりする。</p>                                                                                                                                                    | <p>・「I want to go〜?」チャンツを何度も聞いたり言ったりする。【LS】</p> <p>・旅行会社の店員と客に分かれ、海外旅行を勧めたり、行きたい旅行を、理由も含めて選んだりする。【LS】</p> <p>・ボスターやパンフレットなどにある視覚情報を伴う語句を読み、自分が必要とする情報を得る。【R】</p> <p>・国名や行きたい場所について書き写す。【W】</p> <p><b>【3(3)】「教科等横断的」な視点</b><br/>世界地図やパンフレットなどの資料も扱い、社会科学の学習ともリンクさせながら理解を深めるとともに、情報活用能力の向上を促す。</p> | <p>Where do you want to go?<br/>I want to go to Italy.<br/>Why?<br/>Because I want to (eat) (spaghetti).<br/>It's (delicious).<br/>You can (play) (soccer).<br/>It's (cool).</p> <p><b>【3(6)】「外国語教育の充実」の視点</b><br/>ここで why を学習すると 5 W 1 H の全てに触れたことになる。You can 〜 の表現は前向きなお勧めの表現になることを理解させる。</p> | <p>why, because<br/>国 (Australia, Thailand, the UK, The USA, Japan, Italy, Germany, Canada, Spain, France など)<br/>施設 (museum, temple, zoo など)<br/>状態や気持ちを表す語 (beautiful, cute, delicious, fun, exciting など)<br/>動作 (visit, buy, drink, eat など)</p> <p><b>【3(6)】「外国語教育の充実」の視点</b><br/>「Why? Because...」の表現の呼応にここで触れさせ、単元 9以降、自然な形で活用させる。</p> | <p>play,<br/>It is...<br/>動作、状態や気持ちを表す語、国、飲食物</p>                                                                                                                                                                                            |
| <p><b>8</b><br/>8 単位<br/>時間</p> <p>What would you like?<br/>料理・値段</p>                                                                                               | <p>・丁寧な表現を使って注文をしたり欲しいものを尋ねたりする。また、値段を尋ねたり答えたりする。</p> <p>・家族の呼称や音声で十分に慣れ親しんだ、料理や注文についての簡単な語句や基本的な表現で書かれたものの意味が分かる。</p> <p><b>【3(3)】「教科等横断的」な視点</b><br/>単元 7、単元 8 では、店員と客という設定で体験的な活動に取り組ませることにより理解を深める。また、言語能力育成の一環として、日常的なコミュニケーションの中で、日本語でも外国語でも丁寧な言葉使いは共通のマナーであるということを感得させる。</p> | <p>・家族の呼称や、丁寧に注文や値段を尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりする。【LS】</p> <p>・店員と客に分かれ、丁寧な言い方で注文を尋ねたり答えたりする。また、値段を尋ねたり答えたりする。【LS】</p> <p>・メニューなどにある語句を読み、自分が必要とする情報を得たり、料理名を書き写したりする。【RW】</p>                                                                                                                         | <p>What would you like?<br/>What's your special menu?<br/>I'd like...and...<br/>It's for (my brother).<br/>This is for (my brother).<br/>How much?<br/>It's... yen.<br/>Here you are.<br/>Thank you.<br/>Please enjoy.</p>                                                                      | <p>would, special, menu<br/>飲食物 (curry and rice, French fries, fried chicken, salad, parfait, bread, drink, mineral water など)<br/>家族 (father, mother, sister, brother, grandfather, grandmother)<br/>数 (seventy, eighty, ninety, hundred など)</p> <p>This is...<br/>Here you are.<br/>果物、野菜、飲食物、状態や気持ちを表す言葉、数字 (1〜60)</p>                    | <p>Who is your hero?<br/>This is my hero.<br/>Why?<br/>Because [he/she] is good at (playing tennis).<br/>[He/She] is a good (tennis player).<br/>[He/She] can (cook) well.<br/>[He/She] is [kind/cool/great/strong/gentle/active/brave].</p> |
| <p><b>9</b><br/>8 単位<br/>時間</p> <p>Who is your hero?<br/>あこがれの人</p> <p><b>【3(5)】「道徳教育の充実」の視点</b><br/>6 年生を送る会に向け、自分の目標となる先輩について改めて感謝の思いを馳せるなど、児童にとっても温まる単元としたい。</p> | <p>・自分があこがれた人尊敬したりする人について自分の意見を含めて紹介しようとする。</p> <p>・音声で十分に慣れ親しんだ、得意なことについての簡単な語句や基本的な表現で書かれたものの意味が分かり、例を参考に語と語の区分に気を付けながら読んだり、書き写したりする。</p>                                                                                                                                         | <p>・得意なことについて聞いたり、言ったりすることが出来る。【LS】</p> <p>・my hero について説明し、その人に対する自分の考えや気持ちなどを紹介し合う。【LS】</p> <p>・例文を参考に語と語の区切りに注意して、ある人を紹介している簡単な語句や基本的な表現を書き写す。【W】</p>                                                                                                                                         | <p>Who is your hero?<br/>This is my hero.<br/>Why?<br/>Because [he/she] is good at (playing tennis).<br/>[He/She] is a good (tennis player).<br/>[He/She] can (cook) well.<br/>[He/She] is [kind/cool/great/strong/gentle/active/brave].</p>                                                    | <p>hero, so<br/>状態や気持ちを表す語 (kind, cool, great, strong, gentle, active, brave, funny, gentle, fantastic, tough, brave, cool, strong など)</p> <p>Who are you?<br/>Who is this?<br/>状態や気持ちを表す語、動作、スポーツ、日課、職業、家族</p>                                                                                                                             | <p>Who are you?<br/>Who is this?<br/>状態や気持ちを表す語、動作、スポーツ、日課、職業、家族</p>                                                                                                                                                                         |

文字との「出会い直し」としての活動を各単元に適宜取り入れる。

Let's Read and Write につながる活動

Sounds and Letters

Small Talk

※単元を通じて繰り返し取り組ませる活動

1 単元【8(7)時間】の組み立て方 例 資料 D

Unit 5

第①時 Let's Watch and Think1

②Let's Listen

③can のやりとり

④can のやりとり

⑤Let's Watch and Think 2

⑥Let's Read and Write につながる活動

⑦can を使った発表準備

⑧can を使った発表

新しい表現・語彙との出会い

「聞くこと」※既習内容も含めて十分に聞かせる。

「話すこと」※発表・やり取りをバランスよく経験させる。

「読むこと」「書くこと」

本単元で目指す児童の姿

※十分に慣れ親しんだ簡単な語句が無理なく読めたり、例文の語句を入れ替えて文を書き写したりできるようにさせる。

**資料C** 第6学年 外国語 年間指導計画 例

※吹き出しは「P149 3の指導計画作成にあたっての留意すべき事項」と対応している ※ は、繰り返し学習することで定着を図る表現  
※主な活動例について… [L] 聞くこと [S] 話すこと (発表・やり取り) [R] 読むこと [W] 書くこと

| 時数                  | 単元名                                    | 単元目標                                                                                               | 主な活動例                                                                                                                                                                      | 表現例                                                                                                                                                                                                                                                          | 新出語彙・語句例                                                                                                                                                                                                 | 既習表現・語彙例                                                                                                                                                          |
|---------------------|----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1<br>7 単位<br>時間     | This is ME.<br>自己紹介                    | ・自己紹介に関する表現や好きなこと、できることなどを聞いたり言ったりすることができる。<br>・自己紹介で好きなことやできることなどについて伝え合う。                        | <div> <p>世界の子どもたちの自己紹介を聞く。【L】</p> <p>自分の好きなものなどを伝え合い、これまでに学習した簡単な語句や基本的な表現などを使って自己紹介をする。【LS】</p> <p>例を参考に語と語の区切りに注意して自己紹介の基本的な表現を書き写したり、意味を理解したりする。【RW】</p> </div>         | <div> <p>I'm from (Saitama) .<br/>My nickname is...<br/>I [like/can play] ...<br/>I want to go to...<br/>When is your birthday?<br/>My birthday is...<br/>What (subject) do you like?<br/>What is your favorite (sport) ?</p> </div>                         | <div> <p>from, nickname, me<br/>subject</p> </div>                                                                                                                                                       | <div> <p>I [like/play/can] ...<br/>I want to go to...<br/>My birthday is...<br/>What... do you like?<br/>挨拶、教科、色、動物、果物、飲食物、スポーツ、月、序数 (1st-31st)<br/>など</p> </div> |
| 2<br>8 単位<br>時間     | Welcome to Japan.<br>日本の文化             | ・日本文化についての話を聞いて概要を捉えたり好きに日本文化について話したりする。<br>・外国人に紹介したい日本文化について例を参考に簡単な語句や基本的な表現を用いて書いたりする。         | <div> <p>日本の文化について、聞いたり言ったりする。【LS】</p> <p>好きな日本の文化について伝え合う。【LS】</p> <p>例を参考に語と語の区切りに注意して日本文化に関する簡単な語句や基本的な表現を書き写して外国人にお薦めの日本文化についてのガイドブックを作る。【RW】</p> </div>               | <div> <p>Welcome to Japan.<br/>In (summer) ,we have (Star Festival) . I like...I enjoy...<br/>What [food/games] do you have in Japan?<br/>We have (soba/fukuwara) . It's (delicious/fun).<br/>You can enjoy (rakugo/hanamil tempura) .</p> </div>            | <div> <p>culture, star, year, festival, firework, party, traditional<br/>日本の行事 (Snow Festival), Star Festival)<br/>味覚 (sweet, bitter など) soft, hard</p> </div>                                           | <div> <p>I like...I have...<br/>It's...<br/>状態や気持ちを表す語、スポーツ、飲食物、月、季節、日本の行事 (New Year's Day, Children's Day, Doll's Festival)</p> </div>                           |
| 3<br>8 単位<br>時間     | He is famous.<br>She is great.<br>人物紹介 | ・(主語+動詞+目的語) の文の語順に気付き、自分や第三者について聞いたり、言ったりすることができる。<br>・語順を意識して、自分やある人について紹介したり、例を参考に紹介する文を書いたりする。 | <div> <p>目的語にあたる様々な語彙を聞いたり言ったりする。【LS】</p> <p>日本や世界で活躍する人物などに関する短い紹介文を聞いて概要を捉えたりある人物になったつもりで自己紹介をして「Who is this?ゲーム」をしたりする。【LSW】</p> </div>                                 | <div> <p>I'm (Ken) .<br/>I [like/play/have/want /study] ...<br/>I can... well.<br/>Who is this?<br/>[He/she] is [famous/great] .</p> </div>                                                                                                                  | <div> <p>famous, old, racket, nut, computer</p> </div>                                                                                                                                                   | <div> <p>Who are you?<br/>Who is this?<br/>Who likes Monday?<br/>She can run fast.<br/>He can jump high.</p> </div>                                               |
| 4<br>8 単位<br>時間     | My Summer Vacation<br>夏休みの思い出          | ・過去の表現の仕方が分かったり夏休みの思い出について基本的な表現で書かれた英語を書き写したりする。                                                  | <div> <p>夏休みに行った場所や過去のことを表す表現を聞いたり言ったりする。【LS】</p> <p>「夏休み思い出発表会」として夏休みの思い出を伝え合う。【LS】</p> <p>夏休みの思い出について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを推測しながら読んだり書き写したりする。【RW】</p> </div> | <div> <p>I went to my (grandparents' house) .<br/>I enjoyed(fishing).<br/>I saw (the blue sea).<br/>I ate (ice cream).<br/>It was (fun/exciting/beautiful/delicious).</p> </div>                                                                             | <div> <p>grandparent, vacation, 動詞の過去形 (went, ate, saw, enjoyed, was)<br/>自然 (beach, mountain, sea, lake, river など)<br/>動作 (camping, fishing, hiking など)</p> </div>                                      | <div> <p>I'm from ...<br/>I enjoy... my, it<br/>スポーツ、飲食物、季節、動作、身の回りの物、状態や気持ちを表す語 など</p> </div>                                                                    |
| 編 P157, 158~160 資料D | 編 P160, 161 資料E                        | <div> <p>・夏休みの思い出について話される英語を聞いてその概要を捉えたり自分の考えや気持ちを伝え合ったりする。</p> </div>                             | <div> <p>※日本文化やオリンピックの競技名、学校行事などについて簡単な語句や基本的な表現を書き写す活動を各単元で取り入れることで、「文字に慣れ親しむ段階から大文字・小文字の定着へと成長を促す。</p> </div>                                                            | <div> <p>We [have/don't have] (a gym) .<br/>We can (play basketball) .<br/>We can enjoy (jogging) .<br/>(Sakura'cho) is a nice town.<br/>But I want a (library) .<br/>Why? Because I want to...<br/>Where is (Lake Ashino)?<br/>It's in (Hakone).</p> </div> | <div> <p>town, so think, but, nature, 施設 (amusement park, aquarium,) 動作 (jogging, playing, reading, shopping など)<br/>観光地 (Tokyo Sky Tree, Mt. Fuji, Lake Ashino, Buddha, Kamakura, Hakone など)</p> </div> | <div> <p>I want (a new ball) .<br/>Why? Because...<br/>Where is...? enjoy, have, buy, eat, play, see, 施設と建物、飲食物、状態や様子を表す語、動作、スポーツ など</p> </div>                   |
| 5<br>8 単位<br>時間     | I like my town.<br>自分たちの町・地域           | ・自分が住む地域のよさや願いを例を参考に簡単な語句や基本的な表現を用いて書いたりする。                                                        | <div> <p>【3(2)】「主体的・対話的で深い学び」の視点<br/>ここでは、新学習指導要領、小学校外国語教材「We Can!」での単元4と単元5を入れ替え、「夏休みの思い出発表会」をするという目的意識をもって活動させる。</p> </div>                                              | <div> <p>【3(6)】「外国語教育の充実」の視点<br/>今回の改訂で新出表現である過去形については既習表現を生かしながら丁寧に扱う。</p> </div>                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                   |



|                |                                                    |                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                     |
|----------------|----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6<br>8 単<br>時間 | What sport do you want to watch?<br>オリンピック・パラリンピック | <ul style="list-style-type: none"> <li>国名や競技名の言い方が分かる。</li> <li>他者に配慮しながら、オリンピック・パラリンピックで見たい競技とその理由などについて伝え合おうとする。</li> </ul>                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>国名やオリンピック・パラリンピックの競技名について聞いたり言ったりする。【LS】</li> <li>オリンピック・パラリンピックで見たい競技について尋ねたり理由を付けて答えたりするなどして伝え合う。【LS】</li> </ul>                                            | <div>What sport do you want to watch?<br/>I want to watch ...<br/>Why? Because I like ...<br/>Are you good at ...?<br/>Yes, I am. / No, I'm not.<br/>(He) is good at ...<br/>(She) is great ...player.</div>                                                                                 | Olympic Games, evening,<br>Paralympic Games,国、スポーツ (wheelchair sitting [volleyball]), athletics, gymnastics, canoe, boxing, cycling, football, archery など) | I [like/play] (soccer) .<br>I want to go to (Italy) .<br>why, because, morning, afternoon<br>[He/she] is famous/great!<br>What sport do you like?<br>国、スポーツ                                                                         |
| 7<br>7 単<br>時間 | My Best Memory<br>小学校生活・思い出                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>過去の表現の仕方が分かる。</li> <li>学校行事について簡単な語句や基本的な表現で話される英語を聞いたりその概要を捉えたり、簡単な語句や基本的な表現を用いて心に残っている学校行事について自分の気持ちを伝え合ったりする。</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事について聞いたり言ったりする。【LS】</li> <li>外国の小学校生活を知る。【L】</li> <li>卒業アルバム制作に向けて学校生活を振り返り、思い、思い出に残る行事について紹介文を書いて伝え合う。【LSW】</li> </ul>                                   | <div>What's your best memory?<br/>My best memory [is/was] ...<br/>We went to ...<br/>We ate ...<br/>We saw ...<br/>We enjoyed ...</div>                                                                                                                                                      | <div>best, memory<br/>学校行事 (sports day, entrance ceremony, graduation day, field trip, school trip, music festival など)</div>                               | <div>動詞の過去形<br/>(went, ate, saw enjoyed, was) , we, I went to ...<br/>It was ... I enjoyed ...<br/>I saw ... school</div>                                                                                                           |
| 8<br>8 単<br>時間 | What do you want to be?<br>将来の夢・職業                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>将来就きたい仕事や夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に語と語の区切りに注意しながら書いたりする。</li> <li>他者に配慮しながら将来の夢などについて自分の考えや気持ちを伝え合う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>将来就きたい職業などについて聞いたり言ったりする。【LS】</li> <li>将来の夢についての簡単な語句や、基本的な表現の例から選んで、語順を意識しながら「夢宣言スピーチ原稿」に自分の思いを書き、グループで発表し合う。【LSRW】</li> </ul>                               | <div>What do you want to be in the future?<br/>I want to be a ...<br/>Why? Because I like ...<br/>I can ... That's (good) .<br/>[I'm/You're] good at ...<br/>Good luck.</div>                                                                                                                | <div>be, luck, future<br/>職業 (astronaut, cook, nurse, soccer player, teacher, singer, flight attendant, vet, comedian, artist, doctor など)</div>            | <div>What do you want ?<br/>I want to [see/go to/visit] (Italy) .<br/>I can ... well.<br/>What ...do you like?<br/>why, because<br/>職業、動作、動詞の過去形、スポーツ、動物、教科、食べ物、身の回りの物、状態や気持ちを表す語など</div>                                           |
| 9<br>8 単<br>時間 | Junior High School Life<br>中学校生活・部活動               | <ul style="list-style-type: none"> <li>中学校生活について書かれている英語を推測しながら読む。</li> <li>中学校で入りたい部活や楽しみな行事などについて、自分の考えや気持ちを伝え合う。</li> </ul>                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>中学校の部活動や学校行事などについて聞いたり言ったりする。【LS】</li> <li>中学校でやってみたいことについて伝え合う。【LS】</li> <li>中学校や将来の夢について例を参考に情報を補ってスピーチ原稿を書き、クラス全体で「羽ばたこう、輝かしい未来へ！発表会」をする。【LSRW】</li> </ul> | <div>Which club do you want to join?<br/>What event do you want to enjoy?<br/>I want to join the ...club.<br/>I want to study hard.<br/>I want to enjoy ...<br/>I want to read many books.<br/>I want to make many friends.<br/>Why? Because I like ...<br/>Because I want to be a ...</div> | <div>member, club, team, practice, join, junior, us, event, uniform, make, read, test</div>                                                                | <div>Do you like soccer?<br/>Yes, I do. / No, I don't.<br/>I want to [see/go to/visit] (Italy) .<br/>I can ...well.<br/>What ...do you like?<br/>why, because<br/>[She/He] is ...<br/>動作、身の回りの物、スポーツ、職業、日曜、行事、教科、状態や気持ちを表す語など</div> |

「文字を書き出す」活動を各単元で適宜取り入れる。

# 1 単元【8(7)時間】の組み立て方 例

※単元を通じて繰り返し取り組みさせる活動

Let's Read and Write

Small Talk

Sounds and Letters

Unit 4 第①時 Small Talk②フエイント・リビート・ゲーム③Let's Talk (5～6人) ④Let's Talk (ペア) ⑤マッチング・ゲーム ⑥カード・デスクティニー・ゲーム ⑦Let's Read and Write ⑧Activity (発表)

新しい表現・語句・語彙との出会い

【L】「聞くこと」※既習内容も含めて十分に聞かせる。

【S】「話すこと」※発表・やり取りをバランスよく経験させる。

【RW】「読むこと」「書くこと」

※十分に慣れ親しんだ語句や表現が無理なく読めたり、例文の語句を入れ替えて文を書き写したりできるようにさせる。  
また外国語の特徴を意識しながら書き写すことにより「文構造」等に気付くこともできるように促す。

本単元で  
目指す  
児童の姿

# 資料D 第6学年 単元計画（8時間）

※ 吹き出しは、「P149 3の指導計画作成にあたっての留意すべき事項」と対応している

| 時 | 目標（◆）と主な活動（【 】、○）＊【 】＝誌面化されている活動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ◎評価＜方法＞                                                                                                                       |
|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | <p>◆夏休みに行った場所を言ったり聞いたりする。</p> <p>○Small Talk 話題：夏の食べ物</p> <p>【Let's Listen①】・登場人物が、夏休みの思い出について話している英語を聞き、行った場所、そこでしたこと、食べた物の話の内容に合うように、ワークシートの誌面上の絵を線で結ぶ。</p> <div> <p><b>【3(2)】「主体的・対話的で深い学び」の視点</b></p> <p>通常の Listening 活動を行う以外に、「聞く必然性」を高め、「主体的に聞こうとする態度」を養うよう工夫することもできる。</p> <p>例) 最初に登場人物がどこに行き、何をしたのか、その感想について、ペアやグループの友達と協力して、イラストの情報だけで予測してみる。その予測が正しいかどうか、音声を聞いて確かめる。</p> </div> <div> <p>～埼玉県『主体的・対話的で深い学びの実現 6則』より～</p> <p>ペアやグループになってお互いの思い出を伝え合うことで、担任をはじめとした全教員と児童の信頼関係づくり、児童相互の好ましい人間関係づくりを行い、信頼関係に基づく学級づくりを進めていく。</p> </div> <p>【Let's Play】ポインティング・ゲーム①②</p> <p>・指導者が言う施設・場所、動作、食べ物の絵を指す（①個人、②ペア）。</p> <p>○Let's Play 夏休みに行った場所をペアで伝え合う。</p> <p>S1: I went to Hokkaido. How about you? S2: I went to Chiba.</p> <p>○Let's Read and Write 書く文例：I went to (Hokkaido).</p> <p>・音声を聞きながら読んだ（言った）後、Word Box から言葉を選んで書き写す。</p> <p>○単元の終末の活動を知る。</p> <div> <p><b>【3(1)】「特別な配慮を必要とするなど課題を抱えた児童」への指導の視点</b></p> <p>単元の終末の活動（ゴール）を示すことにより、見通しをもって学習に臨むことができるよう工夫する。</p> </div> | <p>◎I went to ～.を使って夏休みに行った場所を言ったり聞いたりすることができる。（行動観察、ワークシート、振り返りカード点検）</p>                                                    |
| 2 | <p>◆夏休みの思い出についての話を聞き、行った場所や感想などが分かる。またその感想を伝え合う。</p> <p>【Let's Play】前時のポインティング・ゲーム①②</p> <p>【Let's Watch and Think①】</p> <p>・世界の国々の子供たちが夏休みの思い出について話している映像資料を視聴し、分かったことを誌面に記入する。</p> <p>○Let's Play フェイント・リピート・ゲーム</p> <p>・excitingなどの形容詞の絵カードを指導者が示し、児童はリピートする。（繰り返して言う。）児童が十分に慣れたところで、指導者が絵を指しながら違う形容詞を発音する。児童はそれに惑わされずに指された言葉を発音する。</p> <p>【Let's Chant】Summer Vacation</p> <p>○Let's Talk 夏休みに行った場所とその感想をペアで伝え合う。</p> <p>S: I went to the sea. It was beautiful. How about you?</p> <p>○Let's Read and Write 書く文例：I went to (the sea). It was (fun).</p> <p>（ ）内の the sea や fun の部分を変えて書き写す。</p> <p>○Sounds and Letters /p/の音で始まる単語を発表し合い、4線上にpを書く。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <p>◎夏休みの思い出についての話を聞いて、行った場所やしたことを誌面に書くことができる。（記述観察）</p> <p>◎I went to ～. It was ～.などを使って、夏休みに行った場所とその感想について伝え合っている。（行動観察）</p> |
| 3 | <p>◆過去の表現の仕方が分かり、夏休みに行った場所とその感想を伝え合う。＊（編160資料E指導案参照）</p> <p>○Small Talk 話題：夏休みの思い出（行った場所・感想）</p> <p>【Let's Chant】Summer Vacation</p> <p>○Let's Talk 5～6人で1グループを作り、順に夏休みに行った場所を話していく。その際、前の人が行った場所を言い、それに付け加えて自分が行った場所を話す。S1: I went to the sea. S2: You went to the sea and I went to the park.</p> <p>【Let's Play】ポインティング・ゲーム</p> <p>・指導者が言う語を繰り返して言い、誌面にあるその絵を指さす。</p> <p>○Let's Read and Write 書く文例：I went to (the park). It was (nice).</p> <p>（ ）内の the park や nice の部分を変えて書き写す。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <p>◎I went to ～. It was ～.などを使って、夏休みに行った場所とその感想について伝え合っている。（行動観察）</p>                                                         |

|   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                |
|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
|   | ◆夏休みに行った場所と食べた物、その感想を言ったり聞いたりする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                |
|   | <p>【Let's Chant】 Summer Vacation</p> <p>【Let's Listen②】・登場人物 3 人が夏休みに行った場所、したこと、食べた物、その感想を話している英語の音声のみを数回聞いて、内容に合うように誌面にある登場人物と絵を選ぶ。その後、改めて音声を聞きながら、解答を確認する。</p> <p>○Let's Play 指導者は、昨夜あるいは今朝食べた物を、絵カードを見せながら言う。一方的に言うのではなく、児童にそれを食べたか、好きかななどを尋ねる。次に児童はペアになり、昨夜の夕食、今日の朝食で食べた物を相手と伝え合う。</p> <p>○Let's Talk 夏休みに行った場所と食べた物、その感想をペアで伝え合う。</p> <p>S: I went to the sea. I ate <i>yakisoba</i>. It was delicious. How about you?</p> <p>○Let's Read and Write 書く文例: I ate (pizza). It was (delicious).<br/>( ) 内の pizza や delicious の部分を変えて書き写す。</p> <p>○Sounds and Letters /r/の音で始まる単語を発表し合い、4 線上に r を書く。</p>                                                                                                                                                          | <p>◎I went to ~. I ate ~. It was ~.などを使って、夏休みに行った場所と食べた物について、その感想を言ったり、聞いたりすることができる。(行動観察)</p> |
| 5 | ◆夏休みに楽しんだこととその感想を言ったり聞いたりする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                |
|   | <p>○Small Talk 話題: 夏休みの思い出 (行った場所・食べた物・感想)</p> <p>【Let's Watch and Think②】</p> <p>・登場人物が夏休みにどこへ行き、何を食べたかななどを誌面の表に記入する。</p> <p>○Let's Play マッチング・ゲーム</p> <p>・ペアになり、1 人が場所や食べ物、動作の絵カードを持つ。もう 1 人が感想を表す形容詞の絵カードを持つ。相手に見えないように 1 枚ずつカードを選んで発話をし、意味が合えばマッチした組み合わせとしてカードをよける。</p> <p>S1: I enjoyed camping. S2: It was exciting. (○→カードをよける)</p> <p>S1: I enjoyed swimming. S2: It was delicious. (×→カードはそのまま)</p> <p>○Let's Play ペアで夏休みにしたことを言い合う。</p> <p>S: I went to the mountains. I enjoyed hiking. It was nice. How about you?</p> <p>○Let's Read and Write 書く文例: I enjoyed (fishing). It was (exciting).</p>                                                                                                                                                      | <p>◎I went to ~. I enjoyed ~. It was ~.などを使って、夏休みに楽しんだこととその感想を言ったり聞いたりすることができる。(行動観察)</p>      |
| 6 | ◆夏休みの思い出についての話を聞き、行った場所、楽しんだこと、食べた物、感想を伝え合う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                |
|   | <p>【Let's Chant】 Summer Vacation</p> <p>【Let's Listen③】</p> <p>・登場人物 4 人が、ある場所に行ってしたこと、その感想を話し、最後に Guess where I went.とクイズを出している英語の音声を聞き、登場人物がどこで何をしたのかを考えて、誌面の絵から選ぶ。</p> <div data-bbox="213 1413 1358 1547" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【3(3)】「教科等横断的」な視点</b></p> <p>登場人物が夏休みどこへ行き、何を食べたかななどを聞いて、社会科で得た知識と結び付けたり、地図帳などを用いながら活動を行うなどの工夫をしたりすることで、児童の知的好奇心を刺激する。</p> </div> <p>○Let's Play カード・デスティニー・ゲーム</p> <p>・ペアで行う。動作、食べ物、感想絵カードを分けて持ち、それぞれ机の上に並べる。指導者が I went to (施設・場所).と 言うのを聞いて、それに関連する絵カードを持っている方が、その絵カードを出しながら、後に文を続けて言う。</p> <p>①I enjoyed ~.→②It was ~.→③I ate ~.→④It was ~.</p> <p>○Let's Talk 夏休みの思い出に関して、[行った場所][楽しんだこと][食べた物][感想]のいずれかについて、誌面を参考にしてペアに話す。</p> <p>○Sounds and Letters /s/の音で始まる単語を発表し合い、4 線上に s を書く。</p> | <p>◎夏休みの思い出について話を聞き、行った場所、したことなどが分かり、内容に合う絵を選ぶことができる。(行動観察)</p>                                |
|   | <p>○Let's Play カード・デスティニー・ゲーム</p> <p>・ペアで行う。動作、食べ物、感想絵カードを分けて持ち、それぞれ机の上に並べる。指導者が I went to (施設・場所).と 言うのを聞いて、それに関連する絵カードを持っている方が、その絵カードを出しながら、後に文を続けて言う。</p> <p>①I enjoyed ~.→②It was ~.→③I ate ~.→④It was ~.</p> <p>○Let's Talk 夏休みの思い出に関して、[行った場所][楽しんだこと][食べた物][感想]のいずれかについて、誌面を参考にしてペアに話す。</p> <p>○Sounds and Letters /s/の音で始まる単語を発表し合い、4 線上に s を書く。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | <p>◎I enjoyed ~ing.や I ate ~.などを使って、夏休みに楽しんだことや食べた物について伝え合っている。(行動観察)</p>                      |
| 7 | ◆夏休みの思い出について書かれた文を推測して読んだり、他者に配慮しながら夏休みの思い出について伝え合おうとしたりする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                |
|   | <p>○Small Talk 話題: 週末の思い出 (行った場所・楽しんだこと・感想)</p> <p>【Let's Read and Watch】</p> <p>・まず、夏休みの思い出について書かれた英文を読む。その後、その英文が話さ</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <p>◎夏休みの思い出について書かれた英文を読んで内容を理解し、その英文を書</p>                                                     |



|   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                              |
|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|   | <p>れている映像資料を視聴して内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>映像資料の音声に合わせて英文を読む。その後、映像資料の音声を消して、映像資料の英文を再度読む。</li> </ul> <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みの思い出について、行った場所、食べた物、したことなど前時までにワークシートに書き写した文を読む。</li> <li>I went to the sea. It was fun. ・ I ate pizza. It was delicious. ・ I enjoyed fishing. It was exciting.</li> </ul> <p>【Activity】 ペアで夏休みの思い出について伝え合う。相手を替えて繰り返す。</p>            | <p>いた人物を選んでいる。</p> <p>〈記述観察〉</p> <p>◎I went to ~. I enjoyed ~ing. It was ~. I ate ~. などを使って、夏休みの思い出について伝え合おうとしている。(行動観察)</p> |
|   | <p><b>【3(4)】「社会に開かれた教育課程」の視点</b></p> <p>地域の人やゲストティーチャーにも夏休みの思い出を語るなど、話し手としての意識を高める活動を行ったり、隣の中学校の生徒が書いた夏休みの作文を読んだりする。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                              |
| 8 | <p>◆自分の夏休みの思い出について話したことを、今まで書き写してきた文を参考に、語順を意識しながら書こうとする。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                              |
|   | <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みの思い出について、前時までに書き写した文を参考に、行った場所、食べた物、楽しんだこと、感想を思い出アルバム用のシートに清書する。</li> </ul> <p>○Activity 児童が前時で書いたアルバム用シートのいくつかを聞いたり、読んだりして、それが誰なのかを考えて発表する。</p> <p>【Story Time】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取り扱うライムは-ish。(※ライム＝韻を踏むこと)</li> <li>デジタル教材でライムの単語とそれらが含まれる文を2～3回聞く。その後、音声の後について言う。</li> <li>ライムしている単語だけを読み出す。</li> <li>ライムしている句や文だけを2～3回読んでみる。</li> </ul> | <p>◎夏休みの思い出について話したことを、今まで書き写してきた文を参考にしながら書こうとしている。(行動観察・記述観察)</p>                                                            |

## 資料E 指導案 3／8 (1単位時間の計画)

目標 過去の表現の仕方が分かり、夏休みに行った場所とその感想を伝え合う。

準備 デジタル教材・・・デ教、児童用テキスト・・・テキスト、絵カード・・・絵カ、  
ワークシート・・・WS、振り返りカード・・・振カ

○本時の展開 (3／8) ※ 吹き出しは、「P149 3の指導計画作成にあたっての留意すべき事項」と対応している

| 時間 | 児童(S)の活動 *【 】=誌面化されている活動                                                                                                                                                                                                                                                             | 指導者(T)の活動と使用英語例 ◎ 評価〈方法〉                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 準備物       |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 1分 | ・挨拶をする。                                                                                                                                                                                                                                                                              | ・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。                                                                                                                                                                                                                                                                                        |           |
| 9分 | <p>○Small Talk</p> <p>話題：夏休みの思い出 (行った場所・感想)</p> <p>S1: I went to the amusement park. It was fun!</p> <p>S2: You went to the amusement park. That's nice.</p> <p>S1: How about you?</p> <p>S2: I went to Okinawa. It was beautiful!</p> <p>S1: You went to Okinawa. That's great.</p> | <p>(指導例)</p> <p>S1: 「海に行った」って言いたい。</p> <p>T: Oh, you went to the sea.</p> <p>S2: Me too. I went to the sea.</p> <p>T: そうですね。「海に行った」は、「I went to the sea.」とえばいいですね。</p> <p>S3: 「わくわくした」は？</p> <p>S4: exciting だよ！</p> <p>T: そうですね。It was exciting とえば伝わるね。</p> <p>このように最初に言い方などを復習してから Small Talk をやらせてみる。</p> |           |
|    | <p><b>【3(2)】「主体的・対話的で深い学び」の視点</b></p> <p>英語で何と言うのか、教師がすぐに答えを提示するのではなく、児童同士が持っている知識を活用したり、話し合ったりしながら考え、目標とする表現(ここでは、I went to ~.)に慣れ親しませ、思考力、表現力を高めていく。</p>                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |           |
| 5分 | 【Let's Chant】 Summer Vacation                                                                                                                                                                                                                                                        | ・一緒にチャンツを言う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | <u>デ教</u> |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                     |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10 分 | <p>○Let's Talk</p> <p>・夏休みに行った場所や感想を伝え合う。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                      | <p>・夏休みに行った場所や感想をグループで伝え合うことを告げる。</p> <p>T: Let's talk in groups.</p>                                                                                                                                                                      | <p><b>【3(1)】「特別な配慮を必要とするなど課題を抱えた児童」への指導の視点</b></p> <p>① 挨拶<br/>② Small Talk<br/>③ チャンツ又は歌<br/>④ Activity 1<br/>⑤ Activity 2<br/>⑥ 振り返り<br/>⑦ 挨拶</p> <p>その日の授業の流れを、メニューのようにあらかじめ提示しておくことも効果的である。</p> |
|      | <p>〈活動の手順〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5～6人でグループを作る。</li> <li>・ グループで円になり、それぞれ伝える「夏休みに行った場所」を決める。</li> <li>・ 最初の児童が自分の「夏休みに行った場所」を言う。</li> <li>・ 次の児童は、前の児童が言ったことを You ～.と繰り返して言った後、自分の「行った場所」を付け足す。</li> <li>・ その順番で最後の児童まで、場所を付け足し、文を言っていく。</li> <li>・ 次に、行った場所に感想を付け加えて言い、同様の活動を行う。</li> </ul> | <p>S1: I went to the sea.<br/>S2: Oh, you went to the sea! I went to the swimming pool.<br/>S3: Oh, you went to the swimming pool. I went to the amusement park.</p> <p>◎I went to ～. It was ～.などを使って、夏休みに行った場所とその感想について伝え合っている。〈行動観察〉</p> |                                                                                                                                                                                                     |
|      | <p><b>【3(5)】「道徳教育の充実」の視点</b></p> <p>しっかりと相手と向き合い、手のひらで相手を指示しながら、「君は、海へ行ったんだね。(いいなあ)。僕は、遊園地へ行ったんだよ」という思いを込めて発表させ、相手を尊重する意識を持たせる。</p>                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                     |
|      | <p><b>【3(6)】「外国語教育の充実」の視点</b></p> <p>友達の言ったことを繰り返したり、触れたりすることで、自然な会話の流れで目標とする表現（ここでは、I went to ～.）を定着につなげていく。</p>                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                     |
| 9 分  | <p><b>【Let's Play】</b> ポインティング・ゲーム</p> <p>・ 感想を表す形容詞を使ってポインティング・ゲームを行う。</p>                                                                                                                                                                                                                                        | <p>・ 指導者が言う It was ～.を繰り返し、誌面にある感想を表す絵を指す。児童が慣れてきたら、指導者は感想だけでなく、I went to (ate, enjoyed) ～. It was ～.と言い、児童に You went to (ate, enjoyed) ～. It was ～.と繰り返して言わせるようにする。</p>                                                                   | <p>絵カ</p> <p>テキスト</p>                                                                                                                                                                               |
| 5 分  | <p>○Let's Read and Write</p> <p>書く文例 : I went to (the park). It was (nice).</p> <p>・ 音声を聞いて繰り返し読んだ（言った）後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>                                                                                                                                                                                  | <p>T: Please listen to the sentence and look at the words in your textbook.<br/>Listen to the sentence and read it.<br/>Copy one word from the word box.</p>                                                                               | <p>デ教</p> <p>WS</p>                                                                                                                                                                                 |
|      | <p><b>【3(6)】「外国語教育の充実」の視点</b></p> <p>音声で十分に慣れ親しんだ文（I went to ～. It was ～.）や単語（sea, park など）をその時間の最後になぞらせたり、視写させたりする。英語の音と文字を一致させるようにするためには、まずは音声で十分に慣れ親しませることが重要である。</p>                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                     |
| 5 分  | <p>・ 本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                  | <p>・ 本時のねらいに照らして児童を評価する。</p> <p>・ 挨拶する。</p>                                                                                                                                                                                                | <p>振カ</p>                                                                                                                                                                                           |
| 1 分  | <p>・ 挨拶をする。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                     |